
新・京都式オレンジプラン 10のアイメッセージ評価 報告書

2024年2月

京都地域包括ケア推進機構

認知症総合対策推進プロジェクト

はじめに

2018（平成30）年に京都地域包括ケア推進機構で策定した新・京都式オレンジプラン（第2次京都認知症総合対策推進計画）では、2013（平成25）年に策定した京都式オレンジプラン（京都認知症総合対策推進計画）を引継ぎ、「認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会」を目指すべき姿として掲げています。また、認知症の人とその家族の望む社会の姿を「10のアイメッセージ」として明文化し、京都式オレンジプランのアウトカム評価に位置づけ、認知症の早期発見・早期対応をはじめとした認知症ケアの充実や家族（介護者）への支援が行われるよう、行政と医療・介護・福祉等の関係機関が連携を強化し、この6年間、様々な取組を推し進めてきたところです。

今回の改定にあたっては、2018（平成30）年の改定時と同様に、オール京都体制で行ったこれらの取組について評価・検証を行うのと同時に、次期計画の策定に向けて、認知症の人や家族、支援者の皆さんの様々なご意見や提案を幅広く把握し、計画に反映するため、「10のアイメッセージ評価」及び「本人ミーティング・家族ミーティング」を実施したところ、認知症の人や家族、支援者あわせて約530人にご参加いただくことができました。この報告書は、その評価結果と京都における認知症施策の今後の方向性をとりまとめたものです。

今回の評価で得られた結果を次期計画の策定に反映し、今後の施策展開に活かしていくことはもとより、認知症の人や家族、関係団体・関係者の皆様の多様な活動にも活用されることを期待するものです。

最後に、今回実施した「10のアイメッセージ評価」や「本人ミーティング・家族ミーティング」が、今後、京都のどの地域においても実施され、ご本人の思いが様々な施策や取組の場で活かされることにより、認知症の人にやさしい地域づくりが加速することを願います。

2024（令和6）年2月

京都地域包括ケア推進機構
認知症総合対策推進プロジェクト

第一部 新・京都式オレンジプラン 10のアイメッセージ評価

I 調査の概要	1
1 目的	1
2 実施主体	1
3 調査期間	1
4 調査対象者（評価対象者）	1
5 調査内容	1
6 調査協力者（評価協力者）	3
7 調査方法及びスケジュール.....	4
8 倫理的配慮	6
II 回収の結果	7
1 本人調査	7
2 家族調査	9
3 支援者調査	11
III 回答の結果	12
1 評価対象者別の回答結果の対照表.....	12
2 本人調査の回答結果.....	13
（1）認知症高齢者の日常生活自立度別「とてもそう思う」と回答した人の割合.	14
（2）障害高齢者の日常生活自立度別「とてもそう思う」と回答した人の割合...	15
（3）本人の意見・要望【自由記述】	16
（4）本人調査に関わった調査協力者の回答結果.....	19
3 家族調査の回答結果.....	29
4 支援者調査の回答結果.....	30
IV 評価対象者別の回答結果の比較	31
V 10のアイメッセージ評価結果に対する新・京都式オレンジプラン改定検討ワーキング 意見	54
1 評価の意義と明らかになったこと.....	54
2 調査結果に対する評価・意見.....	54
3 前回調査（2017年）との比較から見えること	55
4 10のアイメッセージを実現するための方向性	55
5 新たに必要な施策や取組.....	57
6 10のアイメッセージ評価の活用	57
7 次回の評価に向けての課題提示.....	57

第二部 本人・家族の声を京都式オレンジプランに反映させるための 「本人ミーティング・家族ミーティング」

I 実施の概要	59
1 目的	59
2 主催	59
3 協力機関	59
4 実施地域	59
5 方法	59
6 実施場所	60
7 対象者	60
8 実施の手順	60
9 地域別の実施要領	61
10 分析方法	63
11 倫理的配慮	64
II 地域別「本人ミーティング・家族ミーティング」の詳細と評価結果	65
1 丹後圏域（京丹後市）、中丹圏域（舞鶴市）、南丹圏域（亀岡市）、 京都・乙訓圏域（京都市）、山城南圏域（精華町）	65
2 山城北圏域（宇治市）	71
III 二つの分析から抽出された課題と提案	77

第三部 参考資料

I 回収の結果（2017年調査）	81
1 本人調査	81
2 家族調査	82
3 支援者調査	83
II 10のアイメッセージ評価自由記述のまとめ	84
III 本人ミーティング・家族ミーティング発言まとめ	91
1 丹後圏域（京丹後市）、中丹圏域（舞鶴市）、南丹圏域（亀岡市）、 京都・乙訓圏域（京都市）、山城南圏域（精華町）	91
2 山城北圏域（宇治市）	167
IV 10のアイメッセージ評価に係る調査票	195
1 本人調査票	195
2 家族調査票	199
3 支援者調査票	202
●認知症総合対策推進プロジェクト委員名簿	204

第一部

新・京都式オレンジプラン
10のアイメッセージ評価

I 調査の概要

1 目的

京都地域包括ケア推進機構では、平成30年に策定した「新・京都式オレンジプラン（第2次京都認知症総合対策推進計画）」に基づきオール京都で認知症対策に取り組んできたが、計画の最終年にあたり、プランのアウトカム指標である「10のアイメッセージ」について認知症の本人等に評価をいただき、更なる認知症施策の展開につなげることを目的として、本調査を行った。

2 実施主体

京都地域包括ケア推進機構（認知症総合対策推進プロジェクト）

3 調査期間

令和5年3月から9月まで

4 調査対象者（評価対象者）

（1）本人

地域の様々な資源やサービスを利用して在宅生活をしている認知症の人 97人

（2）家族

地域の様々な資源やサービスを利用して在宅生活をしている（※）認知症の人の家族
128人

※新・京都式オレンジプランがスタートした平成30年4月～調査時までの間に在宅生活をしている（していた）認知症の人の家族が対象

（3）支援者

本人、家族を支援している地域包括支援センター職員、認知症カフェ運営者、ケアマネジャー、介護事業所職員、認知症サポート医、認知症の人と家族の会会員、認知症リンクワーカー養成研修修了者、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター、府内在住・在勤のキャラバン・メイト養成研修修了者 等 610人

5 調査内容

（1）10のアイメッセージに基づく23の評価項目

新・京都式オレンジプラン改定・検討ワーキングにおいて、「10のアイメッセージ」をわかりやすいよう、23の評価項目【図表1】に整理し、調査票（参考資料IV(P. 194-202)）を作成した。

新・京都式オレンジプラン『10のアイメッセージ』評価項目

10のアイメッセージ		評価項目
I	私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的に過ごしている。	1 周りのすべての人が、認知症を正しく理解してくれている
		2 周りの人は、私らしさや私のしたいことをいつも気にかけてくれる
		3 周りの人は、私ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれている
II	私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかに過ごしている。	4 私は、診断される前と同様、活動的に過ごしている
		5 私は、軽いうちに診断を受け、病気を理解できた
		6 私は、将来の過ごし方まで考え決めることができた
III	私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかに過ごしている。	7 私は、身体の具合が悪くなったらいつでも診てもらえる
		8 私は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている
		9 私は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている
IV	私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもって過ごしている。	10 私は、私なりに社会に貢献することができている
		11 私は、生きがいを感じている
		12 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている
V	私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんでいます。	13 私は、人生を楽しんでいる
		14 私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている
		15 私は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている
VI	私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されて過ごしている。	16 私は、言葉でうまくいなくても私の気持ちをわかってもらえている
		17 人生の終末に至るまで、わたしの思いが尊重されると思う
		18 私は、適切な情報を得ている
VII	私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもつて過ごしている。	19 私は、身近に何でも相談できる人がいる
		20 私には、落ち着いていられる場所がある
		21 【若年性認知症の方のみ】若年性の認知症の私に合ったサービスがある
IX	私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって参加し、過ごしている。	22 【若年性認知症の方のみ】私に合ったサービスに意欲をもって参加している
		23 私は、いま行われている認知症を治す研究に期待している
		24 私は、私や家族の願いである認知症を治す様々な研究がされているので、期待をもって過ごしている。

(2) 調査対象者（評価対象者）の基本情報

①本人

年齢、性別、介護認定の有無、介護度、同居家族の有無、発病後の年数、所在市町村及び本人調査の実施状況（本人・代弁者の回答能力に関する印象、評価協力者と本人・代弁者との関係、本人評価の課題）

※代弁者が回答した場合は、以下の代弁者の基本情報

年齢、性別、本人との関係、同居の有無、同居期間

②家族

年齢、所在市町村、本人との関係、本人の状態、本人調査参加の有無

③支援者

区分、所在市町村

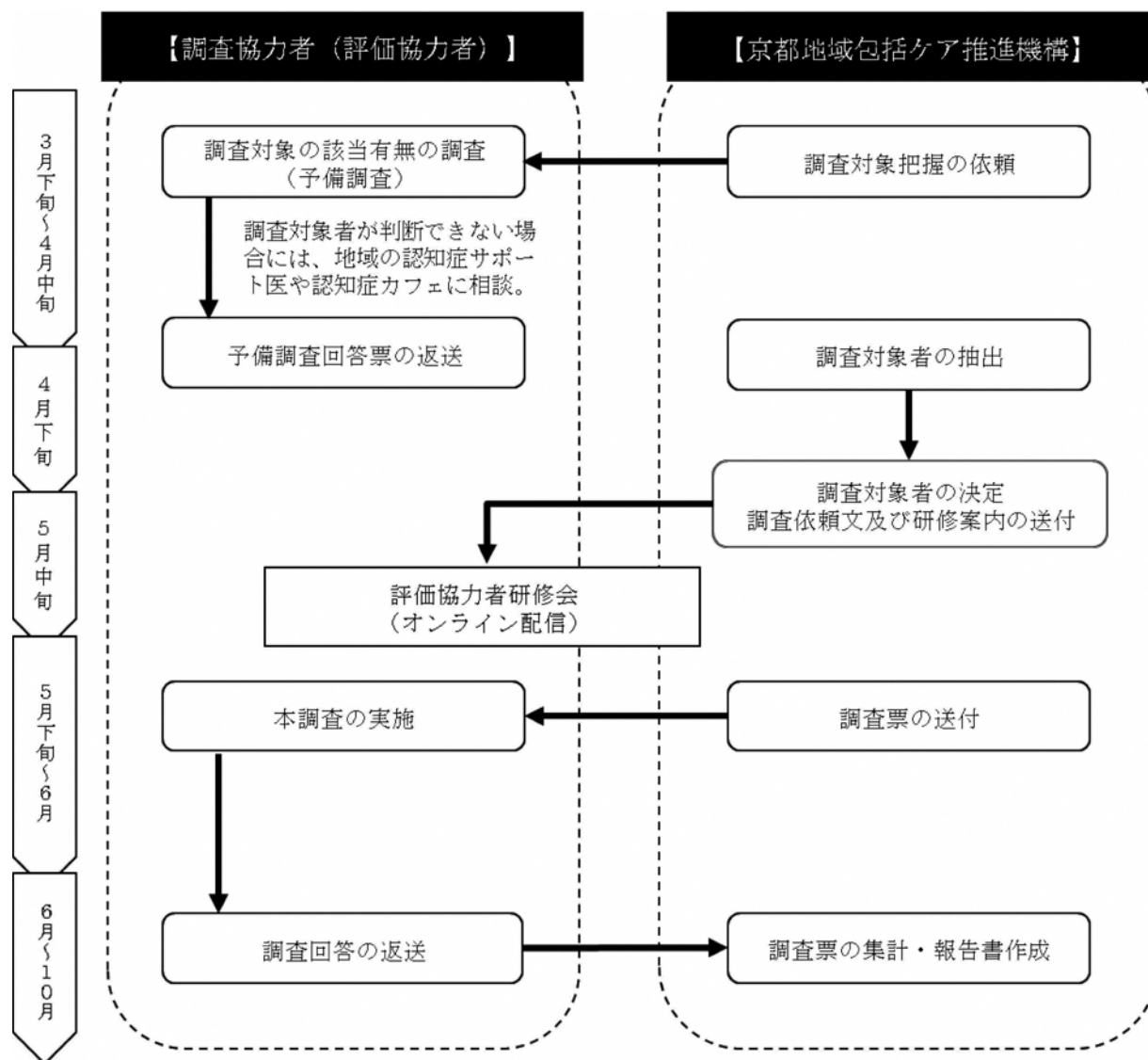
6 調査協力者（評価協力者）

- (1) 市町村認知症施策担当者・地域包括支援センター職員
- (2) 認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者
- (3) 認知症リンクワーカー養成研修修了者
- (4) 認知症初期集中支援チーム
- (5) 認知症疾患医療センター
- (6) 京都府内在住・在勤のキャラバン・メイト養成研修修了者
- (7) 認知症カフェ運営者
- (8) 認知症の人と家族の会

7 調査方法及びスケジュール

本調査に関する進捗状況は以下のとおり。

【図表2】新・京都式オレンジプラン「10のアイメッセージ」評価に係る本人・家族調査の流れ



(1) 予備調査【3月下旬～4月中旬】

新・京都式オレンジプランの評価主体として調査に協力してくれる本人・家族を探すため、6（1）～（8）に対し、評価項目（23項目）及び調査の流れ（フロー図）等を送付し、機縁法による該当者の把握を行った。

(2) 調査対象者（本人・家族）の抽出【4月下旬】

予備調査により把握された本人・家族の中から調査対象者を抽出し、調査協力者（評価協力者）へ調査を依頼。

(3) 調査協力者向け研修会の実施【5月中旬】

本人・家族調査においては、質問内容に対する理解をしやすいするため、6の調査協力者を設け、調査対象者へ聞き取りを行うこととした。

※調査協力者が聞き取りを行う際、質問内容に対する理解不足や不慣れな場合、苦情の増加や回答拒否などにつながりやすい。そのため、調査協力者が一定のスキルを身につけ、聞き取りの精度を確保することをねらいに、調査協力者向けの研修会を実施した。この研修会はオンライン配信形式により実施され、調査の趣旨、スケジュール等の説明や聞き取りの際に求められるサポート内容に関する講義等、調査の均一化を図るものとして行われた。

(4) 本調査【5月下旬～6月】

調査票に基づき、聞き取りまたはアンケート形式により実施された。本人・家族に対する調査においては、「評価協力者マニュアル」に基づき、調査協力者（評価協力者）によるサポートが行われた。本人による回答が困難な項目については、代弁者が本人の代わりになった立場での回答を求め、その結果を記入した。

なお、これらすべての回答は無記名記入を原則とし、回答が終わった調査票は郵送またはオンラインフォームへの入力により回答された。

①本人調査（本人評価）

調査協力者（評価協力者）が、調査趣旨を説明し、マニュアルに沿って本人（代弁者含む）に聞き取りを実施し、その回答結果を記入。回答は調査協力者（評価協力者）が返送。

②家族調査（家族評価）

調査協力者（評価協力者）が、調査趣旨を説明し、調査票を手交。回答は調査協力者（評価協力者）が返送。

③支援者調査（支援者評価）

実施主体が、文書で評価を依頼。回答は支援者が返送。

※本人調査については、原則対面での実施とし、新型コロナウイルス感染症などの影響により難しい場合は必要に応じてオンラインでの実施も可とした。

(5) 結果とりまとめ・分析【6月～10月】

- ①本人調査のデータの確認及び集計（項目別、状態像別）
- ②家族調査のデータの確認及び集計（項目別、状態像別）
- ③支援者調査のデータの確認及び集計（項目別、状態像別）
- ④本人の意見・要望（自由記述）に関する記入内容の分類
- ⑤本人評価の課題（自由記述）に関する記入内容の分類
- ⑥各調査結果を項目別に比較。検討するための図表化

8 倫理的配慮

本調査を行うにあたって、対象となった人のプライバシーや匿名性の保護などの倫理的な配慮を十分に行うことを「評価協力者研修会」において説明し、個人情報の保持に努めた。

(参考) 2017年調査の概要

実施主体：京都地域包括ケア推進機構（認知症総合対策推進プロジェクト）

期 間：2017（平成29）年3月から同年10月まで

対 象 者：

(1) 本人調査

地域の様々な資源やサービスを利用して在宅生活をしている認知症の人 108人

(2) 家族調査

地域の様々な資源やサービスを利用しながら在宅生活をしている（最近までしていた）
認知症の人の家族等 111人

(3) 支援者調査

本人、家族を支援している地域包括支援センター職員、認知症カフェ運営者、ケアマネジャー、介護事業所職員、認知症サポート医等の支援者 485人

調査内容：京都式オレンジプラン改定・検討ワーキングにおいて「10のアイメッセージ」をわかりやすいよう23の調査項目に整理し、調査票を作成。

協 力 者：①地域包括支援センター職員（本人及び家族調査の対象者が所在する地域包括支援センターの職員）

②認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者（本人評価の対象となった人のケアマネジメントを行う介護支援専門員）

回収結果：本人 98人、家族 103人、支援者 345人

（基本属性の詳細は、参考資料I「回収の結果（2017年調査）」(P. 81-83)に掲載）

Ⅱ 回収の結果

(前回調査 (2017年) の結果については、参考資料Ⅰ (P. 81-83) 参照)

1 本人調査

(1) 回収結果

当初の調査対象者は97人で、97人の本人から有効回答を得られた(100%)。各圏域別の調査対象および回収の詳細は【図表3】のとおりだった。

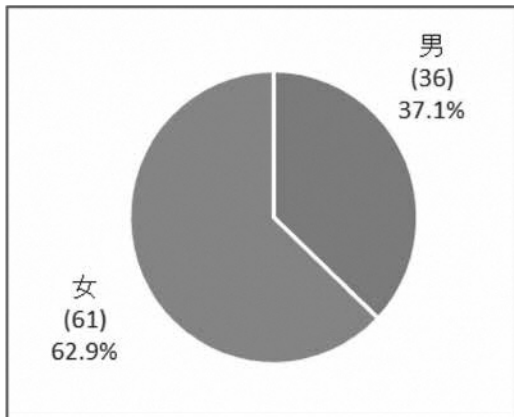
【図表3】圏域別の回収率

	調査数	回収数	回収率
丹後	17	14	82.4%
中丹	12	12	100.0%
南丹	3	2	66.7%
京都市	33	41	124.2%
乙訓	2	4	200.0%
山城北	21	15	71.4%
山城南	8	7	87.5%
不明	1	2	—
計	97	97	

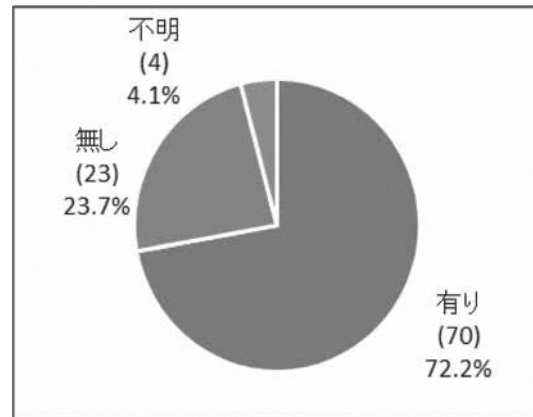
(2) 回答者の基本属性

※以下、図表の中の()内の数字は、回答数を示すものである。

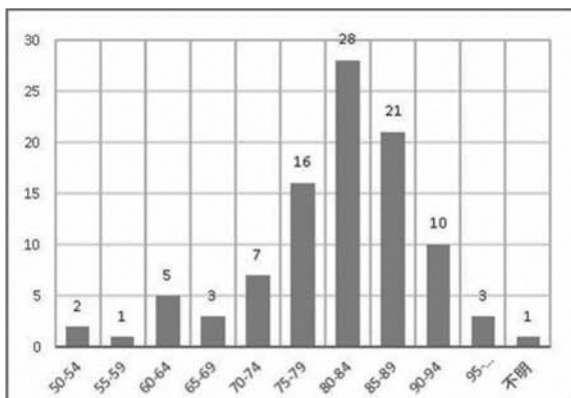
①性別



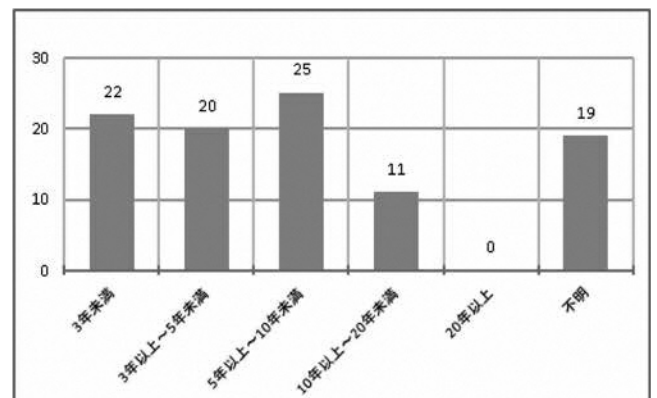
②同居の有無



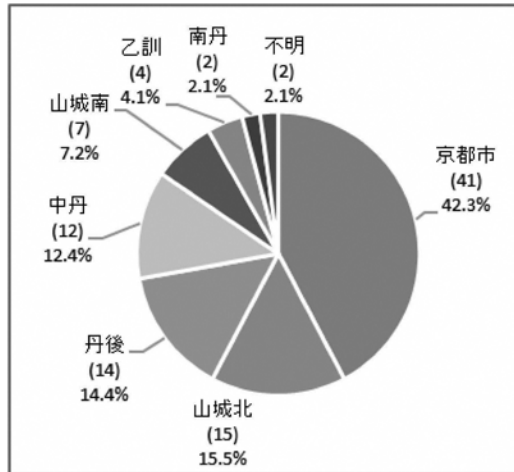
③年齢別の分布



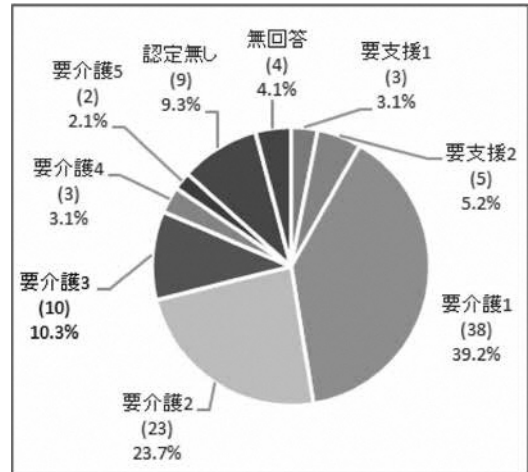
④発症後の年数



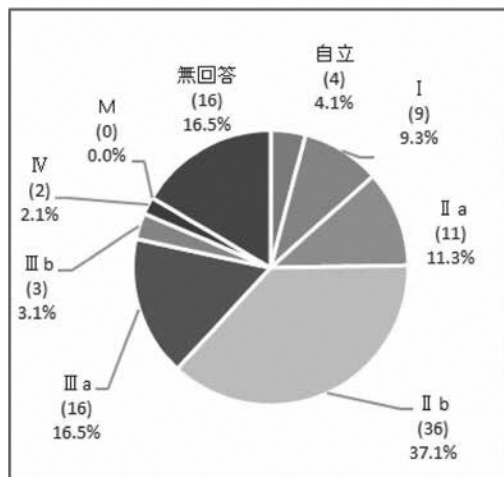
⑤圏域別の分布



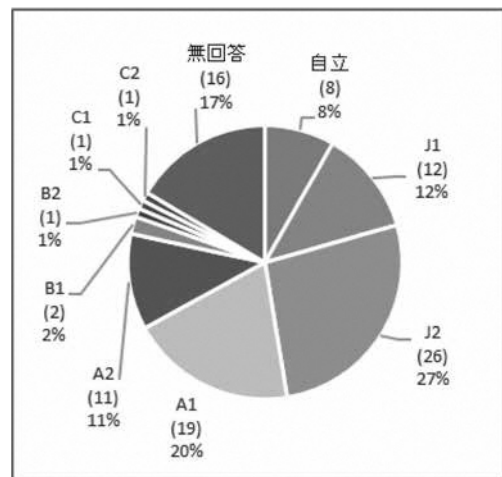
⑥介護認定の有無別の分布



⑦認知症高齢者の日常生活自立度の分布



⑧障害高齢者の日常生活自立度の分布



2 家族調査

(1) 回収結果

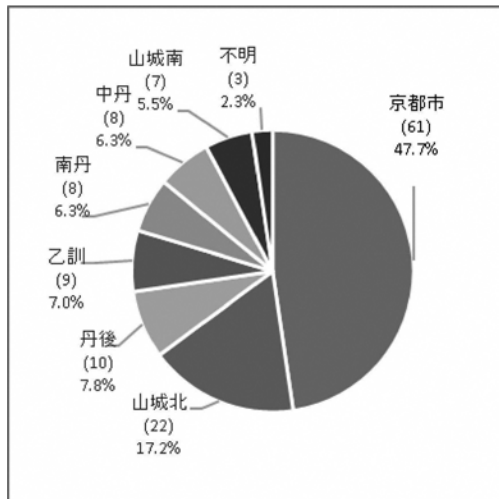
当初の調査対象者 128 人で、128 人の家族から有効回答を得られた (100%)。各圏域別の調査対象および回収の詳細は【図表 4】のとおりである。

【図表 4】圏域別の回収率

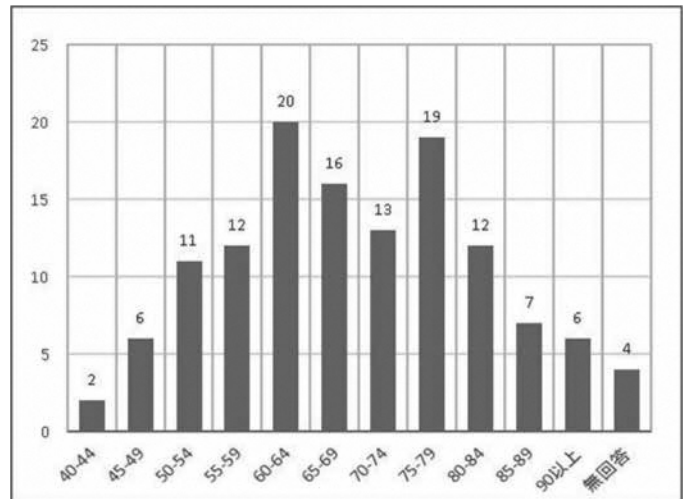
	調査数	回収数	回収率
丹後	11	10	90.9%
中丹	9	9	100.0%
南丹	8	8	100.0%
京都市	58	61	105.2%
乙訓	6	10	166.7%
山城北	28	22	78.6%
山城南	8	7	87.5%
不明	0	1	—
計	128	128	

(2) 回答者の基本属性

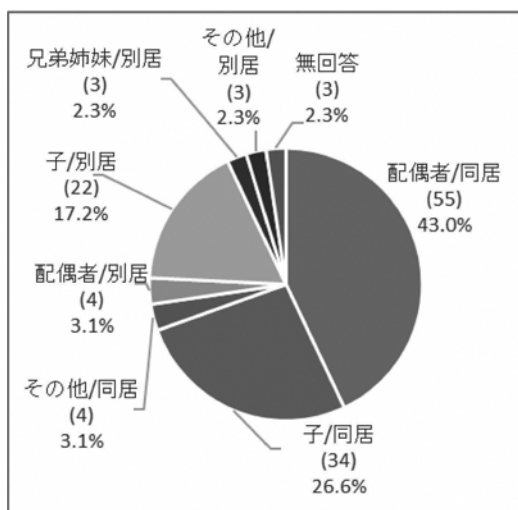
①圏域別の分布



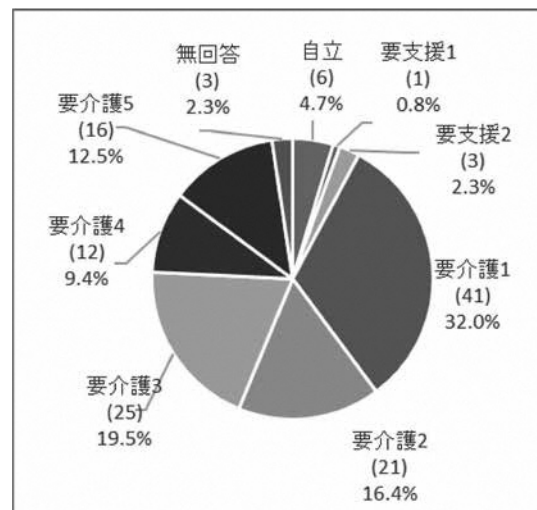
②年齢別の分布



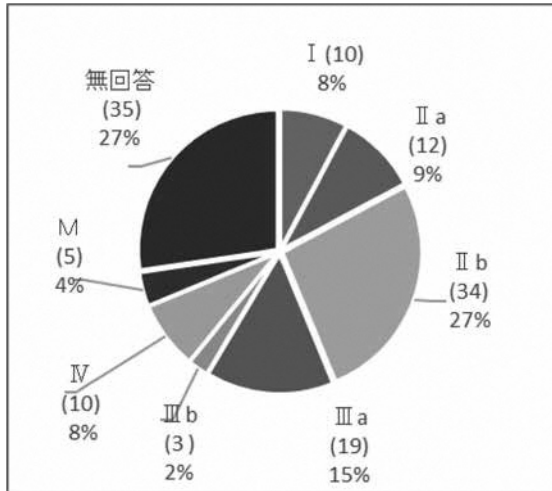
③本人との続柄別の分布



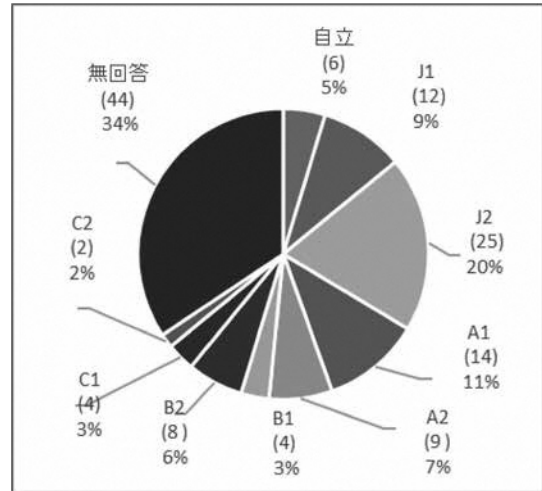
④要介護度別の分布



⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度の分布



⑥ 障害高齢者の日常生活自立度の分布



3 支援者調査

(1) 回収結果

調査対象者 608 人のうち、有効回答を得られたのは 310 人 (51.0%)。属性別の調査対象および回収の詳細は【図表 5】のとおりだった。

【図表 5】属性別の回収率

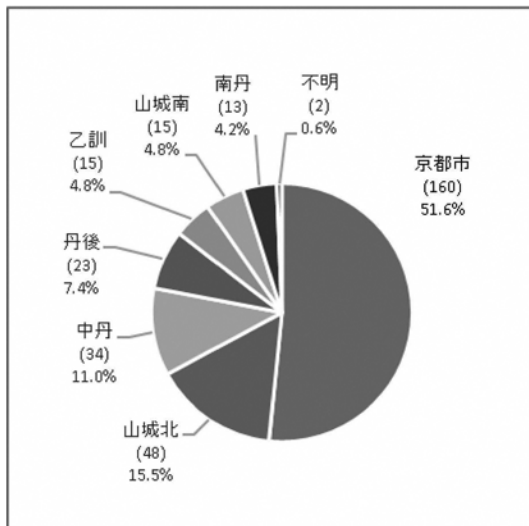
	調査数	回収数	回収率
1 地域包括支援センター ※1	137	72	52.6%
2 認知症リンクワーカー養成研修修了者 ※2	60	7	11.7%
3 認知症カフェ運営者 ※3	39	11	28.2%
4 認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者	39	9	23.1%
5 介護事業所職員（居宅系サービス） ※4	144	43	29.9%
6 認知症サポート医 ※5	60	74	123.3%
7 認知症の人と家族の会会員	10	9	90.0%
8 機構構成団体	39	17	43.6%
9 認知症初期集中支援チーム	32	9	28.1%
10 認知症疾患医療センター	9	5	55.6%
11 府内在住・在勤のキャラバン・メイト養成研修修了者 ※3	39	12	30.8%
12 その他		20	-
13 不明		22	-
計	608	310	51.0%

支援者評価者数については、以下の点を考慮して設定

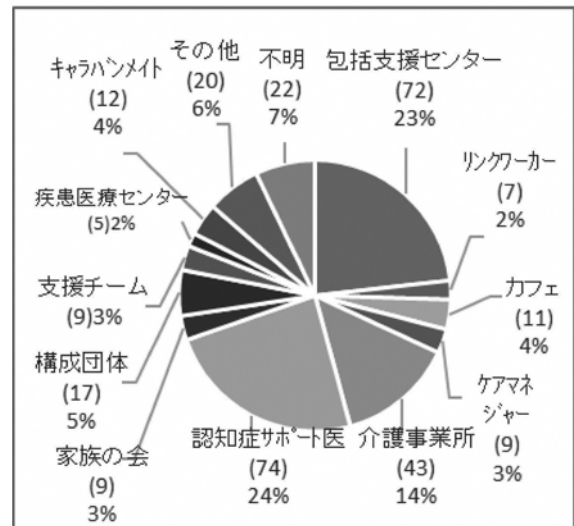
- ※1 日常生活圏域ごとに設置されている全ての地域包括支援センター(サブセンター含む)から各 1 人
- ※2 認知症リンクワーカー養成研修修了者 (244 人) の約 1/4 から回答を得られると想定
- ※3 市町村 (京都市内は行政区・支所) ごとに 1 人
- ※4 小規模多機能など地域密着型事業所から府域 66 人、京都市域 78 人
- ※5 認知症サポート医 247 人の約 1/4 から回答を得られると想定

(2) 回答者の基本属性

①圏域別の分布



②属性別の分布



Ⅲ 回答の結果

1 評価対象者別の回答結果の対照表

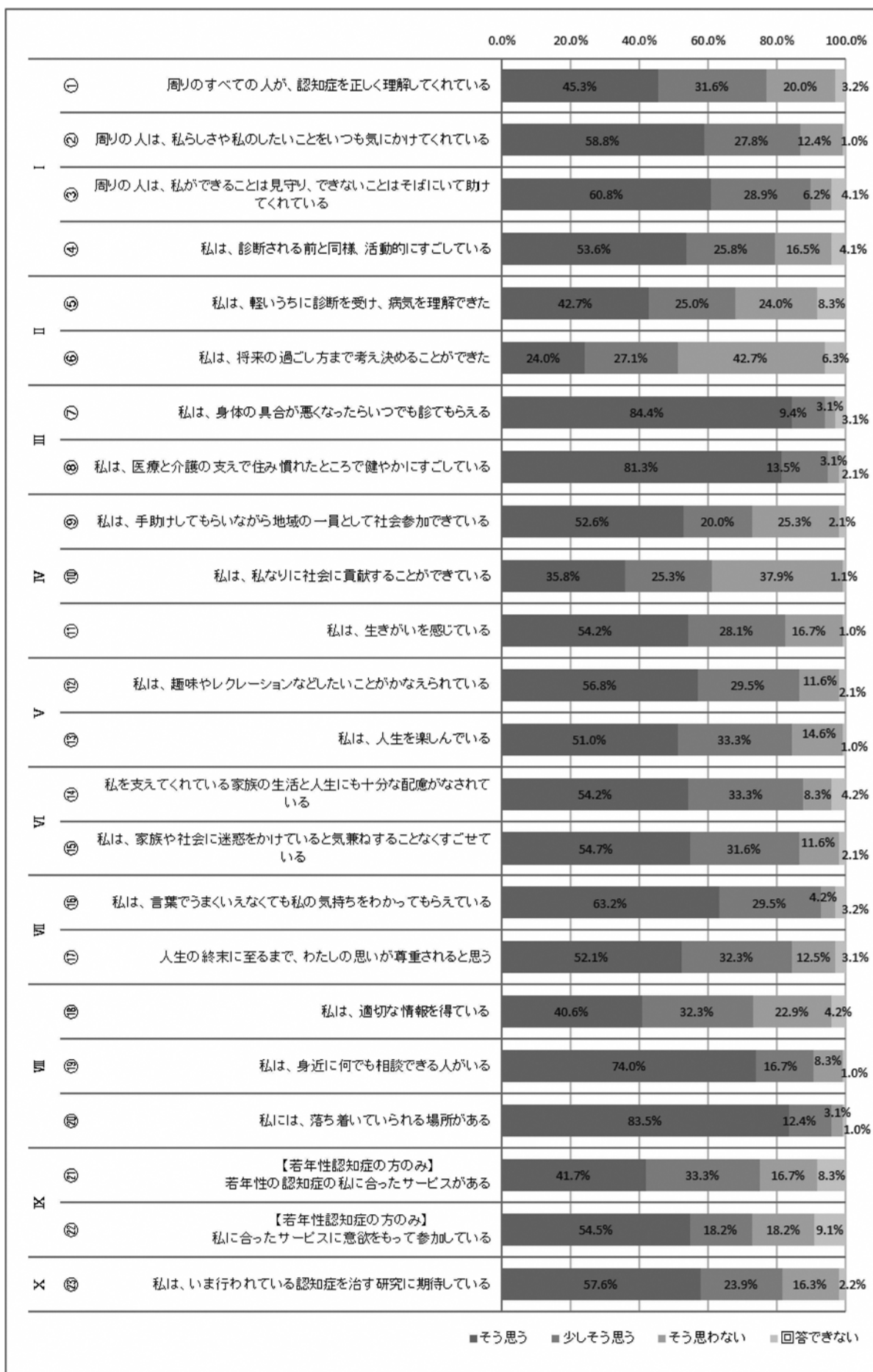
	調査項目	回答数	本人※1			家族※2			支援者※2			考えられる背景
			2023	2017	前回比	2023	2017	前回比	2023	2017	前回比	
			(97)	(98)	-20	(128)	(103)	8	(310)	(345)	-52	
I	① 周りのすべての人が、認知症を正しく理解してくれている	77%	80%	-3%	75%	79%	-4%	68%	70%	-2%	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への不理解や偏見 行動や活動に対する制約 自分らしさが発揮できない 	
	② 周りの人は、私らしさや私のしたいことをいつも気にかけてくれている	87%	90%	-3%	75%	81%	-6%	49%	41%	8%		
	③ 周りの人は、私ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれている	90%	91%	-1%	84%	83%	1%	49%	38%	11%		
II	④ 私は、診断される前と同様、活動的に過ごしている	79%	84%	-5%	47%	55%	-8%	35%	30%	5%	<ul style="list-style-type: none"> 診断までに時間がかかる 受容支援や寄り添い支援の不足 身体合併症に対するケアの排除 在宅療養の困難さ（ケアの不足） 	
	⑤ 私は、軽いうちに診断を受け、病気を理解できた	68%	64%	4%	48%	43%	5%	27%	21%	6%		
	⑥ 私は、将来の過ごし方まで考え決めることができた	51%	61%	-10%	20%	27%	-7%	19%	10%	9%		
III	⑦ 私は、身体の具合が悪くなったりいつでも診てもらえる	94%	92%	2%	96%	94%	2%	57%	54%	3%	<ul style="list-style-type: none"> 身体合併症に対するケアの排除 在宅療養の困難さ（ケアの不足） 	
	⑧ 私は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている	95%	96%	-1%	89%	83%	6%	52%	42%	10%		
	⑨ 私は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている	73%	66%	7%	40%	44%	-4%	35%	23%	12%		
IV	⑩ 私は、私なりに社会に貢献することができている	61%	50%	11%	27%	28%	-1%	28%	16%	12%	<ul style="list-style-type: none"> 認知症を理由に、就労や社会参加が妨げられている 	
	⑪ 私は、生きがいを感じている	82%	85%	-3%	34%	43%	-9%	24%	15%	9%		
	⑫ 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている	86%	84%	2%	52%	60%	-8%	36%	28%	8%		
V	⑬ 私は、人生を楽しんでいる	84%	89%	-5%	45%	50%	-5%	27%	18%	9%	<ul style="list-style-type: none"> 認知症を理由に、自己実現が妨げられている 	
	⑭ 私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている	88%	81%	6%	59%	66%	-7%	39%	38%	1%		
	⑮ 私は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている	86%	86%	0%	59%	70%	-11%	20%	14%	6%		
VI	⑯ 私は、言葉でうまくいえなくても私の気持ちをわかってもえられている	93%	93%	0%	64%	73%	-9%	28%	23%	5%	<ul style="list-style-type: none"> 受容支援や寄り添い支援の不足 意思決定の不足 	
	⑰ 人生の終末に至るまで、わたしの思いが尊重されると思う	84%	85%	-1%	55%	71%	-16%	21%	15%	6%		
	⑱ 私は、適切な情報を得ている	73%	73%	0%	36%	40%	-4%	27%	24%	3%		
VII	⑲ 私は、身近に何でも相談できる人がいる	91%	95%	-4%	78%	78%	0%	42%	38%	4%	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供や支援体制が不十分（不十分な地域がある） 	
	⑳ 私には、落ちついていられる場所がある	96%	99%	-3%	88%	94%	-6%	46%	41%	5%		
	㉑ 【若年性認知症の方のみ】若年性の認知症の私に合ったサービスがある	75%	64%	11%	55%	59%	-4%	17%	10%	7%		
VIII	㉒ 【若年性認知症の方のみ】私に合ったサービスに意欲をもって参加している	73%	55%	18%	36%	56%	-20%	17%	8%	9%	<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症に対するサービスの不足（サービスがない） 	
	㉓ 私は、いま行われている認知症を治す研究に期待している	82%	77%	5%	79%	92%	-13%	74%	73%	1%		

注 ※1 「本人評価」の％は、回答項目のうち「そう思う」「少し思う」と回答された割合の合計値である。

※2 「家族評価」および「支援者評価」の％は、回答項目のうち「とても思う」「少し思う」と回答された割合の合計値である。

※3 上記の％は、いずれも小数第1位を四捨五入したものである。

2 本人調査の回答結果



(1) 認知症高齢者の日常生活自立度別「とてもそう思う」と回答した人の割合

	自立 (4)	I (9)	II a (11)	II b (36)	III a (16)	III b (3)	IV (2)	M (0)	無回答 (16)
① 周りのすべての人が、認知症を正しく理解してくれている	0.0%	22.2%	36.4%	55.6%	56.3%	66.7%	50.0%	0.0%	37.5%
② 周りの人は、私らしさや私のしたいことをいつも気にかけてくれている	25.0%	77.8%	45.5%	58.3%	56.3%	66.7%	100.0%	0.0%	62.5%
③ 周りの人は、私ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれている	25.0%	66.7%	27.3%	72.2%	62.5%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%
④ 私は、診断される前と同様、活動的に過ごしている	75.0%	66.7%	54.5%	52.8%	56.3%	66.7%	50.0%	0.0%	37.5%
⑤ 私は、軽いうちに診断を受け、病気を理解できた	25.0%	66.7%	45.5%	44.4%	25.0%	66.7%	0.0%	0.0%	43.8%
⑥ 私は、将来の過ごし方まで考え決めることができた	0.0%	33.3%	27.3%	19.4%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%	31.3%
⑦ 私は、身体の具合が悪くなったらいつでも診てもらえる	75.0%	88.9%	100.0%	86.1%	81.3%	66.7%	100.0%	0.0%	68.8%
⑧ 私は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている	75.0%	66.7%	100.0%	91.7%	87.5%	66.7%	100.0%	0.0%	43.8%
⑨ 私は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている	25.0%	55.6%	45.5%	52.8%	75.0%	33.3%	50.0%	0.0%	37.5%
⑩ 私は、私なりに社会に貢献することができている	50.0%	66.7%	18.2%	36.1%	37.5%	33.3%	100.0%	0.0%	12.5%
⑪ 私は、生きがいを感じている	50.0%	77.8%	45.5%	44.4%	75.0%	100.0%	50.0%	0.0%	37.5%
⑫ 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている	25.0%	77.8%	36.4%	50.0%	62.5%	100.0%	100.0%	0.0%	56.3%
⑬ 私は、人生を楽しんでいる	50.0%	55.6%	45.5%	52.8%	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	43.8%
⑭ 私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている	25.0%	66.7%	72.7%	55.6%	43.8%	66.7%	50.0%	0.0%	43.8%
⑮ 私は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている	25.0%	66.7%	45.5%	63.9%	56.3%	100.0%	50.0%	0.0%	25.0%
⑯ 私は、言葉でうまくいえなくても私の気持ちをわかってもらえている	25.0%	77.8%	54.5%	69.4%	68.8%	66.7%	50.0%	0.0%	43.8%
⑰ 人生の終末に至るまで、わたしの思いが尊重されると思う	25.0%	44.4%	45.5%	52.8%	62.5%	66.7%	50.0%	0.0%	50.0%
⑱ 私は、適切な情報を得ている	25.0%	66.7%	45.5%	41.7%	18.8%	66.7%	100.0%	0.0%	31.3%
⑲ 私は、身近に何でも相談できる人がいる	25.0%	100.0%	54.5%	83.3%	81.3%	100.0%	100.0%	0.0%	43.8%
⑳ 私には、落ち着いていられる場所がある	75.0%	88.9%	81.8%	86.1%	87.5%	100.0%	100.0%	0.0%	68.8%
㉑ 【若年性認知症の方のみ】若年性の認知症の私に合ったサービスがある	25.0%	22.2%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
㉒ 【若年性認知症の方のみ】私に合ったサービスに意欲をもって参加している	25.0%	33.3%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
㉓ 私は、いま行われている認知症を治す研究に期待している	25.0%	88.9%	54.5%	50.0%	56.3%	100.0%	100.0%	0.0%	37.5%

※()は各項目の回答人数。また、70%以上の項目をオレレンジ網掛けで表記。

(2) 障害高齢者の日常生活自立度別「とてもそう思う」と回答した人の割合

	自立 (8)	J1 (12)	J2 (26)	A1 (19)	A2 (11)	B1 (2)	B2 (1)	C1 (1)	C2 (1)	無回答 (16)
① 周りのすべての人が、認知症を正しく理解してくれている	25.0%	41.7%	30.8%	63.2%	54.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	37.5%
② 周りの人は、私らしさや私のしたいことをいつも気にかけてくれている	50.0%	50.0%	57.7%	52.6%	63.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	62.5%
③ 周りの人は、私ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれている	50.0%	50.0%	65.4%	63.2%	63.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%
④ 私は、診断される前と同様、活動的に過ごしている	87.5%	58.3%	50.0%	52.6%	54.5%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	37.5%
⑤ 私は、軽いうちに診断を受け、病気を理解できた	37.5%	33.3%	57.7%	26.3%	36.4%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	43.8%
⑥ 私は、将来の過ごし方まで考え決めることができた	12.5%	16.7%	34.6%	10.5%	27.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%
⑦ 私は、身体の具合が悪くなったらいつでも診てもらえる	75.0%	75.0%	92.3%	84.2%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	68.8%
⑧ 私は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている	62.5%	100.0%	88.5%	84.2%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	43.8%
⑨ 私は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている	50.0%	50.0%	61.5%	63.2%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%
⑩ 私は、私なりに社会に貢献することができている	62.5%	33.3%	42.3%	26.3%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
⑪ 私は、生きがいを感じている	62.5%	58.3%	65.4%	52.6%	36.4%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	37.5%
⑫ 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている	62.5%	58.3%	57.7%	57.9%	36.4%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	56.3%
⑬ 私は、人生を楽しんでいる	50.0%	58.3%	53.8%	57.9%	27.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.8%
⑭ 私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている	50.0%	66.7%	53.8%	57.9%	36.4%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	43.8%
⑮ 私は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている	25.0%	41.7%	76.9%	63.2%	45.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%
⑯ 私は、言葉でうまくいなくても私の気持ちをわかってもらえている	37.5%	75.0%	65.4%	63.2%	63.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	43.8%
⑰ 人生の終末に至るまで、わたしの思いが尊重されると思う	25.0%	41.7%	61.5%	57.9%	36.4%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%
⑱ 私は、適切な情報を得ている	50.0%	41.7%	53.8%	36.8%	18.2%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%
⑲ 私は、身近に何でも相談できる人がいる	62.5%	66.7%	84.6%	89.5%	63.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	43.8%
⑳ 私には、落ち着いていられる場所がある	75.0%	83.3%	88.5%	94.7%	72.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	68.8%
㉑ 【若年性認知症の方のみ】若年性の認知症の私に合ったサービスがある	25.0%	0.0%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
㉒ 【若年性認知症の方のみ】私に合ったサービスに意欲をもって参加している	12.5%	8.3%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
㉓ 私は、いま行われている認知症を治す研究に期待している	62.5%	66.7%	61.5%	47.4%	63.6%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	37.5%

※()は各項目の回答人数。また、70%以上の項目をオレメンジ網掛けで表記。

(3) 本人の意見・要望【自由記述】

(※まとめについては、参考資料Ⅱ「自由記述のまとめ」(P.84-90)参照)

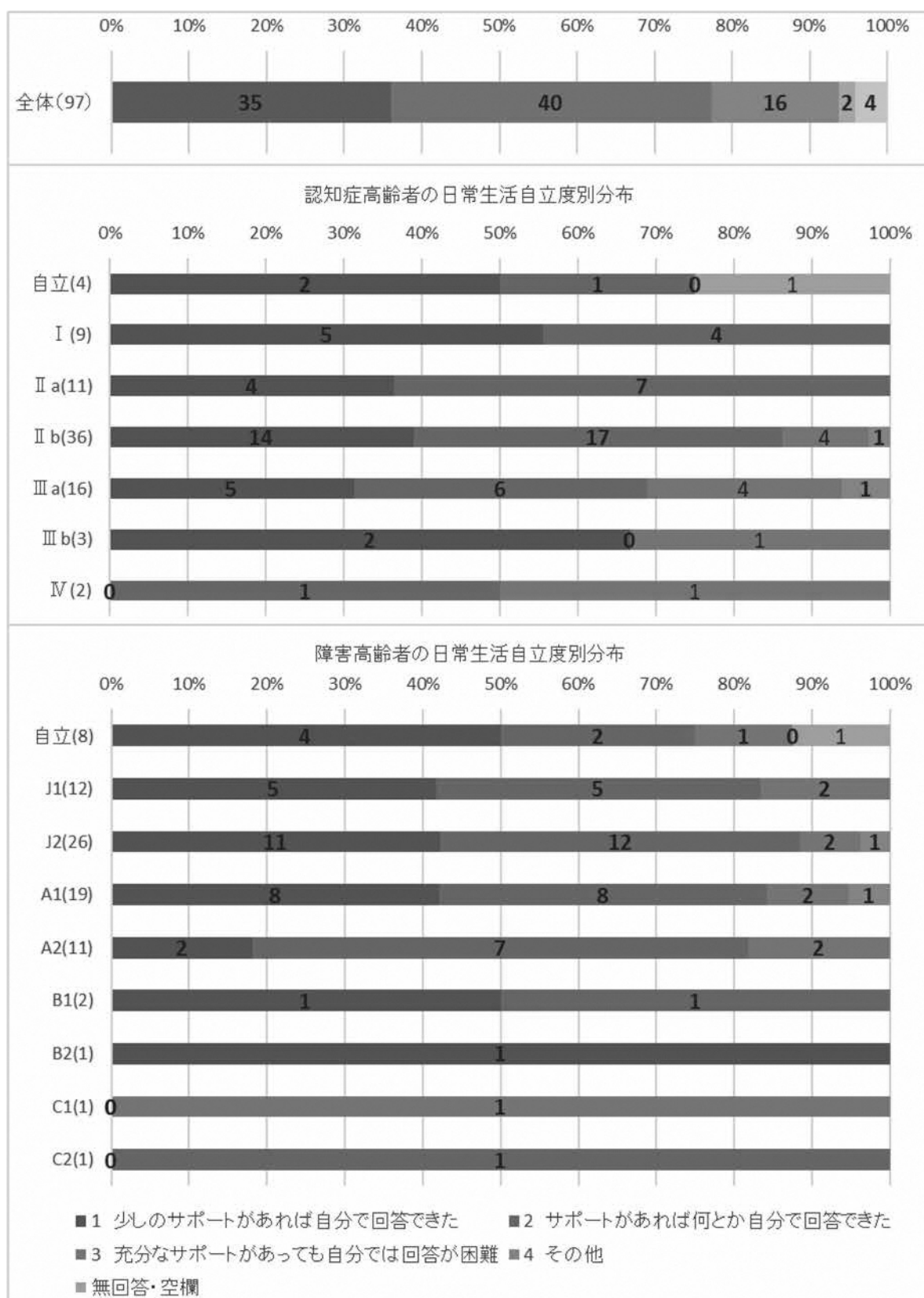
no.	回答内容	項目	カテゴリー
1	よく忘れます。あかんようになりました。分からないことは妻に聞きます。		認知症になつての ショック、 不具合
2	自分はテニスがかもと好きでやりたいが自分で出かける事もできず、物忘れのフォローもお願い出来ないの出来ない。自分のやりたいことがやりたい。		
3	家族への気兼ねや、家族への支援が十分に足りていない点を社会に迷惑をかけているという気持ちも含めて明確に口にしておられた。	認知症になつての ショック、不具合	
4	さっきした事も忘れてしまうけどその時、その場の出来事はちゃんと理解しています。感情はしっかり動いています。楽しかった事は確り身体で覚えています。哀しい事、不安な事を言葉で訴えられないですが無理強いほしくない。		
5	最近は何んでもPC、スマホから登録が多い。その為高齢者はやり方が分からず利用できない。便利かもしれないが不親切である。	ICT機器など新しい 機械への対応の 難しさ。操作方法 を教えてくれる人 の対応の必要性	
6	駅やスーパーのレジなど新しい事にはついていけない。ちゃんと教えてくれる人もいないし困る。		
7	自分では認知症と自覚していない。	認知症に対する 受容の難しさ	認知症になつての ショック、 不具合
8	病気という意識は薄い。		
9	悪くなった時のことを想像することは難しい。	将来の不透明さ	
10	お金がないと生活が困る。したいことができない。		
11	代弁者より「こんな歳になってまで生きたくない。もう終わりにしたい」と本人がよく話をしている	年齢もあつての あきらめ	
12	5年後10年後については考えたくない。家族に迷惑かけるので、コロッとあの世に逝きたい。いつも家族には遠慮しており、言葉にしないが、ありがとうとは思っている。年寄りには迷惑かけるので、早く迎えに来てくれたらいい。		
13	何かしてほしいという気持ちはない。		
14	運転をしている。ルールを守れる自信がある。	前向きな気持ち	
15	今は友人や妹の家にバスに乗り行くことができ交流できている。買物にも徒歩やバスで行くことができている。		
16	本人さんは、物忘れの自覚はあるが、どの程度か自身では分らんと。只、自分ではまだまだ出来ているとの思いはある。今は楽しく過ごせているので、特に薬で治したいとかは思っていないとの事。 ディサービスに毎日来られて、楽しく過ごされている。		
17	家族は自分(本人)のことをとても気遣ってくれて接してくれる。ありがたい。実の娘なので気兼ねなく暮らせている。何も考えなくても周りがちゃんとしてくれている。迷惑を掛けるけど、今の生活を続けたい。	慣れた暮らしの 継続と自己決定への 望み	前向きな気 持ちやあきら めや不安など が入り混じる 複雑な心境
18	買物に行くのが楽しみ。		
19	一日にひとつはお弁当があるので、今はこのままでいい。		
20	旅行したり、写真撮影のために山や自然の中へ行きたい。趣味の盆栽や野菜作りを続けたい。		
21	今の生活を継続することを希望します。		
22	人の役に立てる自分が一番の生きがいです。認知症の前と発症後も同じ空間で環境で過ごせる場所が今後も継続できるようにしてほしい。怒っても怒らないでほしい。		
23	できるだけ自分のことは自分でしたいと思っています。今までそうやって一人暮らしをしてきました。困ったことはありません。		
24	うなぎを食べに行きたい。ホーローのやかんを買いに行きたい。さらさらした服を買いに行きたい。		
25	先生に言われることや自分でできることがあれば、ありがたく受けていく。		
26	自分の声が届くことで地域が住みやすいところ(他の人にとっても)になればいいと思う。		

no.	回答内容	項目	カテゴリー
27	診断当初は不安が大きかったが、カフェほうおうに通い居場所ができ、やりたかったモノづくりが「作業工房」で実現することができた。現在は工房に後輩の当事者が多く集う活気ある場となり、やりがいを感じ嬉しく思っている。	自分の役割と 生きがい	
28	家では自分ができることはします。お風呂準備、ふとんのあげおろし。掃除機かけ（妻と半分ずつ）		
29	最近では、子ども食堂のお手伝いや作業工房に参加されている当事者さんをサポートすることもできている。こういう場所から声をかけてもらえるということは、まだまだ役に立つこともあるのかな・・・と思える。あれダメこれダメとだれからも行動に制限をかける人がいないので、これからもテニス、工房などの活動に参加を続けたい。		
30	社会貢献などを今までしていたので今回の調査には協力をしたいと思った。		
31	認知症カフェは毎日でも行きたい。社会貢献活動をやりたい。		
32	色んな方が関わってくれているので、何とかやっけていけている。	周囲の理解がある ことでの暮らしの 継続	住み慣れた 地域や周囲 の人々との つながりへ の思い
33	元々が色んな人たちにお世話になっていることが前提で暮らしている。		
34	周囲からは自然に接してもらっている。		
35	私は自分のことを周りの人(近所の人、サービス事業所等)が理解してくれていると思っています。いつも気にかけて貰えてありがたいと思っています。		
36	庭の手入れはボチボチやっています。近所の家の前までホウキでくことは足が悪くなってからもうやめています。近所の人皆、いつも気にかけてくれます。趣味はありませんが、好きなことができているし、いつでも相談できる人がいて、安心して暮らせています。		
37	主治医の勧めや支援者のサポートで、趣味の写真活動が続けられていることには喜んでおられた。		
38	自宅で、さまざまなサービスを受けながら暮らすことを、近所の人たちから拒否されました。その結果、グループホームに入所しました。		
39	相談できる仲間、組織に支えられている。 洛南病院のテニス仲間やカフェほうおうの作業工房の仲間や認知症当事者の先を歩く人達と繋がっていると多くの情報が得られ、不安や迷いは現時点で持っていない。今は行き場があって仲間がいる。地域の人とも交流ができ仲間もどんどん増えているので、宇治で生活が続けられたらこの先もきっと不安がないと思う。	仲間や相談できる 場所の大切さ	
40	わからない事や忘れる事を自覚しています。不安や気になる事がある時には相談や話を聞いてもらう事で気持ちが落ち着きます。		
41	一日中ベッドで横になり、TVを見て過ごす時間が長い。ケアハウスの他の入居者と会話を楽しむこともない。	周囲と人付き合い ができていない	
42	いつもよくしてもらっている。	家族の支援に対する 信頼と期待	
43	妹は自分のことのように、こうやったらいいと言ってくれるのでありがたい。		
44	妹はできないことも言ってくれる。「最近おかしいよ」とちゃんと言ってくれると先生に言ってみようと思つた。		
45	妻と2人暮らしで子どもも市内に娘や息子もおり、何かと気にかけてくれており不安なことなく過ごしている。		
46	妻をととても頼りにしている。妻がいないとダメ。妻と一緒にあの世へいきたい。びんびんコロリがよい。		
47	妻と一緒に買物に行ったり、ウォーキングに出かける。		
48	お金の管理は弟に任せている。		
49	家にいると寂しいと思う。息子やその嫁が良くしてくれている		
50	自分が認知症ということあまり意識していないが、歳のせいで忘れっぽくなったり新しいことが覚えられないと感じている。社会貢献ができなくなったこと、若い頃のように楽しんでたことができなくなったこと寂しく思うが妻が誰よりも自分のことを理解しわかってくれるので安心して任せることができ今幸せだと感じて暮らせている。		

no.	回答内容	項目	カテゴリー	
51	物忘れがあり受診し、CT撮影をしてもらったが、問題ないと言われた。認知症の専門の医師ではなかった。せっかく受診をしてもきちんと診断に至らず残念。専門の医師に紹介してもらえていたらと思う。	専門医への受診の必要性	医療、介護サービスや地域における支援に対する期待、要望	
52	(代弁者より) 最初におかしいと思った時に行った病院では、脳の萎縮もなかったみたいで「健忘症」と言われ、半年に1回の通院を何度かしていたけれど、続けますか？別にやめてもいいですよと言われ、母が病院嫌いだったのもありそこで通院をやめてしまった。その後、やっぱりおかしいとなって神経内科の開業医の先生に通院するまでに3～5年ほど間が空いてしまい、そこでは「アルツハイマー型認知症の初期～中等度」と診断された。最初の病院の通院を続けていれば良かったのだろうか、と今でもちょっと心残り。			
53	お泊りは楽しい。	介護保険サービスへの満足と期待		
54	主治医はいつも「リハビリ行ってますか」とお聞きになります。(今、短時間の通所リハビリを利用しています)そういうところをもっとあり、みんなが利用できるとよいと思います。			
55	介入者がかかわることは迷惑とは思わない。			
56	R2.10月～デイサービス週1回利用中。楽しい。デイサービスで昼食のメニュー表を職員から頼まれ毎回書いたり絵を描いている。自分ができることをする。			
57	デイサービスに通ってとても楽しい。家にいるとテレビを見ているだけだが、デイサービスに行くと色々なことをさせてもらったり、連れていってもらったり、楽しい。これからも行きたい。元気で楽しくすごしたい。			
58	初期集中支援チームから医療機関、そして介護サービスの連携がスムーズにしてもらえたことが一番大きかった。地域差が大きいと感じている。隣町まで行くと認知症も含めて支援や活動が多くあるが、自分の地域(徒歩圏内)ではそういった資源が少ない。介護サービスも利用しているが、やはり其れは高齢者のための支援になっているように思う。若年性の自分には合っていないと思うが、人生の先輩方と一緒に過ごす、支える、教えてもらうという意味では悪くない面もある。			
59	ケアマネが色々気にかけてくれているので安心している。			
60	施設職員は大変よくしてくださったので、幸せに暮らすことができました。			
61	老化を予防し、脳を活性化させるために活動したい。	薬や治療、予防、制度への期待	薬や行政等の制度、仕組みへの期待、要望	
62	23番の質問をしたら、即答「期待しています」と言われました。			
63	認知症の薬が朝食後薬の中に入っているので、薬をきちんと飲んで進行を遅らせ今の状態が長く続いてほしい。しかしながら、週2回くらいは飲み忘れているのが現状です。			
64	家族以外でお願い出来る外出支援が欲しい。			
65	このような若年性当事者が参加できる居場所が京都府の他の地域にも多く出来ることが大切だと思っている。			
66	人に世話になっているという感覚は強くなってきている。気兼ねなく頼れる社会になればよい。家族が相談できる場所があればよいと思う。妻や家族とだけ話したり交流しているのではいけないと思う。出かける場所があればよい。	相談窓口の周知の必要性		
67	物忘れがあり気になっていたが、どこに相談をしてよいか相談先が全くわからなかった。新聞折り込みチラシを見て相談先がわかった。高齢サポートセンターのことも知らなかった。区役所は相談先の選択肢になかった。相談窓口がわからなければズルズルと時間も過ぎてしまう。相談窓口がわからなければ相談できないままになってしまう。			
68	高齢者の居場所が地域(歩いていける所)に少ない			地域資源の不足と参加機会の不足
69	道路などに気軽に座れるイスがほしい。			
70	カフェ以外に行きところがない。社会貢献の機会がない。			
71	14, 15, 17, 18の項目が難しかった。もっと簡単な質問にしてもらわないとわからない。	調査自体への要望		

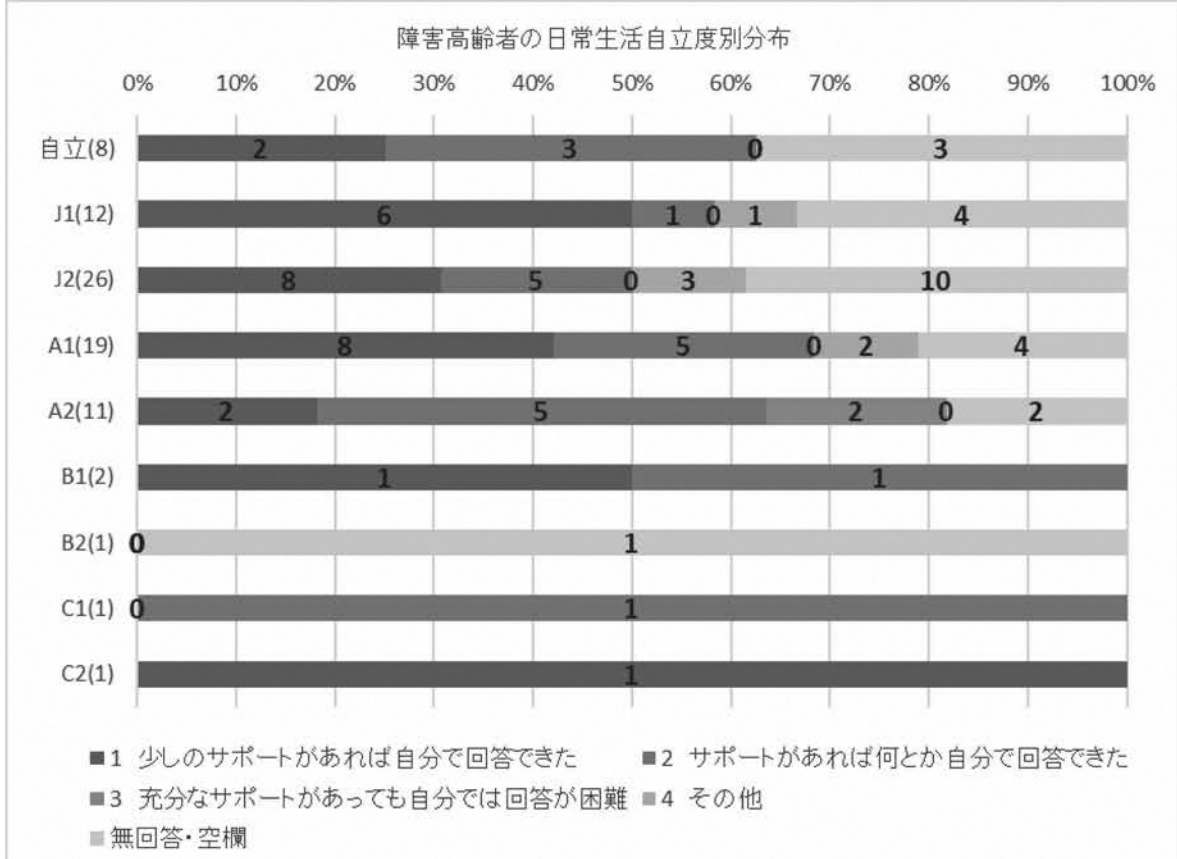
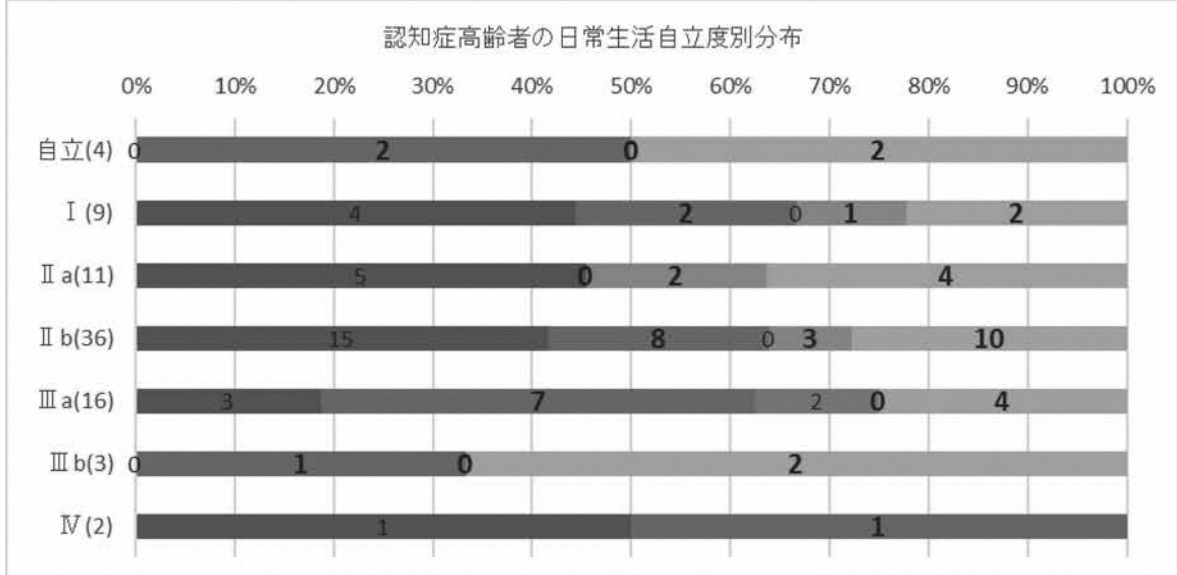
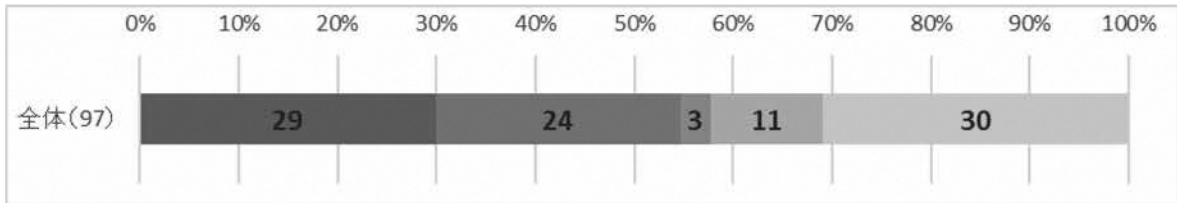
(4) 本人調査に関わった調査協力者の回答結果

1) 調査を終了して本人の回答能力に関する印象

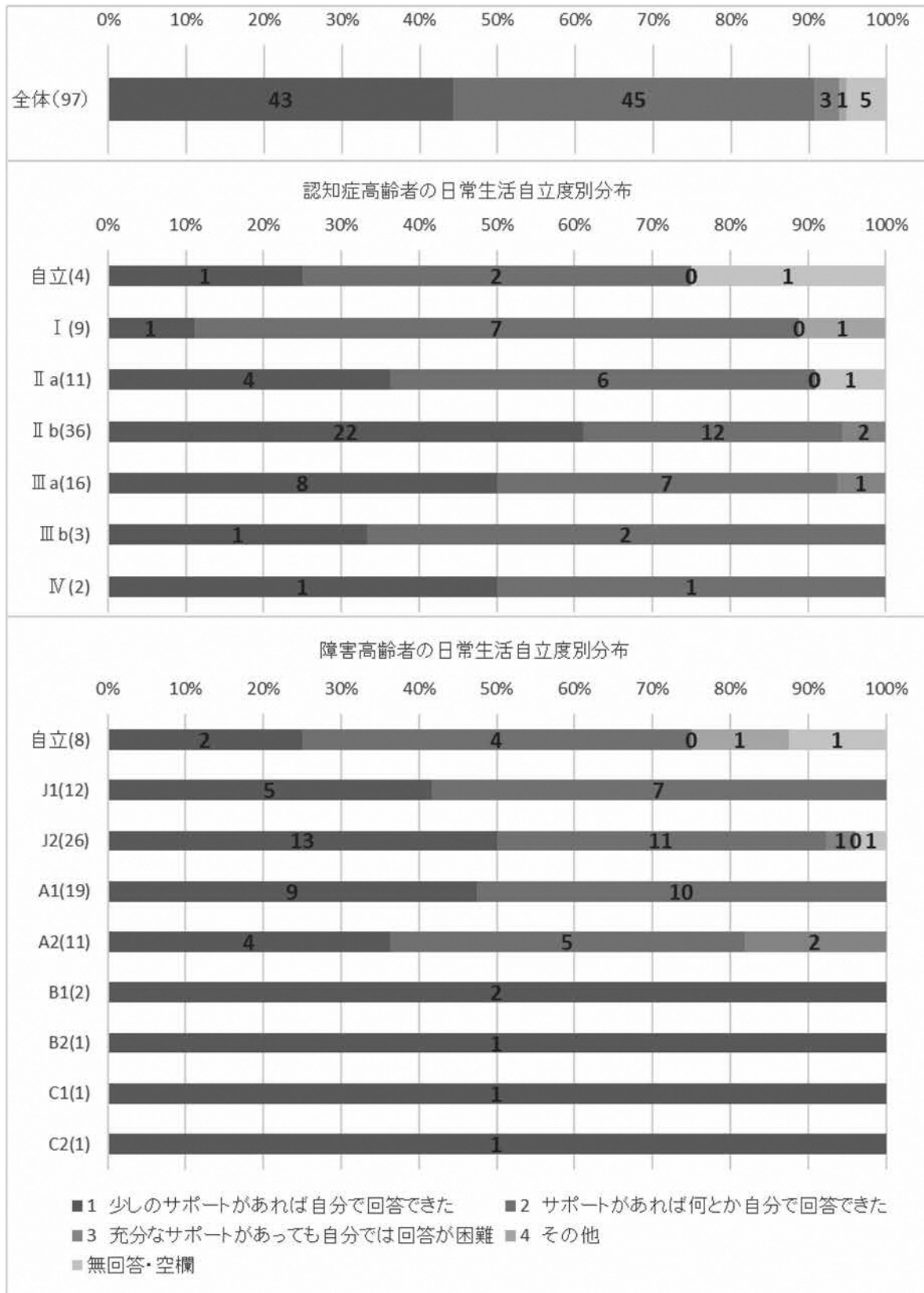


※ 「認知症高齢者の日常生活自立度」分布の「M」・「無回答」及び「障害高齢者の日常生活自立度」分布の「無回答」と回答された16人は含まない。以下、4)まで同様。

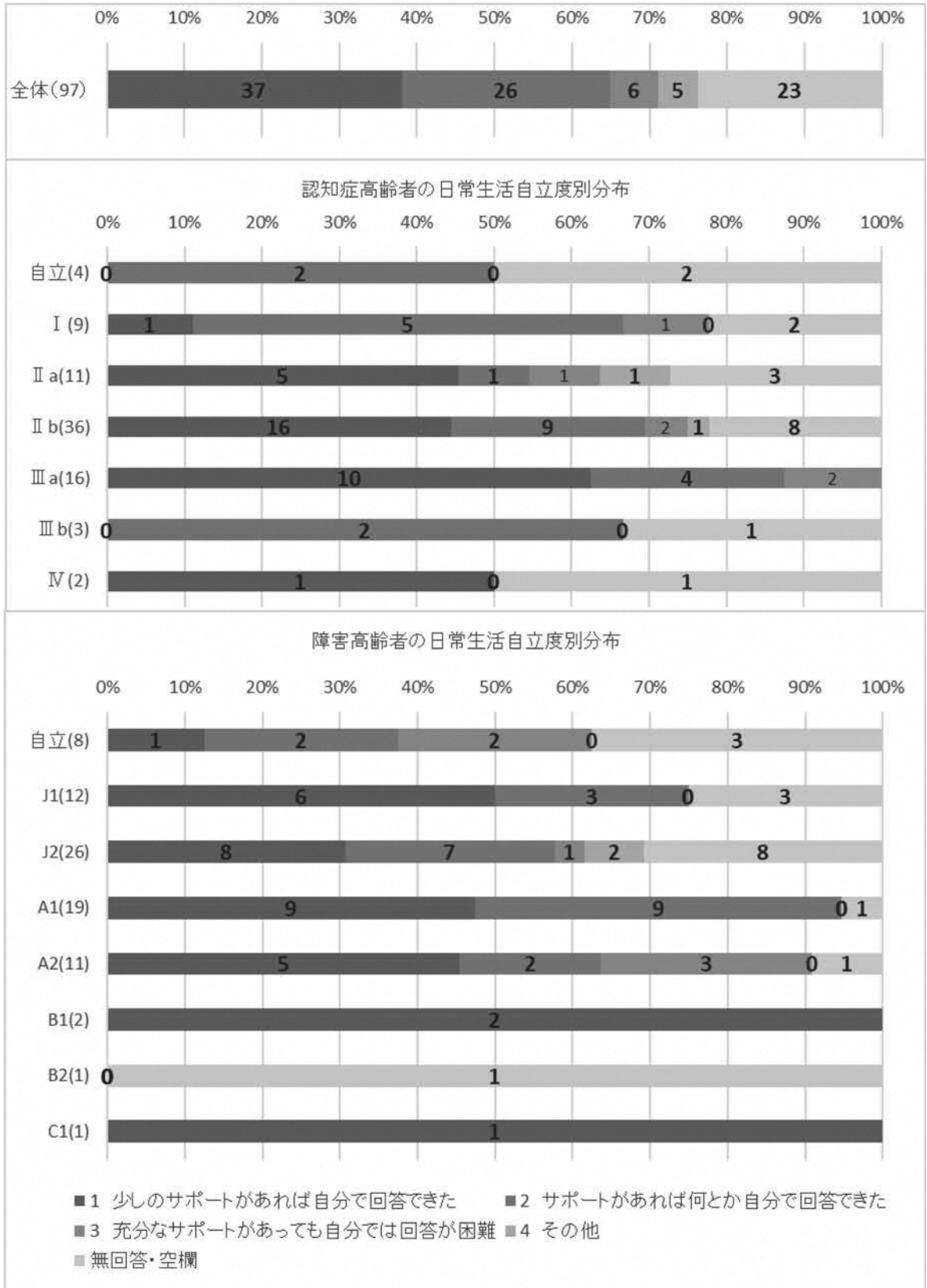
2) 自分では回答が困難だったケースについて代弁者の回答能力



3) これまでの調査（評価）協力者と本人との関係



4) これまでの調査（評価）協力者と代弁者との関係



5) 調査協力者が感じた本人評価の課題

(※まとめについては、参考資料Ⅱ「自由記述のまとめ」(P. 84-90)参照)

no.	回答内容	項目	サブ カテゴリー	カテゴリー
1	いつも前向きな本人が安心して生活されていることがよくわかる。			
2	要望のあった外出や買い物はいつも言っていることで、自費のサービスで対応できるので調整していきたい。			
3	関係事務所からは配食サービスを増やすことを提案されているが、本人は買物に行って自分で選ぶことを希望されている。自分で決めたいという気持ちが強い。本人の意思を尊重しながら、今後のことを決めていくようにしたい。			
4	「徒歩圏内」で活動できることの意義について繰り返し発言しておられたことも印象的。			
5	答えのない質問して答えられなくても、忘れたわけではなく自分のタイミングでなら思い出せる事があり、完全に忘れていてのではない。感情は残っている。言葉で言えなくても身体は何が起ったか覚えておられる。認知症だからできないのではなく、新しい事を始めるのに不安で不安で、周囲の人を拒絶してしまうのかなど。不安を取り除くことができたならきっと一歩前進される、と信じてます。	認知症や もの忘れ への不安	合間から聞 こえてくる 本人の心情	
6	地域的に地域の人との交流がなかったため、地域の見守りがないことが課題。ADLは自立しており徘徊の恐れがある。	認知症に 対する周囲 の理解不足 への嘆き		
7	カフェ以外に行くところがない。10の社会貢献について、機会がないと聞き取った。			
8	難しい文言の理解ができなくなっている。「人生の終末」を考えることはできない様子だった。	人生の終末 への不安		
9	「終末」という言葉が受け入れ難いとの発言があり、今の家で暮らせる間は一人で、その後のことは弟夫婦と相談して行きましようと言った。			
10	独居で終末のことはまだ考えていないと言われたが、親族の方との連絡を必要と感じた。(姪が他区に居住)			
11	認知症の進行はあるが、意欲があり積極的に認知症応援大使の仕事をしています。	認知症で あることの 受容		
12	ご自身の事をよく理解されている。家族さんとの関係についても自身の中で理解出来ている。			
13	ご自身が認知症であること(ご本人には忘れてしまわれること、とお伝えした)に対して、病気だから仕方ないと受容?ができていない方なので、質問もしやすくご本人も抵抗を感じられる様子になく、答えてくださったので良かった。認知症であることに特に困っていないとおっしゃっていて(奥さんは困っていらっしゃるが・・・)ピリピリされることなく。大らかな方なのでとても素敵だと思った。			

no.	回答内容	項目	サブ カテゴリー	カテゴリー
14	質問事項14は解説を読み回答しておられた。	アイメッセージへの 確かな返答		
15	色々質問されながら考えて回答されていた。			
16	介入より一年経過。終結後のモニタリング訪問で実施。以前より表情も明るく、元気に生活しておられた。慌てて返答しようとするところ、マニュアルを見てもう一度説明し、自分で考えて返答することができた。同居の子と同じ場所で質問したが、頼らず答えた。			
17	質問に答えたくないと思われた時には黙って考え込まれる姿が印象的であった。その他、「はい」としっかり答えてもらうことができた。			
18	質問に対してはしっかりと返答されていましたが、少し質問の意図と違う返答をされているかと感じるような場面もありました。			
19	本人の調査票については、本人が理解されて回答されました。特にサポートは必要なかったです。			
20	ご本人、今日は体調も良くしっかりご自分の考えを伝えてくださった。少し理解しにくい言葉は言い換えで理解されたご様子。充実した毎日を過ごしているとも言ってください安心しました。			
21	14番の家族に対する配慮に関しては説明をしたつもりではいたが、家族の視点に立って考えることは難しいようだ。自分の考えは率直に述べておられ、サポートを受けながら自立した生活を送っているという自負を感じた。	調査実施による関係性 の深化		
22	普段のモニタリングで、本人が認知症についてや周りの支援に対しどう感じているのかがある程度わかっているつもりでしたが、本人の言葉で思いが聞けたこと、評価時の話はすぐに忘れてしまうと思われそうですが、幸せだと笑顔で話された本人の顔がとても嬉しく励みになりました。大変良い機会を作ってくださいありがとうございました。			
23	認知症発症日が不明。R2年ぐらいから疑われた。日昼は対象者宅で仕事、夜間は別居の生活であり、夜間1人にしていたが、認知症が疑われた頃より夜も泊まるようになった。別居生活ながら1日側で支援の生活。	黒子的な家族の支援		
24	家族の支援の元で穏やかに過ごしているし、サービスも充分利用していることが支えになっていると感じた。			
25	認知症の発症初期は本人が認めることをせず受診が遅れたので、家族(同居の妻と長男)はとても後悔されていた。	発症から診断までの 振り返り		調査を通じて垣間見えてくる周囲の支えや思い
26	医師から診断を受けられたのは令和5年1月だったが、その時の医師からの説明についてはご本人は覚えておられなかった。発症は不詳。ご家族は医師から説明を聞かれ、納得されていた。			

no.	回答内容	項目	サブ カテゴリー	カテゴリー
27	R4.12月MCIの診断を受けられた。医者からやさしい口調で症状の説明を受けられたので、本人はあまり危機感や深刻にはとらえておられない。その後R5.5月に近隣のケアハウスに入居ができ、以前と同じデイサービスに通われています。長男夫婦と同居でしたが、どちらも負担（本人・長男夫婦）になりかけていたので、今は活き活きと気分よく生活されています。			
28	発症後、診断も早くその直後からCMとしてかかわらせて頂いた方でした。ご本人、介護者共にとまどいが大きく、オレンジつながり手帳や私のおぼえ書きなどのツールを利用して支援を行ってきたことの振り返りを行うことが出来たと思いました。この方は定年退職後より積極的に地域との関わりを持たれその土台がありましたが、その土台の無い方も多いと思えます。土台があるかないかでも本人評価は変わってくるのではないかと感じています。		介護サービス・地域との繋がりがあることでの安定	
29	困ったことがあっても、相談先(窓口)がわからなければそこから進めず困ったままの状態が長く続く。まずスタートが遅れ、進行した状態で受診につながるということに対して、何らかの対策が必要。			
30	7, 8の回答が即答であったこと。医療機関が懸命に動いて繋いでくれたことへの印象や信頼が高く、入り口支援の重要性を再確認できた。それもあってか18, 19, 20の回答も即答で○であった。相談できる場所が明確にされていること、またこの方の場合、若年性認知症支援コーディネーターや初期集中支援チームとの相談も非常に有用に働いたと話されており、横断的な支援が必要であることを再確認した。		早期発見とそれに伴う横断的な支援	
31	「認知症」という言葉を伝えるために、主治医の意見書を活用した。発症年月日も記載されており、調査を受け入れて頂くことができた。ご本人は「そうかなあ、あまり気にしていないけど」。			
32	調査対象者は診断を受けた記憶があるが、病気として意識せず生活されているため、質問内容にあっては違和感を持たれた様子があった。			
33	本人には口唇口蓋裂があり、小学校も行かなかった経緯もあって、また今まで一人で生きてきたという自負もあるため、自尊心を傷つけないように、また内容が分かりやすく伝わるように工夫してお話させていただきました。認知症の診断はありますが、本人の理解(病識)は少し困難に感じました。		認知症との自覚の難しさ	
34	本人は認知症ということを知覚していないが、家族からそう言われるのでそうなのだろうという認識なので答えにくい質問があった。夫が認知症の対応を理解されていないところがあり、話をするきっかけになった。			アイメッセージ調査の難しさ
35	病識がない			
36	質問内容が正確に伝わったか不明な場面がありました。			
37	言葉をかみくだき、言いかえても答えられないことが多かった。			
38	理解がかなり低下しておられる為、質問の内容をわかりやすく言い換えても答えが返ってこない。理解して頂くための言い回しが難しいと感じた。	質問内容の伝達の難しさ		
39	言葉の意味を理解できないため、言葉(わかる言葉)を選ぶのに苦労した。		認知機能低下による理解困難	

no.	回答内容	項目	サブ カテゴリー	カテゴリー
40	かなり認知症が進んでいて、介護の状態が家族のことも忘れており、アンケートの意図がわかりません。もう少し初期の認知症の前段階の人向けかと思います。	質問内容の理解の難しさ		
41	嫁であり急にいろいろな質問をされたので、本人もとても緊張していました。認知症の診断を受けていても内容が理解できずに、「私は認知症にならないように日々努力してます」の回答がずっと続いていました。言葉をかえて質問しましたがこれで役立ちますかね。			
42	ご本人は明るく朗らかに過ごされているが、質問は難しいと思われるので、「かわらない」という回答が多かった。			
43	質問の意味が分かりにくいと戸惑われる場面が多かった。例題等をまじえて説明をするのに時間がかかった。中重度の方への質問内容としては少し難しいと感じた。	所要時間の長期化		
44	1つ1つの項目に質問するが内容の理解が難しく、わかりやすく説明する必要があった。1つの項目毎に長くお話しをされるので、全項目を聞くのに時間がかかった。			
45	認知症があり、アンケートの回答が3つの中から選ぶ場合はまだ答えることができたので良かった。本人に何か意見や要望があるかと開かれた質問をすると、答えることが困難であった。	質問方法別の回答の可否		
46	質問の意味をご本人に伝えることのむずかしさ。	意味を伝えることの難しさ		
47	質問の内容をかみくだいたり、分かりやすい言葉でお手伝いしたい本人が答えられたが、ご本人に内容がきちんと伝わった上での返答であるかどうか曖昧に思う。			
48	評価項目の質問の書き方が認知症の方にとっては難しい為、言葉を言いかえて説明しないと理解できなかったため、もう少し分かりやすい言葉にして頂けたらと思います。	言換えの難しさ	質問内容の意味を正しく伝えることの難しさ	
49	質問する際、回答しやすい表現で伝えることに苦心した。質問の内容がやや多いように感じた。			
50	ご本人が回答された項目は4-11のみで、そのまま文章でたずねても回答できなかったため、「奥さんと住み慣れた自宅で暮らせる幸せ」や「お子様が時間を見つけて会いに来てくれる嬉しさ」「好きなグランドゴルフを仲間のサポートを得て続けられている喜び」などの質問に置き替えてお尋ねした。誘導になっていないか少し心配。			
51	質問内容が難しい。理解できる質問に言い換えて調査はしたが的確な評価にはならない。			
52	少し耳が遠いが、答えてくれました。わかりやすく説明したつもりですが、ちゃちゃっと返答があったので、わかってもらえているのか不安が残ります。説明者が困らないように返答されているようにも思えました。	正確性の疑問		
53	質問に対し考える間もなく即答されていた。ゆっくりと質問内容を読んだつもりだったが、利用者の方には早すぎたのかもしれない。			

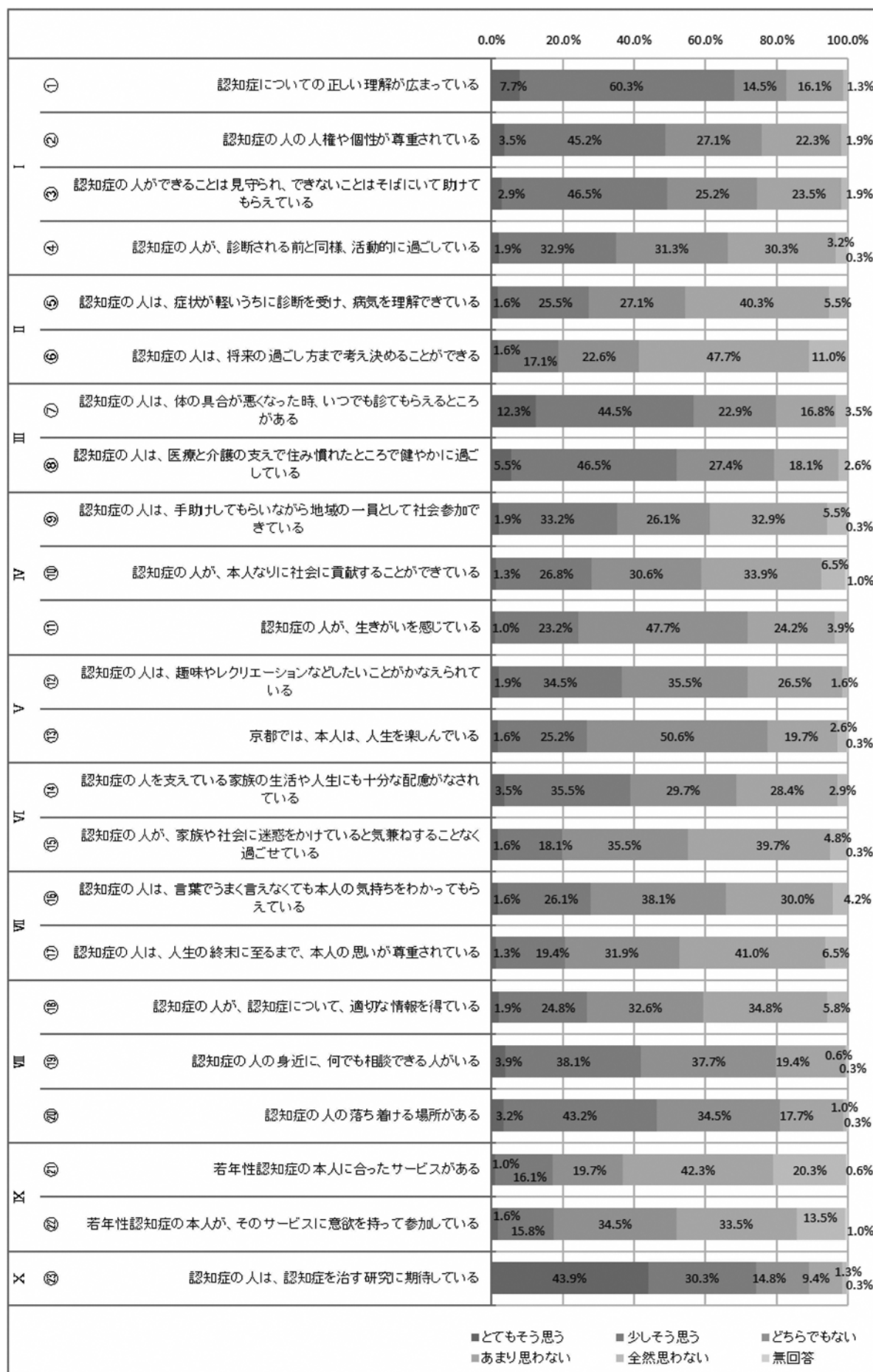
no.	回答内容	項目	サブ カテゴリー	カテゴリー
54	ご自身が物忘れがあることは自覚されているが、しっかりとご自分の意見を伝えてくれ、また表現を変えることで違う思いを引き出してこられていたと思った。質問は相手の方に失礼がないようにと思いながら行ったが、難しく思った。でも、このような質問ができた事は今後の自分自身への支援への学びとなった。	自身の学び		
55	事前のマニュアルの勉強したが、実際の対応に表現が苦労したため、説明のスキルをあげる努力が必要と感じた。			
56	8番の「健やかに」の意味が理解が難しかった。	質問内容への意見		
57	6-14は質問内容が難しい。マニュアルの中の説明をしたが答えられず。 ※本人は福井県から現在は京都府のケアハウスで暮らしているので住み慣れた地ではない。			
58	代弁者より「認知症の正しい理解はどこまでを求められているのか」と質問があった。一般的なレベルで良いのか、家族としての理解を求められているのか迷っていたので、少し具体的な記載があっても良かったように思う。			
59	認知症と思われてない方も多いので、わかっている方と病識がない方用の質問項目があれば代弁者が回答する時により正確な内容になるのではないかと感じました。			
60	「社会参加ができていいる」と「社会貢献ができていいる」は似たような感じだが、なかなか貢献できていると言える方は少ないのではないかと感じた。(答えづらい)			
61	評価項目の表現に意見をもたれてました。(NO.2-5,6「軽いうちに・・・」、「将来の過ごし方まで考え決めることができた」)評価項目の内容について、本人の意見も聞いていただければと。(オレンジプラン策定メンバーに本人も参加)			
62	評価協力者の質問のとらえ方大なり小なり違うと思うので、それによって評価(本人の返答)も変わってくるように思う。			
63	調査は質問例を参考に実施した。伝わりにくい箇所は何度も修正しながら確認できた。質問例があるので比較的調査しやすかったが、話があちこちに飛ばないように同じような質問はまとめて聞くように心がけた。	質問内容の説明や聞き取り方法の工夫		調査の工夫や調査に関する留意点
64	調査という言葉は伝えずに日常のやり取りでの回答です。認知症という言葉は伝えていますが、その言葉で気持ちが後ろ向きになることから言葉は控えての評価です。			
65	最初の方の質問に対しては答えることが難しかったのですが、一通り調査を終えた後、再度質問しなおすことによって回答していただくことができました。			
66	評価協力者マニュアルや研修による説明を足すことで、スムーズに回答していただくことができました。			
67	本人の担当ケアマネではなく、認知症応援大使の支援者として知っている範囲で書かせていただきました。			

no.	回答内容	項目	サブ カテゴリー	カテゴリー
68	娘様が的確に本人へ説明し本人が回答することが出来ました。			
69	本人からの返答が引き出せるよう、工夫して質問したつもりでしたが、最初の方は「どうかねえ？」が多くなり、代弁者に頼ることが多かったです。最後の方になってくるとお互いに慣れたのか本人も「そうやねえ」と言ってくれるようになりました。	代弁者の促しなど返事を引き出す方法		
70	認知症のせいなのか性格のせいなのか、すべてになげやりで返答もいいかげんな言い方をされるため、わかりやすく説明しましたが、やはりいいかげんな返答でした。	もともとの本人の人生や性格、人間関係へのスタンス		
71	質問内容について少し補足する程度で1人で十分に答えることができた。ただ、職場の方も同席していたため答えづらい項目もあったかもしれない。			
72	代弁者が妻である事から妻への配慮も考えました。別居家族は対象者の妻への配慮から対象者に対して心無い言葉や対応を希望されることもあります。別居家族は「綺麗ごとではない」とよく言われます。でも認知症の対象者は変わらぬ本人であり根柢の人格はそのままの本人です。	同席者がいたことへの配慮		

3 家族調査の回答結果



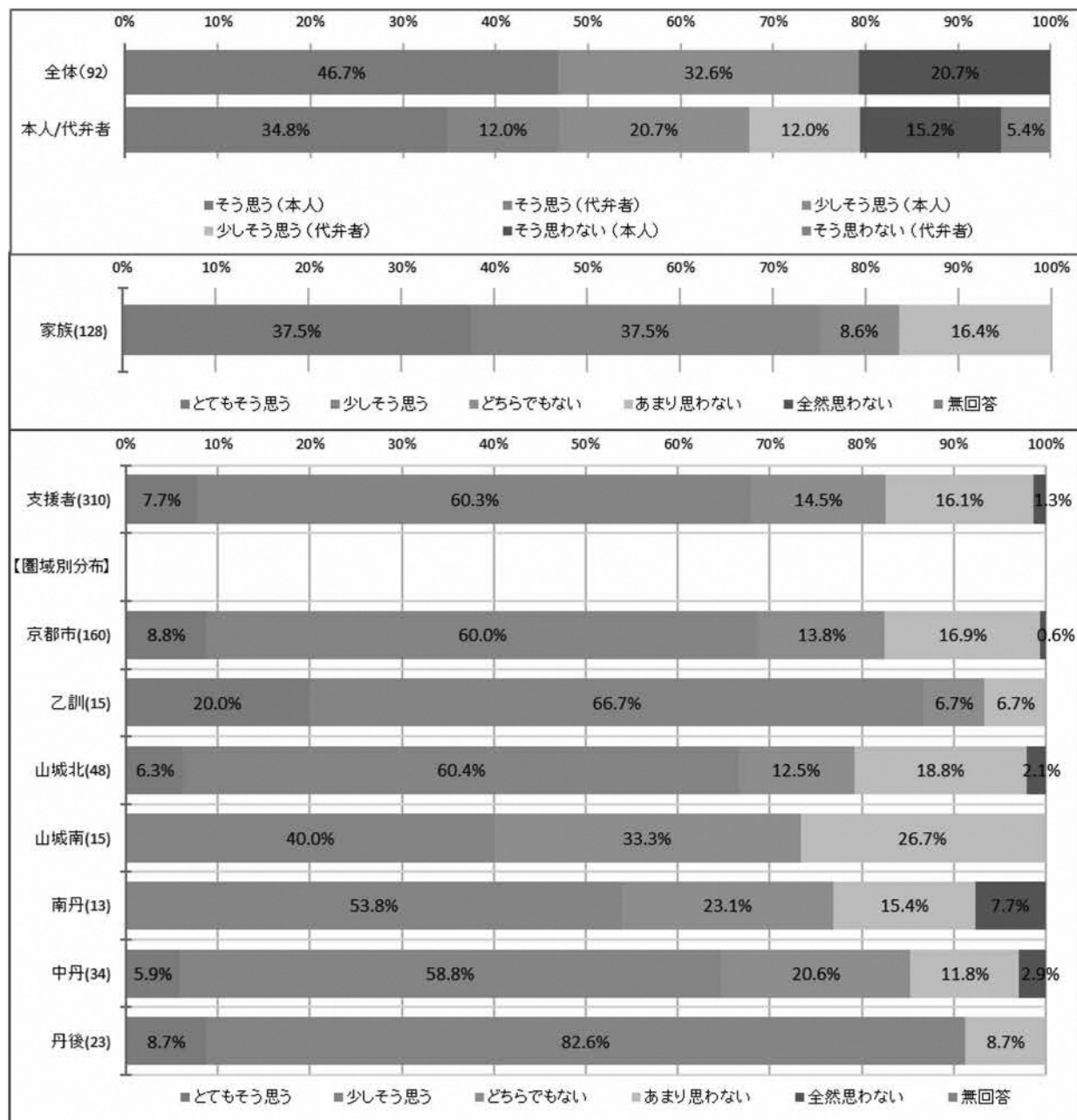
4 支援者調査の回答結果



Ⅳ 評価対象者別の回答結果の比較

<評価項目①>

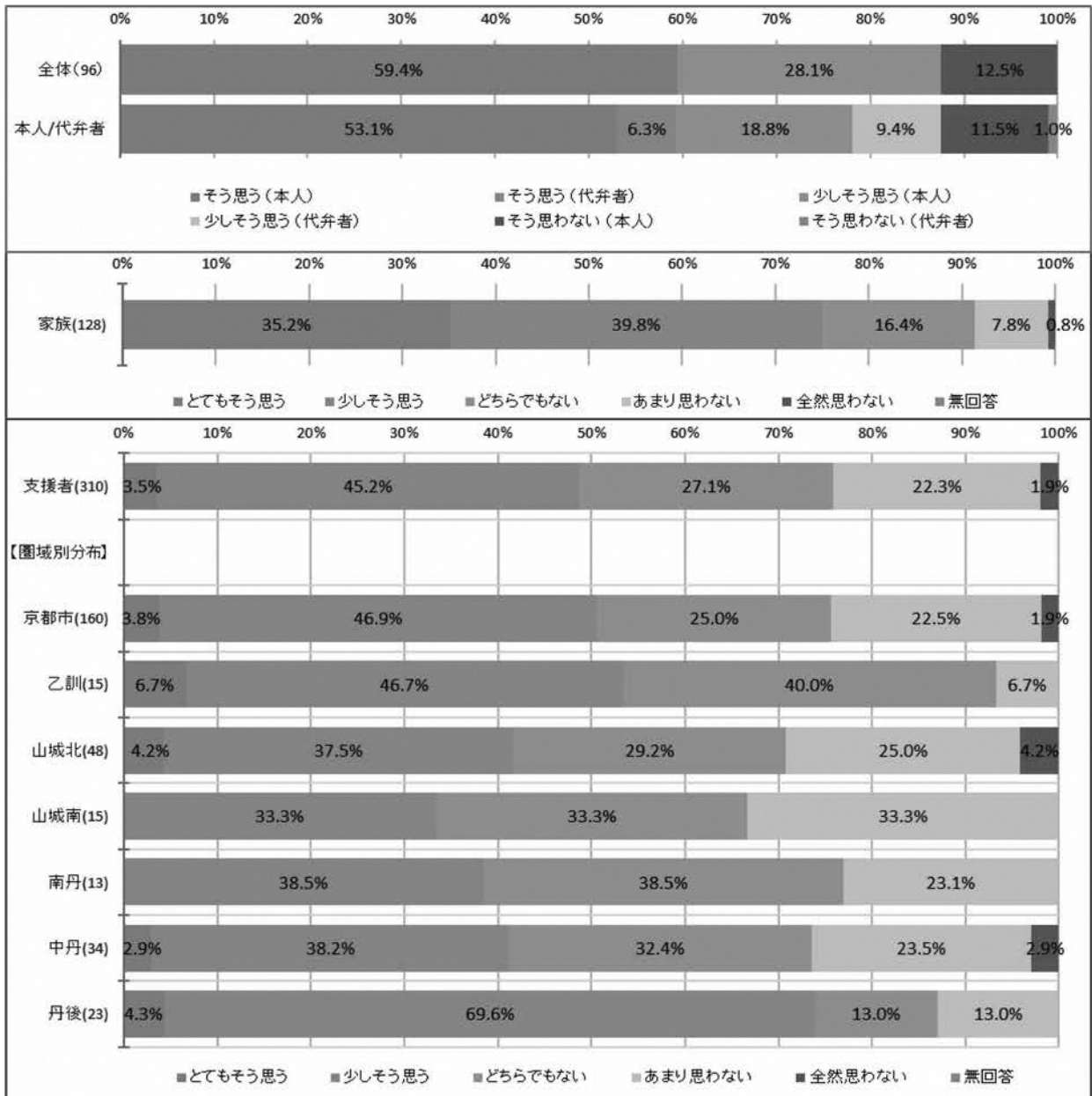
本人調査	周りのすべての人が、認知症を正しく理解してくれている
家族調査	本人の周りの人は、認知症を正しく理解している
支援者調査	認知症についての正しい理解が広まっている



※「本人」結果は、回答者（「本人」と「代弁者」）を区別しているため、「回答できない」は含まない。そのため、P. 13 のグラフで示す結果とは一致しない場合がある。以下、P. 53 まで同様。

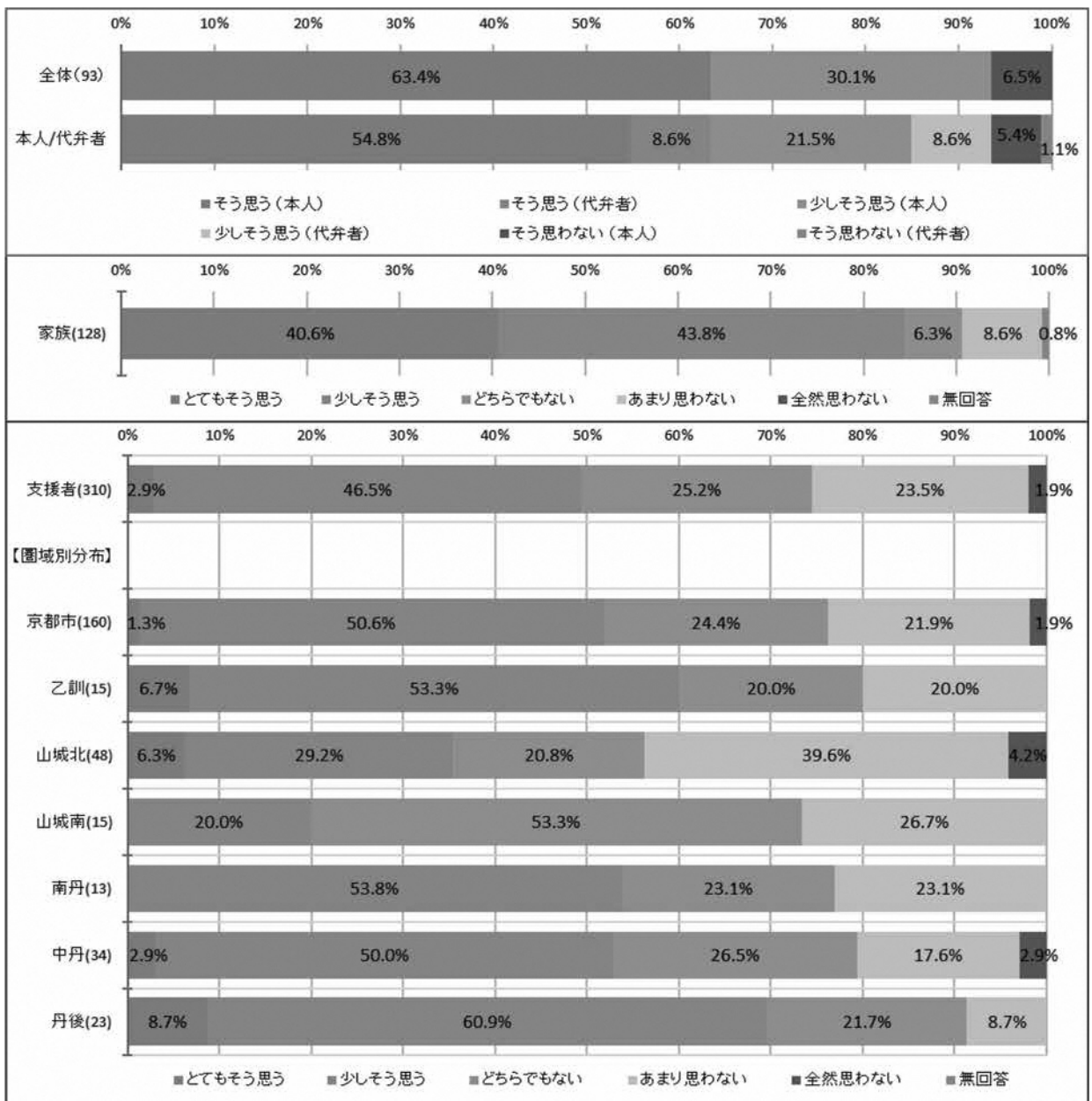
<評価項目②>

本人調査	周りの人は、私らしさや私のしたいことをいつも気にかけてくれている
家族調査	本人の周りの人は、本人の人権や個性を尊重している
支援者調査	認知症の人の人権や個性が尊重されている



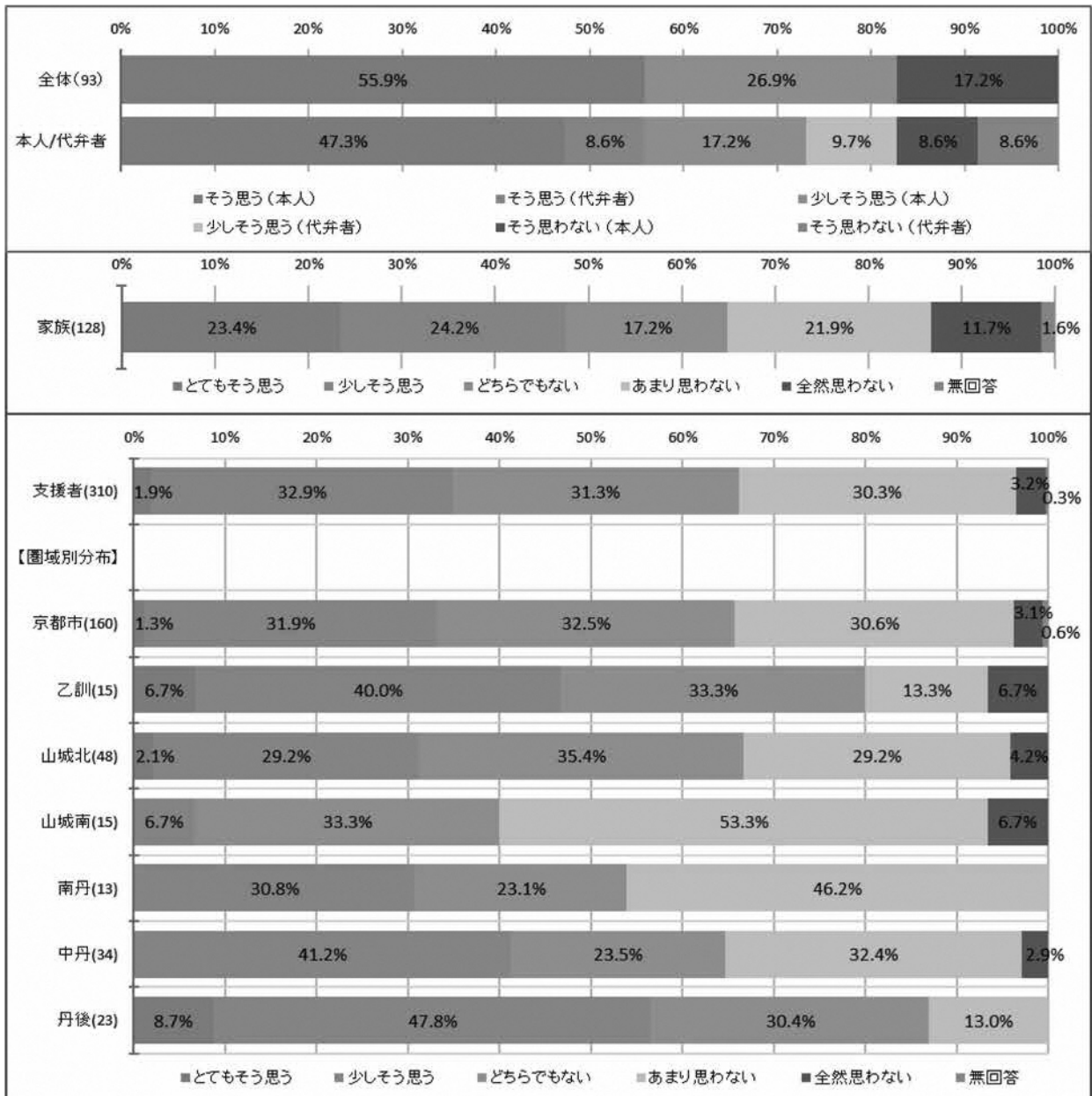
<評価項目③>

本人調査	周りの人は、私ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれている
家族調査	本人の周りの人は、本人ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれる
支援者調査	認知症の人ができることは見守られ、できないことはそばにいて助けてもらえている



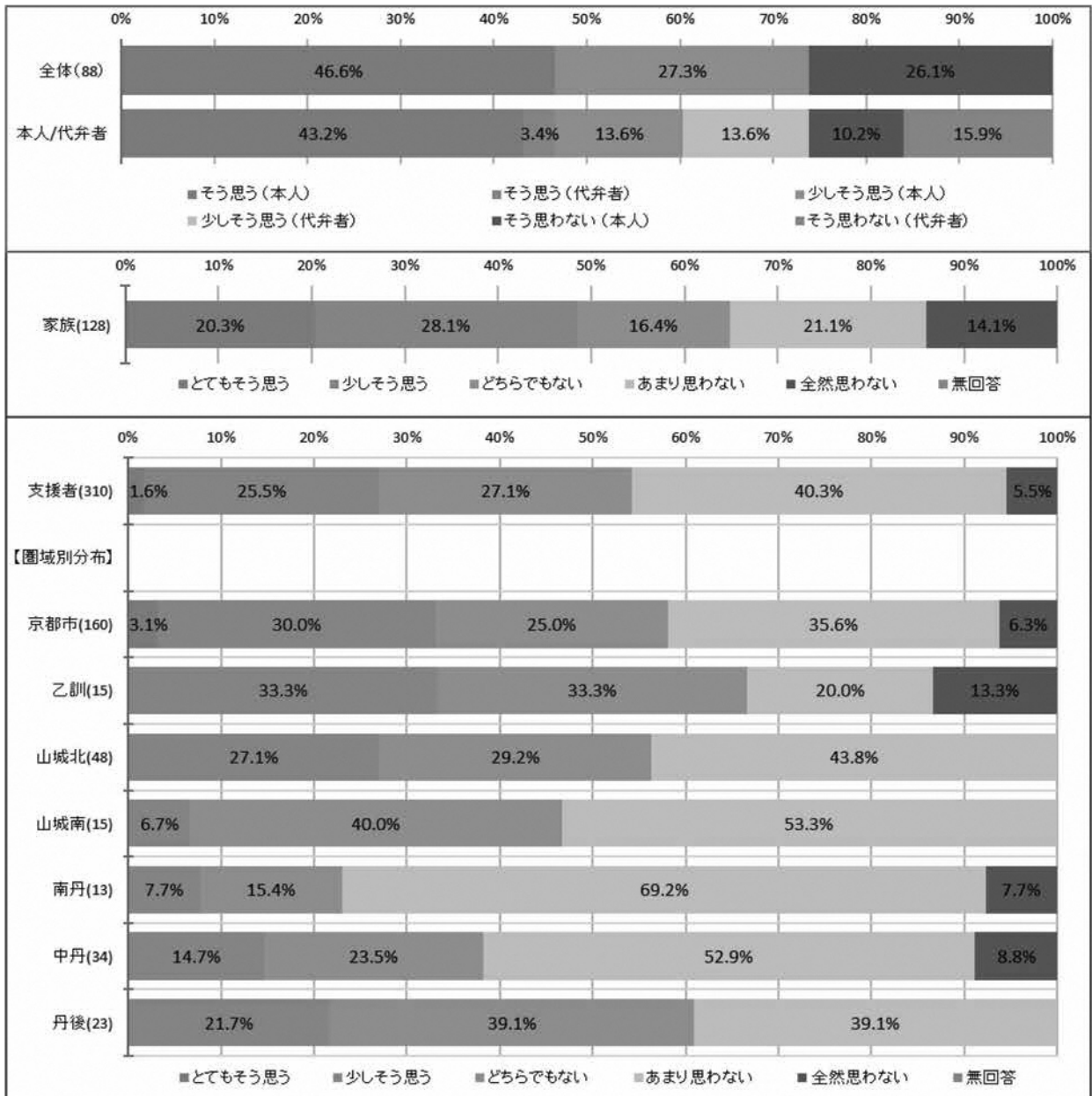
<評価項目④>

本人調査	私は、診断される前と同様、活動的にすごしている
家族調査	本人は、診断される前と同様、活動的にすごしている
支援者調査	認知症の人が、診断される前と同様、活動的にすごしている



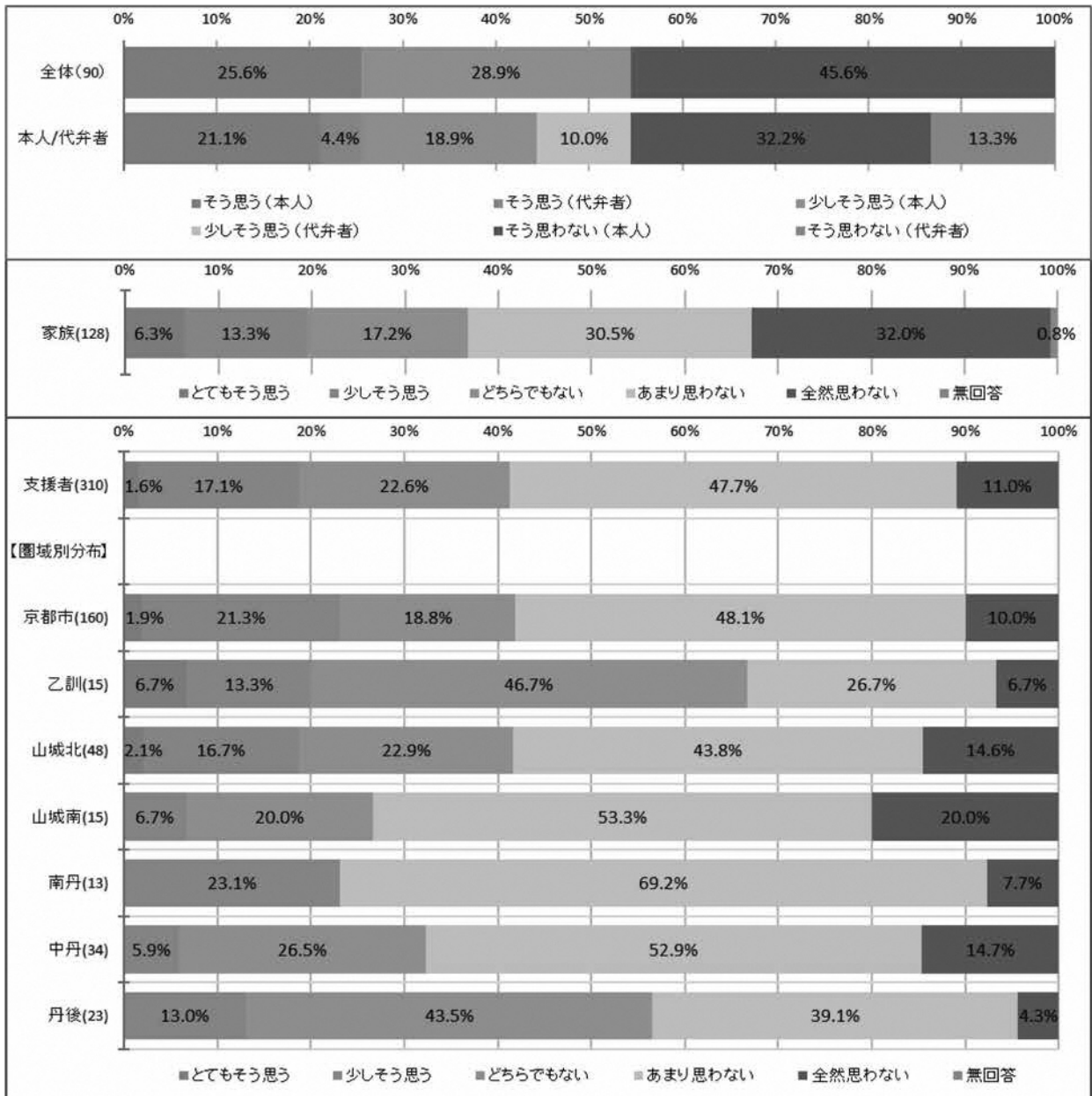
<評価項目⑤>

本人調査	私は、軽いうちに診断を受け、病気を理解できた
家族調査	本人は、症状が軽いうちに診断を受け、病気を理解できた
支援者調査	認知症の人は、症状が軽いうちに診断を受け、病気を理解できている



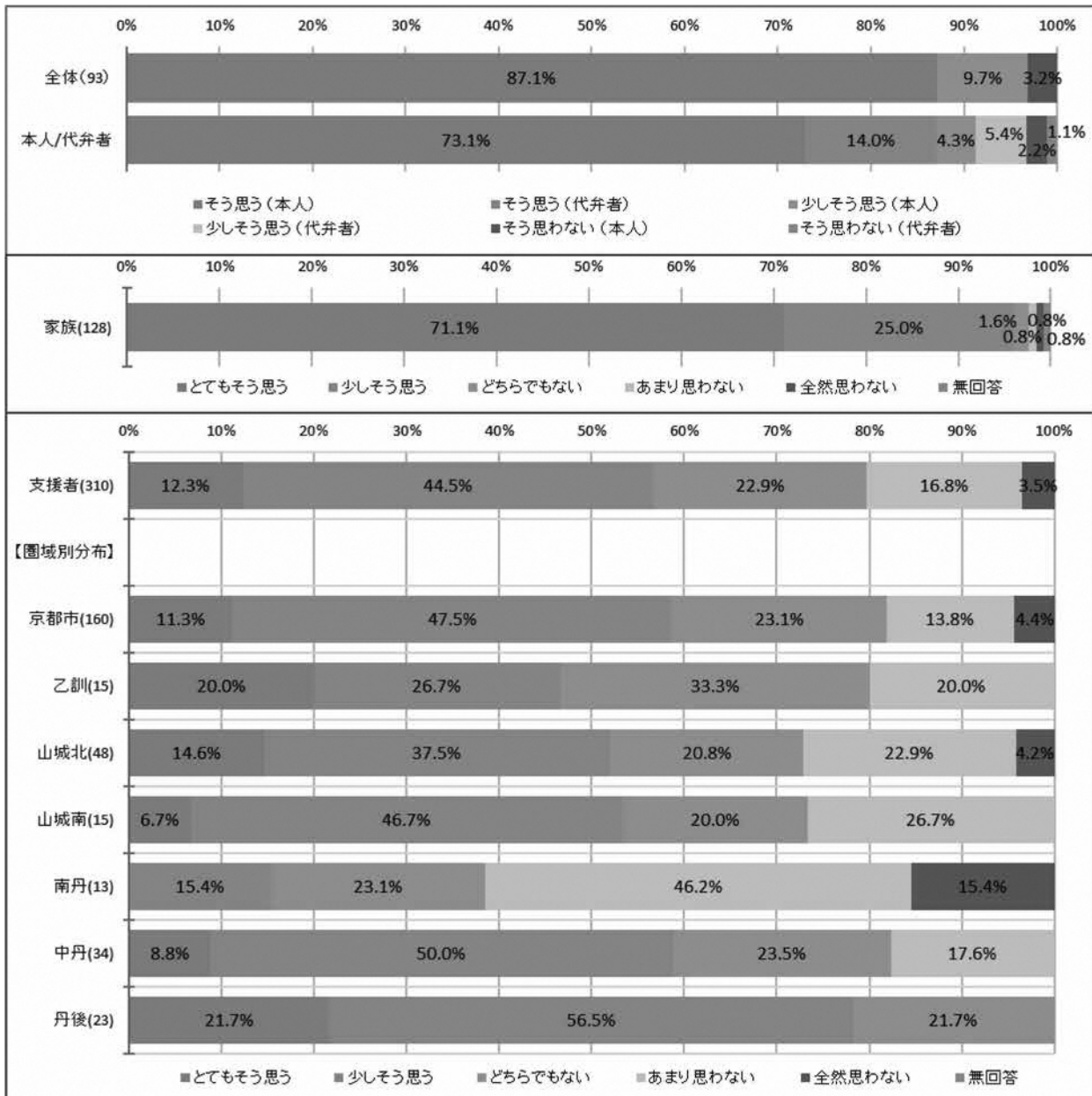
<評価項目⑥>

本人調査	私は、将来の過ごし方まで考え決めることができた
家族調査	本人は、将来の過ごし方まで考え決めることができた
支援者調査	認知症の人は、将来の過ごし方まで考え決めることができる



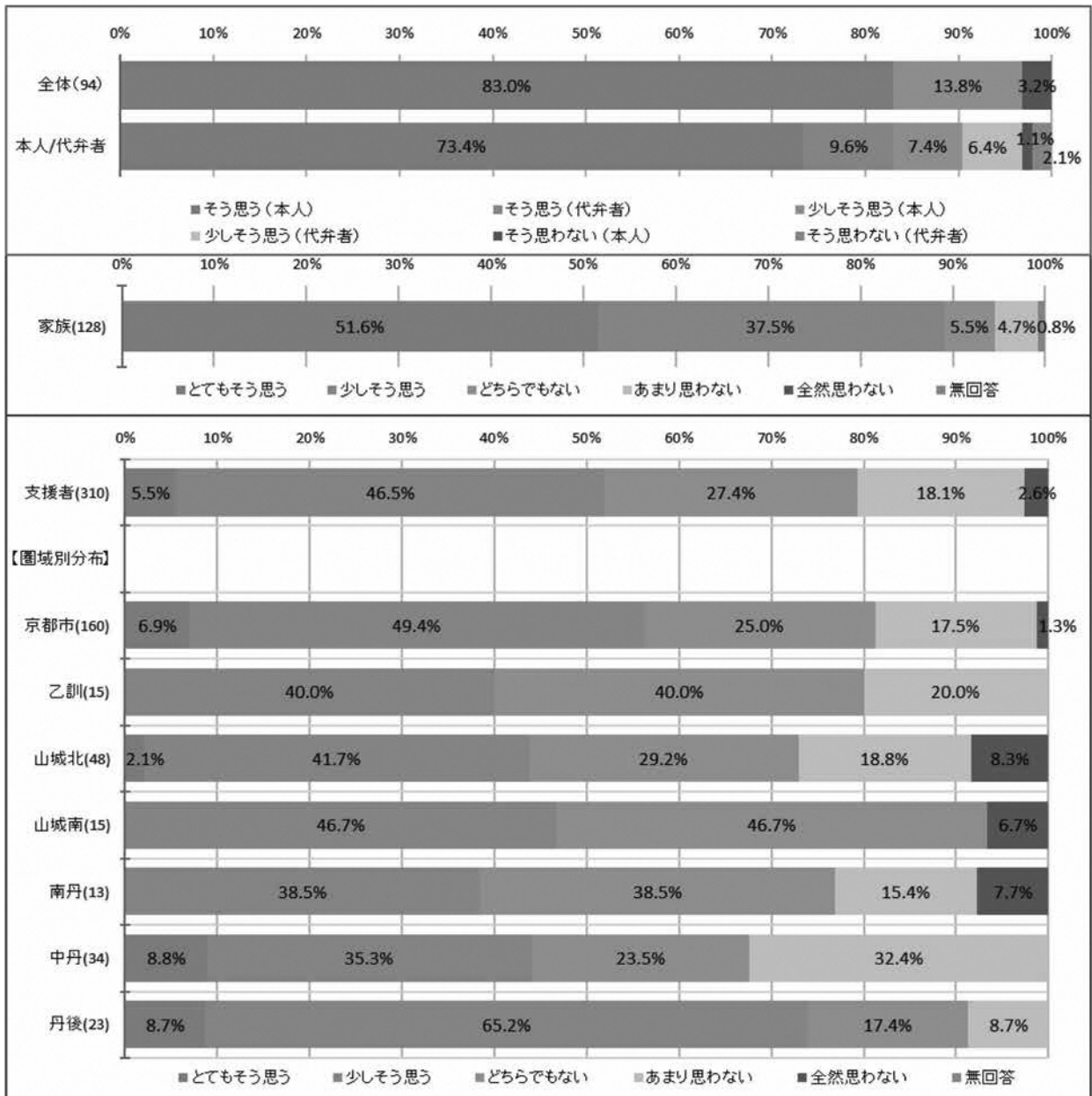
<評価項目⑦>

本人調査	私は、身体の具合が悪くなったらいつでも診てもらえる
家族調査	本人は、体の具合が悪くなった時、いつでも診てもらえるところがある
支援者調査	認知症の人は、体の具合が悪くなった時、いつでも診てもらえるところがある



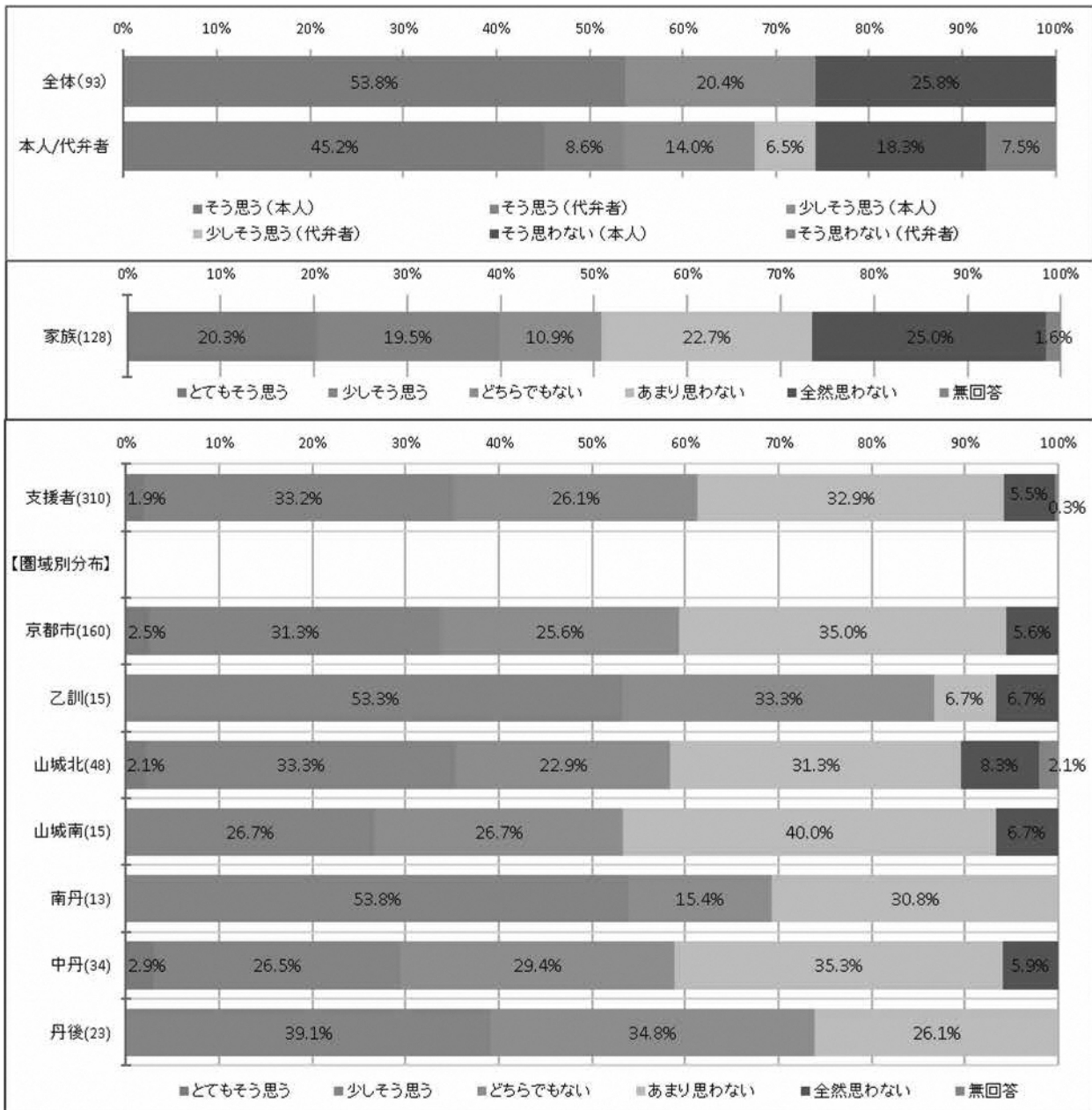
<評価項目⑧>

本人調査	私は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかにすごしている
家族調査	本人は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかにすごしている
支援者調査	認知症の人は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかにすごしている



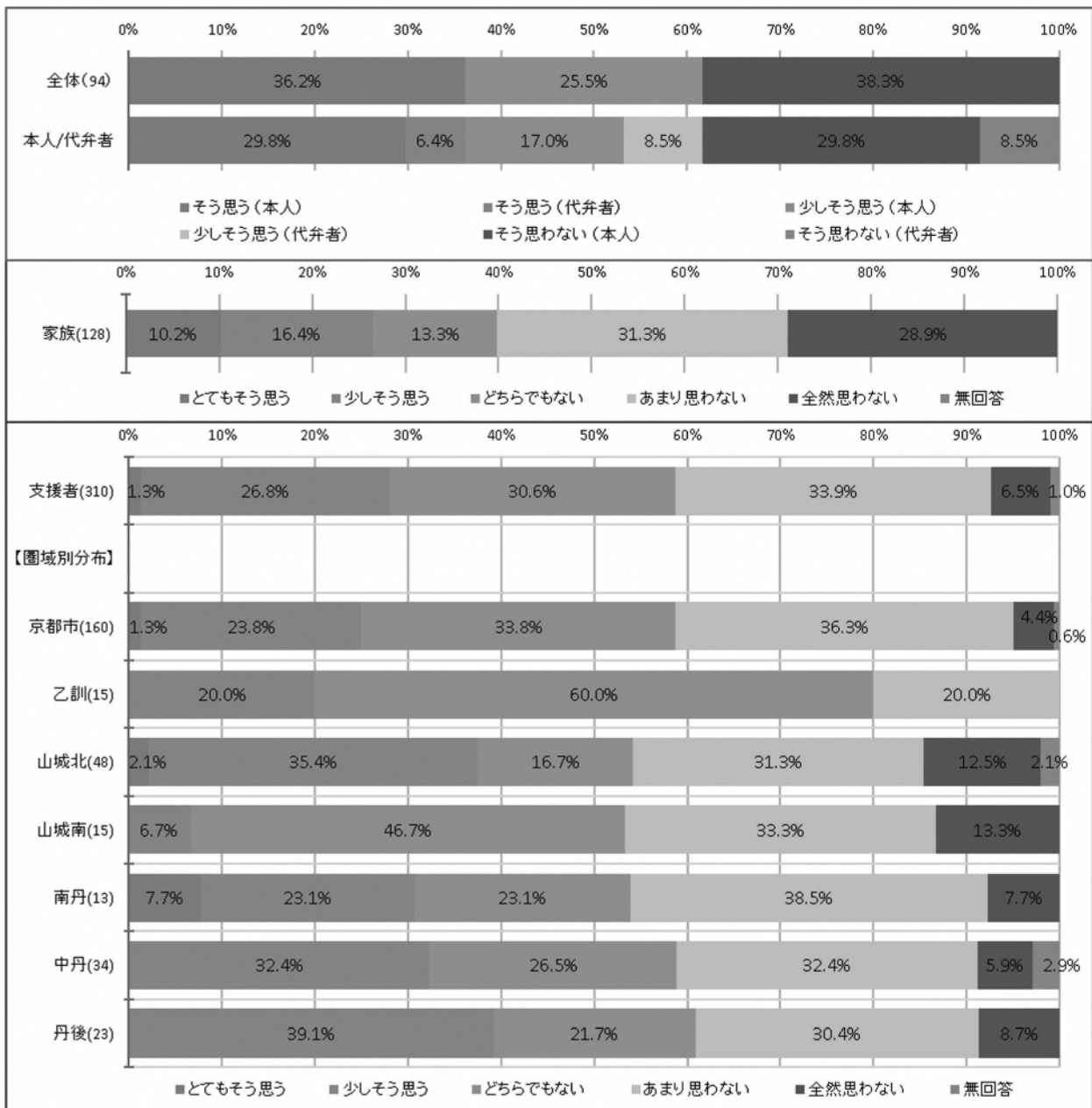
<評価項目⑨>

本人調査	私は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている
家族調査	本人は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている
支援者調査	認知症の人は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている



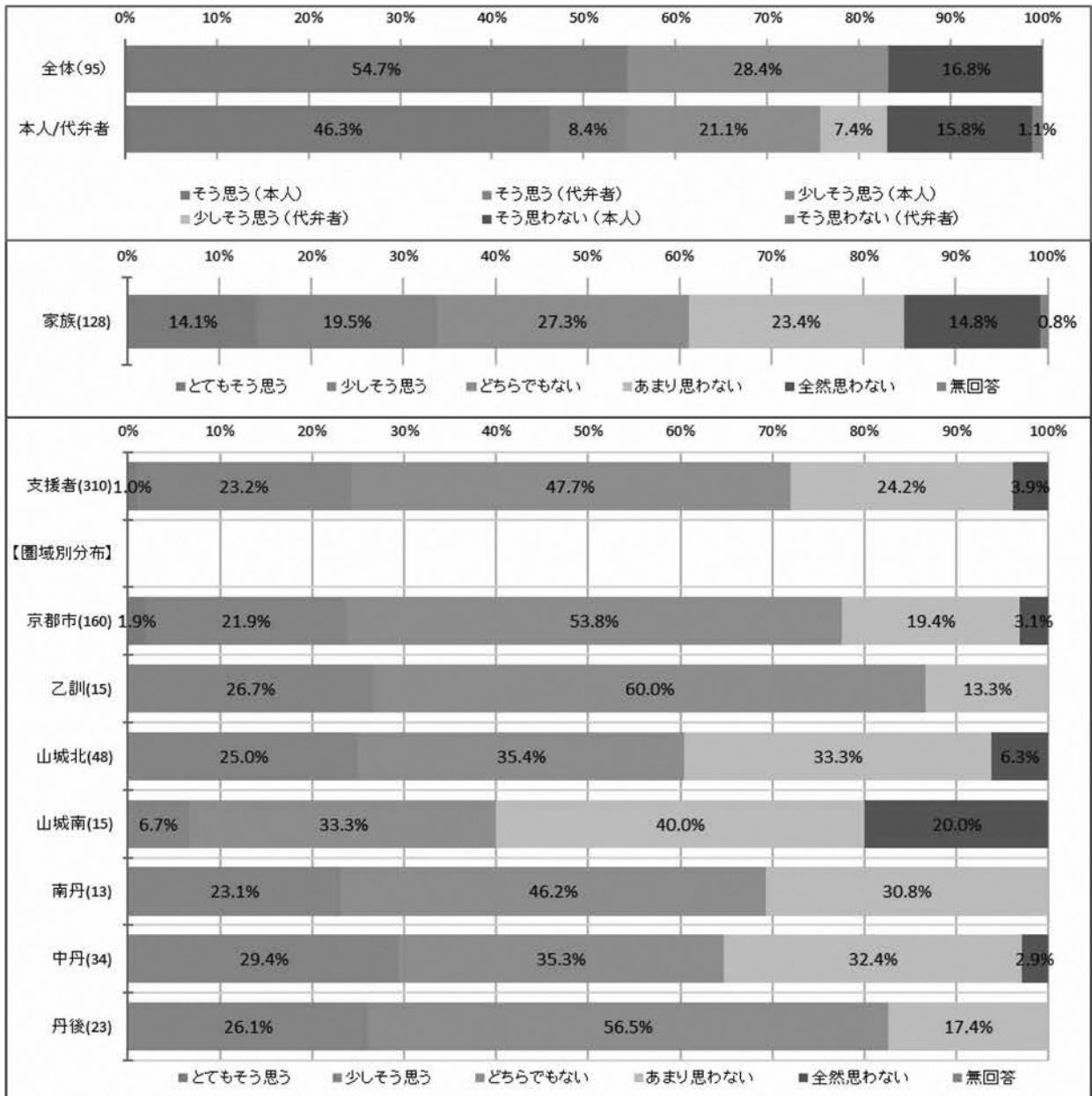
<評価項目⑩>

本人調査	私は、私なりに社会に貢献することができる
家族調査	本人なりに社会に貢献することができる
支援者調査	認知症の人が、本人なりに社会に貢献することができる



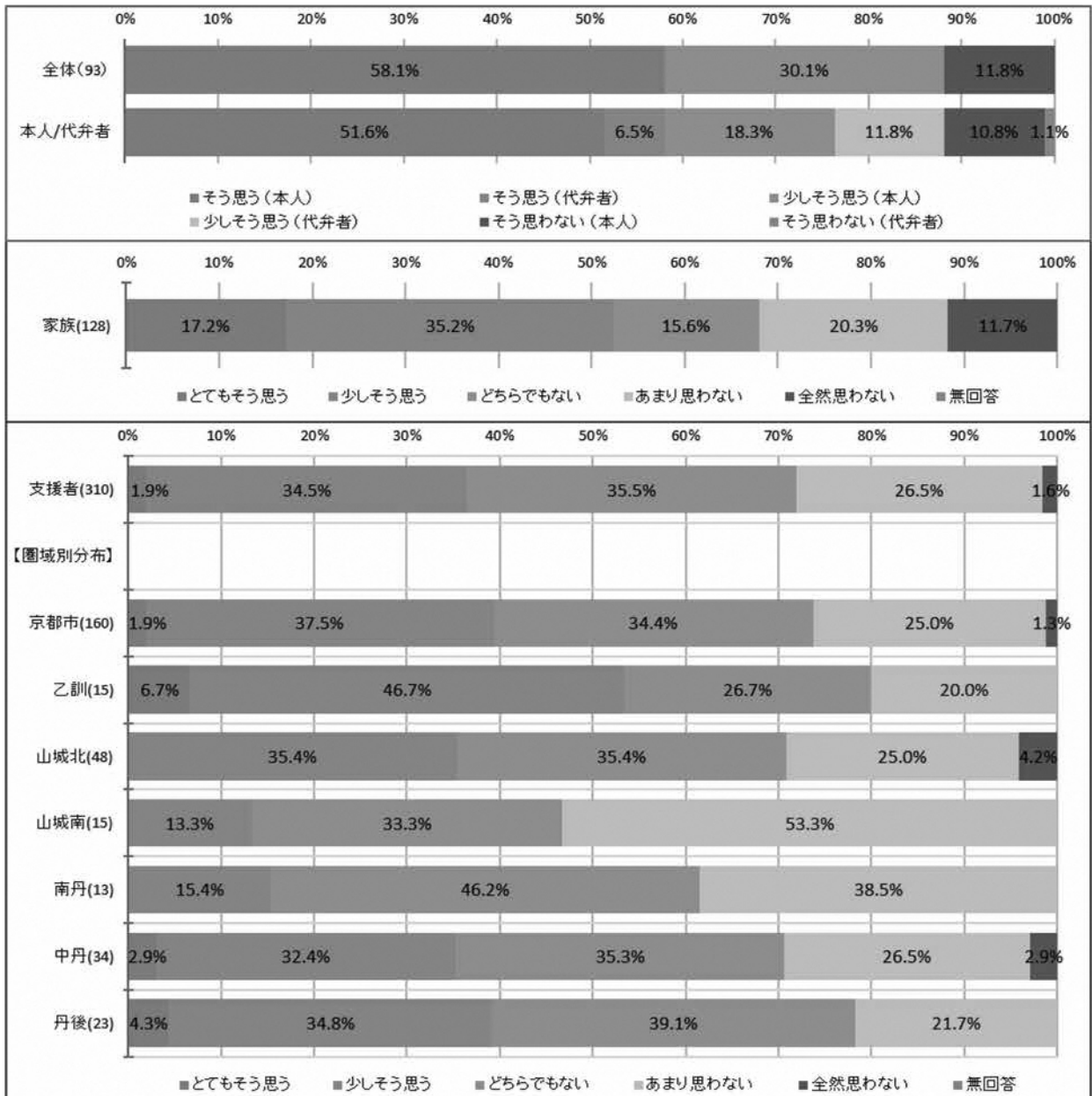
<評価項目①>

本人調査	私は、生きがいを感じている
家族調査	本人は、生きがいを感じている
支援者調査	認知症の人が、生きがいを感じている



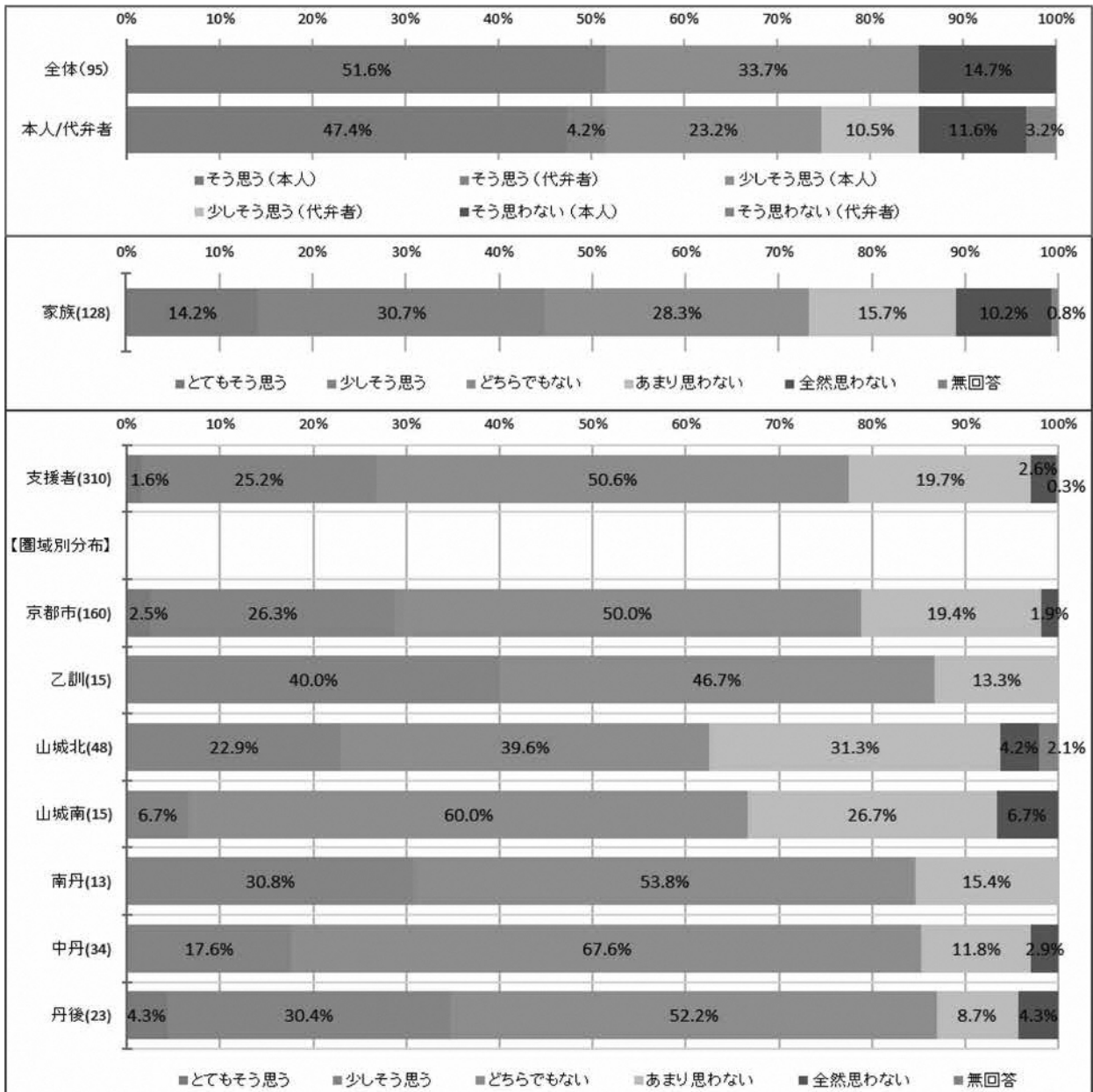
<評価項目⑫>

本人調査	私は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている
家族調査	本人は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている
支援者調査	認知症の人は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている



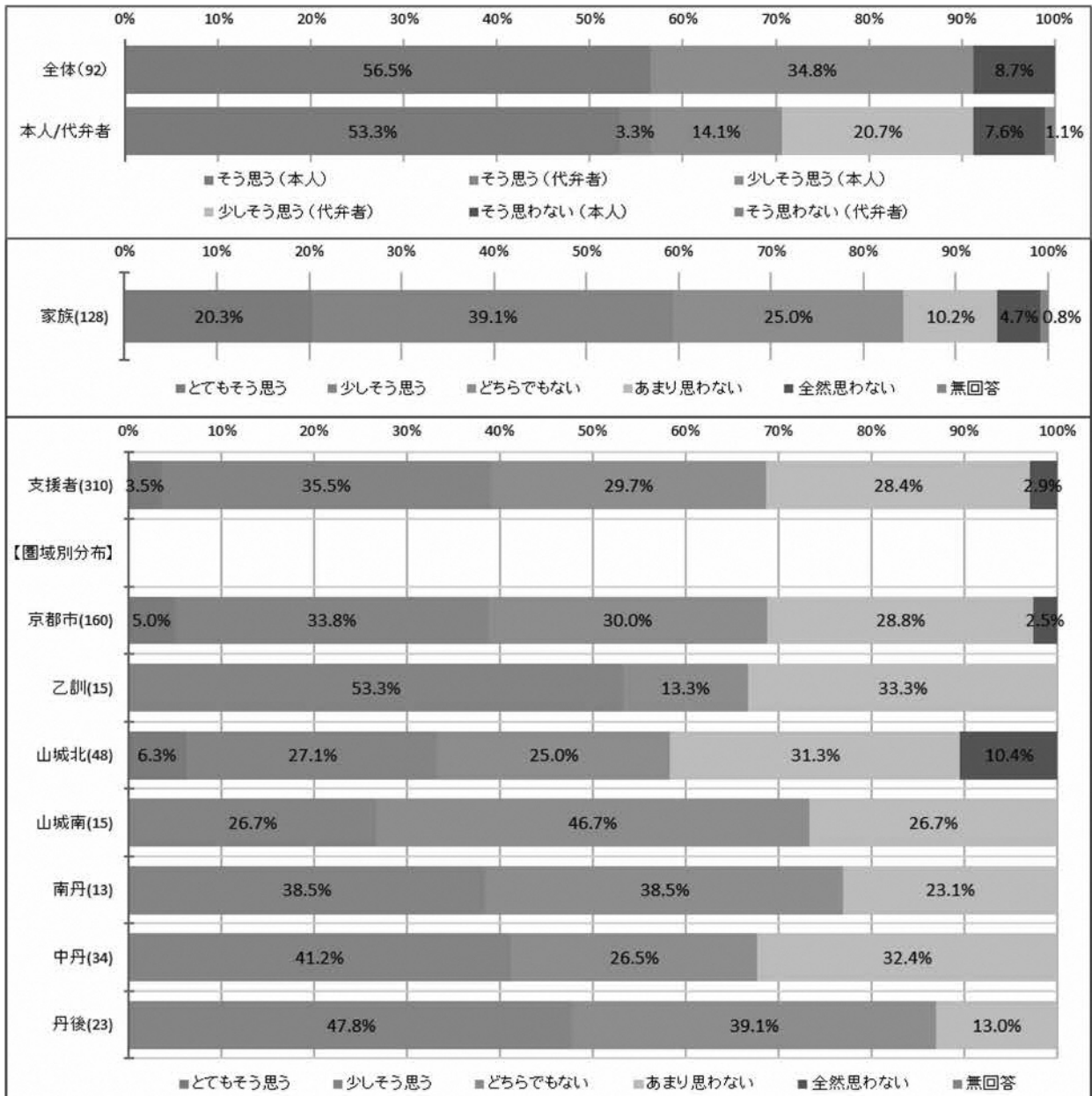
<評価項目⑬>

本人調査	私は、人生を楽しんでいる
家族調査	本人は、人生を楽しんでいる
支援者調査	京都では、本人は、人生を楽しんでいる



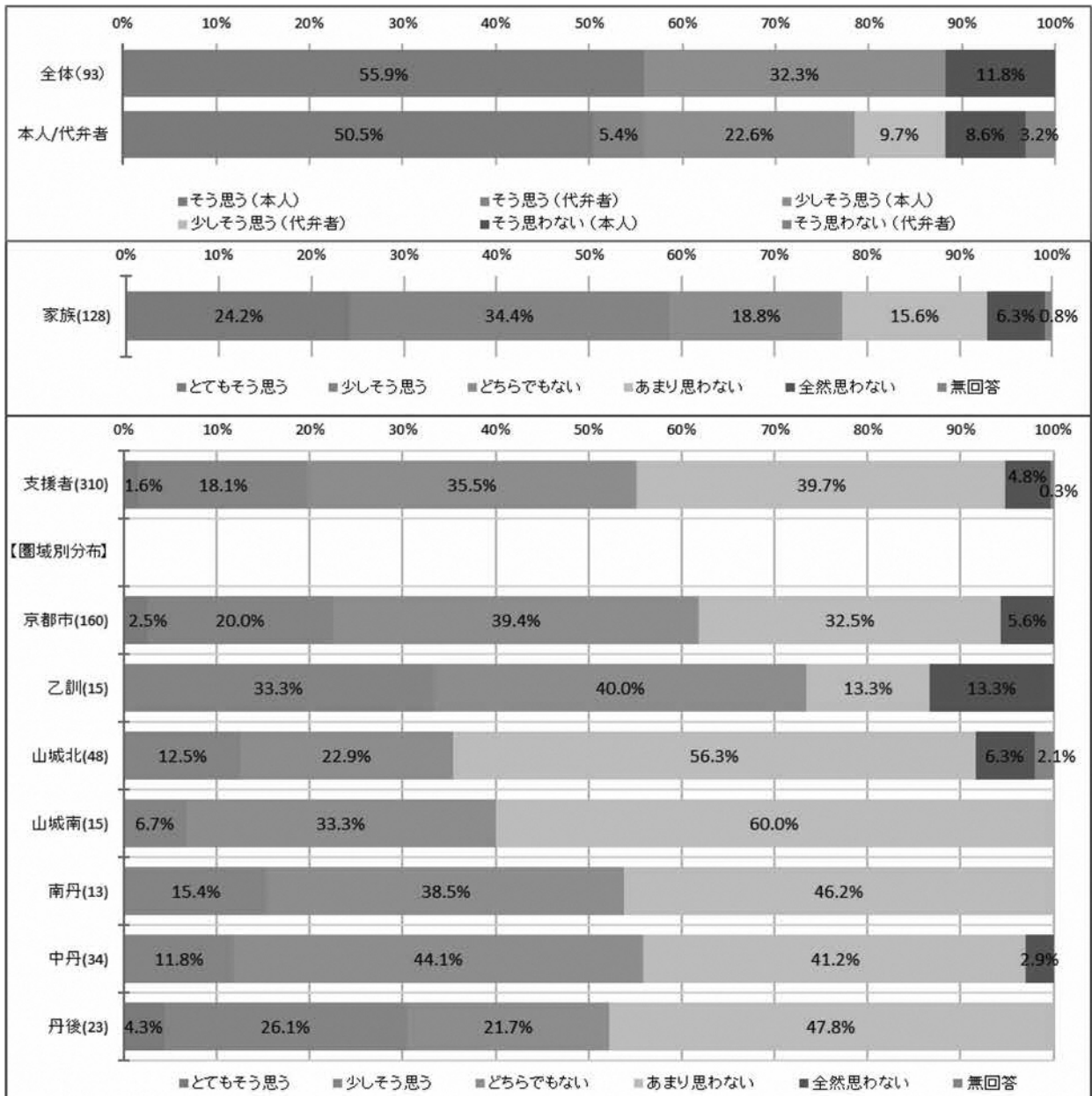
<評価項目⑭>

本人調査	私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている
家族調査	本人を支えている家族（あなた）の生活と人生にも十分な配慮がなされている
支援者調査	認知症の人を支えている家族の生活や人生にも十分な配慮がなされている



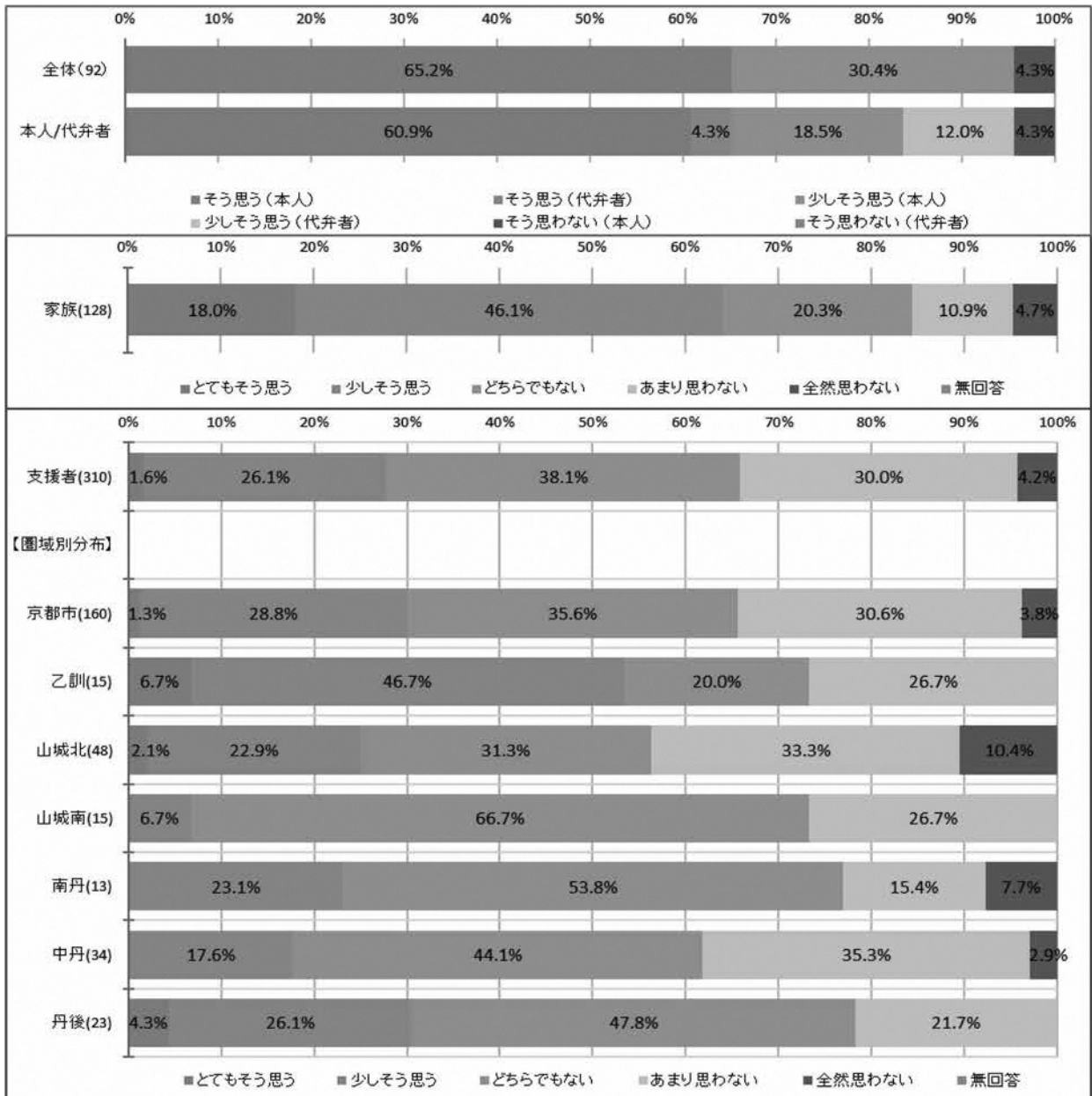
<評価項目⑮>

本人調査	私は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなくすごせている
家族調査	本人は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなくすごせている
支援者調査	認知症の人が、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなくすごせている



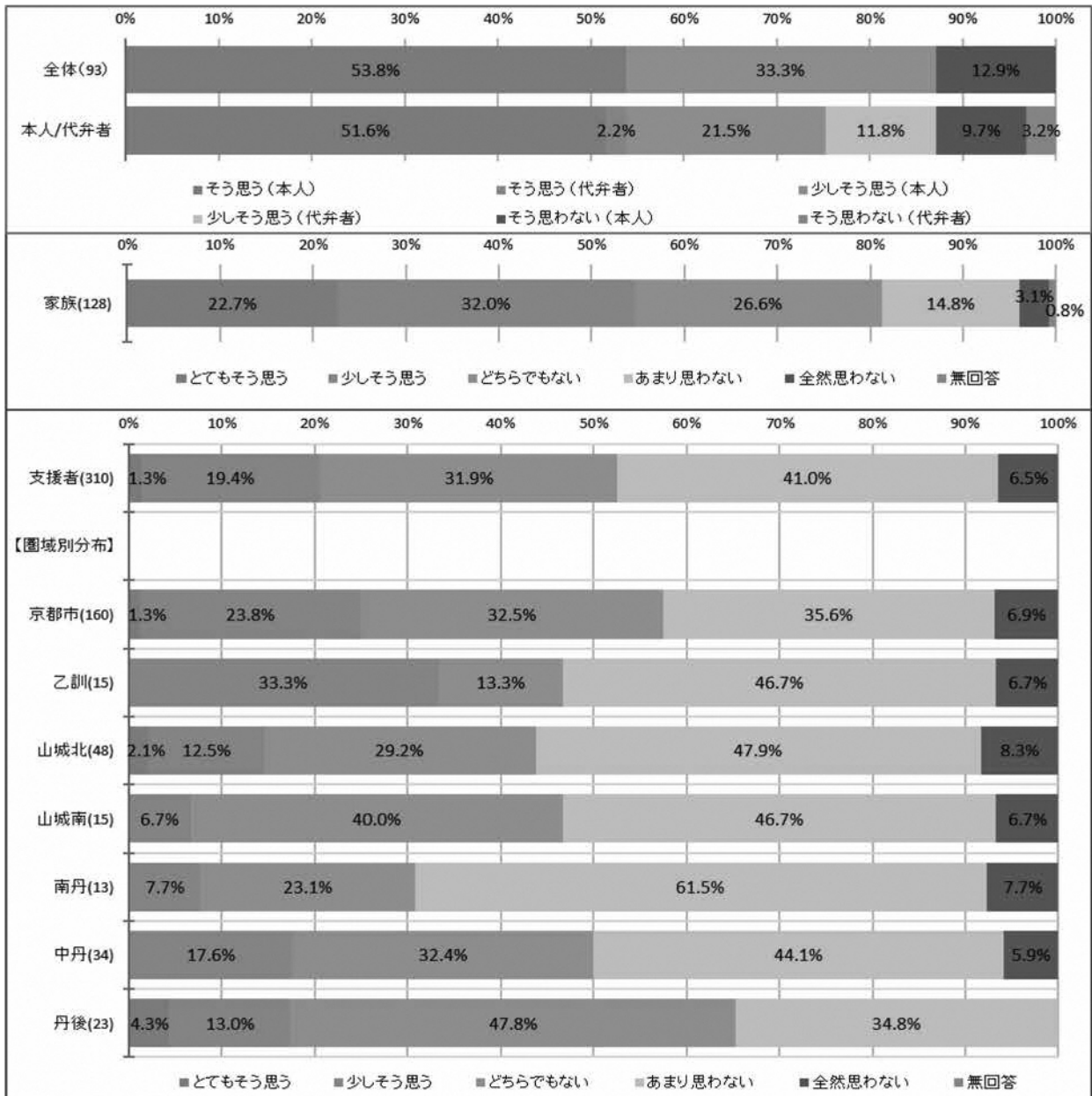
<評価項目⑩>

本人調査	私は、言葉でうまくいえなくても私の気持ちをわかってもらえている
家族調査	本人は、言葉でうまくいえなくても気持ちをわかってもらえている
支援者調査	認知症の人は、言葉でうまくいえなくても本人の気持ちをわかってもらえている



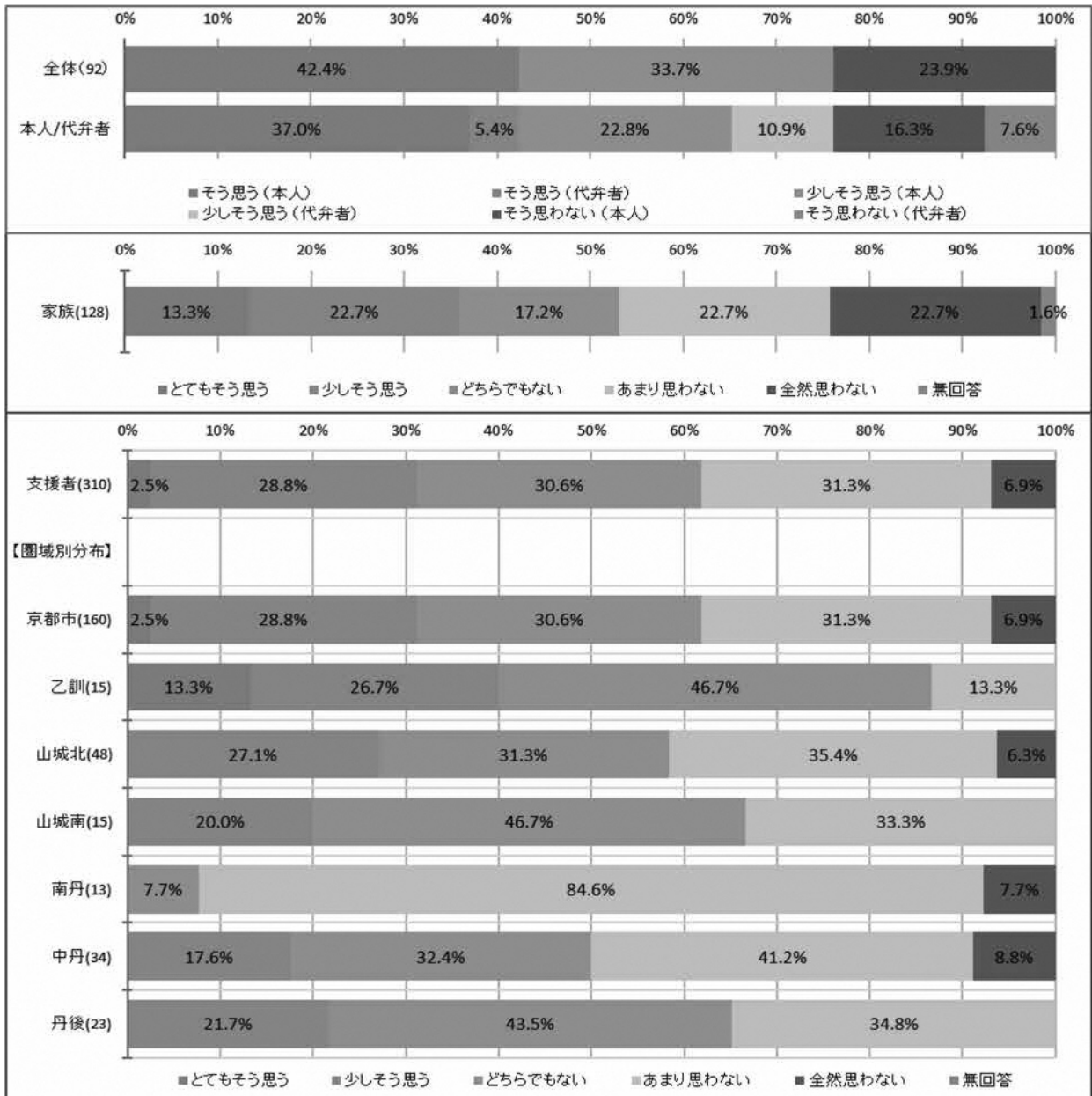
<評価項目⑰>

本人調査	人生の終末に至るまで、わたしの思いが尊重されると思う
家族調査	本人の思いが、人生の終末期に至るまで尊重されると思う
支援者調査	認知症の人は、人生の終末に至るまで、本人の思いが尊重されている



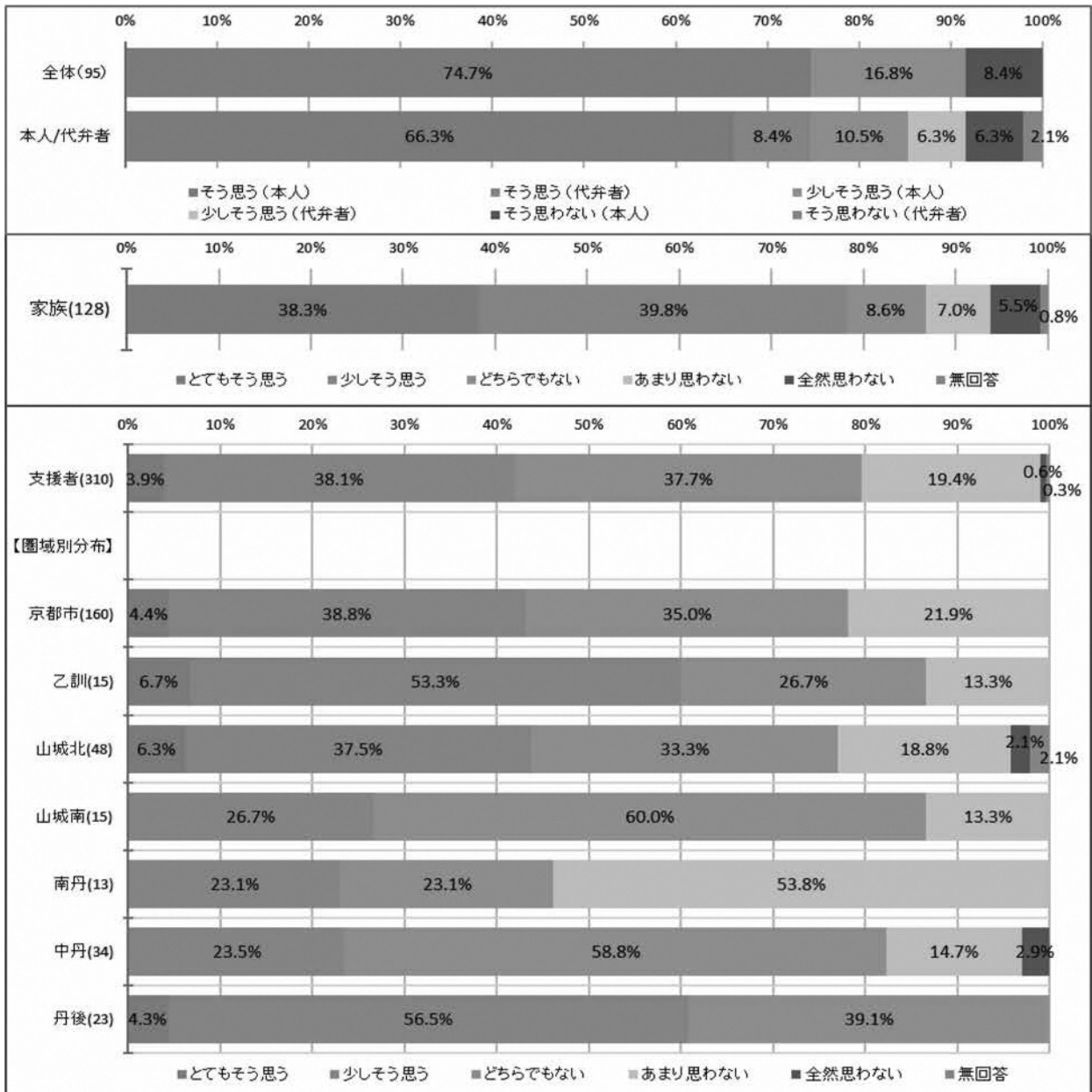
<評価項目⑱>

本人調査	私は、適切な情報を得ている
家族調査	本人は、認知症について適切な情報を得ている
支援者調査	認知症の人が、認知症について、適切な情報を得ている



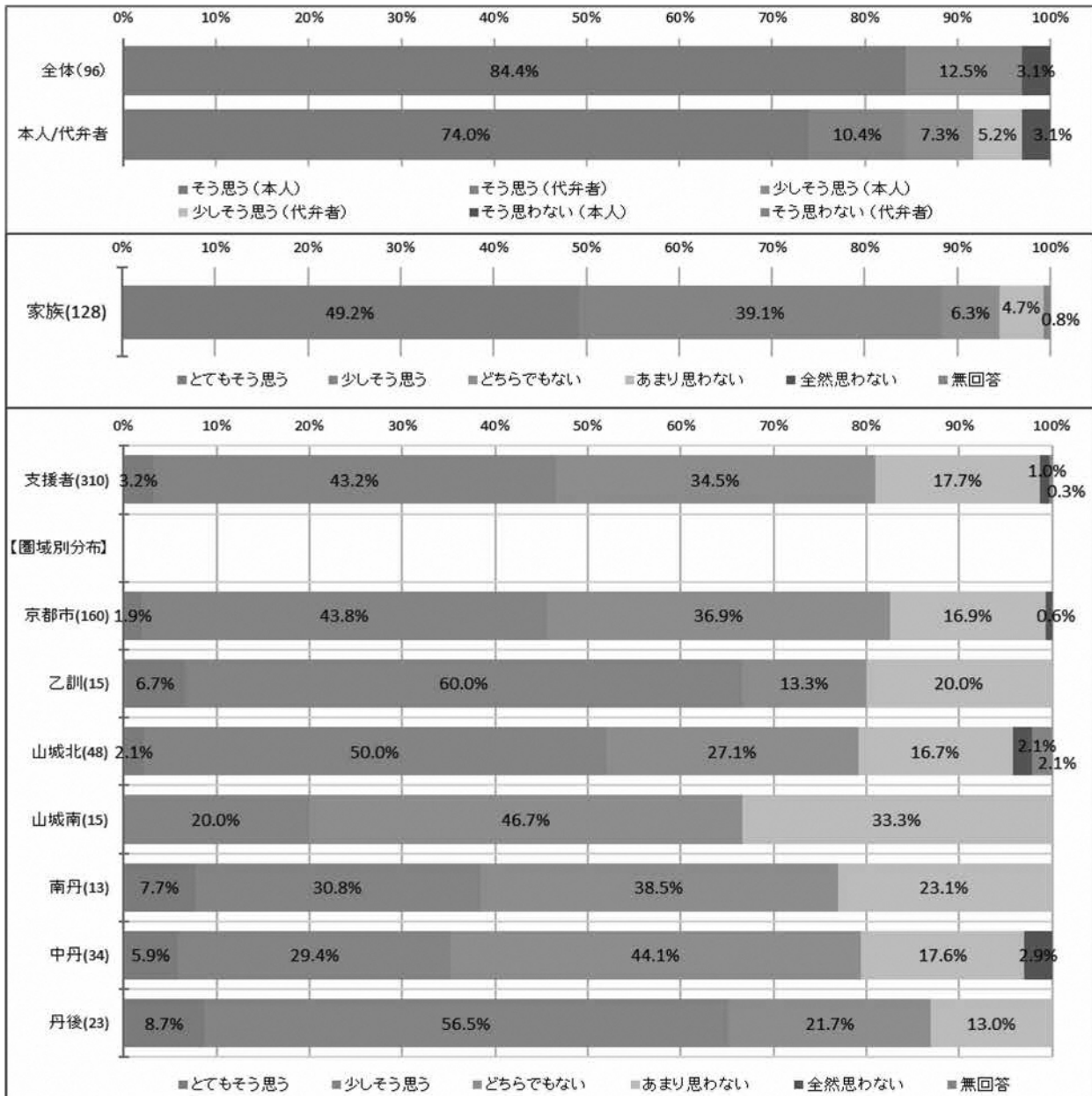
<評価項目⑱>

本人調査	私は、身近に何でも相談できる人がある
家族調査	本人の身近に何でも相談できる人がある
支援者調査	認知症の人の身近に何でも相談できる人がある



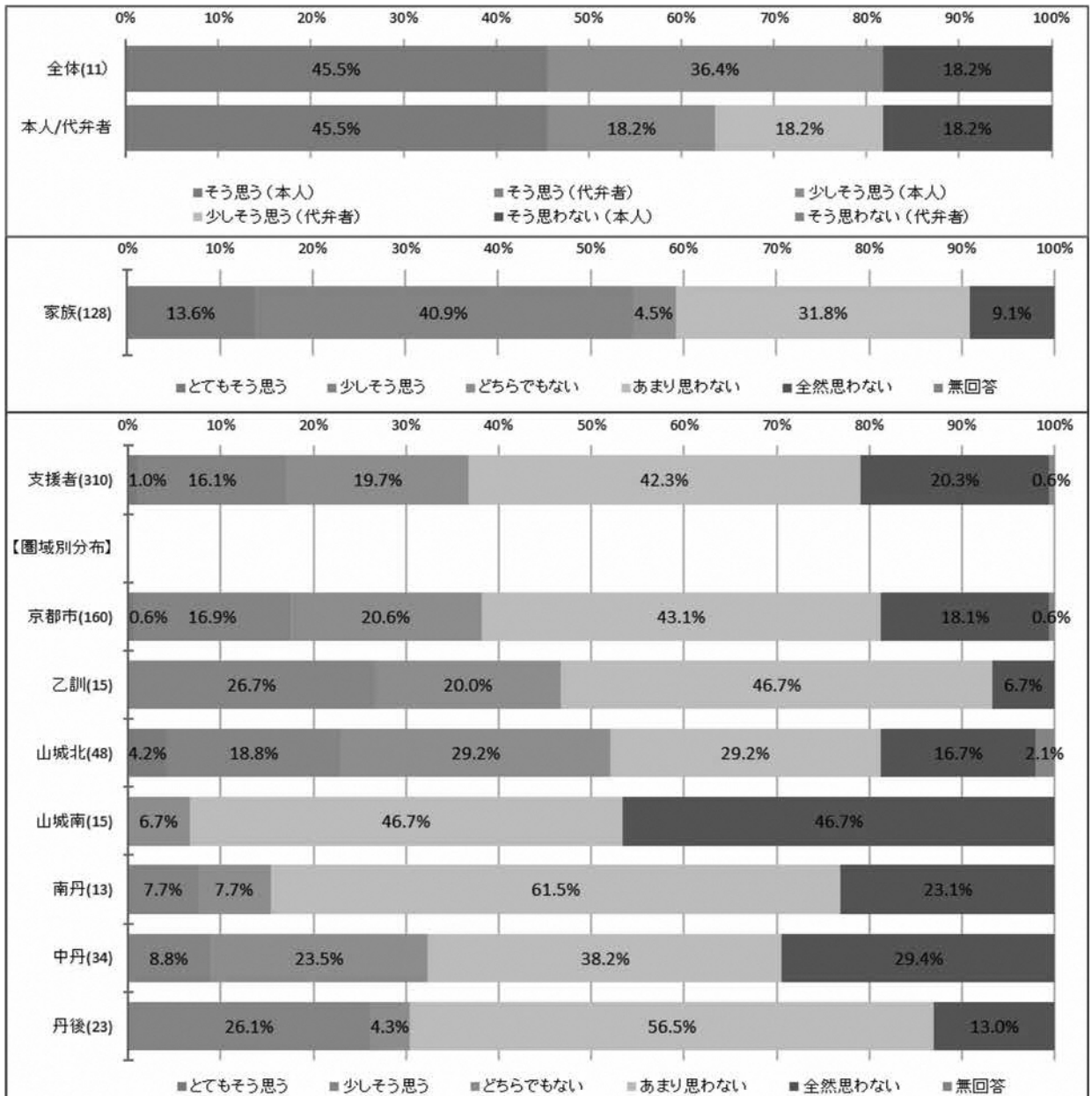
<評価項⑳>

本人調査	私には、落ち着いていられる場所がある
家族調査	本人には落ち着ける場所がある
支援者調査	認知症の人の落ち着ける場所がある



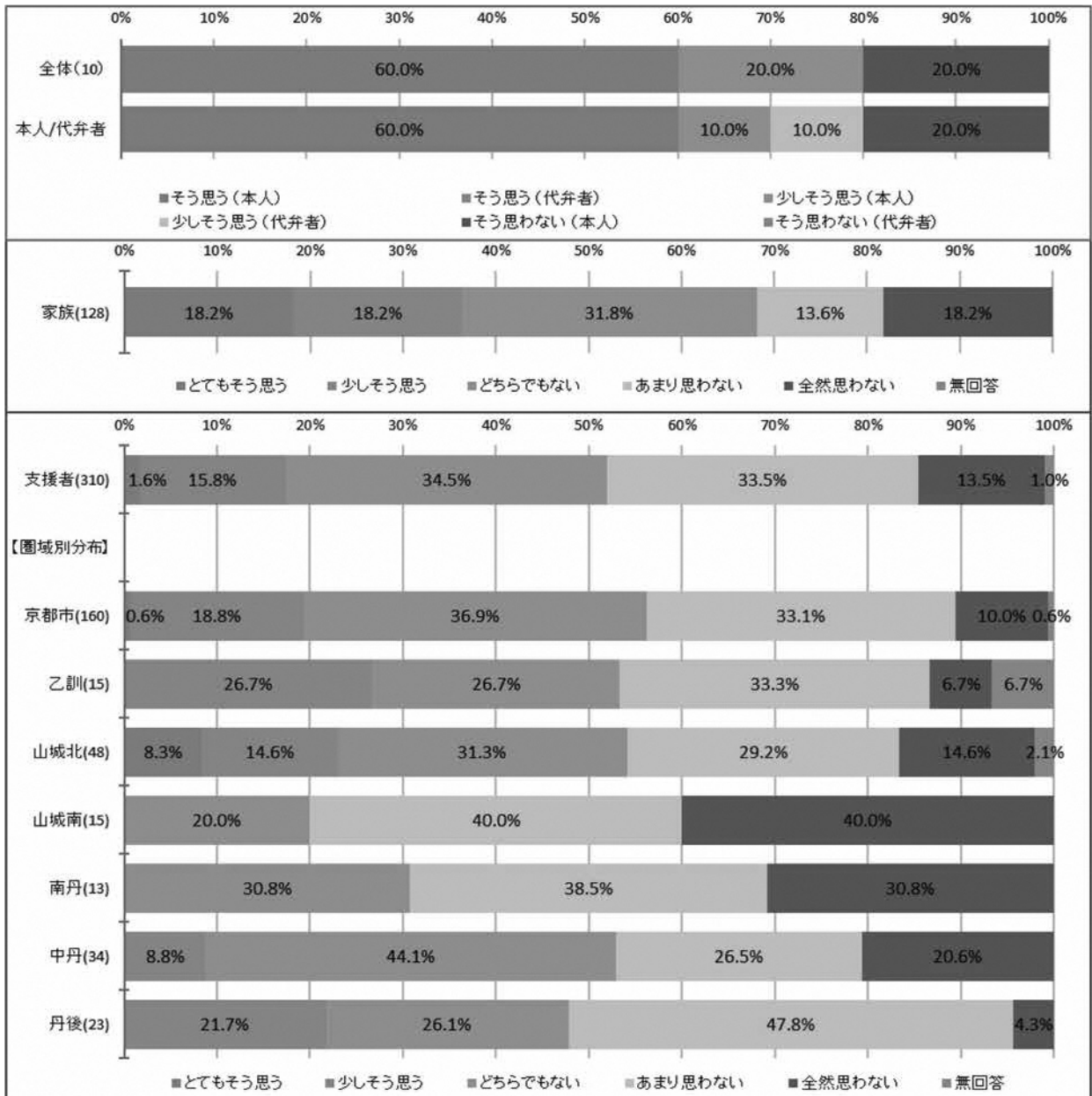
<評価項目①>

本人調査	【若年性認知症の方のみ】若年性の認知症の私に合ったサービスがある
家族調査	【若年性認知症の家族の方のみ】本人に合ったサービスがある
支援者調査	若年性認知症の本人に合ったサービスがある



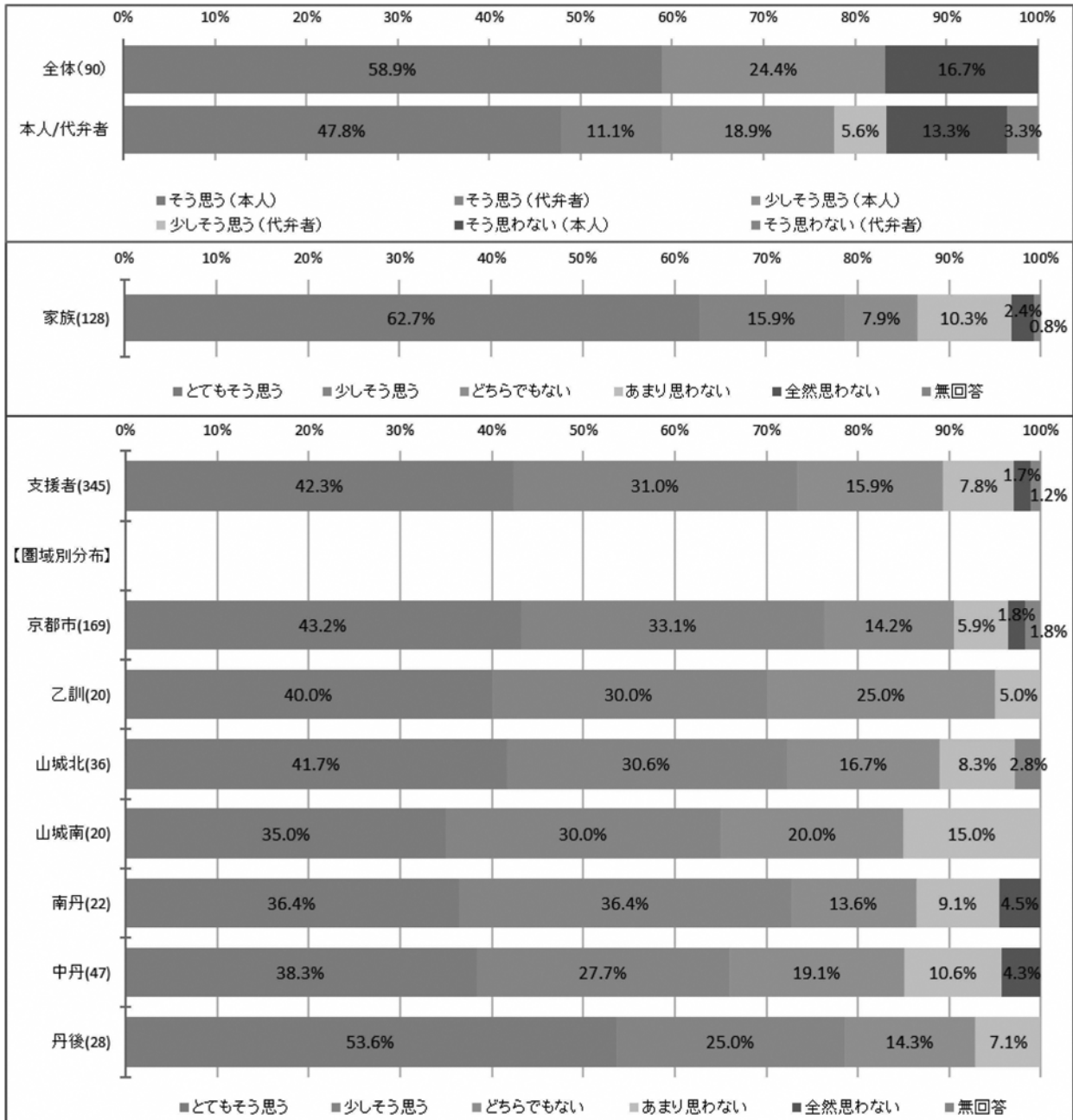
<評価項目②>

本人調査	【若年性認知症の方のみ】私に合ったサービスに意欲をもって参加している
家族調査	【若年性認知症の家族の方のみ】本人は、そのサービスに意欲をもって参加している
支援者調査	若年性認知症の本人が、そのサービスに意欲をもって参加している



<評価項目②③>

本人調査	私は、いま行われている認知症を治す研究に期待している
家族調査	あなたは、認知症を治す研究に期待している
支援者調査	認知症の人は、認知症を治す研究に期待している



V 10のアイメッセージ評価結果に対する新・京都式オレンジプラン改定 検討ワーキング意見

1 評価の意義と明らかになったこと

2017年に続いて、本人参加のもと、京都府内全域を対象とした「10のアイメッセージ」評価を実施したことは、これまでの京都の取組の成果である。また、本人・家族ミーティングの実施と合わせて、本人の意見を施策に反映するという仕組みを遂行できた意義は大きい。

一方、評価に参加した本人が2017年調査時と同程度の100人弱にとどまったことは、この6年間の認知症施策への本人参加における京都の現状を反映しており、今後、関係機関への周知や協力依頼を早い時期から行うなど、評価に参加できる本人を増やしていくことが重要となる。

また、評価23項目の内、⑤早期受診・診断後の受容支援、⑥将来の過ごし方、⑩社会貢献に係る項目の評価が本人・家族・支援者ともに依然として低くなっている。社会的に「認知症」について病名や症状などの知識は広がっていても、認知症を発症してからも社会参加や生きがいをもって自分らしく生活されている当事者がいることや、進行した際にどのようなサポートが受けられるのかを知る機会がまだ十分でない結果であると考えられる。

2 調査結果に対する評価・意見

(1) 本人評価と支援者評価の乖離

全体的に本人、家族、支援者の順で評価が低くなっていく傾向がみられる。理由としては、本人評価に参加した人達が、早い段階から支援に結びついた方が多くなる傾向があり、自分の言葉で回答ができる人達であることが一因と考えられる。

一方、支援者は、支援が十分でない、あるいは評価への協力が困難な方なども念頭に回答を行っていることから、評価が厳しくなったものと考えられる。

今後、第3次京都式オレンジプランに基づいて認知症施策を推進する中で、京都府のどの地域に住んでいても、誰から支援を受けているにしても、今回のような高い本人評価が得られることを引き続き目指していきたい。

(2) 達成状況

本人の回答では、ほぼ全ての項目において高い評価を得られているが、2(⑤、⑥)、4(⑩)の2項目については低調であり、この項目は家族・支援者の回答においても特に評価が低い。このことから、2(⑤、⑥)については、当事者の将来を見通すことの難しさの表れであると考えられる。また、4(⑩)については、当事者が主体的に思いを発し、社会が共に考える機会と、当事者の日々の活動などが社会貢献の意味を持っていることの意識の共有が依然不足していると考えられる。

また、多くのケースに携わる支援者の回答は全体的に評価が低く、「目指す社会」の実現には多くの課題が残されている。

3 前回調査（2017年）との比較から見えること

（1）本人評価と支援者評価の乖離

依然として落差はあるが、支援者評価は23項目のうち22項目で評価が高くなっている。それに対し本人評価は、9項目が上がり12項目が下がっていることから、両者の落差は確実に小さくなっているといえる。本人が描くプロフィールと支援者が描くプロフィールの乖離は、評価に参画できた本人集団と認知症母集団との乖離として読み解くことも可能である。「10のアイメッセージ」がかなえられた京都に近づくにつれて、両者の乖離は小さくなっていくはずであり、それは今後の指標の一つになると考えられる。

（2）家族評価

前回より上がったのが3項目で、下がったのが18項目と、前回と比較して評価が低くなっている。これは前回と今回の参加家族層の違いに由来するように考えられる。家族回答者の基本属性のうち介護度に注目すると、2017年時には本人調査参加者と家族調査参加者は同一家系の方が多かったが、今回評価では両者の介護度に差があり、家族だけが評価に参加された方が一定数を占めた。その辺りが、今回の家族評価の結果に影響していると考えられる。

しかしながら、認知症支援で家族の負担や役割が多くを占めている現状は2017年と比較しても良くなっているとは言い難く、家族のサポートにもさらに力を入れなければならない。また、前回の調査後に起きた新型コロナウイルスの流行により、社会活動が制約され、情緒的支援も不足し、必要な時に必要な支援が得られず、家族が大変な思いをしていたことも家族評価が低くなった一因と捉えることができる。

4 10のアイメッセージを実現するための方向性

I	認知症の理解も少しずつ進んできているが、関心のない方にどう目を向けてもらうか検討が必要。また、本人が地域でいきいきと活動できる場を作ると同時に、その情報発信が重要である。
II	早期受診することの利点を明確にし、情報発信していく必要がある。特に、アルツハイマー病の疾患修飾薬等の承認によって、早期診断・早期対応の流れは一層強化されていくと予測される。また、将来の過ごし方については、本人の環境や状態の変化に合わせた連続した支援体制や本人がどのように考えているのか聞く仕組みを整える必要がある。
III	医療・介護専門職への研修がある程度浸透してきているが、切れ目なく必要な時に適切な医療・介護が受けられるためには、医療・介護へのアクセスのし易さがより一層重要である。

IV	<p>「共生社会の推進」という観点から、地域において当事者が生きがいを持って社会参加・社会貢献ができる仕組みを作るためには、「仕事」「役割」といったキーワードを重視し、何かしらの評価や対価を得る活動にしていくことも重要な要素である。そのためには、個々が望む社会参加のあり方に沿ってサポートできる体制が必要であり、特に、家族以外に頼みやすい外出支援や活動支援のパートナー的存在、企業も含めた異業種での連携が必要である。また、通所介護事業所や小規模多機能事業所などの介護保険サービスにおいても、介護を提供することだけでなく、当事者のやりたいことができる社会参加や社会貢献活動を強化していくことが必要である。</p>
V	<p>この6年間で認知症カフェ等の居場所は増えてきているが、そこから趣味活動や交流などにつながる次の取り組みがまだまだ必要である。ボランティアだけに頼らず、地域の企業なども参加し、認知症になっても買い物へ出かけたり、趣味活動ができる仕組みが必要である。</p>
VI	<p>家族が認知症という病気を正しく理解し、希望を持つことが、初期からの切れ目のない支援（社会参加や生活の再構築）を容易にするので、十分な家族支援（本人・家族教室やピアサポートの場等の提供）が必要である。特に、支援につながるまでの情報不足やサポートの得られにくさ（相談のしづらさ）が依然として課題としてあるため、発症前後のサポートや必要な情報をできるだけタイムリーに受け取れる仕組みが必要である。</p>
VII	<p>早期の段階から、本人ミーティングの場等で、家族や支援者が本人の想いを聴く機会を広げていくことが重要である。また、人生の終末期の意思決定では、介護施設も関わる人が多いことから、介護施設等の専門職間の情報共有やアセスメント力向上が必要である。</p>
VIII	<p>サービスが多様化している中で、本人・家族が必要とする情報を必要な時に得られるような仕組みが必要である。また、地域包括支援センターやケアマネジャーの業務が逼迫している現状においては、認知症リンクワーカー養成研修修了者等を相談者として活用することも重要である。</p>
IX	<p>若年性認知症支援コーディネーターの配置やピアサポートの実施など、新・京都式オレンジプランの重点課題である「若年性認知症の方への支援の強化」が着実に実行されてきているが、まだまだ支援は各地域に行き届いておらず、より一層の取組が必要である。特に、「いつでも」「どこでも」「誰でも」支援に繋がれるためには、若年性認知症支援コーディネーターの配置やカフェ等相談機関における相談員の配置を拡充することや、窓口の周知徹底、つなぐ仕組みと機能の強化が必要である。また、合わせて認知症リンクワーカーの機能にも、もう一度焦点をあて直す作業が必要である。</p>
X	<p>認知症の治療に対する期待は高く、様々な研究に協力していくことが求められている。</p>

5 新たに必要な施策や取組

- 医療・介護関係者への研修や認知症サポーターの更なる養成に加え、地域住民や認知症の人の生活に関わる全ての職種等に対する認知症の普及啓発や理解促進
- 本人発信の機会拡大、施策や取組を本人とともに考えるなど、社会参加の更なる充実
- 若年性認知症当事者のそれぞれの状況に応じた支援を継続するとともに、高齢者の認知症とは異なる課題を意識した取組を推進
- 診断前後の空白期間をなくすための支援や相談窓口と地域連携体制の更なる充実、並びに、本人や家族の気持ちに寄り添った支援の促進
- 多様な関係団体の連携による認知症バリアフリーの地域づくり、認知症にやさしいモノやサービスの充実、家族以外のボランティアによる支援の促進
- とぎれない医療・介護サービスを受けられる仕組みづくりと、誰もが安心して医療や介護が受けられる環境整備

6 10のアイメッセージ評価の活用

評価の低かった項目について、調査協力者への理由の聞き取りや本人ミーティングで当事者の意見を伺う等により、今後取組むべき支援が何か継続的な分析を行うことができる。また、地域や属性別に見て差がある項目については、どのような背景・理由が考えられるか支援者等と意見交換することにより、今後の対策に活かすことが可能となる。

加えて、今回の調査によって当事者と支援者に対する10のアイメッセージ自体の周知が行われたと考えられる。今後、地域住民や医療・介護サービスの職員向けに10のアイメッセージを一層普及させていくことと合わせ、今回の評価結果を伝えていくことにより、京都府の現状・課題について誰もが認識し、それぞれが自分事として捉え行動に移すきっかけになるのではないかと期待される。

7 次回の評価に向けての課題提示

- 調査の実施にあたり調査協力者を広く設定したが、回答者数が想定よりも少数となった。データの正確性を担保するためにも、次回以降、関係機関への周知や協力依頼を早い時期から呼びかける等、地域の実践者を更に巻き込んでいく工夫が必要
- 支援者に繋がっていない孤立している認知症の人の回答を増やすことが求められる
- 2018（平成30）年に策定した10のアイメッセージのそれぞれの言葉について、見直しを行う段階に来ているのではないかと懸念される。また、調査の質問項目をより平易な文章に変えることが調査の正確な回答に繋がるのではないかと懸念される
- 適当な認知症の当事者をピックアップして聞き取りを行うのではなく、府内すべての地域で本人ミーティング・家族ミーティングが定期的に行われるようになり、その場で調査が行えるようになることを期待する

第二部

本人・家族の声を京都式オレンジプランに反映させるための
「本人ミーティング・家族ミーティング」

I 実施の概要

1 目的

「本人ミーティング・家族ミーティング」は、以下の二つを目的に行われた。

- ①本人や家族が感じている生活の困りごとや願いを率直に語り合い、語った内容をもとに、認知症にやさしいまちづくりについて施策のより良いあり方を検討し、改定プランに反映させる。
- ②今回の開催を契機に、府内市町村にさらに本人ミーティングの開催を広げ、各地域で本人が思いや意見を語り合うことによって、本人同士の支え合い、初期支援、とぎれない医療・介護や、より良い地域づくり、施策づくりに展開していく流れをつくる。

2 主催

京都府、京都地域包括ケア推進機構

3 協力機関（50音順）

岩倉地域包括支援センター、医療法人医誠会東舞鶴医誠会病院、宇治市、宇治市福祉サービス公社、亀岡市、北宇治地域包括支援センター、京丹後市、京都市、京都市長寿すこやかセンター、京都市認知症疾患医療センター北山病院、京都認知症総合センター、京都府立洛南病院、京都文教大学、高齢者総合福祉施設神の園、社会福祉法人あしぎぬ福祉会、社会福祉法人大樹会、精華町、認知症の人と家族の会京都府支部、舞鶴市、各圏域保健所 等

4 実施地域

	人口（2022/3/31 現在）	高齢化率（2022/3/31 現在）
丹後圏域（京丹後市）	91,831 人	38.5%
中丹圏域（舞鶴市）	186,584 人	32.5%
南丹圏域（亀岡市）	131,104 人	33.4%
京都・乙訓圏域（京都市）	1,538,604 人	28.4%
山城北圏域（宇治市）	429,972 人	30.2%
山城南圏域（精華町）	123,894 人	26.5%

※令和3年度介護保険制度の実施状況 資料1「高齢者人口と高齢化率【市町村別】」より

5 方法

フォーカス・グループ・ディスカッション¹

¹ あらかじめ選定された研究関心のテーマについて焦点が定まった議論をしてもらう目的のために、明確に定義された母集団から少人数の対象者を集めて行うディスカッション。

千年よしみ・阿部彩（2000.9）「フォーカス・グループ・ディスカッションの手法と課題：ケーススタディを通じて」『人口問題研究』国立社会保障人口問題研究所 56(3),P.56-59

【フォーカス・グループ・ディスカッションにおける質問項目】

質問項目	本人	家族
①うれしかった出来事、楽しかった体験を教えてください	○	○
②困ったなと感じたこと、悲しいなと感じた体験を教えてください	○	○
③やってみたいことはどんなことですか？	○	○
④行政や医療機関、介護事業所などへお願い、伝えたいことはどんなことですか？	○	○

6 実施場所

本人ができるだけリラックスできる環境（場所）を、地域ごとにキーパーソンと本人、家族、支援者が相談して決定（本人のなじみの集いの場など）

7 対象者

本人 各地域5人程度（3人以上）

（認知症疾患医療センター受診者、認知症カフェ利用者、若年のつどい参加者、市町村や地域包括支援センターからの推薦、10のアイメッセージ本人評価者から、参加したい人を募った）

8 実施の手順

（1）参加者（本人・家族）の決定

認知症疾患医療センター、認知症カフェ、認知症の人と家族の会、10のアイメッセージ評価協力者等から参加者を募集

（2）ミーティングの準備

- ・本人の記録様式「ひらめきノートの作成」
- ・本人の日々の生活の記録（生活時々での困りごと、希望等）
- ・ファシリテーター、サポーターの決定
- ・実施場所・配席の決定

（3）開催協力者交流会の開催

ミーティングの実施にあたり、実施内容や方法、実施にあたっての工夫点や留意点を共有するため、各開催地の関係者の交流会を開催

(4) ミーティングの実施

集合、ミーティングの目的・方法の説明、討議（2時間）、記録、内容のフィードバック、確認・補強、同意の取得

(5) 開催協力者報告会の開催

ミーティング実施地域の関係者が今後の参考とするとともに、府内各地でミーティングの開催促進のきっかけとなるよう、実施地域以外の関係者も交えて、実施したミーティングの結果の共有や意見交換を行う報告会を開催

(6) 意見解析

発言内容を10のアイメッセージごとに分類し、本人・家族の意見を解析

9 地域別の実施要領

上記「8 実施の手順」に従い、それぞれの圏域において【図表6】のような要領でミーティングが行われた。

【図表6】

		丹後圏域（京丹後市）	中丹圏域（舞鶴市）
協力機関		社会福祉法人あしぎぬ福祉会、 京丹後市	①医療法人東舞鶴医誠会病院、 舞鶴市 ②社会福祉法人大樹会、舞鶴市
参加者の属性		京丹後市内の認知症カフェ利用者等	舞鶴市内の認知症カフェ利用者等
当日	場所	ほっとカフェ咲來楽	①i カフェ虹色 ②カフェ「みんなの家」
	日時	<本人> 2023年8月19日（土）	<本人> ①2023年7月27日（木） ②2023年8月25日（金）
	（延べ）参加者	本人：2人 家族：2人 支援者（関係者含む）：8人	本人：12人 家族：4人 支援者（関係者含む）：29人

		南丹圏域（亀岡市）	京都・乙訓圏域（京都市）
協力機関		亀岡市、 認知症の人と家族の会京都府支部	①岩倉地域包括支援センター、 京都市認知症疾患医療センター 北山病院、京都市 ②～④認知症の人と家族の会 京都府支部 ⑤京都市長寿すこやかセンター、 京都市 ⑥オレンジカフェコモンズ
参加者の属性		亀岡市内の認知症カフェ利用者等	①岩倉地域包括の認知症カフェ利用者等 ②～④認知症の人と家族の会京都府支部会員等 ⑤京都市長寿すこやかセンターの認知症カフェ利用者 ⑥オレンジコモンズの認知症カフェ利用者
当日	場 所	認知症カフェみのり 交流会	①チームFCいわくら ②若年のつどい ③伏見井戸端会議 ④一般のつどい ⑤おれんじサロンひと・まち ⑥オレンジカフェコモンズ
	日 時	<本人> 2023年6月27日（火） <家族> 2023年7月25日（火）	<本人> ①2023年7月29日（土） ⑤ 8月9日（水） ⑥ 8月13日（日） <家族> ②2023年7月16日（日） ③ 7月22日（土） ④ 8月20日（日）
	（延べ）参加者	本人：1人 家族：3人 支援者（関係者含む）：16人	本人：13人 家族：19人 支援者（関係者含む）：60人

		山城北圏域（宇治市）	山城南圏域（精華町）
協力機関		京都文教大学、宇治市福祉サービス公社、京都府立洛南病院、京都認知症総合センター、宇治市、北宇治地域包括支援センター	高齢者総合福祉施設神の園、精華町
参加者の属性		京都認知症総合センターの認知症カフェ等利用者	精華町の本人ミーティング参加者等
当日	場 所	京都文教大学 (れもねいどグループミーティング)	地域センター花笑み
	日 時	<本人> 2023年6月20日（火） 7月18日（火） <家族> 2023年8月22日（火）	<本人> 2023年7月9日（土）
	(延べ)参加者	本人：10人 家族：20人 支援者（関係者含む）：112人	本人：4人 家族：4人 支援者（関係者含む）：8人

※ミーティング参加人数

合計 327人（うち、本人 42人、家族 52人、支援者（関係者含む） 233人）

10 分析方法

フォーカス・グループ・ディスカッションによって得られたデータの分析は、以下の手順で質的分析を行った。

- ①録音記録を文字化する。
- ②浮かび上がってくるテーマを探しながら全てのデータを読み、仮のコードを付与する。
- ③上記の②で繰り返し浮かび上がったテーマについて、コードをまとめ、どのようなカテゴリーが形成できるか考える。これらの作業を通じて、仮のコードの修正や変換をする。
- ④その後、似たような特徴を持つ概念のグループにコードをまとめて、カテゴリー化する。

1.1 倫理的配慮

フォーカス・グループ・ディスカッションの実施にあたり、発言内容を録音し、録音した内容はそのまま文字化することについて参加者の同意を得た。フォーカス・グループ・ディスカッションで得られたデータ及び音声から起こされたテキストデータは匿名化して分析し、終了後、録音データとテキストデータは厳重に保管する。

(参考) 2017年実施の概要

主 催：京都府、京都地域包括ケア推進機構

協力機関：宇治市、宇治市福祉サービス公社、京都府立医科大学、京都府立洛南病院、
京都文教大学

実施地域：北部（丹後圏域）、南部（宇治市域）

方 法：フォーカス・グループ・ディスカッション

期 間：2017（平成29）年7月から同年8月まで

実施要領：

		北部（丹後圏域）	南部（宇治市域）
実施体制		丹後保健所、府立医科大学附属病院、 府立医科大学附属北部医療センター	京都文教大学、府立洛南病院
参加者の 属性		認知症疾患医療センターの受診者と その家族	認知症疾患医療センター（デイケ ア）の利用者とその家族等
当 日	場 所	府立医科大学附属北部医療センター	京都文教大学
	日 時	<本人・家族> 2017年8月23日（水）	<本人>2017年7月4日（火） <家族>2017年8月28日（月）
	（延べ） 参加者	本人(2グループ)：6人 家族(1グループ)：4人 ファシリテーター：3人 パートナー、サポーター等：20人	本人(1グループ)：6人 家族(1グループ)：5人 ファシリテーター：2人 パートナー、サポーター等：51人

Ⅱ 地域別「本人ミーティング・家族ミーティング」の詳細と評価結果

- 1 丹後圏域（京丹後市）、中丹圏域（舞鶴市）、南丹圏域（亀岡市）、
京都・乙訓圏域（京都市）、山城南圏域（精華町）

本人ミーティング・家族ミーティング開催の詳細は【図表6】(P. 61-63) のとおり

2023年に、京都・乙訓（6グループ）、山城南（1グループ）、南丹（2グループ）、中丹（2グループ）、丹後（1グループ）で開催された本人・家族ミーティング内の本人と家族の言葉を抽出して分析し、カテゴリー化した。2017年の分析時と同様に、新・京都式オレンジプラン10のアイメッセージを示すカテゴリーに分類し、全地域を集約した全体の評価と2017年の結果を比較した考察をここに述べる。

ただし、2017年とはミーティング数や参加者数が異なるために厳密な差とは言い切れないが、当時とは異なるカテゴリーが多く分類されたのは、時代の変化と新・京都式オレンジプランなどの様々な認知症施策の取り組みの結果であることが示唆される。そして、新たな課題も多く示されたと同時に、認知症の人に対する新たな視点やこれからのアイメッセージへの提言が示される結果であった。

以下、カテゴリーを【 】, サブカテゴリーを『 』、本人の言葉を「 」にて示す。

I 10のアイメッセージ

- 1) 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。
- 6) 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされているので、気兼ねせずにすごしている。

1 2023年

アイメッセージが示すような【家族の理解とサポートが得られている実感】を持って【現在の生活への満足感】が得られている本人・家族がいた一方で、【相談できる家族が不在】や夫や妻という身近な配偶者である【家族から理解が得られていない思い】を抱えている本人もいた。この背景には、【認知症の悪いイメージ】や、【認知症のために障害された日常生活と増える介護】を担う【高齢化する家族】と【家族の健康問題】が影響することが考えられる。

ミーティングに参加した家族は、【認知症のために障害された日常生活と増える介護】や【不穏・易怒性・妄想への対応に困る】日々の中で、【見守りの限界】や『離職』『仕事の制限』に繋がった【家族生活への影響】、【家族の共同とその難しさ】が語られ、『家族のストレス』や『悲しみ』などの【家族の心情】が吐露されていた。その一方で、【本人の思いへ

の着眼】して【体調への気づかい】を持って【本人との付き合い方の工夫】、【介護に自身を持つ】家族もいて、【家族のストレス対処法】を実践するなどポジティブな面を語る家族もあった。

2 2017年との比較

2023年においても、【認知症の悪いイメージ】や『近所・友人との良い関係性』がある半面『近所の人に求めないサポート』、【周囲への認知症の告白と伝えるタイミングへの迷い】が2017年と同じく抽出された。認知症に関する知識が普及しているが、周囲のすべての人から理解が得られるにはまだ課題が多いと考えられる。

2023年では家族の参加者が増えているために家族に関するサブカテゴリー・カテゴリー数が増えているが、家族が様々な思いや負担を抱えていることと、その一方で本人を理解して配慮していこうとする姿が明らかになったと考える。

II 10のアイメッセージ

2) 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。

1 2023年

【症状の自覚】から受診し、病名を知った後の【家族の認知症への気づきと告知への迷い】や、家族の『認知症の否認』や本人が感じた『認知症とともに生きることの難しさ』など【認知症への葛藤】を抱え、『進行・悪化への不安』や『将来の覚悟』を【考える将来】を経て、【認知症の受容】というプロセスが示された。

これらの経験を踏まえて、『発症時の相談先・方法がわからない』『医師が他機関とスムーズに連携する』といった【早期に適切な診断・支援を受ける上での課題】や、『介護度に応じて見通しを持つ』や『受診・備えのすすめ』といった【認知症への理解の広がりや発症後の備え】が提言されていた。

2 2017年との比較

2023年の結果に、【認知症の受容】、【早期に適切な診断・支援を受ける上での課題】、【認知症への理解の広がりや発症後の備え】が抽出されたのは、認知症の知識と理解が広まってきたことで、葛藤しながらも認知症を受け入れ、自分たちの経験を発言できるようになった、そして今回のミーティングのように発言できる場がある、ということを示していることが考えられる。

Ⅲ 10のアイメッセージ

- 3) 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。
- 8) 私は、京都のどの地域に住んでいても適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

1 2023年

【受けている医療】に対する【治療・薬剤・ケアへの関心】【医療への希望】を持ち、コロナ禍の影響による【面会制限による影響】があった。【住み慣れた場所の暮らし】を護るために、【医療への期待】や【介護サービス充実への期待】、【行政への希望】を持っていた。これらのカテゴリーが、アイメッセージ3)と8)を満たすために医療・介護・行政に示唆を与えてくれると考えられる。

また、家族は【在宅介護を維持】するための【受けている介護サービス】、そして家族自身の『努力』を重ねながら、【在宅介護再開への不安】や【在宅介護の限界】を感じていた。そして、施設への『入所を決意』した家族は『入所中の本人の良い表情を』を見て、【施設入所の満足感】を感じている家族もいた。

2 2017年との比較

【住み慣れた場所の暮らし】は2017年に分類されていたが、2023年ではそのための具体的な思いや要望が多く増えている。これは知識と経験が増えたことで具体的にイメージできるようになったことが考えられる。

2017年は本人によるカテゴリーが中心だったが、2023年は家族のカテゴリーが大幅に増えている。これも他のアイメッセージの結果で述べているように、認知症の人の増加に伴い介護する家族が増えてきていることと、今回の本人・家族ミーティングに参加する家族が増えたように家族が声をあげる場が増えていることが考えられる。

Ⅳ 10のアイメッセージ

- 4) 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。
- 8) 私は、京都のどの地域に住んでいても適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

1 2023年

【失った誇り】には『主体的だった自分』や『引退』後の『喪失感』があった。『人に迷惑をかけることの気がり』や『他者と関わることの煩わしさ』を感じたり、『話す人がいない』という【他者からの孤立】があった。そのカテゴリーの中の『大勢が集まる場所に感じる苦手さ』では、集まる場所に同じ男性がいなかったり自分よりも高齢者ばかりだと行かない選択をすることが語られていた。

しかし、その半面、【他者との交流の継続】があり、『地域での役割がある』や『生きがいになっているボランティア活動』に参加して【能力の範囲での地域貢献】がなされ、それぞれの居場所を持っていた。

2 2017年との比較

2023年に、認知症の人の【能力の範囲での地域貢献】があったことが大きな変化だと考える。認知症の人の社会参加が進んだと考えられる。

それ以外のカテゴリーは共通しているが、中でも【求める情報】の『インターネットからの情報収集』、『アドバイスへの希求』はこれからも適切な情報を求められていることであり、家族からの『専門識者から知識・技術を得る』や、「実際に介護している者に伝えてくれる講座」や「(初歩ではなく)中の上くらいのレベル(の介護技術を教えて)欲しい」といった『ベテラン介護者向けの医学・介護技術関連の講座がほしい』という要望は、今後の認知症施策に活かせると考える。

V 10のアイメッセージ

5) 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんでいます。
している。

1 2023年

加齢による難しさや『身体機能の低下』による【活動のしんどさ】があるものの、『家事・買い物』や『畑仕事』といった【継続している活動】や、スポーツ・旅行・手芸・陶芸・登山などの多彩な『好きな事』や『やりたいこと』・『趣味』といった【楽しみになる活動】が語られていた。認知症の人が活動的になっているのに対し、家族からは活動の『レベルが合わず飽きる・嫌気がさす』場合や刺激と休養のバランスが課題と語られており【適切な活動・休息を考慮する必要性】が指摘されていた。

一方で、免許を返納したがバスの本数の少なさやタクシー代が高い、自転車で行くのも大変になる買い物難民など、自分で【車を運転できない不便さ】が語られていた。

2 2017年との比較

ほぼ共通したカテゴリーであり、【楽しみになる活動】はミーティングの参加者の数だけ増えていたが、加齢による【活動のしんどさ】は共通していた。

2017年には本人だけのカテゴリーだった【車を運転できない不便さ】は、2023年では家族からもあがっていた。家族の高齢化も背景にあることが考えられる。また、バスの少なさだけではなくバス停まで行くのも大変なことも話されており、特に地方の高齢者の交通手段の確保は2017年に引き続き急務な課題といえる。

VI 10のアイメッセージ

7) 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されてすごしている。

1 2023年

喧嘩になるから話さない方が良いという本人の思いや、思いを十分に聞けなかった家族の『表現しない思い』という【本音と抑圧】がある中で、家族は『本人の意思への着眼』しながら本人の思いの【理解に努める】ことや【本人の意思確認】し、自分でできる範囲で介護しようと【在宅介護への決意】を持って最期を看取り、【看取りへの思い】が語られていた。

2 2017年との比較

このアイメッセージのカテゴリーにおいても、ミーティングに家族の参加が増えたことから、家族の思いを示すカテゴリーが増えている。しかし、2023年の結果でも、他のアイメッセージにおけるカテゴリーよりも少ないことから、認知症の人の終末期を視野に入れた取り組みが他の取り組みよりも少ないことが考えられる。

VII 10のアイメッセージ

9) 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって参加し、すごしている。

1 2023年

本人だけのカテゴリーである【主治医との関係性】には『薬をもらうだけの関係』、『処方箋への不安』、『浅いコミュニケーション』が含まれており、『できる方法の助言』を求めている若年性認知症の人にとって、主治医とのもっと近い関係性が重要であることが示されている。

また、本人は【家族によるサポート】を得られており、【相談支援とつながり適切な支援が得られた】家族はあったが、本人にも家族にも【求める支援】があり、【初期の支援不足による家族の困難】、【居場所・活動への支援不足】、【当事者・家族が集う場の重要性】、【主介護となった配偶者の状況】、【就労支援の対応】は、若年性認知症の人に対する急務となる支援と考える。

2 2017年との比較

2017年の結果は、【介護サービスの不足】という1個のカテゴリーと2個のサブカテゴリーのみであった。一方、2023年の結果は15個のカテゴリーと60個のサブカテゴリーというように、カテゴリー数・サブカテゴリー数が大幅に増えた。

これらの結果が得られた第1の理由として、若年性認知症の本人や家族の参加者が増え

たことがあげられる。その他に、【相談支援とつながり適切な支援が得られた】ことや、【就労支援の対応】・【求める支援】のように、若年性認知症を取り巻く環境が変化してきている一方で様々な課題も明らかになっていることが考えられる。

※10のアイメッセージ10)は該当したカテゴリーはなかった。

VIII 今後の展望

2017年のミーティングにはなく、サービスやサポートを受けて理解されるだけの存在の認知症ではない、主体的に生きていく力を感じさせるカテゴリーが分類されたため、新たにアイメッセージが必要と考えられるカテゴリーとして別個にまとめた。

本人の言葉から分類されたカテゴリーである、『私は私』『自分を保つ工夫』『自ら行動する』といった【自分自身で保つ自分らしさ】は、認知機能の低下によって自分が自分でなくなってしまう感覚を恐れるのではなく、現在持っている自分自身の力を発揮し続ける強さが感じられる。この強さは、認知症になったからこそ感じる『当たり前のことができる幸せ』を感じられる心や身体、人生は自分のものとする『主体的な人生』を歩んで逆境を跳ねのける力である『レジリエンス』を持っているからこそ、この強さを持っているのだと考えられた。

若年性認知症の人から「アイメッセージに対してこれパッと全体を見てみると、どうしてもそれは、仕方がないのかなとは思いますがやっぱり認知症のある人＝ケアされる対象っていうかね、保護されるものであって、そうやってその理解されるであるとか、医療のあれを受けるとかっていうのが、いろいろあって。」(本人の言葉)という言葉があったが、『過保護な扱い』や『理想過ぎる社会の姿』『メッセージへの意義』などの【アイメッセージの分かりにくさ】と、『就労を含む社会参加』や『本人委員の参画』などの【10のアイメッセージへの要望】が提言されている。

これらの結果は、認知症の人や家族に対する介護の課題や不足するサービス・制度がまだまだある一方で、認知症の人は保護されるだけの存在ではなく、主体的に生きる存在であることを示すと考える。したがって、これからのアイメッセージには、若年性の認知症の人が提言した『本人委員の参画』のような認知症の人が本当の意味で主体に考えられたものが含まれることが重要と考える。

占部美恵（京都府立医科大学医学部看護学科・講師）

福田弘子（京都府立医科大学医学部看護学科・学内講師）

松尾綾子（京都府立医科大学医学部看護学科・助教）

2 山城北圏域（宇治市）

本人ミーティング・家族ミーティング開催の詳細は【図表6】(P. 61-63) のとおり

本人ミーティング、家族ミーティングでの本人・家族の発言、および本人・家族から今回の評価・提案のために提出された文章を分析した。

以下、分析結果のまとめを、課題と提案の形で提出する。【 】内は分析から生成されたカテゴリー、「 」内は本人の言葉、『 』は関係者から出たキーワードを示す。別資料の本人・家族の生の声も、ぜひご参照いただきたい。

I 10のアイメッセージ

- 1) 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。

「認知症の診断を受けたとき、人生が終わった気がした」「認知症の人は疎通が取れず、お世話されている、向こう側にいる人」という【認知症のネガティブなイメージ】を、自分自身が持っていた、それでなかなか受け入れられず、仲間に入れなかったという気持ちが、本人から語られた。

そのような本人が場との出会い・仲間との出会いを契機に、【先達の姿を見て認知症のイメージが変わった】【場との出会いから認知症の仲間に入れた】という経験が語られた。その中で【認知症を特別視しない】姿勢が生まれ、【認知症をオープンにした社会参加】につながっていった。

このように、先を歩く人が場を開き、そこで新しい出会いがあり、さらにそこから新しい場と出会いが生まれていく。場の力と出会いの力によって、認知症の疾病観が変わり、認知症とともに生きる生活／人生の再構築が可能になっていくプロセスが大いに語られた。

認知症をオープンにしている当事者は、場との出会い・仲間との出会いを契機に、仲間から周囲へ理解を広げるようにしておられた。当事者が認知症とともに生きる経験を語り、認知症の疾病観が変わり、地域での認知症理解が進めば、認知症をオープンにして社会参加できる方々が増えてくる、という好循環が生まれる。

認知症の正しい理解が進むためには当事者の社会参加が必要で、認知症を持った一人ひとりの人と接する中で【認知症の人の個別性・多様性】が理解され、当事者の個性や希望が尊重され、【できることへの見守り、できないことへの支え】が実現していく。

そのような周囲の認知症の理解の進んだ場では、立場や世代を超えて、認知症を持ちながらも診断前と同様／診断前より活動的にすごしている状況が語られた。2016年に始動した

宇治市認知症アクションアライアンスれもねいどは、そのような認知症にやさしいまちづくりの基盤になっている。

II 10のアイメッセージ

2) 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。

職場で認知症状による支障が出てきたが、家庭では支障がない段階で受診し、なかなか診断がつかなかった時期の【診断までの苦悩】が語られた。さらに、【診断後に支援につながるまでの苦悩】では、認知症と診断された後の不安や苦悩が語られている。認知症という病気がよくわからず、困惑や不安を抱えながら、それまでの周囲とのつながりが失われ、孤立・孤独に陥っていく様子が伺われる。精神的にもしんどい時期で、最初の支援につながるのが難しい（第1の入口問題）。

しかしながら、この6年の間に『診断と支援とのタイムラグが長い』という『早期診断・早期絶望』の状況はずいぶん改善してきた。【早期診断・支援を受けることができた】ことへの感謝や、【認知症の理解と将来に向けての過ごし方】を進めて来られているという声も多く聞かれるようになった。そのような『診断と支援をつなげる取組』として大きな存在だったのは、相談員・認知症コーディネーター・若年性認知症支援コーディネーターのような、【リンクワーカー】である。

【診断後に支援につながるまでの苦悩】からも、リンクワーカーに求められるものとしては、単に資源を紹介するようなコーディネーター的な役割だけではなく、本人や家族の気持ちに寄り添い、精神的・心理的な支えとなり、それぞれの方の個別性を理解しながら、認知症とともに生きる生活の再構築と一緒に考えていくような態度が求められる。そのような支援が具体的に語られた。

診断前も診断後も、孤立に陥りがちな当事者が必要な支援につながっていくためには、仲間や支援者との出会いが必要になる。とりわけ、当事者同士の出会いが最初のハードルを下げるという当事者の経験があり、【当事者による相談窓口】の実践による経験が語られた。このような出会いが入り口となり、【仲間との出会い・居場所・活動の場（ピアサポートの場）】につながっていくことが、当事者が認知症とともに生きる生活の再構築を行なっていくために必要と考えられる。

前回2017年の本人・家族ミーティングから6年。この間に、京都認知症総合センター・常設カフェ（早期支援や地域とのつながり）、オレンジドアノックノックれもん（当事者同士の出会いの窓口）、当事者の個性を活かした多様な趣味やレクリエーションの場、農園や作業工房での当事者による社会参加や就労の場（ピアサポートの場）、本人・家族・支援者教

室(認知症の理解の促進)、ミーティングセンタープログラム(本人と家族の一体的支援)、そして若年性認知症支援コーディネーターなどが実現し、このメッセージ2に関しては大きな進展があった。

今後の課題としては、そのような場に『だれでも』(独居の方を含む)・『どこでも』(地域格差の是正)つながれるようにしていくことが挙げられる(『だれでも・どこでも』)。また、診断後、本人や家族のプロセスに寄り添って支援をしていくリンクワーカー(認知症コーディネーターや若年性認知症支援コーディネーター)の存在の認知を広げるとともに、そのような存在を量・質ともに充実させていくことが挙げられる(『リンクワーカーの充実』)。

III 10のアイメッセージ

3) 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。

【かかりつけ医の必要性】では、認知症になると自分での体調管理が難しくなるが、かかりつけ医がいて定期的に受診していれば安心という声が上がった。【介護と医療の連携の必要性】では、デイサービスと医療の連携の必要性が語られた。

認知症になっても住み慣れた場所で暮らし続けるためには、【医療と介護にとどまらない地域の支援の必要性】があることも語られた。

この6年の間に京都認知症総合センターができ、医療と介護をワンストップで提供するとともに、常設カフェを通して地域(の支援)とつながっている。一つのモデルである。

IV 10のアイメッセージ

4) 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。

5) 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんですごしている。

認知症の発症・診断後、本人や家族は、それまでの周囲とのつながりが失われ、社会から孤立した状態に陥りがちである。個として不安・孤独と直面した当事者が、再び希望と自信を取り戻していくためには、【仲間との出会い・居場所・活動の場(ピアサポートの場)】が重要であることが語られた。【仲間と一緒に】交流しながら、【話ができる場】ができ、【やりたいことをやる】活動へと発展していく。そのような活動が【人生の充実】につながる。

そのような場につながり、仲間との出会いを通して、【地域の一員として社会参加】している様子が語られた。そのような社会参加の場があることで、【社会貢献】への意欲が高まり、【就労の場】としてのカフェ、作業工房、農園での活動に発展し、それが【生きがい】につながっていく。

前回 2017 年の本人・家族ミーティングの際には、当事者の個別性に合わせた場が求められていたが、宇治市認知症アクションアライアンスれもねいど事業をはじめ、この 6 年の間に**当事者の個性や希望を活かした多様な趣味やレクリエーションの場・就労の場**が展開してきた。れもんカフェに加え、常設型カフェほうおうやミーティングセンタープログラムも実現した。

生活圏域ごとに【歩いて行ける居場所・活動の場】も求められているが、行政主導の事業に加え、当事者を中心とした地域住民が主体となって、地域包括と一緒に卓球の会を立ち上げ、それが住民主体型の居場所・活動の場に発展したモデルケースも語られた。そのような場が増え、つながっていけば、認知症にやさしい地域が実現していく。

V 10 のアイメッセージ

6) 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされているので、**気兼ねせず**にすごしている。

本人が認知症になったとき、家族は困惑・不安・孤独感といった【診断後の苦悩】に陥る。その中で相談員、認知症コーディネーター、若年性認知症支援コーディネーターといった【専門職による支援】、家族同士の相談ができるような【ピアサポート】の場につながることで、少しずつ前を向けるようになり、認知症とともに生きる【人生の再構築】ができるようになる。

れもんカフェや京都認知症総合センター常設型カフェ、本人・家族・支援者教室、ミーティングセンタープログラム、趣味やレクリエーションの場などは、家族が認知症とともに生活や人生を歩んでいく上で、とても大切な支えになっている。

認知症とともに生きる上で、医療面や経済面での【制度の支えと課題】も語られた。

家族には負担をかけているかもしれないという【本人の思い】も語られた。

早期からの【通所介護施設】利用が家族にとっても大きな支援でありつつ、【将来への不安】があり、次の介護サービス利用への移行に関する『第三の入口問題』と言えるようなことについても、今後の課題が示唆された。

VI 10のアイメッセージ

7) 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されてすごしている。

本人からは、【まだ話せているが、自分の思いを尊重されるよう、希望は持っている】ことが語られた。家族からは、【家族・介護スタッフによる本人の気持ちの理解】が語られた。認知症に伴う物忘れや認知機能の低下を補い、本人の思いを受けとめ、支えていくパートナーの存在が必要である。

【介護サービスの利用】にあたっては、本人が自らの思いをうまく言い表せない場合、本人の意思や好みを尊重しながら、【家族が決断】したことも語られた。

早期に診断・支援につながった（第一の入口問題）本人が、将来への備えとして早期に通所介護施設（デイサービス）を利用しながらも（第二の入口問題）、よりステージの進んだ【介護サービスへの移行】はどうなっていくかという悩みが、家族から語られた。『**第三の入口問題**』と言えるような、今後の課題が示唆される。

VII 10のアイメッセージ

8) 私は、京都のどの地域に住んでいても適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

宇治の当事者グループの方々は、ご自身たちが恵まれた状況にありながら、宇治市内でも、京都の他の地域でも、まだまだそのような状況にないことを認識され、【**どの地域でも適切な情報が得られる必要性（どこでも）**】を語られている。もちろん、情報だけではなく、相談できる存在、【**身近で相談できる環境の必要性**】がある。とりわけ、【**一人暮らしの方への支援の必要性（だれでも）**】は大きな課題である。ご自身の経験から、生活圏内で近所の歩いて行ける距離に【**安心できる居場所の必要性**】というメッセージも語られた。

この6年の間に、先駆事例と言えるような、当事者の個性や多様性を活かした様々な居場所や活動の場ができていますので、そのような場に『だれでも』（独居の方を含む）・『どこでも』（地域格差の是正）つながれるようにしていくことが、今後の課題である（『だれでも・どこでも』）。

VIII 10のアイメッセージ

9) 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって参加し、すごしている。

就労中の発症に伴う経済的な問題など、【若年性認知症特有の問題】がある。

この6年の間に、【若年性認知症支援コーディネーター】が始まり、生活面・経済面・精神面での支援を受けられた当事者から、その存在の大きさが語られた。同時に、まだまだその存在を知らない方が多く、診断時に医師がつなげることなど、その存在を周知する必要性が強調された。

【認知症初期集中支援チーム】から支援につながったという語りもあった。

従来の介護保険サービスはより認知症のステージが進行した方を想定したものになっており、洛南病院で先駆けて始まった若年性認知症デイケアプログラム（テニス、絵画）や地域包括との協働で始まった卓球の会など、若年性や早期の認知症の方々に合った支援の開発が求められていたが、この6年の間に宇治市のれもねいど事業や京都認知症総合センターの作業工房での就労など、【若年性認知症に合った活動の場】が増えた。

そのような若年性認知症に合った活動への参加は、社会参加や社会貢献につながり、本人にとっても家族にとっても希望となる。【若年性認知症の活動に意欲的に参加】していることが語られた。

若年性や早期の方々が、早期から必要な支援を得られることは、認知症を持ちながらの社会生活を可能にするとともに、認知症の進行に対する備えにもつながっていくと思われる。

このメッセージに関しては、この6年の間に、ずいぶん進展が見られた。

IX 10のアイメッセージ

10) 私は、私や家族の願いである認知症を治す様々な研究がされているので、期待をもつてすごしている。

認知症が治る病気となることへの期待、新薬のことを知りたいなど、【治療や治療薬への期待】が語られた。

平尾 和之（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科 教授）

Ⅲ 二つの分析から抽出された課題と提案

本人・家族の声を「京都式オレンジプラン」に反映させるため、本人ミーティングと家族ミーティングが京都府6圏域・12地域で開催された。前回の京都式オレンジプラン改定に際して2017年に実施された本人・家族ミーティングは、京都府北部（丹後圏域）と南部（宇治市域）の2地域のみであったことを考えると、今回、本人や家族が集い語り合う場が京都府の各地域に広がり、活発な話し合いが行われたことは、大変意義深かった。この6年間の新・京都式オレンジプランの一つの成果であるとも言える。2024年より施行される認知症基本法において、認知症施策の策定にあたり本人・家族の意見を聴くことが求められているいま、まさに先駆的な試みであった。

本人・家族ミーティングで語られた内容の分析にあたっては、丹後（京丹後市）、中丹（舞鶴市）、南丹（亀岡市）、京都・乙訓（京都市）、山城南（精華町）の5圏域を京都府立医科大学の占部・福田・松尾が、山城北（宇治市）を京都文教大学の平尾が分担して行った。

以下、二つの分析の重なりから抽出された課題と提案を記す。

10のアイメッセージ

- 1) 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。

この6年で認知症に関する知識の普及は進んでいると思われるが、本人が周囲から理解され、個性や希望を尊重され、適切な支援を得られているかに関しては、個人差や地域差があり、まだまだ十分ではない。

家族の高齢化や単身者の増加など、様々な理由から家族による理解や支援には限界もあり、生活圏を中心とした地域や社会の理解や支援がより一層必要になっている。本人や家族が認知症をオープンにして、周囲から正しい理解と適切な支援を得られるよう、認知症の正しい理解の促進とともに、ネガティブなイメージや偏見を是正していく取り組みが求められる。

10のアイメッセージ

- 2) 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。
- 8) 私は、京都のどの地域に住んでいても適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

認知症の発症・診断後の苦悩、葛藤から受容、生活・人生の再構築までのプロセスが示された。これらの経験を踏まえ、早期診断・支援につながるための課題や、本人や家族が認知症を理解し、将来について考え備えるための支援が語られた。

本人や家族のプロセスに添いながら、一緒に考えていけるような支援が必要である。リンクワーカーのような存在の充実や、ピアサポートの場の広がりとともに、だれでもどこでもそのような支援につながるための取り組みが求められる。

10のアイメッセージ

- 3) 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。

住み慣れた場所での暮らしを維持するための医療と介護に対する具体的な意見が多く集まった。医療・介護・行政において求められている今後の取り組みに示唆を与えてくれると考えられる。病診連携などの医療間連携、介護サービス間の連携に加え、地域における当事者を中心とした医療と介護間のより一層の連携も期待される。

10のアイメッセージ

- 4) 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。
- 5) 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんでいますすごしている。
- 8) 私は、京都のどの地域に住んでいても適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

認知症発症後の本人や家族は、それまでの周囲とのつながりを失い、社会から孤立した状態に陥りがちである。そのような本人や家族が、再び希望と自信を取り戻していくためには、仲間と出会うことのできるピアサポートの場が重要である。そのような場での社会参加や社会貢献が生きがいにつながる。

移動支援を含め、だれでもどこでもそのような場にアクセスできるような取り組みが求められている。

10のアイメッセージ

6) 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされているので、
気兼ねせずにごしている。

認知症発症後の本人のプロセスとともに、家族のプロセスがある。その中で、本人を支える家族を支援するために、気持ちに寄り添い、相談しながら伴走してくれる、専門職によるサポートや、家族同士のピアサポートが必要である。

家族による支援には限界があり、家族の負担を軽減する社会的な支援が求められる。一方、本人とのやりとりや介護を通して得られるポジティブな面についても注目される。

10のアイメッセージ

7) 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の
終末に至るまで意思や好みを尊重されてごしている。

今回のミーティングの母集団にもよっていると思われるが、このメッセージに該当する語りは他のアイメッセージよりも少なかった。人生の最終段階に向けた支援については、まだまだ今後の課題と思われる。

10のアイメッセージ

9) 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって
参加し、ごしている。

若年性認知症の本人や家族の意見は大幅に増えた。就労中の発症に伴う経済的な問題など、若年性認知症特有の問題があり、若年性認知症支援コーディネーターの存在は大きい。今後はその存在にだれでもどこでもつながれるようにすることが求められる。

同時に、従来の介護保険サービスでは想定されていなかった、社会参加や社会貢献につながる活動・就労支援など、若年性や早期の認知症の方々に合った支援の充実が求められている。本人の主体的な参画による施策立案も期待される。

平尾 和之（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科 教授）

第三部
參考資料

I 回収の結果（2017年調査）

1 本人調査

(1) 回収結果

調査対象者 105 名のうち、有効回答を得られたのは 98 名（93.3%）である。各圏域別の調査対象および回収の詳細は【図表 7】のとおりである。

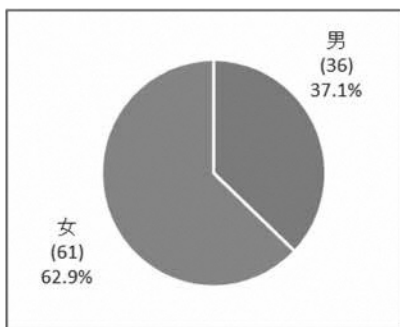
【図表 7】圏域別の回収率

		全数	回収 (%)
1	京都市	36	34 (94.4%)
2	乙訓	7	7 (100%)
3	山城北	26	19 (73.1%)
4	山城南	9	9 (100%)
5	南丹	11	11 (100%)
6	中丹	10	8 (80.0%)
7	丹後	6	5 (83.3%)
	不明	-	5
	計	105	98 (93.3%)

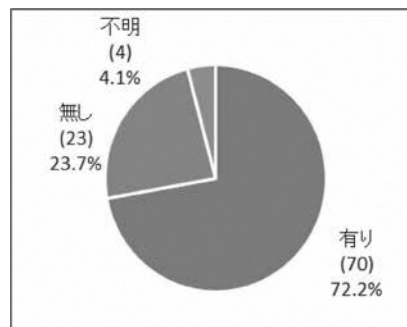
(2) 回答者の基本属性

※以下、図表の中の（ ）内の数字は、回答数を示すものである。

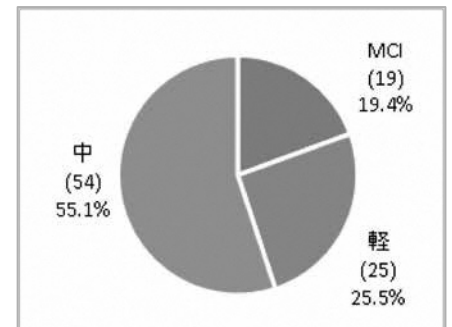
①性別



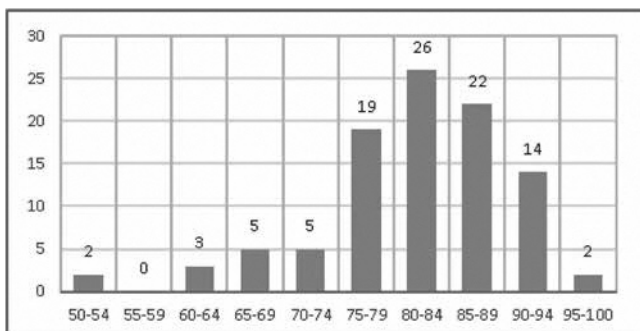
②同居の有無



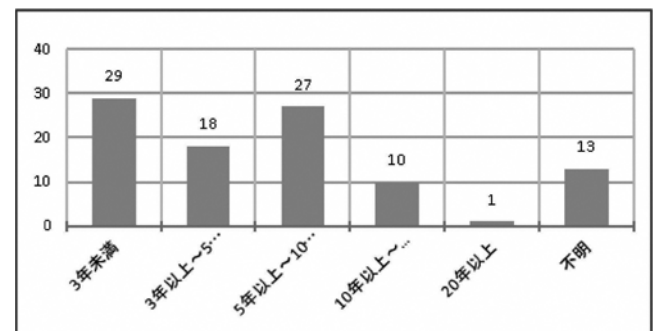
③状態別の分布



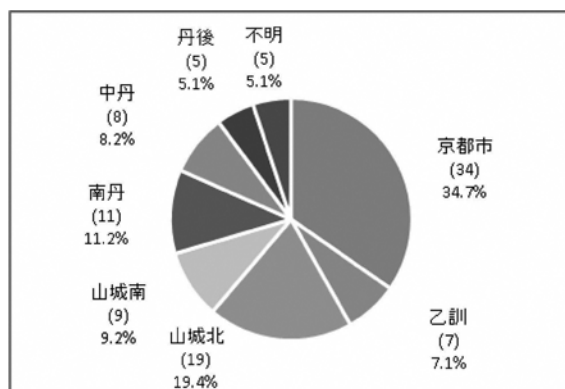
④年齢別の分布



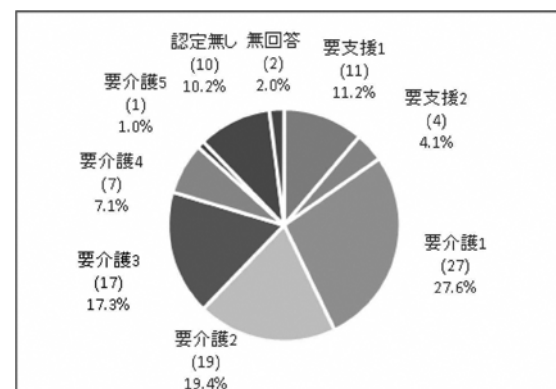
⑤発症後の年数



⑥圏域別の分布



⑦介護認定の有無別の分布



2 家族調査

(1) 回収結果

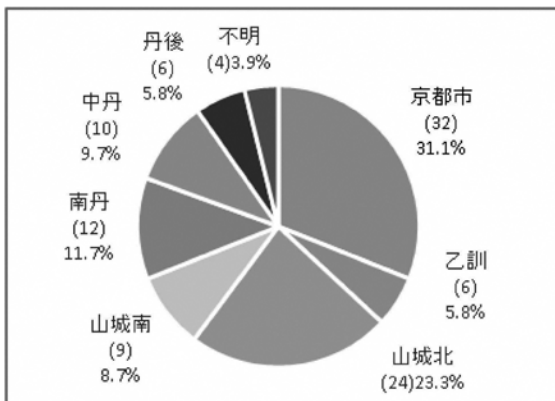
調査対象者 111 名のうち、有効回答を得られたのは 103 名 (92.8%) である。各圏域別の調査対象および回収の詳細は【図表 8】のとおりである。

【図表 8】 圏域別の回収率

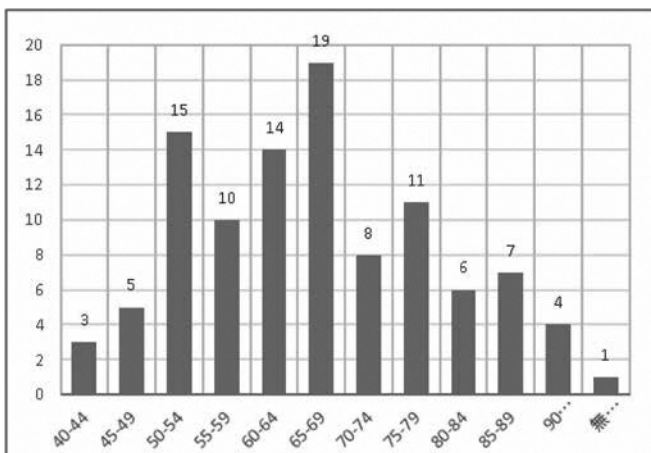
		全数	回収 (%)
1	京都市	33	32 (97.0%)
2	乙訓	8	6 (75.0%)
3	山城北	27	24 (88.9%)
4	山城南	10	9 (90.0%)
5	南丹	13	12 (92.3%)
6	中丹	12	10 (83.3%)
7	丹後	8	6 (75.0%)
	不明	-	41
	計	111	103 (92.8%)

(2) 回答者の基本属性

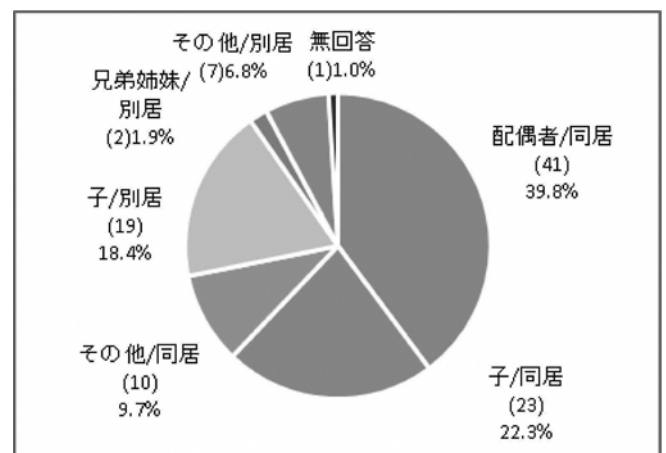
①圏域別の分布



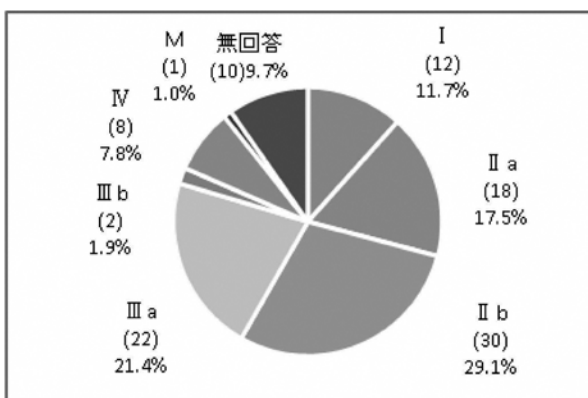
②年齢別の分布



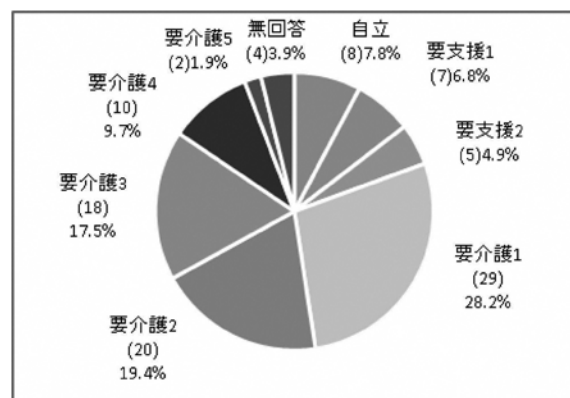
③本人との続柄別の分布



④認知症高齢者の日常生活自立度の分布



⑤要介護度別の分布



3 支援者調査

(1) 回収結果

調査対象者 485 名のうち、有効回答を得られたのは 345 名 (71.1%) である。属性別の調査対象および回収の詳細は【図表 9】のとおりである。

【図表 9】属性別の回収率

		全数	回収 (%)
1	地域包括支援センター ※1	133	101 (75.9%)
2	認知症リンクワーカー養成研修修了者 ※2	28	17 (60.7%)
3	認知症カフェ運営者 ※2	40	31 (77.5%)
4	認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者 ※3	42	40 (95.2%)
5	介護事業所職員 (居宅系サービス) ※4	72	46 (63.9%)
6	認知症サポート医	101	72 (71.3%)
7	認知症の人と家族の会会員	30	19 (63.3%)
8	機構構成団体	39	19 (48.7%)
	計	485	345 (71.1%)

評価者数については、地域バランスに配慮して設定。

※1 日常生活圏域ごとに設置されている全ての地域包括支援センター(サブセンター含む)から各 1 名

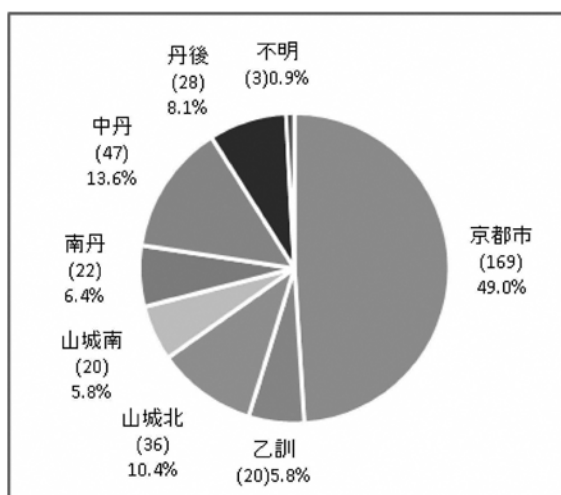
※2 市町村 (京都市内は行政区・支所) ごとに 1 名

※3 市町村 (京都市内は行政区) ごとに 2 名

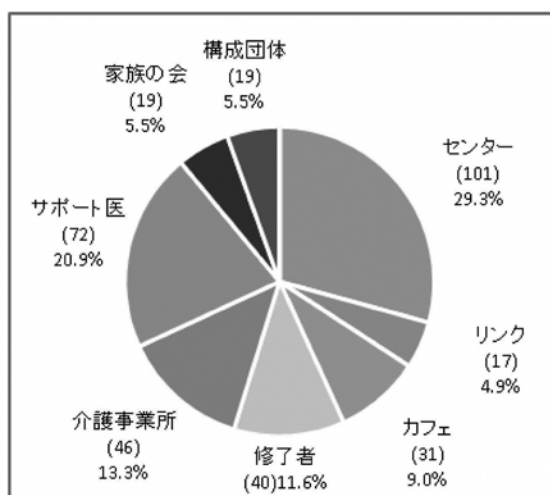
※4 小規模多機能など地域密着型事業所から府域 33 名、京都市域 39 名

(2) 回答者の基本属性

①圏域別の分布



②属性別の分布



Ⅱ 10のアイメッセージ評価自由記述のまとめ

京都地域包括ケア推進機構
(認知症総合対策推進プロジェクト)

実施した調査において、23 の評価項目による 10 のアイメッセージの定量的評価とともに、調査に際し当事者である認知症の人から聞き取った意見・要望及び調査協力者が感じたこと・考えたことの自由な記載がなされた。自由記述の内容には認知症の人や家族の思い、または本調査に対し思うことなどが記されており、そこから今後の調査改良の手掛かりや、認知症の人に施策のアウトカム評価を直接委ねるという取組の意義が浮かび上がってくるだろうと思われた。

また、本調査は 2017 年度の新・京都式オレンジプラン（第 2 次京都認知症総合対策推進計画）への改定に際しても実施されていることから、今回の調査結果との比較によって、6 年前とは異なる新しい京都府の現状が見えてくるだろうと考えた。

そこで、質的分布の手法によって自由記述のまとめを試みた。原文、コード、概念、カテゴリと集約し、サブカテゴリが必要な場合にはサブカテゴリも作成した。以下の記述では、カテゴリ、サブカテゴリを示す。

1 本人の意見・要望（※分類については P. 16～P. 18 参照）

10 のアイメッセージ調査の際に、本人の意見・要望を自由に述べてもらうことが行われた。ここではその自由記述のまとめを行う。

まとめたところ、本人の意見・要望は以下の 6 つのカテゴリが抽出された。問いかけの設定は「本人の意見・要望」となっていたが、6 つのカテゴリの内 4 つが認知症という病気を持って生きることへの複雑な心情や家族など周囲の支援への感謝に関するものだった。

- (1) 【認知症になったのショック、不具合】
- (2) 【前向きな気持ちやあきらめや不安などが入り混じる複雑な心境】
- (3) 【住み慣れた地域や周囲の人々とのつながりへの思い】
- (4) 【家族の支援に対する信頼と期待】
- (5) 【医療、介護サービスや地域における支援に対する期待、要望】
- (6) 【薬や行政等の制度、仕組みへの期待、要望】

(1) 【認知症になったのショック、不具合】

カテゴリの 1 つ目「認知症になったのショック、不具合」を更に細分化すると、以下の 2 つの項目に分けられた。

- 1) 認知症になったのショック、不具合
- 2) ICT 機器など新しい機械への対応の難しさ。操作方法を教えてくれる人の対応の必要性

認知症によるもの忘れ等の症状から生じる生活の不自由と、家族などの周囲へ頼らなければならないことに気兼ねを感じることを示されていた。また、ICT機器の導入等、新しいことについて行けないことへの不満が語られていた。

ICT機器等に対する意見は今回新たに語られたことであり、技術の進歩と合わせ、新型コロナウイルスの流行等により各種サービスのオンライン化が進んだことが要因だと思われる。

(2) 【前向きな気持ちやあきらめや不安などが入り混じる複雑な心境】

2つ目のカテゴリ「前向きな気持ちやあきらめや不安などが入り混じる複雑な心境」は、以下の6つの項目に分けられた。

- 1) 認知症に対する受容の難しさ
- 2) 将来の不透明さ
- 3) 年齢もあつてのあきらめ
- 4) 前向きな気持ち
- 5) 慣れた暮らしの継続と自己決定への望み
- 6) 自分の役割と生きがい

認知症になっても前向きに生きていこうとする思いや、慣れた暮らしの継続の望み、年齢もあつての諦めの気持ちなど様々な感情が語られていた。

前回調査と比べた場合の特筆すべき点は、「6) 自分の役割と生きがい」についての発言が増えていることだと思われる。家庭や地域での役割を持つことで、生きがいを持って生活することができている様子が示されていた。

(3) 【住み慣れた地域や周囲の人々とのつながりへの思い】

3つ目のカテゴリを更に細分化すると、以下の3つの項目に分けられた。

- 1) 周囲の理解があることでの暮らしの継続
- 2) 仲間や相談できる場所の大切さ
- 3) 周囲と人づきあいができていない

周囲の理解や仲間との繋がりがあることによって、住み慣れた地域で支援を受けながら生活することができている様子が示されていた。一方で、近隣住民の不理解により自宅での生活を諦めざるをえなかった方や同じ施設の入居者と話すこともないという方がいることも示されていた。

(4) 【家族の支援に対する信頼と期待】

4つ目のカテゴリでは、自分を支えてくれる家族への感謝と信頼を語る本人の言葉が示されていた。

(5) 【医療、介護サービスや地域における支援に対する期待、要望】

5つ目のカテゴリーを更に細分化すると、以下の2つの項目に分けられた。

- 1) 専門医への受診の必要性
- 2) 介護保険サービスへの満足と期待

違和感があっても受診をしても、受診先が認知症の専門医ではなかったために症状が進行するまで診断を受けられず、初期に専門医を紹介してほしいとの思いが語られていた。また、利用している介護保険サービスを楽しんでいる方がいる一方で、利用できるサービスに地域差があること、若年性認知症の人にとっては合わないことを残念に思う声もある。

(6) 【薬や行政等の制度、仕組みへの期待、要望】

最後6つ目のカテゴリーは以下の4つの項目に分けられた。

- 1) 薬や治療、予防、制度への期待
- 2) 相談窓口の周知の必要性
- 3) 地域資源の不足と参加機会の不足
- 4) 調査自体への要望

認知症の治療への期待と合わせ、違和感があった時に相談できる窓口を明確化すること、居場所や他の行先が地域に一層増えていくこと、そして気兼ねなく頼れる環境が整備されていくことを本人が望まれていることが示されていた。

以上、まとめによって抽出された6つのカテゴリーを提示した。

これらのカテゴリーに関する考察は自由記述（調査協力者が感じた本人評価の課題）とも関連するところがあるため、そのまとめを提示した後、合わせて考察を行うこととする。

2 調査協力者が感じた本人評価の課題（※分類についてはP. 23～P. 28 参照）

10 のアイメッセージ評価に関して調査協力者が感じた点の自由記述は、最終的に以下の4つのカテゴリーに集約された。

- (1) 【アイメッセージを聞くことのインパクト】
- (2) 【調査を通じて垣間見えてくる周囲の支えや思い】
- (3) 【アイメッセージ調査の難しさ】
- (4) 【調査の工夫や調査に関する留意点】

(1) 【アイメッセージを聞くことのインパクト】

カテゴリーの1つ目「アイメッセージを聞くことのインパクト」は、更に以下の3つのサブカテゴリーに分けられた。

- 1) 合間から聞こえてくる本人の心情
- 2) アイメッセージへの確かな返答
- 3) 調査実施による関係性の深化

1) 合間から聞こえてくる本人の心情

1つ目のサブカテゴリー「合間から聞こえてくる本人の心情」では、更に細分化するとすれば以下の項目が語られていた。

- ①今までの暮らしの継続への希望
- ②認知症やもの忘れへの不安
- ③認知症に対する周囲の理解不足への嘆き
- ④人生の終末への不安
- ⑤認知症であることを受容

①②③は前回調査でも見られた項目であり、現状の暮らしが続くことを希望しつつも認知症の不安や周囲の理解不足の悩みを認知症の本人が変わることなく抱え続けていることが伺えた。

また、今回新たに「(人生の)終末」と「認知症の受容」についての記述がされていた。認知症の本人が認知症を受け入れ、家族や周囲に支えられながら自分のやりたいこと等を実現しながら暮らすことができている様子が示されていた。

2) アイメッセージへの確かな返答

2つ目のサブカテゴリーでは、認知症の人が調査の趣旨を理解した上で、自身の考えに基づいた回答をしていた様子が示されていた。

3) 調査実施による関係性の深化

今回新たに3つ目のサブカテゴリーとして「調査実施による関係性の深化」についての記述が見られた。

(2) 【調査を通じて垣間見えてくる周囲の支えや思い】

2つ目のカテゴリー「調査を通じて垣間見えてくる周囲の支えや思い」には4つのサブカテゴリーが含まれた。

- 1) 黒子的な家族の支援
- 2) 発症から診断までの振り返り
- 3) 介護サービス・地域との繋がりがあることでの安定
- 4) 早期発見とそれに伴う横断的な支援

自由記述の内容から、家族や介護サービス、周囲の人々などの見守りによって本人が日々穏やかに過ごしている様子が読み取れた。しかしその一方で、家族には発症初期に受診や相談に繋がらなかったことへの後悔があり、相談窓口の明確化と診断後の途切れない横断的な支援などの入口問題への対策が求められている。

(3) 【アイメッセージ調査の難しさ】

3つ目のカテゴリでは、アイメッセージ評価の調査が難航した様子や、その理由につながる要因が以下の4つのサブカテゴリを通じて示された。

- 1) 認知症との自覚の難しさ
- 2) 認知機能低下による理解困難
- 3) 質問内容の意味を正しく伝えることの難しさ
- 4) 質問内容への意見

1) 認知症との自覚の難しさ

医師の診断等により自分が認知症だと言われていても病気としての意識や自覚のない本人に対し、評価協力者が行った工夫とその難しさが示されていた。

2) 認知機能低下による理解困難

2つ目のサブカテゴリ「認知機能低下による理解困難」では、更に細分化するとすれば以下の項目が語られていた。

- ①質問内容の伝達の難しさ
- ②質問内容の理解の難しさ
- ③所要時間の長期化
- ④質問方法別の回答の可否

今回の調査にご協力いただいた本人の「年齢別の分布」は前回調査時と同程度だったのに対し、「介護認定の有無別の分布」においては要介護1以降の方の割合が増えていた。その結果か、質問内容の理解の難しさや、それに伴う調査時間の長期化などが示されていた。

3) 質問内容の意味を正しく伝えることの難しさ

更に、3つ目のサブカテゴリ「質問内容の意味を正しく伝えることの難しさ」では、更に細分化するとすれば以下の項目が語られていた。

- ①意味を伝えることの難しさ
- ②言換えの難しさ
- ③正確性の疑問
- ④自身の学び

本人の認知機能の低下により、質問内容の意味を伝えるにあたって調査協力者による言換えの工夫が必要だったこと。そして、それに伴い調査項目の意図から外れた回答になっているのではないかという不安を感じたことが示された。

一方で、そうした工夫を経たことにより、自分自身の認知症の人への対応や支援方法について振り返る学びを得られたとの前向きな考えも示されていた。

4) 質問内容への意見

4つ目のサブカテゴリーでは、聞き取りの難しかった質問内容に対する具体的な指摘が記載されており、今後の見直しに繋がる意見が示されていた。

(4) 【調査の工夫や調査に関する留意点】

最後の4つ目のカテゴリーでは、以下の4つのサブカテゴリーが抽出された。

- 1) 質問内容の説明や聞き取り方法の工夫
- 2) 代弁者の促しなど返事を引き出す方法
- 3) もともとの本人の人生や性格、人間関係へのスタンス
- 4) 同席者がいたことへの配慮

前回調査時に作成した評価協力者マニュアルに加え、質問項目の解説をオンデマンド形式でオンライン配信したことにより、調査協力者の理解が深まり、調査の難易度が下がったことが示されていた。また、本人から回答が出にくい場合などには、代弁者の協力があったことでうまく返事を引き出すことができた様子が示されていた。

加えて、本人の性格やスタンス、調査時の同席者の存在により、回答には一定のバイアスがかかっている可能性が懸念されるなど、評価の解析にあたって留意すべき点も示されていた。

以上、まとめによって抽出された4つのカテゴリーを提示した。

3 自由記述に関する考察

(1) 自由記述から見えてきたこと

本調査の実施においては、本人の病識や認知機能の状態といった認知症という疾患が有する難しさがあったものの、調査協力者による工夫や配慮、そして支援を行う家族等の真摯な協力があり、認知症の人が日々抱えている複雑な心境や置かれている環境への思いを、ありのままの形で聞き取ることができた。

前回調査と比べては、社会の変化により新たに出てきたカテゴリーもある中で、周囲の理解が十分とは言えないまでも、前向きな意識を持った本人や以前よりも生活がしやすく社会活動の場が増えていると感じる方が増えているのは良い傾向だと思われる。その背景には、やはり「認知症の本人の視点の重視」という考えの基、表に出てくる認知症の本人が増えてきたことや、そうした活動を支える環境づくりが広がってきたことが影響していると思われる。

(2) アイメッセージ評価の意義

10 のアイメッセージ評価の意義は、多くの認知症の人と正面から向き合い、丁寧にその思いを聞き取ることにある。日常生活での関わりでは見えてこなかった本人の思いや考えを知る機会を作れたこと、そのうえで本人ミーティングと合わせて本人の意見を施策に反映するという試みを遂行できたことは大きな収穫だと思われる。

また、認知症の本人が施策を評価するという調査を前回に引き続き実施できたこと自体も大きな意義を持つと考えられる。自由記述の中には、「調査を機にこれまでの支援や実践を振り返ることができた」「自身の励みになった」という意見もあり、調査を定期的に実施することで得られたものも多かったと思われる。

(3) アイメッセージ評価の実施法について

調査協力者による自由記述では、言い換えによる誘導や誤解の発生への危惧など、本人への問いかけの難しさについて多く記されていた。また、ワーキング検討委員会においても、質問の趣旨が変わらないように言い換える場合の参考例などを示してはどうかという意見があった。しかし、その一方で、困難さを伴う今の問いかけを投げかける事しか本人からのストレートなメッセージや心情は引き出せないのではないかという論もある。

今回は前回調査と比較を行う狙いがあり、あえて質問項目と質問内容の文章を変更しなかった。次回以降の調査の実施法については、改めて当事者や関係機関の意見も踏まえつつ検討していきたい。

(4) 今後への展望

本人の意見・要望に表れていたとおり、認知症の人が家庭や地域で役割や生きがいを持って前向きになり、周囲の理解や社会活動の場に支えられて活動できている様子が示されたことは、新・京都式オレンジプランの計画期間における一定の成果と考えられる。

一方で、今回は調査協力者を前回調査時よりも多く設定したにも関わらず、本人及び支援者の回答数が減少してしまったことは残念だった。今後調査対象者を増やしていくことが重要だが、調査のために対象者を探すのではなく、本人ミーティング・家族ミーティングが府内の全ての地域で定期的に開かれるようになり、その場で評価を実施できるようになる等、将来的に環境が整っていくよう関係機関と連携し支援を行っていきたい。

Ⅲ 本人ミーティング・家族ミーティング発言まとめ

1 丹後圏域(京丹後市)、中丹圏域(舞鶴市)、南丹圏域(亀岡市)、京都・乙訓圏域(京都市)、山城南圏域(精華町)

以下、色掛け部分は家族の発言を示す。

- 1) 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。
- 6) 私は、私を支えてくれる家族の生活と人生にも十分な配慮がされているので、気兼ねせずにごしている。

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
1	わしもな、ちゃんと飯はいつもな買い物行って全部拵えとんじゃわ。	夫がつくる料理	食事の準備	家族の理解とサポートが 得られている実感
2	こんなことまでするとは夢にも思わなかった。昔からな、男子厨房に入れず言うて			
3	食べもんだけは、あの、お嫁さんにしてもらおう。	食べ物を用意してくれるお嫁さん		
4	自分の中でも食事の用意はしたくないなって感じになってるから、それを何とかしなきゃいかんかなとか思ってたんですけど。頑張ってるんですけどね。	頑張ってる料理をする		
5	お料理の時は、こちらにほりこむ。	料理をする		
6	お料理がねすごい好きやったもんですしね。私も認めるくらい上手やったんですけどね。おせち料理も全部自分でしてくれて私の師匠みたいで。			
7	家の食事の用意もしてますけどね。			
8	料理人になりたかった。料理の店を持ちたかった。ほとんど家で朝もご飯作って今もしてます。晩ご飯も。			
9	料理はずっとしてくれてました。私が子供の時は父が朝ご飯作ってくれて。	洗濯をする		
10	私がします(洗濯)言うてやっとするけどもね、三日に一回くらいしかせえへん。			
11	今日みたら干してましたね。			
12	草刈りもまだしますし。	草刈りをする		
13	自分で、もう夕食は作ってやろうとか、風呂沸かしてやろうとか、自分で朝その日の目的を立てた。	1日の家事の目標		
14	それはもう日日、大体できてる。	できることがある		
15	できることありますから。			
16	今日は1時から何うし、12時半には迎えに行くしって言ったら、朝からちゃんと確認の電話かかってきたので。			
17	どうしても行かないかん時は車で連れて行ってもらってるし、あんまり不便とは思ってない。	家族は車を運転してくれる	車の運転	
18	主人が、何をしても、あとで両親が亡くなったら、何をしてもどんなに生きてても後悔っていうのは残るよって言うてくれて。	夫から助言がある	配偶者との協同	
19	その時はなんも言わんと私が洗ってます。	夫のサポート		
20	今、私の主人がすごく理解があって、主人はもう若くして両親亡くしているの、介護っていうのしたことないからって言うので、まず私を支えながら、主人がいろいろとケアマネさんとの連絡とか、デイケアとかの連絡とか、顔になってくれるんやけども。			
21	私の主人は「もう何でそんなん言うんや。もう諦めえ」って言う。「あんまりしつこう言うてもあかん。諦め一や」って言わはる。			
22	私のこと気づかってくれるでしょ。すごいいい奥様だなど。感謝しとるんです。	妻と助け合う		
23	家内のおかげで起きて、新幹線間に合ったけど。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
24	家内に助けられていますわ。昔助けた方やのにね。	妻に助けられている	配偶者との協同	家族の理解とサポートが得られている実感
25	この人やから持つてる。この人は怒らへんからね。	妻が怒らないから保っている		
26	家族さんが困っておられる方が多いですよ。僕らはまだ何とかかなとるけど。	妻との関係はなんとかなっている		
27	うん。もう何十年も一生懸命やってきて、わたしの、あれも尻拭いしたりしてやってきてくれて、そういうこともあって私はもう今やっぱ恩返しのもりで家内を大事にして。	妻を大事にする		
28	旅行行って杖探しの旅をしたんでね。家内と言ってたんですよ、今度から百均のやつ使こうてみよかと。いい杖は高いもんね。	失くした物を一緒に探してくれる		
29	前は好きな女優さん名前がすぐ出てきた。なんて名前だったかなと言って家内に教えてもらって。	忘れた名前を教えてくれる		
30	4回は忘れたら普通怒りませんか？ええ加減にせいって。一言も言わへん。それがええ。ほんまにいい人。もうどない言おうかな思ったけど、一言も怒れへん。	物を何度も忘れても妻は怒らない		
31	僕ね、イライラしてしまうと、黙ってしまう。やから家内が怒ってんのか言ってくる。(家内が)何やのって言うから、こないこないで、もうイライラしてんねんって。	イライラを気にかけてくれる		
32	娘が時々きてくれるんやけどね。	娘のサポート		
33	娘のまさにそういう仕事をしておりましてね。家内の話も聞いたりしてくれとるけども。			
34	娘が京都で介護士してますんで、時々話したりして、力になってくれてますけど。			
35	娘は「お母さん、これはもう、共倒れになるで。」言うて。			
36	おかげさんでも娘もね、息子も、自分たちの生活をちゃんとしてくれてるから、今んとこは。	子どものサポート		
37	その長男さんもまあ協力的だし。	嫁のサポート		
38	でも、嫁さんが、都合つけてしてくれるから。			
39	嫁さんとか。金曜日から水曜日まで開いたらお風呂入れて入らんなんです。もうちょっとこう間を繋いで、他の日にして欲しいって昨日頼んだらしてくれてやった。			
40	嫁さんが世話してくれとんやけど、ものすごい気を使ってくれて、ちゃんとしてくれて、言うたことは大体はいいけど。			
41	私自身も本当の認知症かもしれませんけども、自分の家なんか全く心配してません。	兄弟のサポート		
42	まあ、私は、まだ(母が)トイレもまあ何とかできますし、母屋に母が1人で住んで、離れに弟夫婦がいるんです。弟が、男なんですけど、まあまあやってくれるんで、まだなんとか、そんなに大変だなんていう感じではなく、できるので。			
43	どうなんでしょうか、弟は一切言いません、私には。本心はわかりません。淡々と母には接してます。			
44	こちらにね誘っていただいて、私といつでもひっついてるんですけど。			
45	家族構成が3人で、私と家内と、それから65歳の息子がおるんですわ。			
46	わたしも付き添って伺ってても、感動してます。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
47	ワンちゃんも飼い方によって、すごくお年寄りには、長生きいうんか、和らげてくれる。癒しの犬になるんです。	癒しの犬		
48	ああもうこれは無理って思ったら娘に頼む。			
49	燃え尽きるまでしてきて、燃え尽きてできんやったらお願い、っていう生き方。	サポートのお願い		
50	家内に僕も認知症に近くなったかわからへんから、一遍どんなんか聞きに行けへんかって言ったら、行こうていって来てくれたんでね。	認知症カフェと一緒に来てくれた		
51	一番下の妹。何でもしゃべれる、あれした言うて、やっぱり女きょうだいが一番やね。	妹になんでも話せる女兄弟はいい		
52	その子だけね、看護師しとったんやけどそう思うわ。	看護師をしていた妹になんでも話せる		
53	十二はなれとったんやけどね。	12歳はなれている妹と仲がいい		
54	(近所付き合いがなくて困ること) ないですよ。娘もおるし。息子もいるし、困ったらねえ、なんでもね相談できる。	娘、息子になんでも相談できる		
55	この人に言ったら気が楽になる、気持ちがすっきりするかって言うと、弟かな？	兄弟に話す気持ちがすっきりする		
56	娘が介護士しとったんで、相談してみたり、ケアマネさんに相談したり、そんなことしかできなかった。	介護士の娘やケアマネに相談している	相談できる家族が存在	
57	誰やったかなあ？何やったかなあ？名前教えてって出てこなかったんですけども。息子が「名前みたいなもんでもいいよ。そんな名前が出てこようが出てこまいがどうでもいい。それより、おばあちゃんが私に言われて怒られて、怒られた怒られた辛い辛いっていう思いで亡くなっていくより、楽しかったなあ、ここ1、2年。今まで娘となんか過ごしてなかったのに過ごせたなあ、楽しかったなっていう思いで死なしてやらないと、お母さんが後悔すると言われてまして、ドキッとしました。	息子に名前を忘れることよりおばあちゃんが辛い思いして亡くなることの方が後悔すると言われた		
58	健康体操の通常生活やってるだけ。	通常生活をしている	いつもの生活を継続	
59	困ったことなんか何も無いわ。			
60	(困ること) 今んとこはないねえ。	困っていない	困っていない	
61	(困ってること) ないですよ。			
62	今はあんまり感じないね。自分のことは自分です。	自分のことは自分でできている		現在の生活への満足感
63	今から見てたら、自分は幸せやと思うわ。	自分は幸せと思う	幸福感	
64	どっちかっていうと、穏やかに過ごしてくれてるんです。財布がないとか、お金を取られたとか、そういうことも一切言わないですし、こちらが言ったこと、ある程度、素直にじゃないんですけども、穏やかにいてくれることだけが救いですね。	穏やかに過ごすことができています	穏やかに過ごしている	
65	女の姉妹がおるのはいいねえ。	女の姉妹がいるのはうらやましい		
66	息子も娘も忙しいから、月に一回くらい帰ってくる。なんでそういうこというんかな、と思う。多分そういう関係でも子供はやっぱり思とっててくれるやなとは思ってる。仕事が忙しいんでね。	子供は親を思ってくれていると思いたい		
67	そんだけ子供さんが心配してくれたらいいけど、僕らは全然あらへんよ。	心配してくれる子供がいない	相談できる家族が不在	相談できる家族が不在
68	もうちょっと今は、旦那のお母さんの世話もしとる。まあ、子供は大きくなったさかい。	子供は配偶者の親の世話もある		
69	私1人やし、きょうだいないもんやからね。主人の妹さんらに言うても、離れとるし、そう来られへんし。もう娘に相談やなあ。	兄弟がいない、本人の兄弟は遠くに住んでいるので相談できない		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
70	家族も認知症という言葉は知ってたけど。父は高齢だったから、知識として知ってたと思いますが、ニュース見てて、受け入れてはいなかった。(10年前)	父は母の認知症を受け入れてなかった(10年前)	認知症の母を受け入れられず叱る父(10年前)	本人を理解した対応ができない家族
71	父なんか(認知症の母が)変なことするから叱って直さなあかんねやっていう発想です。(10年前)	父は認知症の母の行動を叱って直すという発想だった(10年前)		
72	最初の頃は、本人の言うことをそのまま受けてっていうのは難しい。私も父の(対応について)悪口を言ったけど、自分が訂正せなあかんと、最初は。どうしてもなるんです。	発症した頃は本人の発言を訂正してしまった	認知症の親の発言を訂正する	
73	だっていつや知らんけど、冷蔵庫の中のもんどこやったって怒鳴られたもん。	夫から怒られる	夫から得られない理解	家族から理解が得られていない思い
74	急に何か知らんけど大きな声出しちゃってあれ怖い。			
75	いつも叱られてばかりなんだからね。			
76	なんか知らん、永遠と相手しとるのにな。			
77	混乱状態の中で、家族は焦るし、本人を責めるし。			
78	駅前の交番もよう行った、お巡りさんところ。	責められる		
79	周りから責められるし。			
80	その時に一緒にいた妻は、いまだに僕に近寄れないですよ。	妻ととれなくなったコミュニケーション	妻から得られない理解	
81	近寄りたくないんですよ。拒否反応が強い。			
82	だからそういう意味では、家族が壊れたままになってますよね。			
83	(妻との)コミュニケーションが切れてますから。	妻への思い		
84	その最初の段階で、妻にどういうサポートがあればよかったのかっていうのは、聞いてないですからね。			
85	それなりに彼女(妻)も辛かったんだと思う。			
86	理解しても、めちゃくちゃですけどね。私の妻もナースですから、知ってたはずなんですけどね、やっぱりね。	妻から理解されない		
87	で、父が89歳で、老老介護で。	高齢の父が介護しているので心配がある	高齢介護者への心配	高齢化する家族
88	父の老老介護がやっぱり一番。	父の老老介護が心配		
89	本人は毎日スクワットしたりとか、散歩したりとか、健康に気をつけてるけども、やっぱり年には勝てへんのか、介護疲れが出たのか、こないだコロナに罹ってしまった。	健康に気をつけているけれども高齢なので心配		
90	僕は認知症ね、どういんですかね、妻は、もう肺疾患、心臓疾患とかありとあらゆる病気。老々介護で、認知症の人が認知症みとるでね。	認知症以外にも複数の疾患がある上、老々介護、認認介護である	高齢介護者の負担	
91	今行きついたところは「持続可能な在宅介護」。腰も肩も膝もガタガタで、夜オムツ換えたり大変。65を高齢者ライン引いたんは、確かに思います。去年の夏の暑さでこっちがやられて、気張りすぎると続かない。	高齢になり介護を頑張りすぎると「持続可能な在宅介護」ができない	高齢化する家族の体力・気力の低下	
92	関節周りの筋肉鍛えないと、ヘルパーさんとしやべってて移乗するの下半身を使わなあかんのですって。	介護者の関節周りを鍛える必要性		
93	吊り上げるとこっちもしんどいし、向こうも骨折やっているとかが開くから。できるだけスライドしようと思う。	本人・介護者双方に負担のない援助の工夫		
94	何年続けられるか、どこまで見られるかはちょっとでも長くっていうのがあるけど、自分の体力が。	介護者の体力へのきがかかり		
95	体力も気力も落ちてる。毎日ボカすんねん、もうこないだもパット買うのに、間違えて買うたし。			
96	体元気やなかったらやることもできへん。			
97	どうして続けていくのが、私の課題。			介護をどう続けるかが課題

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー	
98	私も主人が多発性骨髄腫。やっぱり京都の方まで行かなあかん。付き添いでね。	夫の病気の付き添い	家族の病気	家族の健康問題	
99	僕にしても、あんまりよう（よく）忘れるで、いややおもうんですけど。	自分もよく忘れるので、嫌だと思ふ	家族自身も認知症		
100	もうある程度年齢相当ですって言われたけど。人間ドックの時にねえ、脳ドックの時の写真ももらってくるんやけども、あー、これは認知症やなって言われて。	認知症と先生に言われた			
101	私んところはね、F病院に行ってたんです。で、私もついて行かんとあかんし、私もちょっと、歳とってきたししんどくなったんで、で今年の春からY（病院）で。	病院が遠いと通院の付き添いがしんどい	家族自身の身体不調		
102	でも、もうね、長年連れ添ってきたし、最後は、と思ったんやけど、そのうち私の腰が痛くなったりして。	最後まで見る覚悟はあったが、自身の体調不安もあった			
103	私自身がそうやってカウンセリング受けな生活できひん状態で、その母のことが、一番重たく今のしかかっているというのが、それを、精神科の先生は私の担当っていうか、表現変やけど味方っていうか。あの、全部いろんな人に任せてね、あなたが無理しなくていいよ、あなたがしなくていいよって言ってくださるけども。	家族自身が精神科に通院している			
104	隣近所は仲いいし。	近所同士は仲が良い	近所・友人との良い関係		近所との関係性
105	ちゃんと料理してね、ご近所にお配りしたりね。				
106	みんな仲良かったね。お話し好きや。				
107	友達がちょこちょこ来てくれるんで。話してくれる。				
108	まあ友達が来るだけ。				
109	私がまたそういうボランティアって行ってへんかったら、「またBさんガンしてるんかて心配してたがな」って言うてくれるんですよ。				
110	本当に地域の方が、すごい優しい方ばかりで。				
111	私の住んでる〇〇はいい人ばかりしやから。みんなが助け合わなあかんっていう気持ちもある				
112	相手の方かうまいこと合わせてくれてなってるのか。こちらが逆にそういう風な表示をしてないから				
113	言わへんかったら、家帰られへんようになったとき困るの自分やん。せやから皆にお願いしますって、よろしくねーって。アンタらしいなって。（言われる）			困った時のために周囲にお願いしている	
114	（認知症であることを）皆さんご存知で、でも「ちゃんとやってはるよ」って言ってくださってるので。	気にかけてくれる近所の人たち			
115	私が行くと、大丈夫やで一、言うて。ちゃんとしとってやでって報告してくださいました。大変助かりました。				
116	やっぱり、お願いすることでその方も、「私もちゃんと見てあげよう」と思ってたみたいで、私が行ったら「大丈夫やで」って声掛けしてくださいます。				
117	仲良くさせてもらってるおばあちゃんとかにえー、全然わからん、とかまだ言うてもらえる。今はもうあれですけども、2年前は全然普通やでって言うてくれてんですけど、でも時々機嫌ようにやってるかとか言って、声を掛けに来てくださいました。				
118	私、百歳の、あの、恩師がいて、その人と時々電話、メールしてる、してたんです。で、こんだけ長いメール、ばばばって打ってんですよ。		メールによるコミュニケーション		
119	直接電話するんはあれやし、何かあるかもしれんからってメール打ったんです。				

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
120	電話たんまにかかってくる。	電話がくる		
121	しっかりした人やったもんね。私も姉さんが学校の先生してるからな、仲間に入れるんや。みんな喜んでねえ。みんな仲良かった。	友人の高齢化		
122	ちょっとそれがさみしいかな。連絡とれへんし、聞くわけにもいかないし。			
123	友達は周囲におるけど年寄りばかりだしね。			
124	ほやけど、経験しとらん人はね、そんなことわからないでね。やっぱり理解がある人、ない人ね、同じような経験がないとね。	経験してみないとその大変さはわからない	経験がない人はわからない	
125	私も他人事みたいに「そうなんすか、大変なご苦労さんやなあ」言うてましたけど、なかなか、やっぱり初めて経験してみて、経験してみないとわからない。			
126	(周りの人に) 聞いてもらっても、そうか、言うだけで。	周囲の人に自分の大変さは伝わらない		
127	居ってないようになったね。	知り合いがいなくなった	友人との別れ	近所との関係性
128	居ってないようになったね、姿みえんようになった。あの人もよう話しする人で、何でもよく知ってて、賢い人やったから。			
129	困ってるっていうか、最近友達が亡くなって、それが一番。もう、涙止まらないんだ。			
130	近所なの。よくお話ししている人でね、仲よかったんやけどね。だから、私今6階にいるんやけど、毎日7階から1階までずーっとこう歩くんですよ。そしたら7階におられたその人。家の前通るとね、涙出てくる。	近所の中の良い人が亡くなって家の前を通ると涙がでてる		
131	お勤めしとったでしょ。なかなかなあ、あんまりしにくい。	勤めてたので近所付き合いはしにくい	近所の人に求めないサポート	
132	(近所の人との付き合いで困ることは) 全然ないね。お姉さんがおりやからね。	姉がいるので、近所の付き合いがないことに困ることはない		
133	ひとりやったらね。	ひとりやったら近所付き合いするかもしれない		
134	高層へ入ってからはねあんまり独り暮らしやけど交流がない。	高層住宅へ入居してから交流がない	近所の人に求められないサポート	
135	近所付き合いがないんや。	近所付き合いがない		
136	かと言ってねえ、1回1回ノックしてとか、私はせんでねえ。向こうは、ほら旦那さんやらおられるし。なんか迷惑かなと思ってよう行かんね。	迷惑かなと気を使って訪ねて行かない		
137	心配してるのは、消防地域の、自治会から脱退っていうのが多いんです。町としても困ってると思います。	自治会の脱退者が多いことを心配している	自治会の加入者の減少	
138	自治会から脱退する人が増えてきた。	自治会の脱退が増えた		
139	もう自分はどう何やかんやあって、自分を負に、負け、負けたようにして物を言う人が中にいっぱいいる。	他者からの悪口	他者に利用される恐れ	
140	私1回生協頼んで、品物が入ってなくて、ケースだけ置いたって。	盗まれた		
141	誰かが持って行ったんやな。			
142	皆自分が認知やっていうことをカッコ悪いって思っ言わはらへん。	近所の友達は認知症をカッコ悪いと思っている	認知症の悪いイメージ	認知症の悪いイメージ
143	普通は、隠さる人の方が多いねんって言って。	認知症を隠す人の方が多いと聞いた		
144	自分が認知症とか、そういうのを人に言っても、恥ずかしいと思っったことがないけど、やっぱり思わはる人もいはんのよって言わはったときは、ちょっと、ええ？って思っった。	認知症を恥ずかしいと思っる人もいる		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
145	今でも認知症になったらもう終わりや、みたいな。そういう風な形の認知をされる。	認知症になったら終わりと思われる		
146	ただ認知症は失敗談の塊ですからね。よかったことなんてめったにない。	認知症は失敗の塊		
147	認知症の世界というのはもう非常識の世界。			
148	認知症の世界はもう非常識の世界で、もう悪いことが、もうどもならんことがもう当たり前の世界。	認知症は非常識な世界		
149	そやさかいに、とにかく見る、聞く、話す、するいうことは全て常識の世界から外れとんで、ほんでそれと付き合おう思たら、ほな我慢せなあかん。			
150	我慢しよう思たらこれはもうきりがないんで、最後にはもうへたって萎れてしまっ。	我慢・辛抱の連続		
151	もう辛抱して辛抱し、これももう切れてしまうんで。			
152	もうとにかく嫌なことが、ばっかし多いさかいな。	嫌なことが多い		
153	グランドゴルフも行ってるんです。ほんでまーご近所の方にも多分迷惑やろうと思って、もうグランドゴルフやってる方には全部お声かけてるんです。認知症いうことを。			
154	認知症って言われてから、地域のご近所さんには事実を伝えました。認知症と診断されたので、これからご迷惑をかけることが何かあるかもしれないので、申し訳ありませんけどまたよろしく願いますということ。	認知症であることを告白	本人からの病名の告白	
155	事実を近所の3人ほど伝えました。			
156	認知症と言われなきゃならんのがおかしいなと思って。人間忘れることはね、当然なんですよ。			
157	認知症とも言いたくないし、また言われたくないと思ってます。そんなの人のことはどうでもいいじゃないかって。	認知症と言いたくないし言われたくない	認知症と言いたくない	周囲への認知症の告白と伝えるタイミングへの迷い
158	自分からわざわざ認知症だと言う必要ないです。			
159	だから認知症だとか、地域の人にそういうことをね、PRしといて、いろいろやってくってというのは、それでいいのかなという感覚を持てますね。	認知症であることを伝えることの疑問		
160	認知症の人って、見ても分からないですね。	認知症があるとわからない	認知症にみえない	
161	皆さんおっしゃいますもん、「分からない」って。	外見からは認知症とわからない		
162	私は自分のために、帰るところがわからへんなったらかなわんさかいに、みんなに今の間に、頼むねって言うて。それが偉いねやっ、なんでやねんって。	周囲の人に頼むことを偉いねと言われる	それぞれの考え方がある	
163	何で隠すの？それがはっきり、隠さはる人の気持ちはわからへんけども、皆それぞれ考え方が違うし。	皆それぞれの考え方がある		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
164	昼食べてまた寝て、こういうことの繰り返し。			
165	そのくせに「誰々は何しとるやろ」って聞く。			
166	死ぬ死ぬいうてますわ。			
167	帰ったらもう同じこと何回も言っとりますわ。	同じ話を繰り返す		
168	マイナンバーカードのことも、ずっと頭に入ってる。「マイナンバーカードってなんや」毎回毎回「なんやこれは」。「あそこに入れているよ」「出してきて」「これか」「そうや。保険証よ」ねえもう、訳わからんわ。		繰り返される行動と言動	
169	ほんでやっぱり、嫌やな思うことはありますね。もう買い物なんかも、30分だけ。倒れるんですよ。何回も。自分のベッドからトイレまでの間に、倒れるんですよ。（ご主人が買い物に行っている間に）ベッドからは立ち上がれるんですよ。	何回も転倒する		
170	私も、スーパーと一緒に買い物に行って、かご持ってさっさと歩いていって、ちょっと待ってよ、言うて、私が手に野菜やら持ってどこ行った思っ探したりして。ワインとかビールるとか、そういう自分の欲しいもんを入れとちゃって。	勝手な行動		
171	ずっと一緒です。狭心症になったときに、車も何かあったら大変なんで、奥さん一緒にいてくださいって言わはって、それからはどこでも一緒。	何かあったら大変と言われて以来ずっと一緒		
172	(1人で留守番とか?)したことはないんですけど。出たことはない。	1人で留守番させたことはない	1人にしておけない状況	
173	自分だけは嫌みたい。(置いてかれるのは寂しいみたいかな?)うん。一緒に…。	1人にされるのは嫌な様子		
174	送迎が、ほんでお父さん1人で行ってか?って言ったら、いや、1人ではいかん、お前が乗せて言ってくれたら行く言うんで、そうか、言うてほんなら一緒に行くとか言ってこさしてもらって。コーヒー楽しみにしちゃって。ゲームがあったら、ちょこちょこっと内緒で、わしせえへんのか、お前行けよ、言うて、それでカフェの人がお父さんの番やでって言うてくれちゃったら、すっど立って。	1人では参加しない	1人では行動できない	認知症のために障害された日常生活と増える介護
175	デイサービスもお前一緒に来てくれるか言うて、いや、コロナの問題もあるから、一緒には入れへん、お父さん1人で行くんやで、送迎がいややったら送ってはいくけどって言うて。3日目、もう行かんって。行かんゆうのを無理にね…。	デイサービスと一緒に来て欲しいと言っていた		
176	(社会福祉協議会?)よく車椅子を借りたりしてたので、相談もできるみたいで、ええなーと思ったけど。ずっと一緒なので行けなくて。なかなかね。	ずっと一緒なので相談に行けない		
177	(持続可能な在宅介護のために筋トレしようにも)見てる方としてはそれをするにも自分の時間がある。それが取れへんのですよ。	介護者の体力づくりなどの時間がない		
178	毎日10時になる、寝かしつけたら。あと1時間はよ寝さしたいけど。そっから何かしよう思ってもでけへん。	寝かしつけてから何もできない	家族の時間がない	
179	書類はいろいろ溜まる。そんな調子で、やっぱり時間を欲しい言うたら欲しい。	書類も溜まり、時間が欲しい		
180	家にいるのが日月木、3日間。月木は訪看さん、鍼灸も来るしで、あんまりこっちは息が抜けへん。	専門職者の訪問時も息が抜けない		
181	日曜日ぐらい。でも近くにおらんと、いつ排便せんなんかわからから、あんまり買い物とかも行けへん。	日曜でも排便ケアに備えるため買い物に行けない		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
182	こういう場に出る時間がね。今日、こうやって出るのにも、掃除が、「2時半に家に帰るし」って約束して出てきたりして、私自身も時間が取れない。	家族会に出る時間もとりづらい		
183	昨日もちゃんと入れたつもりが、ほかに入れるんですね。で、探すんですね。	置いた場所を忘れる		
184	目指し時計は合わせたけど。台所に置きっ放し。			
185	忘れてね、人との約束を間違っちゃったり。	約束を忘れる		
186	認知症になったら約束事忘れていくわけですよね。			
187	失敗するってのは避けがたいわなんですよね。	失敗は避けられない		
188	分からへんのやろうね。			
189	(事実を説明しても) 信じてもらえない。			
190	3年前に骨折したんですけど、僕これ足なんでこんななったんやろって。は一覚えてないんやって。言っても聞いたことを覚えてないって思います。			
191	何かをやらなければいけないことを、すぐ忘れてしまいます。			
192	そのたびにメモしたりするんですけども、そのメモを見ることすら忘れてしまった。ということが多くなりました。			
193	それも私覚えてへんね。			
194	忘れてくんだから。			
195	昨日何をしたかもわかんなくなるもんね。			
196	お昼ご飯の時に、また忘れてて。			
197	だから犬が亡くなった時に、お骨も見せてあげて、「こんなあったで、でもお骨きれいだよ」って言って帰ってきて、「私、今日どこいったかいいな」みたいな感じになったり。	進行する物忘れ	進行する記憶力の低下	
198	僕んところも忘れてくれるんですよ。認知症だから。			
199	12月から1月にかけてがすごく進行しちやっただすよね。			
200	進んでるときは駄目なんですよ。この前お会いしましたねとか言われても、それわかんなかったら嫌じゃないですか。			
201	ら2年8ヶ月はゆっくりは進んでるけども、極端に何ができなくなるとか、そういうことなく。			
202	以前やってたことは覚えてるんですけども。今日はデイサービスやでって言ったら「デイサービスってなんや」って。最近はやっと忘れがちなところがあります。			
203	一応住所は書けますけど、前ね、「孫の名前が分からないので漢字で書いてくれ」って、「ああ、それ持っところ」って、それから、片づけたけど、それが分からへん。			
204	物の名前も忘れていきますし、孫の名前も忘れていきます。			
205	いわゆるその認知症の進行を遅らす、ということは、どちらにしても進行していく。	進行する認知症		
206	認知症ってある日突然になるものじゃあないよね。徐々になっていくの。			

認知症のために障害された日常生活と増える介護

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
207	面会で、最後まで僕のことわからなかった。「今日は楽しかったですまたよろしくお願ひします」って。			
208	全く私たちは他人と思ってるんですね。私も一応娘ですけど、お世話をしてもらって、私にしてもらってる。で、娘（孫のこと）も生まれて28年間ずっと一緒に住んでるんですけど、あの子はどっから来たんとか、もうそんな感じで、旦那は全くもうその枠の中にも入ってないんですけど。	家族を忘れる		
209	本人はしゃべりの方はしっかりしてましたし。ただ、しゃべんのはしゃべんねんけど、面会久しぶりに行ったら、結局その面会以外の30分弱の間、僕が息子やいうのが全然わからへんだみたいやね。			
210	当たり前共有してることを忘れてしまっていることが、父と私は非常に仲良く、似たような仕事をしてきたので、気持ちの受け入れが非常に良かったです。色んなこと忘れてしまっているところとか。急に表情が変わったりとか、全然事実と違う話したりとか。		進行する記憶力の低下	
211	これは性格があるんやけども、母がやっぱりこれ認知症関係なしに、昔からおんなじことばかり言うくせがあって、人の話は聞かないし、どうしてもコミュニケーションとるのが大の苦手なので、視野が狭いついていうか、会話も視野が狭いがゆえに、おんなじことばかり言うし。そういう夫婦のコミュニケーションがさらにとりづらくなってきたことと。	コミュニケーションの取りづらさ		
212	途中で入ったところはローソンや。この人はファミリーマートや。ローソンを探したら無い。だから言うてん、俺ファミリーで言うたやろ。ほなあったんやけど。普通持って帰るでしょ。また忘れてん。	忘れ物を探す際に妻(介護者)と口論になる		
213	旅行行って4回忘れてね。帰ってきて、行くまでにね、その時はあの、言い合いに…。			
214	(ショートから) 帰ってきたら、布団のひきかたもわからへん。情けないって言うたらあれやけど、当時は。病気やったらそんな風になるんやなって。	布団のしき方もわからない様子が情けない		
215	これは性格があるんやけども、母がやっぱりこれ認知症関係なしに、昔からおんなじことばかり言うくせがあって、人の話は聞かないし、どうしてもコミュニケーションとるのが大の苦手なので、視野が狭いついていうか、会話も視野が狭いがゆえに、おんなじことばかり言うし。そういう夫婦のコミュニケーションがさらにとりづらくなってきたことと。	コミュニケーションの取りづらさ		
216	一直線に落ちてくわけじゃないとおっしゃったけど行きつ戻りつで、いいかと思ったら全然駄目みたいな、自分のスイッチがその都度すごく感情が揺れ動くので。	状態の変化に娘の感情が揺れ動く	増えていく出来ないこと	
217	自分から一回電話したらどうやっていうけども、そういうことができない。	電話ができなくなる		
218	買い物にもついてこんようになりました。	買い物についてこなくなる		
219	友達と交流せいでいうけど、全くできない。	友人と交流しなくなる		
220	家の前の草引けいうても、できひん。	草引きができなくなる		
221	娘に言わしたら、洗濯せんとね、下着をベッドの上においとるやとって。			
222	体がしんどくなって入院して帰ってくると、自分の家の洗濯機であるとかそういう物の使い方がもう、えっ!?!というぐらいわからなくなってる。	洗濯ができなくなる		

認知症のために障害された日常生活と増える介護

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
223	食器を洗えいとうるんですけど、洗う時と洗わん時とある。	食器洗いができなくなる		
224	あとは家のことをするのが好きで料理もすごく上手だったから、火の問題。いつも家帰ってきたらなんかこう鍋が焦げてるとか。なんかそれはちょっと、どうしたもんかなっていうところです。	食事支度の失敗		
225	あんまりひどくなってね。朝のルーティーンが、朝起きてから料理というのが、どういう順序がわからん。ご飯たくの忘れてたり。ガスなんか使って、焦げたり。			
226	なんせ計算ができんようになってね。小さい時から計算は別に問題なかったんやけど、頭脳的に悪くはなかったんやけど。家計簿がつけられんです。家計簿が。	家計の管理	増えていく出来ないこと	
227	今もつけてますけど、2年前までは毎日の買い物、毎日するわけではないですけど。僕の貯金通帳と彼女(妻)の貯金通帳を開いたりして、それを食費がなんぼとか、出したんですけどね。それをやる意欲がないようになって。それも簡単な計算ができんのですよ。			
228	いや、漢字が。で、こう書いてて、だんだん下がってくる。	書字困難		
229	字も書けんようになってきて、いっぺんいっぺん辞書が何かひかんと。			
230	トイレとかね、風呂は自分でいけるんですよ。それができなくなったらお手上げですわ。	トイレが自分でできなくなったら困る		
231	こういう時にしゃべれなくなっちゃうね認知症はね。	話せなくなる		
232	我々は認知症を持ってるから、いろいろ生活で困ることがある。	生活で困る	できなくなることの自覚	
233	困ることいっぱいあるよ。高齢になってくると。			
234	何か乗せられている。自分が失われていきますね。	自分が失われる		
235	だんだん体が動かなくなってくるから。	身体が動かなくなる		
236	本当にだんだん、動作も緩慢になってね。時間がかかるんですよ。もう順番に、さっき言ったように、食べ物から順番に洗濯から、ポータブルトイレの掃除とかするんで、風呂とか沸かしたりとかしてたら、もう半日かかるんですよ。	動作が緩慢になり介護に時間がかかるようになった		
237	最初は飲みよったんやけど、だんだん飲まなくなって、先生に言うたら、お茶にちょっとそれを落として、飲ましてあげないって言われて、誤魔化してこっから先飲んで。	薬の管理	必要な手助け	
238	飲んでやったら、しゃあないわ言うて、先生こんなもん何が変わるんや、いうて、パーッほかしたりしよったさかいに。インシュリンでもどこも悪ない、言うてたことあって。それで1回往診してもらって。			
239	その認知症に対する世話はもうね、とにかく風呂入るんでもごはん食べることも寝るときでも、普段の行動でもみんなこう世話していかんだら。	世話しなければならぬ		
240	自分で判断ができんもんやさかいに、やってやらないかん。			
241	何してんのって言うたら、服が、前か後か分からなくて。時間がかかるんですよ。30分くらい。	着替えに時間がかかる		
242	ズボンも見たら、「あっウラオモテ履いてた」とか。ボタンをかけるやつなんかは、必ずずれてる。そういう面で、すべてに対して、服装として、色が合うとか合わないとかの感覚も。	着替えが正確にできない	更衣の介護	
243	うちも、最近は「これとこれ、どうやったらええねん、これどうやって履くんや」って聞くんですよ。	更衣の仕方がわからない		
244	本人(妻)が全然食べてくれないもんで、結構難儀しとります。まあ、それなりにやっとなります。	本人が食べてくれないので難儀している	食事の介護	

認知症のために障害された日常生活と増える介護

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
245	父はやっぱり毎日の食事とか。	食事の介護が負担になっている	食事の介護	認知症のために障害された日常生活と増える介護
246	食卓に準備して、お箸とスプーンとフォークを置いてたら、手で食べるときもありますし、使うときもありますし。何かしら使って、1人で、1人でっていうか、こうこう（ジェスチャーで示す）ですよ。	セッティングすれば一人で何とか食べている		
247	歯が無いんですよ。無いかな？よくわかんないけど。入れ歯をあまりにも紛失するんで、外さしてるんですね。	入れ歯を紛失するのでつけていない		
248	一番かなんかったんはトイレ。	一番困ったのはトイレ	排泄の介護	
249	自分で行くことは行きよっちゃったんやけど。娘も帰って、夜中でもトイレ行こうと思って見たら、掃除してからじゃないと私はいけなかった。びちょびちょに水がこぼれたようになってたんで。	トイレの失敗		
250	真夜中にでもちょっと起きて行こう思っても行かれへん、びちょびちょで。			
251	お父さん多分ちょっと座り方が浅いん違うか、もうちょっと深く座って、座ってしよってやったから。そしたら、わしやない、お前らや、言うて。	排泄の世話のしんどさ		
252	やっぱりお下の世話が、少し出てきたらしくて、全部つけおきして洗って言うから、ああしんどかったんかなあっていう感じで。			
253	お風呂のお湯も出し放しやったし、洗い物しようと思ったらお湯がちっとも出へんのよ。真っ白になっとなって給湯器のあれが、もしかしたらと思ってお風呂に走っていったらお湯がたーたー出て、もう水だけになって、私も入れへんし、寒いし。	お風呂の失敗	入浴の介護	
254	「お父さん出し放しやったで。」言うんやけど「そんなことあれへん、わし何もしとらへん、お前や」言うて、そういうことがありました。	入浴の拒否		
255	お風呂もめっちゃめっちゃ入らないんですよ。もうめっちゃめっちゃ入らへんし。			
256	せやのに1回酷かったのは、ベッドの上で、おむつの上でうんこしてたんですね。それがね、たまらんくて。お風呂入ってって言うても、嫌やって言うんで。			
257	抱えてバーンと放り込んだ。そしたら怒って、母が。それは怒るかなと思うんだけど、お風呂が出なくなっただけですね。	間違えたり、何回も聞かれると苛立つことがある		
258	間違えたり、何回も聞かれたりすると、たまにイラッとすることもあります。そんなときは、黙って自分で、ばばっとやってしまうこともあります。			
259	怒るということはないんやけど、同じ事何回もすると、こっちもね、なんな！言うてしまうし、あ～、言うたらあかんと思う。大変や。			
260	認知症に対する心がけといて、優しくするとか自尊心を傷つけないとか急がせないとかいうことはあるけれど、あの、そんなこともうしてられへんいちいち考えて。		自尊心に配慮できない	
261	そりゃ気持ち的にな、毎日楽しい気持ちでおるうんはなかなか大変なんや。	楽しい気持ちになれない	繰り返されることへの苛立ち	
262	前は甲高い声で怒ったりもしたけど、今はそういうこともなくなってありませんね。	今は怒らない		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
263	徘徊すごかった。元旦に大徘徊をやった。元旦で助かった。交通量が少なくて。車と衝突しいひんかったし。逆に見つけてもらうのもしんどかった。	徘徊がしんどかった	徘徊の対応が大変	
264	GPS言うても、完全にピンポイントやないから、探し回って、見つかった時は顔面お岩さん状態で、眼科とかでも、目もどうもなかったしよかったです。	GPSを付けたが徘徊時に探し回った		
265	初期の頃はやっぱり徘徊はすごかったです。体は丈夫やし。スタスタスタって行くしね。自転車も乗るし。	初期は体が丈夫で徘徊がすごかった		
266	幸いその(GPS入りの)カバンを持つ癖はついたけど、靴に貼るとかは、靴履いて出るとは限らへん。家鍵かけても、鍵を開けるとか。自分がこれをするということはきちっとできる。自分でやれることはやってしまう。	自分で開錠でき自立しているため徘徊の対応は難しい		
267	車椅子に行こうとすると、首下げてガードしてくるんで、ヘルパーさんが教科書通りにはいかへんって言うてはんねんけど、その通りでなかなか難しい。	本人が防御して移乗介助が難しい	移乗介助が難しい	
268	座ってご飯食べて、家におる日に限ってたいてい出る。1人しかおらへん中で、全部やらないかん。	排泄ケアを全て一人でやる	排泄ケアが大変	
269	全部1人でやるという風に整えてやらなあかん。大変と言えば大変ですけど。それはしょうがない。	排泄ケアが大変だが仕方ない		
270	(当事者) 怒りっぽくなってなあ。僕…僕あんまり怒れへんけどなあ。そういうのが割と多くなってきたみたいなので。(妻) 言い合いみたいになって。	怒りっぽくなり言い合いになる	頑固・易怒的になり対応が難しくなる	不穏・易怒性・妄想への対応に困る
271	証拠を見せないとね。物を買った、3年前やと。いや、違う1年やで。いやそんなことない。だから(証拠を)出せるものはいいですけどね。そうか1年しか経ってないんって納得するんですけど。	物忘れについて証拠がないと納得できない		
272	(証拠が)なかったらもう絶対、なんか間違ってるって。そないして怒ったらもう…うん。	納得できないと怒るため会話が怖い		
273	(奥さんが引いても怒って…) 怖い、いうのありますね。			
274	怖いですね、会話が。(忘れた場所が) ローソンかファミマかで(言い合いになった時も)、(場所の証拠となる) もうそのパンのあれがあったから納得したけど。			
275	(暴力は?) 暴力はない。うん。物には当たる。			
276	もともと性格がきつい人で、かりつけ医は、認知症の人は当時の性格が増幅され、もともと強いきつい人やったら、きつなる、言うて。	元の性格のきつさが発症で増幅された		
277	喋りまくってそれもうたまらんから限界来て。いま何人待ちで順番で、って言うてるうちに順番回ってきて老人ホーム行きまして。	多弁でたまらず限界が来た		
278	ずっともう朝から晩まで、(中略)とりあえずスイッチが入ると烈火のごとく怒って、殺せとか、お前らが転がり込んで来たんだらうとか。	暴言		
279	うちのかみさんやらに手伝ってもらおう思たら、大分進んでからかな、あんた、あんたと結婚したからおかしなつたんやとかね、もうめちゃくちゃです。			
280	うちの母も認知症のそういう検査とかしてもらってないんですけど、もう本当に毎日毎日同じことを繰り返し繰り返し、もうスイッチが入ったらすごいもう、もうすごい言葉で悲しくなるぐらい。最初はほんまにもう応戦してて、火に油注ぐ感じでやりあってたんですけど、最近は悲しくなるぐらいもうちょっと、もうスイッチが入ったらあれなので。もう本当に、隣近所の人がやばいんちゃうかって通報されるぐらい…そんな感じです。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
281	物とられ妄想があまりにもひどく、「わーっ盗られた」って、自宅の周りに7台防犯カメラをつけ、セキュリティ会社が入り、なおかつ、食器がなくなったとか、自分が書いてページが破られて盗まれたと言ったり、お薬が消えてなくなった、誰かがとりに来はった、ってまた病院で自費で薬もらってくる状態。	物盗られ妄想で不穏となる	物盗られ妄想・被害妄想への対応に困る	
282	症状が落ち着いて安心してたけど、子供が夏風邪で、母にうつしたら一番困ると思って10日ほど行かなかったら、また物とられ妄想がひどくなって。	会わぬ間に物盗られ妄想が再燃・悪化した		
283	食器がなくなったのを、「大丈夫くなってないで」って言うけど、本当に怒りが収まらない感じで。うちに余ってる食器、足しとこかなって思ってる日々。	物盗られ妄想で怒りが止まらない		
284	「布団盗られた」って前に言うてたんで、以来、布団のどこ、空けてないんですよ。また盗られたとか言うし、泊まりに行くのはやめとこかな。どうしようかな思ってる。	物盗られ妄想の再燃が不安		
285	2015年発症で、この5年間は在宅で、親父亡くなって一人暮らしで友達とカラオケ行ったり元気やったけど。被害妄想、ごっつ強かったです。	被害妄想が強い		
286	隣が風呂の水のんでまうわとか、無線でなんかやってるとか、財布がなくなったとか、しょっちゅう。	隣人への被害妄想		
287	財布大事やからどっか置いて（風呂）出たときに忘れてしまう。そんなときは、もの盗られ妄想、すごいひどかったし、被害妄想。	置き忘れによる物盗られ妄想・被害妄想		
288	そこに至るまでやっぱりいろいろね、ほんまに被害妄想のことやら、事件に繋がるやら、包丁出されてやり合いかけてりとかね、もういっぱいあります。	被害妄想など大変だったことがたくさんある		
289	分からへんからね。で、僕の責任みたいになるんですよ。「お父さんがここに入れたんやろ」みたいに。	家族が疑われる		
290	私も母の介護をして2年、1人ぼっちで寂しいんやって、よく私に言ってくれるんです。だから、私が家に居たら、遊びに来てって。	母もよく一人で寂しいと言う	本人の寂しさ	本人の思いへの着眼
291	やっぱり友達やらとかがどんどん亡くなったりとか、仲のええ人が亡くなったりとか、親戚のおばさん方も同じような症状で、足腰悪なって来れへんとか。孤立やね。孤立してみたときに、やっぱりポツとおかしなっちゃうかなって。	友人が亡くなるなど交流が減り、孤立したときにおかしくなったのかと思う	本人の孤立感	
292	主人も「泊まりに行ったら」って言うけど、行くことによって、母は気い遣い「布団干したげよ」とか80代なりに思うと思うんで、それはそれでしんどい。	泊まるのは本人に気を遣わせると思う	本人の思いを推測	
293	夏休みだけ頻繁に行って、また9月から寂しい思いをさせてっていうのもある。	頻繁に行った後、寂しい思いをさせるかもしれない		
294	あとは今までの生活、住んでた家が処分され職場、仕事も閉じたみたいな流れですごい喪失感で苦しんでたのが、時間とともに心の中で決別ができてきたっていう心の流れ。妹もすごく向き合ったりして。	家・仕事の喪失感に苦しんでいたが心の整理ができたようだ		
295	すごい、帰ってきたらすごい物を食べますよね。だからすごい緊張してるのかな。「何も食べさせてもらってないし」って、すごい勢いで。ご飯をおやつ、ご飯…すごいですね。	デイではすごく緊張していると察する		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
296	ずっと最近では違って、きつく言ったことを、なんで僕がきつく言ったことに関しては忘れてるんですけど、きつく言われたことだけ覚えてるような気がするんですよ。	きつく言った内容は忘れるけれど、きつく言われた印象は覚えている		
297	無理やりやらしたら、その記憶が残ってるのか知らないですけど、トイレ付近ではすごく、最近行くの嫌がる時があるんですね。	嫌な記憶が残っているのか最近トイレを嫌がる	本人の感情の記憶を推測	
298	だから、その行われた記憶が、記憶だけが残ってて何で怒られたかと誰に怒られたかっていうことは忘れてるのかもしれないです。	怒られた感覚の記憶だけが残っていると思う		
299	歯が悪いので、つつい甘くて柔らかいもんばかりを与えてしまうけど、どうしたらいいの、どうされてるのかっていうのを伺いたいです。	歯が悪いので甘くて柔らかいものを用意してしまう	咀嚼力への気づかい	
300	でも、機嫌よく。例えば鶏肉であつたら、ささみとか。あれとかの方が食べたりします。お肉とかでも、薄切りにしないとなかなか難しかったり。	入れ歯が無いので食べやすい食材を選んでいる		
301	3食は作ってます。いやそうなんすよ。ただ、もう5年間ぐらいずっと作ってあげてたんでね。	食事を3食作っている		
302	何か食べやすいもんがあつたら、その高たんぱくで糖質が無くってっていうふうなもんがあつたらいいなと思ってるんですけど、何を食べさせたらいいのかって言うのが。その、なんちゅうかポカリスエット的な、そういうものじゃなくって、自然なもの。それで一番いいのが何かと思ってる。	自然のもので栄養の良い食材を知りたい	栄養への気づかい	
303	今まではいっぱい食べて残してなかったんですけど、最近ではもうお腹いっぱいって食べないんですよ。急になんで、食欲が減ったら、だんだん老衰が近づいていくのかなと思ってるんですけど、でもそうかと言ってほっとくわけにはいかないんで。	食欲が減っているのが老衰に近づいていると思う	食欲への気づかい	
304	やっぱりこう食欲がないって何か、最後の…食欲って最後の砦っぽくないですか？	食欲のなさが気になる		
305	ずっと食欲があつて食べてたんですけど。最近食べる量が減ってるんですね。でも減ってるからといって、体重が64キロなんで、太ってるんは太ってるんですね。でも、体重が減ってるんです。何を食べさせたらいいのか。	食事量が減って体重が減っているのが心配	体重の管理	体調への気づかい
306	それはそうそう。減らさなアカんと思ってるんですよ。実際そんなに減ってるって。	体重の減り方が気になる		
307	それはもう、お医者さんからも、体重は減らせて言われて。減らせて言われてるけれども、やっぱりその食のリズムってあるじゃないですか。それが狂ってくると、ちよつとあれ…。	医師から体重は減らすよう言われているが、食のリズムが気になる		
308	エアコン28度に設定してるんですけど、寒いって言うんですよ。寒いって!? こっちはすごく思うんですけど。すごく寒がって、でも熱中症なつたらかなわなので、つけっ放しにはしてるんですけど、僕が出かけて帰ってきたら、窓が開いてたりとか、なんか上からセーター着てたりとか、汗だらだらかいてんの。で、帰ってきたら、クーラー窓閉めて。脱ぎなセーターとか着てんって言うたら、「暑かった」って言って、脱いだら「寒い」といっちゃうんですね。	室温調整や衣服調整が難しい	室温や衣服調整	
309	これははっきりこの間から言ってるのが、お年寄りには頭の関係で、温度調整がもう鈍くなってるよっていうことをちゃんと教えて。最初は私お年寄りちゃうとか、お年寄り扱いせんといてとか言うんですけど、調子いい時は、あーそうか一言うて、私が言うたら、最近では脱いでくれるようになりました。	室温や衣服調整の必要性を説明している		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
310	かなり私のところも、それこそエアコンもかかってんのに、もう2枚3枚着てるし、ほんでボトボトに濡れてるし。大変で。さっき言うたように老老介護やから知らん間に熱中症になって倒れられたら困るし。なんとか一応今年の夏は。夏と冬は怖いですね、2人で住まわしてると。そんな感じで、最近は半袖をやっと着るようになりました。	室温や衣服調整に気を配っている		
311	コロナで体力落ちて、治ってからは絶好調。自力排便続いているし、時々知らん言葉思い出すし。	自力排便や発語に好調さを感じる		
312	今もう車椅子やし。昔見た認知症の映画、浣腸しておっきいのが出たらバンザイって言うてはって、なんやろう？と思ってるけど、今そうですわ。自力で出たらもっとバンザイ。この頃調子ええんですけど。	自然排便があるだけで喜ばしい		
313	今日なんか凄かったよ、これぐらい体起こして、起きられるんかと思って、ご飯食べてたら今度寝てしても、ヘルパーさん来はったらまたパシーって座ってる。	体の起こし方・座り方が凄いい		
314	(面会次はわかるかも) それ聞いて「波あるんやな」って。はっきり喋ってるし、元気そうやし安心は安心。前はそのパターンで。今回は時間切れで。最後まで「ありがとうございます」って。	はっきり喋るし元気そうで安心		
315	面白いのが私の家にずっと遊びに来てたんで、ポイントごとに覚えてるんです。全然忘れてるのに、え、こんな道知らんとか言うんでばっか行ったら、あ、この交差点知ってる、このお寺知ってるって言い出して。	記憶に残っていること(道・場所)もあり面白い	健康的側面への着眼	
316	あ、なるほどと思って。つれ歩いたら、何か父の中で地図ができて、たくさん散歩しましたので(昔)ちっちゃい子連れて。	一緒に散歩したら残っている記憶があると知った		
317	まだスタート。まだ初期ですし。色々環境整えたことで急に落ち着いて、最近是非常にお薬も効いたりして、身の回りのこともできるようになりましたし。	環境調整と薬で落ち着き、セルフケアが戻った		本人とのつきあい方の工夫
318	色んななんでもってところを整理して一人で生きていくんだみたいになって、家事力が強い父だったんで、また取り戻して食器洗いとかもできるようになって。	状態が落ち着き、家事力を取り戻した		
319	やっぱり自分一人で生きていくみたい、1か月前から、食器洗っとくとか、掃除機かけたくみたい、元々慣れてたことをやることを思い出した、いつも家で掃除機もかけてたし、食器洗いとかやってたし。	自立心が沸き、家事に取り組みだした		
320	デイケアに行っても、キムタクの話をして、デイの人にキムタクのポスターもらって喜んでるっていう。まだそこは残ってるなって。	残っている部分もある		
321	今は何か少し整えて、簡単な料理も自分でしてもらいようにしたり、電子調理器入れたりとか。	料理ができるよう電子調理器を入れた		
322	ここの会報に帰って来れなくなったって書いててこういう日も来るんだろうなって、だろうけれども、少しチャレンジする気が起きているというっていう感じで。	進行するとは思いますがチャレンジもしたい	健康的側面を活かす	
323	気持ちがすごく落ち込むときもあるけど、仕事の相談に乗ってくれたり、父の専門的なことを聞くのが大好きだったんで、父が来てくれると何時間も話をする。	仕事の相談や本人の専門分野の話を聞く		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
324	犬がなくなっていなくても、どっかの人が預かってくれとるんかねって言って、全然その逆で、その悲しまずに、何か終わってしまったという感じで。	忘れるから悲しまないで済んだ	記憶力低下のポジティブな側面	
325	そしたら、そこでぱっとまた思い出しちゃった。ももちゃんが生きてるんだったら、だから、死んだってことを覚えたんですね。	覚えていることがある		
326	行ったらちゃんと用意して待っててくれたので、もうそういうことがね、ささやかですけど大変嬉しいです。			
327	朝のテレビ体操。間違えても、どないしてもいいから、後ろから、言うたらあかんわ思て（見てるんです）。	体操を間違えていても言わないようにしている	本人の行動を見守る	
328	ずっと朝行ってますけどね。私もいい加減ちよつと心配だからね。遠くからちゃんと言ってるかなとかね、出たら見てるんですけど、道間違わずに行ってますんでね。	間違えずに行けるが心配で遠くから確認している		
329	やっぱり薬でも目の前にあって、これか？これ飲んだらいいか？って聞かはるんですけど、私は知らんって言うんです。考えてって。知らんなーって言うてしまつたら、教えてって言わはるんですね、教えへんって言うたらしばらくしたら、薬そこから出して飲めてはるんです。	聞かれても教えず、放っておいたらできている		
330	もうこうなったら人形みたいになるんじゃないかと思つて。これでいいか？これ使つていいか？これ私のか？下着もそうです。これ履いていいか？置いてあるんやろうって言うんですけども、これでいいか？これでいいか？って確認するから、知らんって言うたら、しばらくしたらちゃんと自分でやれてます。	全て確認してくるが、放っておいたらできている		
331	しゃないからほっておくんやけど。	ほっておく		
332	もうええは思つてほっておいてるんです。			
333	私は我慢する耐えるということよりも、あの、やっぱりね、それが楽しい、何か、あの一、そういうね、嬉しい方に物を考えて行かんなら。	苦しみを楽しみに変える	視点を変える	本人とのつきあい方の工夫
334	楽しいような気持ちになるようなことにしていかなと、我慢は切れなんで、			
335	やっぱりね苦しみを楽しみに変えていくということが、そら難しいけどそうならなあかんのや。			
336	それ（認知症）に対する考え方を私は変えていかならん。	認知症に対する考え方を考える		
337	どう心構えを変えていくか。			
338	心の持ち方一つなんやけどそれがなかなかできんやな。	心の持ち方を変える		
339	そうやってなんとかやっついていこうと今頑張ってます。			
340	できるだけ、家におらずに出ていくんです（Aさん自身が）。暑いけど。畑に行つて、休憩しながら。そしたら気分もちよつとは楽になる。	場所を変えて気を静める	割り切る	
341	「それちよつと違うわ」とか思いながら。でももう、何も言わんでね。キャベツはまあ、食べたらいいわって、朝からかっかしてる。	違つてもまあいいわと思う		
342	あとスイッチに入つたらなんとかなる、そんな状態ではありますけど、何とかやってます。	何とかやっている		
343	そうなんです、そうなんです…上手く、上手くはやってないんですけど、妥協点ですね。	妥協点を見つけながらやっている		
344	トイレはポータブル使かつて、毎日掃除せんならんけど、そういうの一つの仕事やから。	ポータブル掃除を毎日の仕事としてやっている		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
345	無理やりさせるわけも。どないしたらいいか。	どうしていいか困っている	困っている	
346	書いてあるんですよ、今日は、なんの日って。ゴミの日も忘れたり。カレンダーには大きく書いとるんですよ。	ゴミの日を忘れないようにカレンダーに書いている	メモの工夫	
347	助言をもらって見えてきたと言うと、父が自己有用感、自分も役に立てるとか、気持ちを戻してきて。	本人から助言を得ると自己有用感を取り戻した		
348	デイサービスというと本人にプライド残ってて。体操って言うて筋トレみたいなものに行って。7月から2回行くよう、上手に勧めて、行きかけてくれている。	デイサービスと言わず「体操」と上手に勧める		
349	できるだけ、よかったら「いいよ」とか、「これはおかしから変えてみたら」とかいうように声掛けしている。	声掛けをしている	自尊心を守る言葉かけ	
350	現時点ではそのように考えて、なるべく優しく接してあげよう、穏やかにおしてもらえるように、一切お母さんには口答えせず、なるべく優しく接してあげようということ頑張っております。			
351	もう諦めました。扇風機が回ってたら寒い。つけたら黙ってる。(中略)最初はイライラして、熱中症なるやろってどうしても言ってしまったんやけども、もう最近ちょっと優しくして、カーディガン脱ごか、暑いなって赤ちゃん扱いしたりとか、(中略)新しいの着よかて。	優しい接し方		
352	いや機嫌ようとは。「血圧調子ええよ」言うて「今日あれやなあ」で行く気にさせて、見計らって用意しようかって感じで。毎回「行かへん」言ったらどうしようて。	機嫌よく行動できるよう声掛け・タイミングを工夫する	声掛け・タイミングを工夫	
353	そのときは、違う話したりして。	違う話をして気をそらした	本人を変える対応	
354	本人は、やってもらえる、外に食べに行く、もう、そっちの方がいいみたいな。	楽な方がいい		本人とのつきあい方の工夫
355	できるだけ、簡単な料理しかできないですけど。でも、(本人には)できるだけやらせようとして。		できるだけやらせる	
356	自分でできるだけ、簡単なものでもいいから、野菜サラダでも、「野菜サラダの材料はこうやって刻んでね」って言うても、大きさが全然違う。	本人にはできるだけやらせる		
357	「なんで俺行ったんかな」って前も言うたから、「怪我したりしたらあかんから、体操で、手ついて、転んだり、手ついたり、そういう運動だから、、、」それで納得したんだけど。でも、認知症だからって言うのはダメなのよ。	認知症とは言わず、運動だからと言ってデイサービスに行っている	本人が納得する対応	
358	だから、私自身のためって言ってしまって、やっせんけど、最近はとにかくもう、右から左へ流そうかなって、聞き流して、そやなそやなって言うとかかなとか。	自分のために聞き流す	聞き流す	
359	なんかいいかいな、と思って。一番上のふた開くやろ、次に便座が開くやろ、便座の間に隙間があるんや、あそこから漏れとったらしくて、娘がインターネットで見てくれて。便座の前にシート、それを買ってからやっつ、楽になった。そんなん知らなくて、あるというのが。娘がスマホで調べて、何か方法がないかなあ言うて。	娘が便座前に置くシートを探してくれたので掃除が楽になった	環境の工夫	
360	私が1週間に1回を見かねて、すごい言うて、うまいこと言うて入ったら言うんですけど、昨日も入ったら言うたら「いや何か体がおかしから入らへん」とか、なんか今入ったら？って言うたら「みんなが入ったら…」古風な女性なんで、いつも最後に入ってた。今そんなみんなが入ってない時に入りたくないというところで、まあまあ入らへんでも死なへんかなと思って放ってあるんですけど、ちょうど1週間ぐらいにいつも私が声をかけて入ってもらってる。	理由をつけて嫌がるので1週間に1回声をかけて入っている	促しの回数の調整	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
361	で、看護師さんに電話してすぐ来てもらって、2人来ていただいて、看護師さんにも噛みついて、「まだ私はここにいる」とか言って、せやけど、しばらくしたら上がってきたんですね。上がってきたら、ニコニコしてたんですよ。	訪問看護師にも抵抗していたがニコニコして風呂から出てきた	第三者の助けを得る	
362	今はもうあんまりきつくお風呂に入れとは言わないんですけど、1週間に1回ぐらい看護師さんがシャワーを浴びせてくれるみたいな感じで。そこにもうあまりタッチしとこうと僕は。	訪問看護師が週1回のシャワーしてくれるので、自分はきつく言わない		
363	周りの環境が大事。2ヶ月に1回見る医者より、毎日見てる介護人の方がよっぽど重要で、私は医者がグチャグチャ言うても、自分で見てるんやと。	毎日見ている介護者の誇り	介護者が自信を持つ	介護に自信を持つ
364	毎日見てる私ら家族とかヘルパーさんとか。見るスパンも違うので、週1の変化で見の方が良いこともあるし、医者の言うままにはなりませんっていうのがある。			
365	状況によって浣腸が必要な時と違う時があるし、ヘルパーさんも訪問看護の方も来られるけど、私も任せっ放しにはしないと。	専門職者に任せっぱなしにしない		
366	薬だって便秘薬程度ですけど、自分で見て調整するし症状も見てるし、その辺は医者に負けるつもりはない。別に喧嘩はしてないんやけどね。	心身を見る力がついた		
367	しっかりしてる部分も尊重したいし、しっかりしてるって思い過ぎないようにしようみたいな、そういうのは少し慣れてきたかなと思ったり。	本人の力を見極めることに少し慣れた		
368	助かったのはセコムのGPS。亀岡市は入金しか見てくれへんけど、外出するときはこのカバンって持って行ってたから、何とか見つかった。	セコムのGPSで助けられた		
369	いろいろもうヒヤヒヤもんがいっぱいある。こっちが知らんような道をね、入って行って、田んぼの溝にジャポーンとかね。よう命があったね。	徘徊中に溝に落ちるなど危険がいっぱいある		
370	映画で徘徊を自由にさせてますっていうやつだったけど。そんなんは結果論。無事に帰ったからよかったけど、車で当たったら勝ち目ないし。徘徊で行方不明の人は増えてる。それはちゃうで、っていうのがその映画の感想です。	無事が守られない限り「自由に徘徊」はさせられない		
371	朝のご飯は起こして食べさせる。起こした以上は離れられへん。今日は食べられそうにない、液体のが欲しいと思って冷蔵庫まで行くのに、ほっとくとあかんから、ほぼ付きっきり。後ろに目が一つほしいね。	姿勢が保持できないため食事時は目が離せない		
372	怖くて山陰線も乗れへんコロナにかかったらあかんから。よう行かんのです。京都市内よう行かんのです。	本人へのコロナ感染を怖れ介護者が電車に乗れない		
373	(コロナ感染) 危ない危ない。用心してたのにかかるから。その後がきつかった。抗生物質で治ったけど、繰り返すと効かへんらしい。その辺も怖い。	感染症と抗生剤の耐性がつくことへの怖れ		
374	いきなりダイエーに一人で行くって言って、交差点で帰ってくるって言うから送り出したけど、どうしようこのまま帰ってこなかったらってウロウロしてたけど帰ってきて、ダイエーで本買って来たみたい。	1人で買い物に行かせることの迷い・不安		
375	バスで何か遠出して買い物してきたって、もう恐る恐るなんですけど、妹に言わずに。妹に言ったら「えっ!？」とかって言われるから、こっそり出て。			
376	私が仕事して一日家いないんで、自由に出ててもしょうがないから、すぐコンビニもありますし、パン買って来たわとか。妹は大原でバス乗って、非常に危ないので近所は散歩しますけど妹はすごい慎重です。	1人で家を出る範囲を慎重に考える		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
377	油断していると怖い。どう変わるかわからへん。			
378	医者に言わすと比較的緩やか、すぐには来いひん。10年前ぐらいはアルツハイマーって寿命として平均的に7年か8年ぐらいと言われてて。そこは乗り越えた感じはあるけど。それもわからへんですし。	状態悪化への恐れ		
379	進むときはカクンと落ちて。調子良いなー安定してるし。目指せ老衰大往生。量で寝てて立つのがしんどなって車椅子に乗ったり、コロナとか。いろんなことがなだらかに来ない感じがします。	大往生が目標だが今後の見通しがわからない	状態変化への不安	
380	この先どうなるのかわからへん。だから経験者の話を聞いて、大往生が目標ではあるけど、どう変わるかわからへんから。知っておきたいから。			
381	父も混乱状態で非常にせん妄や転倒、ありとあらゆる事が起こって、姉弟3人で分担して、弟も近くにいたので、何をどうしたらいいかっていうところで。	混乱・せん妄・転倒が起き姉弟で分担して対応した	混乱の中、きょうだい(本人の子ども)で分担して対応する	
382	何もかもが変化して、どこで暮らすっていうのが決まらないままとあえず妹宅にいるみたいなどころだったし、私も娘が出産を控えておりそっちもパパタでした。	本人・家族の暮らしが目まぐるしく変化した		
383	大体彼女が悪いやけど、子供らには、私はあんたらの世話にはなりません、悪なったら施設に行きますから。今でも喧嘩になる。そういうこと言うで、子どもがって。	本人が子供の世話にならないと言い、けんかになる	子供の介護拒否	
384	(認知症の)妻は、妻が悪くなったら夫が世話するもんやって。	妻が悪くなったら夫が世話するものと言う	配偶者の義務	
385	私が体操やめようかなとか息子に言って、(息子は)習慣づけろって言うんけど、それはいいのかわるか。	体操の中止を「習慣づける」と息子に言われる		
386	息子にしたら「それは甘やかしすぎや」って言うけど、ええのか悪いのか。	対応が甘いと言われ		
387	友達に客観的に見てくれることも大事、息子さんの言うてるとは間違っていないから意見として私自身が受け入れた方が、いいよっていうて。	息子の意見を聞くよう友達に言われる	家族間の捉え方の食い違い	家族の共同とその難しさ
388	証拠写真を撮って。口で表現できんことを、写真見て、こういう症状やって見せると、親子やから愛があるので受け入れてくれるところもある。口で言ってもなかなか。聞き流されるので、証拠を挿んで。	証拠写真を見せて息子の理解を得る		
389	12月末に妹家族のところに集まった時に父がアルツハイマーと聞き、一連のごたごたで母はもう面倒見ないとすごい険悪な雰囲気。父は仕事もして、神奈川で母と2人暮らしてたんで、父置いて母帰っちゃいまして、そこから修羅場の日々。	発症後、母(本人の妻)が出て行き修羅場の日々		
390	一番大変だったのは、姉弟間の連携、役割分担が、一生懸命話したけど上手くいかない。	姉弟(本人の子)間の連携・役割分担がうまくいかない	家族関係の摩擦・断絶	
391	みんな仕事もありパズルみたいな、ちょっとしたことで歯車がかげ違って、今は1人とは連絡取れない状態。母とも。私と妹でとりあえず欠けるところなく頑張っていこうかって。きつかったです。	弟(本人の息子)・母(本人の妻)と音信不通となり、きつかった		
392	一番大事にしてきた配偶者とぎくしゃくされ、会話ない状態に。残念ながら、父の発病に関わるごたごたで、妻と弟はものすごくぎくしゃくして、今は次女と連携して頑張ってますけど。	本人と配偶者、本人の子ども同士がぎくしゃくする		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
393	配偶者である母ですね。一言一言すごい裏まで考えて、発言も真偽を考えすぎ神経すり減らして会話してるのを見て、認知症の方の周りで起こるトラブルを凝縮して見てる感じがして。	家族同士が神経をすり減らして会話する		家族の共同とその難しさ
394	私は発言することありましたが、気使います。非常に周りに減りながら、新しい環境を作っているっていう感じはし、今もそれが続いている。今までとは違う会話の仕方をしてると思います。	周囲の人が神経をすり減らして新たな環境を作る		
395	(息子も認知症の母も)両方とも気が強い者同士なので、もうそんな家出て行けみたいになって、何か私はすごく気持ちが減入る。	言い合いになって気持ちが減入る	家族の言い合いを聞く 幸さ	
396	肝心のばあちゃんすぐ忘れてるし、息子は全然気にしてないし、気にしてんの私だけ？ってなって、何かそれがすごく腹立ってっていうのを繰り返してるっていう感じ。	けんかしたも同士は気にしていない自分だけ気にしている		
397	悩んでんの私だけみたいな感じっていうのはちょっとやりきれないなど。	一人で悩み気をもむ		
398	いい加減わかったらと思うんですけど、3年経ってもずっと一緒、ほとんど。まーちょっと変わってるけど、何で怒るのかなあと思うんですけど、なんかこれ前言うたやんとかね。パーって言わはるし、今ご飯食べたんやとか言われても、向こうは「何でそんなウソつくん。私に食べさせない」みたいになって。何でそれを言うのかなあっていう感じですよ。でもどっちも激しいんで。激しい者同士、似た者同士みたいなね。	夫が認知症のお母さんと言いつつ	親子で言い合い	
399	名前みたいなものはどうでもいいかと。私らでも芸能人の名前全然出てきませんし、それと一緒に思わないといけないうち、この頃は思ってるんですけど、それを言われて、楽しく死なしてやってくれて言われた時に、そうやって思ったんですけど、5分も経たないうちに、あんたは毎日一ひんやろ、何綺麗事言うんやって思ったんです。綺麗事やろ、それはって。毎日聞いてたら、そんな気持ちにはなれんと。	毎日介護してない家族の意見が、綺麗ごとを感じる	家族の意見に対する反論	
400	ストレスもね、大変ですよ。毎日のことやから。	毎日のことだからストレスも大変	家族のストレス	家族の心情
401	でも24時間見ると、昨日も開かれた、今日も開かれる。だから母親に、昨日も言うたな。今日も言うたな。何日か前からずーっと言ったなっていうことの愚痴が出てしまいます。	24時間みると、愚痴がでる		
402	でもほんまに、1日24時間一緒にいると、こっちも、そう、変になりそう。	24時間一緒にいると変になりそう		
403	たまに、誰かが見てくれている母のところに、1ヶ月に1回私が行ったとしたら、これでいいかなあと言ったら、これですよって言えると思います。少々ボケたようなこととしても、見過ごせると思います。優しい言葉がかけられます。	たまに関わるなら優しくできる		
404	今までは通ってから帰ってきたら自分の世界がある。楽にできる。また明日行こうかっていう、仕事に行ってるような感じで接してましたが、朝見たらいる、夜までいる。その状態の精神的なもの。	別居の時は、仕事と違って実家に通い、自宅に帰って楽にできた		
405	24時間一緒にいることになりまして、もうこちらが、対応的には気持ちが対応できなくなってる。	24時間一緒にいるようになると気持ちが対応できなくなってきた		
406	友達でも同じ歳の方でしっかりされてる方があって、この人は1人で何でもやってはるんやねって言うて、頑張ってもらおうと思ってるのに、母はその人は賢い人や。私はアホや、ボケてしまうた。だから優しくしてくれなあかんのや。あの人にはあの人、人は人やろって言わはるから、そういう意味で、私は言ってるんやない、おばあちゃんの同い年の友達がそんな1人でばーっとやってはるんやったら私もちょっとはできなあかんって言うのを期待して言うてるのに。	母に頑張る気になって欲しいという意図が伝わらない		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
407	毎日毎日あの人のこと言うな。人は人やんか。あの人は賢い人。私はアホって言う。もう諦めたあれで、もうできへんで当たり前やなあっていうのを悟ってしまってる。それをちょっとでもちょっとでもっていう気持ちがもう、あの手や体をグッと握るその気持ちに、行ってしまっ、もう虐待かもしれません。	思いが伝わらない気持ちでぎゅっと握りしめてしまう虐待かなと思う		
408	だいぶうちの主人も、ほんまにそうなんやなっていうのは徐々にわかってきてるけど、忘れた頃にそういう何か爆発的なことが起こって、	息子である夫もわかっているが爆発するときがある		
409	ほんで、あの～怒る時はトイレが多いんですね。トイレを、おむつ替えたり、トイレするんで、その時に、母がすごく抵抗する時があって、その時におむつを破ったり僕するんですよ。早く！って。	トイレ介助時の抵抗によく怒ってしまう		
410	そんな大きい声だったら連れてこれへんでって思わず言うてしまうときがある。	大声を出すので連れて行けないと言ってしまう		
411	男の場合は、イラっとしたときとか、きついでしょう。それができないので、むっとして、うーんもう、違うやろって。	男性はいら立ちがきつい		
412	女性（が介護者）の場合は違うと思う。やっぱり女性はそこまでは、くっと出てしまうからね、男性の場合は、ぐっと一呼吸置いて、ねえ、奥さんに接してると思うねんけど。	介護者の性別によって対応に違いがある		
413	認知がどんどん、どんどんっていうかね。なってきた、やっぱり自分の母親です。もうわからないようなことがあったら「なんでわからんのや！」って言って、細い細い手をギュッと握りしめる状態で訴えます。	実母であるがゆえ、言ってしまう		
414	自分の母やからです。もしも、主人の母親、もう亡くしてますけれども、主人の母やったら、お風呂1週間に1回でも放つときます。少々認知症のそんなんでも、ええやん別にとって思います。どんなことしてはっても、やっぱり言えないんです。お風呂1週間…そんな汚いっ！っていうことも言えませんし、もうどうでもいいかって半分思います。	実母と義母とでは対応する気持ちに違いがある		家族の心情
415	でも母親の場合、もうこれ早よ入らなあかん、そんな汚いようなんではあかんっていう状態で、もう無理やり入れてしまいます。お風呂には毎日入れます。無理やりでも入れます。「もう寝る、嫌や」とは言うてはりますけれども、それはもう、やっぱり入ったら気持ち良いやろっていう状態で入れます。もう無理やり入れます。	実母には無理やりに対応してしまう	性別・続柄によって異なる気持ち	
416	今日も朝から喧嘩してきたんですけど、朝からめっちゃくちゃ喧嘩してきたんですけど、実の息子と実の母なんで、めっちゃくちゃ言うんですよ、僕も。	親子なので言い合い喧嘩する		
417	週1回のデイサービスの頃は、やっぱり本人が基本的に強い人なんですけどね、やっぱりかなりもう、私はボケてへんとかね、しょっちゅう喧嘩する。	本人とよくけんかをした		
418	うちの主人はすごいちょっと気が短くって、いつも思うのがわかってると、お母さんが認知症であることはわかってるけれども、パパパんと、ほんまのことを言うんですよ、ストレートに。	(息子である)夫が認知症のお母さんにストレートに言う		
419	実の息子はきついです。	息子はきついと思う		
420	アルツハイマーの頃は本当に入浴を嫌がるとか、ちょっと排泄の問題が出てくるとか、いろいろ私も、本当に実の娘なんで本当にきついこと言った時期もありましたし。	実の娘なので本当にきついことを言った		
421	私の父も自分の奥さんっていうか妻が、そんなふうになくなっていく姿がやっぱりやり切れなくて、かなりきついことも言ってた時期も確かにありました。	父もやりきれなくてきついことを言っていた		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
422	病気や思って、だいた、我慢してます。	病気と思い我慢する	我慢	家族の心情
423	本当にとんちんかんです。言ったこともすぐ忘れるし、とんちんかんなことも言いますし、えーって思うんですけれども。	とんちんかんな言動に落胆する	落胆	
424	もう私自身が、頓服の安定剤を飲んでんといられへん状態やから、飲んでへんときは、母が同じ事何回も言うたりとか、なんかグズグズ言うたりとかしてる時、耐えられへんなって。ほんでもう、ちょっと。あの、正直に言ってしまうと、もう死んでしまえーみたいなの。	自分の体調がコントロールできないと気持ちに耐えられない	気持ちのコントロールの難しさ	
425	でも行ってない日は、やっぱり朝から晩まで認知の状態、私も受け入れられません。頭が認知やから、もう言ってもあかんって思っても、口がなんでやって、頭と口が別々なのが一番の悩みです。	頭で分かっているけど口から別のことが出てしまう		
426	それはわかっている。頭でわかっていますし、テレビのリモコンとかも、どれで消すねん、どれやどれやってよくあるんですけども、言わへんって言うたら、一生懸命探して、ちゃんと消せてあるんですよ。	頭ではわかっているが言ってしまう		
427	だからちょっと、これが一般介護施設で、僕やったら多分ハラスメントぐらいかなって思ってそのグレイゾーンは身内なんで、なかなか判定は難しいと思うんですけど、確実に一般のデイサービスとか老人ホームとかで、僕と同じことをやってる施設さんの職員さんいたら、家族から文句が出ると思います。でも、しょうがないと思って。	ハラスメントになるようなことをしていると思う		
428	やらないように心がけてるんですけど、おっしゃる通りで、忘れてしまうんですけど。言ったりするんですけど、なるべくやらないように、心がけているんですけど、もうそろそろ死んでくれるかなと思ったら、元気なんです。その親切心がいつまで持つかっていうのを、何か不安…不安でもないんですけど、これがずっとずっと続いていくんやなっていうことを思っています。	やらないように心がけているけれど、いつまで親切心が持つか不安	不安	
429	なんで頭で、もう認知の人には言うても言うてもあかんねやから、受け入れなさいっていう頭の中で、なんで昨日も言うたやろっていうのがまた口では違うことを言って、寝るときに反省して、明日から…今日まできつきたから、明日から優しくしよう。ほならまた、もうダイエットと一緒に。また言うてしまっ、また明日からでいいや。もうその繰り返しです。	反省しては言ってしまうの繰り返し	反省	
430	それを、これですよ。履かしましょうか。これですよ。着せましょうかって、楽やと思います。だけど考えて言うてしまう。それがやっぱり考えて言うて、やってももらったほうがいいのか。やっぱり認知なんだからわからへんで当たり前なんだたら、これでええかって言ったら、これですって言うて履かしましょうか、着せましょうかって。そういうので、こっちのストレスが溜まらんほうがいいのか。本人にとって、わからん、知らんとか言われるよりは、なんぼか気持ちが楽であろうとは思っています。	すべてを介助して、何度も聞かれるストレスをためない方がいいのか	正しい方法がわからない苦悩	
431	だから施設も、いろんなところに行きました。グループホームも行きました。何軒も行きました。で、私にガーッと言われて、悲しい思いをするより、他人にそういうところに入って優しくしてもらった方がおばあちゃんにとっても、幸せなんじゃないか。	私に言われて悲しい思いをするより他人に優しくしてもらった方が幸せなのではないかと思う		
432	私も、ギャーギャー言うそのストレスが一切ないですから、その方が2人にとってはいいのかな、そこも今迷ってます。	お互いにとっていいのかなどうか悩む		
433	今言うて一生懸命言うたら、またちゃんとできるんやないか。一生懸命私が説明して、毎日毎日違うとか言うたったら、いつかちょっといい方向に行くやないかっていうのが、今、逆なことしてるんやなとは思っています。	良い方向にと期待して、逆なことをしていと思う		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
434	一番はやっばり、私はまだまだ頭と心の中がぐちゃぐちゃで、(中略)認知症のことが重くのしかかっているというか。	認知症が気がかりになる	気がかり	家族の心情
435	それでもやっぱり落ち込むときもあります。まだ泣けてくるときがあります。それもまたケアマネさんに相談して、そんな状況です。	落ち込むときがあり、ケアマネに相談している	落ち込み	
436	ただこれでいいか？これで間違うてへんか？そればかり聞き倒すから、毎日毎日これ何回聞くの、毎日聞いてるやろ。これ、私の薬か？これでいいか？これでいいか？私ここにいていいか？その確認ばかりです。そればかり言うもので、もうこちら毎日毎日言うてるやろ。なんでわからんのやっ言ってバーツと言うたら、こっちは落ち込みますけど。	毎日、何度も聞かれるので、強く言い返してしまうが落ち込みます	落ち込み	
437	私は毎日自分を責めてしまうし、残っていきます。聞かれてることとか、できなかったことが毎日積み重なっています。でもばあちゃんは毎日消えていきます。	自分を責めてしまうことが毎日積み重なる	自責	
438	ちょっときつくい言わなんだらよかった、こんなことしとったらよかった、後の祭りやけど、そんなことと思います。	きつく言わなければよかった、こうしとけばよかったと後悔する	後悔	
439	母親は次の日おはようって。昨日何言われたかもすべて忘れてる。昨日何怒ったかな私って聞いたら、知らんって。怒ってたかな、知らんっていう状態で。	私が怒っていたことも本人は忘れている	あきらめ	
440	だから、人がボケたもん勝ちやっって言わはります。でもそれはほんまやと思います。ボケて次の日すっきりして起きてきて、おはようって言わはるんやったら、ボケてる方が、やっばなんぼかええような気がこの頃してきました。	ボケてすっきりしてる方が勝ちと思う	あきらめ	
441	めちゃくちゃ言っても、ケロッとなおって、仲良く一緒にご飯食べたりお菓子食べたり機嫌よくしてるんで、いいかなと思ってたんですけど。	けんかしてもケロッとなおるのは許容していた	許容	
442	たくさんの認知症の方と仕事の上で関わってきましたので、だから、いざ自分の親が認知症になっても大丈夫だろうと。ちょっと心の中で思っていたのですが、実母がいざ認知症と診断されたら、さすがに泣きました、悲しくて。え？お母さんがって。	認知症の人と接する経験があっても実母が認知症になると悲しかった	家族の悲しみ	
443	それを乗り越えるほどのまだ介護というほどの介護にはなっていないんですけども、認知症と診断を受けて約2年、いまだにやっぱり悲しくなることがあります。	診断から2年経っても悲しい	家族の悲しみ	
444	悲しかったです、まだ今でもやっぱり、あんなにしつかりした母だったんです。強い母だったんです。これまでも大分受けとめたつもりで。	今でも(認知症になったことを)悲しいと感じる	家族の悲しみ	
445	精神的な部分なんです。お母さんのこんなで落ち込みました。介護、動くことに関してはできるんですけど、多少経験もあるので。精神的な部分ですね、やっぱり悲しい、その部分をフォローしてくださるのは。なんだろう？悲しいですよ、話しても。	介護はできるが、悲しみは残る	家族の悲しみ	
446	もんもんしたまま来てます。まだ、もんもんしながら来てます。はい。難しい。	悶々とした気持ちがある	家族の葛藤	
447	やっぱり、とんちんかんなことを言ったりすると、「お母さんどうでそうなるんや！」みたいな感じで、まだ受けとめられない部分あります。	母の症状を受け止められない部分がある	家族の葛藤	
448	私自身が、自分自身の生活が薬がないとできないところに、母がそうなったっていうのが。認知症は認知症って言われたから、まだ、何か受け入れられない状態で…うん。	母の認知症を受け入れられない	家族の葛藤	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
449	ほとんどペーパーなんやけど、看護師の資格を持ってるし、(中略)精神状態の流れっていうのは一応知ってるから、もうわかるんやけど、今まだ私は、全然認められなくて、受け入れられなくて、信じられなくて。	知識でわかっていても受け入れられない		
450	でも、お友達から15年首から下はピンシャンしてるよっていう方もおられるし。でも普段、ほんま正直何をどう言われても受け入れられない。	元気な人もいるけれども受け入れられない		
451	だからそれを。わからへん、これでええか?教えてって言う時に、これで言うて、手のひらに入れてもたらその方が私も早いです。おばあちゃんも、教えてくれた一嬉しいなあっていう飲むかもわかりませんけど。	こちらでやってしまえば早い		
452	うちは男の人やから、難しいねえ、あんまりごちゃごちゃ言っていない人やったけど。	あまりごちゃごちゃ言わない人だった		
453	ついこの間まで…あのアイドルの嵐が大好きで、5人の名前を漢字で書けたって言ってたところが、今はみんなを見ても、なんか歌うたってはった人やなあとか、言うてんのと見ると、ついこの前まで言ってたやんって。	ついこの前までであった興味の変化		
454	だからそこでなんかもう朝も昼も夜も働いてたみたいなのだったんで、なのでなんていうのかな、なんかすごい家事が、私よりもテキパキできてました。	良く働く人であった		
455	そういうことを一切今、ちょっと火を使うのも怖いし、そういうのもやらないし、一緒にやるとなると気を使って何かやろうとしないし、いないところでやろうとするっていうか。	得意だった料理をしない	変わりゆく姿	以前の状態との比較
456	お風呂に入るのが、あんなにすぐお風呂に入ることが好きだったのに、一切入らなくなって、何かそのデイで入れてもらったらっていうんですけど、それは絶対嫌だと言ってて。	好きだった風呂も嫌だと入らなくなった		
457	ちょっと1年前の母とかぶってしまって、1年前にこんなことできてた。こんだけしっかりしてたのになんで?なんで?がもうまず来て。	1年前の母のできていた状態と比較してしまう		
458	それまでは親父が亡くなって自分で10年近くは、友達やらと気楽にね、カラオケも好きやしサークル行ったりとか、1人でカーブス行ったりとか、嫁さんと一緒に楽しんでてんけど。	父親が亡くなって独り身になっても楽しんでいた		
459	今日はここに初めて参加させてもらって、すごくアットホームな感じで、すごく皆さん同じ悩みや喜びやらを持ってられるようで、フラットにお話しができて、よかったと思っています。	悩みや喜びを話してできてよかった	他者と共有	
460	でも、心が弱くなる時、誰かにお話ししたいんですね。ケアマネさんにも言います。	心が弱くなる時誰かに話したい		
461	私たちもね、「そう、こんなあんねんな」とか。	他の人の話を聞く機会になる		
462	逆にほっとするしね。みんなおんなじやねんな。	みんな同じなんだとほっとする	一人ではないと実感	
463	(家族のみであれば) 愚痴も言えます。	愚痴が言える		
464	私も、ここに来さしてもらったおかげで、そやなかったら、こっちが病院行きだったなあと思って、ありがたいな。	カフェに来てなかったら自分が病院行きだったと思う		家族のストレス対処法
465	(通いの場に行ってる間に私は着付けに行ったりダンス行ったりできますので。	家族自身の時間がとれる		
466	そらそうですね。ほっとしますよ。			
467	木曜日の体操だけしか行かない。(主人がデイに)行ってくれたら、ちょっと、こっちもね、こっちもすごくほっとする。	デイサービスの日はほっとする		
468	いや全然順調じゃないですよ。もういろんな山ほどありますけど、自分のガス抜きの方法は見つけてるんです。仕事してたときよりも、今の方がコンサートに行けたりとか、旅行だけ行けないんですよ。あとは友達との食事の回数も増えましたし。	ガス抜きの方法を見つけてるようにしている		
469	うちは行ってほしいんだけど、行ってないんですよ。	デイサービスに行つて欲しい	自分の時間の確保	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
470	ちょっと気をつけないかなんか思っても、こっちが他の用事したりして、ついうっかり忘れてしまったりして、またお湯がたーたー、それが2、3回あった。お湯が出てしまっただけになってしまっただけ。	気が付けていても用事をしていたら忘れてしまう	見守りの限界	見守りの限界
471	やっぱり、うっかりするね。その時は気をつけなあと思って、ほかの用事したりしとったらね、もう、しもたーと思って、飛んで行って見ないかん。			
472	(自分が) いーひんかったらのことも考えますし。			
473	掃除してから寝ようと思ったら目が覚めてしまう。	トイレ掃除で目が覚めてしまう	睡眠への影響	家族の生活への影響
474	父が亡くなって母は1人で住まわせてたんですけど、やっぱり認知症は酷くなったんで、通ってたんですけど、なかなか難しく去年退職しまして。	介護のために退職	退職	
475	ただ、仕事の両立してると、もう潰れてしまうっていうのは僕は思ってたんで。長かったんで。	仕事と介護は両立できなかった		
476	今2人で生活してます。	介護のために同居	同居	
477	実家をちょっと空き家にした状態で引き取りました。	引き取り同居している		
478	とりあえずもう、なんというかもう自分の家やと思ってるんですよ、今住んでる家が。もともときっかけとしては私と母とずっと2人だったんですけど、その母が膝をいまして、もう年金で食べれへんからっていうことで、しばらくはもう別々に暮らしたんですけども、一緒に住もうかって言って、まさかこんなことになると思ってへんし。	身体機能低下と金銭的理由による同居		
479	施設で働いております。といっても、母のことがありますので、午前中のみ仕事に出ております。	母の介護のため、午前中のみ仕事をしている	仕事の制限	
480	今になったら思うんやけど、やっぱり夫婦1人かけたらあかんなあ、思います。	夫婦1人かけたらあかんと思う	長年連れ添った思い	
481	今は。精一杯やったなっていう、思うんです。本当にいろいろ、介護だけじゃなく看取りの場面に来ると、本当に意思決定っていうところで、辛いことも正直あるんですけども、その時その時精一杯やったつもりなんで。寂しい部分はあるんですけども、私は精一杯だったなっていうふうに思います。	介護を精一杯やったと思う	介護の満足感	
482	今もこうして来させてもらって、1人になったんやけど、出かけることができ、ありがたいなと。	認知症の夫がなくなって1人身になっても出かけることができありがたい	看取り後の生活	
483	実は現在は、母が認知症になってから、大学時代にあった心理学をもう一度勉強したいなと思ってまして。	母が認知症になって心理学の勉強をしたいと思った		
484	そういう心理的な支援っていうのが、やっぱりこれから必要なんじゃないかと思って、今は大学院に進学しまして、公認心理士と臨床心理士を目指したいと思って勉強しています。	心理的支援の必要性を感じ大学院行くことにした		

2) 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
1	ちょっと物忘れなんかがあるんで、先生、認知症の検査やってもらえますかね、言うたら簡単な4つぐらい絵を見せられるとか計算とかやって、ないですよということですね、まあよかったなというような状態で、結局は今年に入ってます。	経過をみていたが今年に入ってます		
2	自分では、やっぱり物忘れか認知症か、どこに線を引くかは難しいと思う。	物忘れか認知症か線引きは難しい		
3	父が、どこにか知らんけど、やっぱりヘルプを出して、相談してみたいで。そしたら、地域の地域包括センター？すぐに連絡してみたいで。そこから、デイケア、ケアマネさんにいろいろ広がって行って。で、かかりつけ医でも検査して、かかりつけ医から大きい病院行ってって感じ。	父が相談したことがきっかけで専門機関につながった		
4	物忘れ外来に行ったんですけども、年相応の物忘れですって言われて、もうそれ以上もう行かなかったんですね。もうなんかずっと、もう随分認知症かなとは思ってたんですけど。	認知症と疑っていても年相応の物忘れと言われた	家族の認知症の気づき	
5	父親が亡くなってから、葬式終わって、ほっとしたのか何なのか体調を崩して入院したと同時に、認知症のような症状がありありと出てきました。	父の葬儀後、体調崩し母の認知症がでてきた		
6	精一杯のことは、墓参りに行ったりとか、なんやかんやいろいろしてましたけど、その時まで。どっか連れてったりとか、合間を見て。それで行かんになって、結局そういう認知の方が始まって。	出かけなくなって認知症が始まった		家族の認知症への気づきと告知への迷い
7	ある時を境に、近所の町内会の会長さんが「お母さんちょっとなんかおかしいんちゃうか？何かしゃべってはることもあれやし」って。改めてわかって、相談しに行って、区役所に相談しに行ったんですかね。	自治会長さんに言われて認知症に気づいて相談に行った		
8	本人に「お母さん認知症だよ」っていうことを、言うてもいいのかなどか。	本人へ言ってもいいものか悩む		
9	僕母が元気な時父が認知症やったんですね。私が認知症になったら絶対言わねって言われてたんですよ。せやしと思ってる、認知症になったときに「認知症やで」って言ったら泣いたんですね。ほんで、あ〜これは言ったらあかんのかなと思いつつも。	認知症の告知をして欲しいと言っていたが、言ったら泣いた	本人への告知の迷い	
10	本人は「なんで私はデイケアに行ってるねや」って「なんで私はこうしなあかんのや」って言うから、前は「医者に認知症って言われたんだよ、大きい病院行ったやろ」って言うたんやけど。	本人へ事実を説明する		
11	今現在、薬飲ませるとき、これなんの薬ってあんまりしつこく聞かれる時に、認知症の薬って言うてしまうんですね、悲しい感じはするんですけど、でも忘れてるかもしれないし、わかんないです。本人はどう思ってるか。	説明しても本人がどう思っているかわからない	告知しても忘れてる	
12	自分が一番思うのは、物忘れなんかだんだんひどくなってますね。			
13	ボイスレコーダーを今日持って行く言うて、私がここに入れたから取ってくれて言うたら、「いや、ないよ」っていう（妻が）。ないはずがないって言ったら、（妻が）「2階にあったよ」って。ここ（服）に入れたつもりが2階に置いたままになってる、そういうことが多いです。	物忘れが増えている	物忘れの自覚	症状の自覚

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
14	人の家に行ったのに、全然覚えてないとかね。本当にそれ（行った記憶）がね消えてるんですよ。			
15	「僕こくくの初めてですね」って言ったら、「なんで、こないだトイレ貸してって上にあがったやん」っていうけど、それが全く覚えがない。ある部分からある部分がポッと消えるみたいですね。			
16	やっぱり物忘れが一番困りますよね。最近は人の名前っていうのがねえ、出てこなくなりましたね。			
17	もの忘れは相当ありますよ。今持ってた、あれへん言う。だんだん酷なっとなっちゃうかなあて。			
18	4回も忘れてね、写真撮ってあげるわ言うて、これカッコ悪いでしょ。後ろにぼっと置いてん、そのまま忘れたんや。また、戻ったよなあ。			
19	びっくりしたな。いまだに僕覚えてんねん。大体行ったら、来たことあるわって。それがいまだにない。いまだに嘘ついてるんちゃうかておもたりしてね。	物忘れの指摘への驚き		
20	とんかつ屋でね。いっぺんこうやって、もう何回も行ってるで。え！？って。（妻：うん…絶対行っていないって）			
21	一応ね、何かそのことにね、困ったという経験が全くないし。先生もそんな認識してないから。	困った経験がない		
22	言ったことを忘れてしまうっていうそういう時期があつて。		物忘れの自覚	症状の自覚
23	忘れてばかりだと嫌になりますよね。			
24	認知症はこうしたら、認知症が進まないというのはないわけですよ。			
25	自分から「私頭おかしなっつてん。大ボケ小ボケになつてきてん」って。今日もなんか「おじいさんおばあさんのとこ行ってきたけど、覚えてへんねん」って。書道をデイでしてきて、それを持ち帰ってきたときに、書いた覚えがないから、それがとても不思議で不思議で、自分自身の中で、でもよう見たら自分の字やし名前も書いてるし、私ぼけてきてるなつて。	本人が自覚する物忘れ		
26	10年経っても変わらないってのはすごいもうラッキーです。			
27	だから僕は（記憶低下の進行が）止まったのが一番楽でしたよね。			
28	（記憶の低下が）止まる人もいるんですよ。ザーッと進む人もいるし。	物忘れの進行の停止		
29	あんまり忘れなくなると楽ですよ。			
30	約束したことが覚えてられるようになったってことですかね。			
31	認知症がば一つ進む時と止まるときがあるんだと思う。			
32	そうすると、脳も活性化するし。	脳の活性化		
33	だから読書は、歳いってからすごい脳の活性化。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
34	あの時は全然駄目だったなということの違いがわかる。	発症時を客観視		
35	止まって。そうすると、俺はいつから認知症の始まったのかっていうことがわかるようになってくる。			
36	どういう失敗があったかということで、数え切れないわけだけでも、わかるようになってるんですよね。			
37	そうするともう自分でも辛いし。	初発症初期の混乱		
38	始めの頃はすごく混乱状態ですね。			
39	多分妻に結構当たったんじゃないかと思う。			
40	それであの時は何かあったとかね、ノートに書くようになって、それで整理がついて来た。	メモする		
41	風呂場のところに、毎日体重計にのって書くようにしています。			
42	まあまあ忘れそうなことはカレンダーに書いて。今。			
43	そのたびにメモしたりするんですけども、そのメモを見ることすら忘れてしまった。ということが多くなりました。			
44	最近この年になって思うのは、頭も冴えてる時とおかしな時、おかしなのはわかるね。朝起きたとき大体わかります。頭が曇ってるみたいな感じ。	不調時は頭が曇った感じがする	不調の自覚	
45	一番わかるのが舌が回らなくなるね。話しにくい。そういうとき、今日はおかしいと思ったらやっぱおかしいです。何かおかしなことしてみたりね。	舌が回らず話しにくいときはおかしい		
46	診断されたときにね、頭を使わなあかんということで、本人も一緒に、小学校1年、2年の国語と算数のドリルね、これ、できるかっていうて、あっこれやったらできるんちゃう、とか言うて、1年くらいたって、置いといたんですけど。	頭を使うドリルをした	脳の活性化	認知症の予防への試み
47	その一つの関わり合いですけども、それも他人、知らない人、特に初めての方が。そうすると少しこう緊張して、脳の刺激にもいいんじゃないかと。	他人との関わり合いが脳の刺激にいい		
48	僕自身は認知症はそんな怖くなかったんですよね。歳ですからね。認知症になって当然だよな。	認知症になったのはしょうがない	認知症を受容	認知症の受容
49	「すごい大変やったね」って周りの人に言われても、そこが私にはわからへん。認知が入ったって恥ずかしいことも何もないし。	認知症になっても恥ずかしいことはない		
50	私は認知症でございますから。	私は認知症		
51	認知症です。			
52	私も認知症です。			
53	思うように、気持ちよくね、通れるところの認知症のところに行くもんね。			
54	(認知症になってから) もう長いです。	認知症になってから長い		
55	きっとね、誰もわからない。そういう意識はないと思います。これから進行していけばまた別だけど。今のところはそういうことは、一度も受けたことないし、今まで話してきたけども、そういうこと言われたことないし。100%に近いほど誰もわからない。そんな感じだと思う。	今は、誰にも認知症とわからない	認知症とわからない	
56	僕が認知症という診断がついたのが1月中旬ですから、まだ3か月ちょっと。そういう意味では、認知症の新米ですから、まだ何もわからへん。	認知症はよくわからない	認知症の受け止め方	認知症の受容

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
57	認知症っていうだけで病人に扱っては欲しくない。	認知症は病気ではない		認知症の受容
58	認知症は医者には病気だと思ってるけど、我々にとっては生活の障害。			
59	自分が認知症とは思ってへん。	認知症であることを気にしない	認知症の受け止め方	
60	私も、認知症になったことで、何か障害があったかっていうたら別に何もなし。			
61	今のところそういう認識はないですね。体操やったり、週5日ぐらいは人に会ったりしてますんでね。			
62	今のところね、私はね、気にはしてない。一切言っていないから。相手から何かそれらしいことがあることもなし。			
63	日常生活において、意識してることも、意識してることもどっちかって言うのと忘れてる。そんな感じでやってますけど。進行すればね、またね。			
64	きっと近所の人は私が認知症って知らない。誰も知らない。認知症が進行していけば。でもまあ初期の段階ちゃうかなと。でもそんなに、認知症そのものは気にしてない。これから進行していけば別ですよ。			
65	みんなでこうね、話聞いてね、「ああ、そういうことあるのか」って。自分はこう。他人事みたいやね。(そういう風に) 聞いてるみたいやね。			
66	認知症とともに生きるってね、そう簡単ではない。	認知症とともに生きるの難しい	認知症とともに生きることの難しさ	認知症への葛藤
67	認知症の人にアイデアを求めるのは残酷ですね。	認知症に対する残酷さ		
68	認知症っていう形…それまでは、そういう認知っていうイメージはなかったですから。	認知症のイメージはなかった	予想外の病名	
69	外から見えへんもんね。心の場合ね。体の中のね、だから自分自身がそんな認知になるなんて思ってもいいひんかったし。	自分自身が認知症になると思っていなかった		
70	わからへんから、この皆が認知症かかったらどこでどう判断されるかわからへん、情報が。他人事やと思ってたんで。	認知症は他人事と思っていた		
71	変な話ね、私も昼間はフィットネスにいったり、ゴルフに行ったり、麻雀友達とかもいます。で、それ前からやりましたんで、家内も理解してくれて、ああ今日ゴルフやからとか、そういうのがかえってよくなかったのかな、一人にさせてしまったっていう。その気づきがね。	一人にさせていたので認知症に気づきが遅れた	気づきが遅れた後悔	
72	いや、自分のやっぱり思うようにならないもんね。近なとるでねえ。	認知症は自分の思うようにならない	思うようにならない症状	
73	うちの人ね、「認知症じゃない」って言うんです。	認知症じゃないという	認知症の否定	
74	「認知症じゃないから」って言う。デイサービスも行ってって言うても「なんで」って言う。	認知症じゃないのでデイサービスへは行かないという		
75	そんなんで、自分が認知の、僕はあんまり認知やっけて認めてないんやけど。	自分が認知症であることを認めていない	認知症の否認	
76	うちのお姑さんがそうやったでね。徐々に、徐々にね、おかしいこと言っ出したり。	お姑さんがそうだった	介護経験から予測する認知症	認知症への葛藤

No	発言	コード	サブカテゴリ	カテゴリ
77	そうやねえ。私は自分で見てきてるで、絶対馬鹿にすることはないし、自分ではそう思ってるでね。	経験があるので認知症の人を馬鹿することはない		認知症への葛藤
78	その時はその時ですわ。考えてもなるようにしかならへんしね。考えんこと。	考えてもなるようにしかならない	考えない将来	
79	認知症で自分が帰れない。突発的なこととか心配したことないんですけど。	心配をしたことない		
80	そらもう今だけのこと考えとるでな。先どうなったらどうなるっちゃうのはもう考えへん。	考えない将来		
81	あまりね困ってることを聞くと、聞いた方も面白くないかな。	困っている事を話すのは楽しくない		
82	楽しくないと思うので、言わへんほうがいいよな。			
83	家族の苦労話があんまり出てこないじゃないですか。苦労話を聞くのは、聞かされる立場ですよ。毎日が失敗だらけなんだから。あの、失敗談は話をするっていう、そういうミーティングはあるんですけど、それは自分の失敗談だよ。その家族が、この人がこんなことやってあんなことやったっていうね、それをみんなが言い出したら、いたたまれないですよ。	失敗を話されるのは辛い	他者から指摘されることの辛さ	
84	失敗談お話することは、プラスにはならないと思います。			
85	認知症の場合は家族と一緒に話をするのはとっても難しいです。			
86	万が一のことがあるから、仲の良いね、周りにいるご近所のお友達に言うところ。	友達に認知症があることを言っている	万が一に備える	
87	万が一、わからへんかった時に、みんな周りの人に迷惑かけたあかんし思って。	周囲に迷惑をかけてはいけない		
88	私が認知になったんで。万が一どこやろってわからへんようになった時に、自分が一番困るしね、帰る場所がわからへんかったら、それでこんなやっしていうことで、仲の良いお友達に。	もしもの時、自分が一番困るので仲の良い友達に伝えている		
89	(名前や住所が記載された) カードもちゃんと持ってね。	カードをもっている		
90	人に迷惑かけて、まずはかけたくないけど、かけないやあないなってますやんそのうち。せやさかいに、まずは、自分がこうして言われた時に、こうやっしていうことで。	人にできるだけ迷惑をかけたくない		
91	万が一のときね、家がね、帰られへんようになった時って、突然なるかもわかんない。	突然、家へ帰れなくなるかもしれないと思う		
92	(もっと認知症になったら困るのかなど) それが一番不安。	認知症が進んだら一番不安	将来の不安	
93	でもまだここから先が長いと思うので、全部その都度どうなるかちょっとわからない。現時点ではまだ大丈夫です。	今は大丈夫だが、将来どうなるかわからない不安はある		
94	そうやって診断もらって、やっぱりいろいろとどうしても調べてしまったら、先々のことがいろいろ出てきて、怖くなって、悲しくなって、母もこうなのかなとか。	先の事の情報を知ると怖く悲しい		
95	秋に検査して進んでるちょっと怖いかなって言うのと。	進行していたらと思う		
96	まだまだおかしなるやろうね。(沈黙) いや、不安ですよ。うん、ものすごく不安。もっとおかしなったらどうしようとかね。	進行することへの強い不安		進行・悪化への不安

No	発言	コード	サブカテゴリ	カテゴリ
97	ようなることないもんね、こんなだんだんだんだん…。	良くなることはないという思い		
98	よう物忘れしてるけど、生きてるうちは楽しく元気に過ごさな損やから。	楽しく元気に過ごさないと損	健康への希求	
99	人それぞれにいろんな形あると思うんですよ。うちの父なんか90何歳までですかね。親が亡くなった年がね。最後の最後までね、ものすごいしっかりしてたし。	人それぞれの健康状態がある		
100	自分は元気でいたいなあ。	元気でいたい		
101	薬も飲んでるけど、効いてるかも分からへん。	薬が効いて欲しい		
102	羨ましいです。ああいうふうに進捗が止まってくれたら、いいのになって。			
103	今のところは、弟と2人、私たちきょうだいがみれる範囲内で、なるべくもうどうしようもなくなるまで家で穏やかに過ごさしてあげようという考えで、母に関わってます。	母が穏やかに過ごせるようにしたい	将来を見据えた思い	考える将来
104	穏やかであるということ、弟とも、これなら今後いろんな状況になっても、ヘルパーさんをお願いをするだとか、ショートステイを利用するだとか、プロの方にお世話になりながら、家で見ていけるんじゃないかと。	兄弟との協力やサービスを利用すれば家でみられる		
105	お医者さんが言われるようにデイに行ったりとか、月に1回ぐらいの割合で車で遠出にお出かけしたりとかして、とにかく母を喜ばすこと、笑わすこと、楽しめること。それを増やしていこかなって。	とにかく母を喜ばすことを増やしていく		
106	そうになったらもうもう、やっぱり息子のところ行くしか方法がないね。	自分でやるのが難しくなったら息子のところへ行くしかない	将来への覚悟	
107	でも、だいぶ認知症なんだからと、覚悟じゃないですけども、どんなことがあっても、母をできる限り家でみてあげたい。	母をできる限り家でみてあげたい		
108	弟がいるんですけども、弟ときょうだいで何とかみたいと話してます。	兄弟で協力してみたい		
109	でも、いろいろ見に行ってそこに入れなかったのは、母親との縁があるからだと言いついて限界まで行ってみようかと。母はトイレも行けますし、自分で食べることもできます。	施設に母をいれないのは縁と言いついて、限界まで介護しようと思う		
110	死んだら終わりだと思ってますから。	死んだら終わり	最期の在り方の望み	
111	ゆっくり死ねばいいこと。	ゆっくり死ぬ		
112	地元のかかりつけの先生が、こういうの心配してますとか、武田病院出身で介護保険の研修もやった人は、ずっと紹介してもらうんですけど。誰もがそこまですぐに行かれへんかもしれないね。	かかりつけ医が介護保険に詳しく紹介がスムーズだった	医師が他機関とスムーズに連携する	早期に適切な診断・支援を受ける上での課題
113	10年後増えるとか、認知症何万人とか、行方不明になってるとか、ニュースで言ってるけど、他人事ちやいますかね。データとしてああそうかいなあって。	ニュースになっても認知症は他人事のように	認知症に関する情報発信の課題	
114	家族も認知症という言葉はその頃、普及してたから知ってたけど。まさかうちにはと予測してなかった。	認知症は知っていたが家族の発症は予想外		
115	ほんまもう終わりみたいなね、当然。終わって治る病気やない、障害といっしょですわ。後天的な精神障害といっしょで。	認知症になったら終わりのイメージ		
116	データだけ、何年たったらこんだけ認知症なるんですよとか、その先があらへんから。そのデータばかりやから。ますます心配になってくる。	認知症増加のデータだけでなくその先を示す必要性		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
117	今おもたら医者にかかる前から、気になる症状は出てるし、盛んにこんなこと言うてた、バイクでこけたとか。	受診前より気になる症状はあった	発症の兆候があったと振り返る	早期に適切な診断・支援を受ける上での課題
118	いろいろ思い当たることはある。その辺で気がつくべきやった。その頃は仕事が面白かった頃で、帰りが11時とかして、気が付かへんかった。	早く気づくべきだった		
119	母は一人暮らし。症状が出だしたのは、兄が8年ほど前に急に亡くなって、その後徐々に出てきて。	兄（本人の息子）の急死後、症状が出始めた		
120	「寂しいやろな」と思いながら、主人の父親の介護があって、足を延ばしてあげられなかったのが、症状を悪化させる原因やったんかとすごく反省しながら。	気になりつつも対応できず悪化させたと反省		
121	医者にかかる何年か前の夏に、すごい調子が悪い。今から見たら認知症じゃないか。一過性の虚血性健忘症？そんな感じやった。その後、同じものいっぱい買い込んで来たり、いろいろメモがね。	今思うと受診の数年前から調子が悪かった		
122	いちばんはじめ、精神障害か認知症かわからへんし、被害妄想が出て。	精神障害か認知症かわからない	発症時の相談先・方法がわからない	
123	どこに相談したらええのか、区の精神衛生相談みたいなのを教えてもろて。かかりつけの先生に一回、行ったらええ言われて、つながったくらいで。	どこに相談すべきかわからない		
124	そんなして悩んだはる人、どこ行ってええかわからんし、「なんでこんなおかしことやってんねやろ」って悩んだはる人、まだいると思う。	認知症関連の相談先・理解の仕方に悩む人がいる		
125	一般の人はどこで相談したらええか、いろんな地域で増えてますけど、一般的には全然、わからへん。前にいっぺん載ってたなとか。すぐ出せるところにあったらええんやけど。	相談先は増えてるがどこに相談すべきかわからない	介護認定を受けない	
126	(介護認定は)受けてないです。行ったんですけど、主人が僕は何でもできるって。何でもできんのに嘘ついたらどうこう言うて。もうそれ以上言うたら嫌になるし。とりあえずもう、してないんですよ。	「何でもできる」と介護認定を受けない		
127	7年ぐらい前に診てもらって、認知症によくある脳の萎縮はなかった。また一度行ってみます。検査受けるのは怖いですよ。	検査を受けるのが怖い	受診は必要だと思うが怖い	
128	病気は早かったら（見つかるのが）、ほとんどは今の医学で治りますね。だから、早め早めにおかしいなと思ったら、とにかく見ていただくということが大事。	早期受診は必要だ		
129	お近くにもそんな方たくさんおられるからね。家族さんが困っておられる方が多いですよ。	自分以外にも困っている人がいる	認知症の認知度の高まり	
130	大分年とった父なんで、そろそろかなみたいなの、何となく75超えたらっていうのがあったんで、来るべきときが来たなと思ひながら。私たちは過ごせてはいるんですが。	高齢にてそろそろ発症するかもとは思った		
131	社会全体の認知度とか、勉強してはんねやと思います。対応の仕方とかも心得てはるっていうか。	社会全体の認知度が高まったと感じる		
132	皆さん意識高いです。けっこう初期の方何人もいて。その辺からちゃんと備えてしてはるところがね。	認知症への備えに意識の高さを感じる		
133	本人が認知症という言葉もしながら、10年前と大分変わってきてるなって、感じます。うちは母親ですけど、自分が認知症という認識がない。何となく変わるうなってのは多分おもてたと思いますけどね。	病識を持つ人がいることに10年前との変化を感じる		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
134	10年間で変わってるなって。よう状況も見ておられる。本人さんも自覚してる。認知症かもしれないっていう。本人が自覚してるっていうことはすごい大きなこと。	本人に病識があるのはとても大きなこと		認知症への理解の広がり と発症後の備え
135	認知症も人によって、進行の仕方それぞれやから、進む人もあれば、20年近く要介護1とか2ぐらいでずっと行かざる人もいる。	認知症の進行は人それぞれである		
136	テレビ見てびっくりした、診断されて8年ぐらい経ってる、落ち込んでたけどこの頃毎日碁打ちに行ってますって。それ認知症ちゃうで、単なるMCIや。そんなものもある。	診断後、8年経過後も趣味に取り組む人がいて驚く		
137	要介護1ぐらいになると、本人もある程度そういったところがあるんやろって。日々ご近所さんでわろてたら、こっちも、本人もそれでいい。ほぼ本人は仙人の域に達してるんじゃないかと思うんですけどね。	認知症を自覚しても本人が笑っていたらそれでいい	認知症患者像の広がり	
138	要介護になるかならへんかの頃とか、医者にかかる前の頃とかいうのが、本人が一番しんどいんやと思う。自分は何もおかしいと。夫はぐじゃぐじゃ言うて、子どももなんか言うて、せやけど私はどうもないんですわというところ辺りが多分本人が一番しんどい。	発症前後の頃が本人が一番しんどいのではないかと		
139	要介護5はいちばんしんどいって思ってたけど、前代表は「要介護1は、いちばんしんどいんよ」って。それで目覚めたみたいになって。	一番しんどいのは要介護5より要介護1		
140	要介護2くらいまできつかった。	要介護2くらいまでがきつい		
141	(要介護1は、いちばんしんどいといわれ) 逆にいつまでも続くわけやないって思ってた、逆に進んでいくけど。そんな気がしてきた。	症状は進行してもしんどさが続くわけではないと思えた	介護度に応じて見通しを持つ	
142	もうすぐ(要介護)3から4になって足腰もだんだん進んでいくんかなあと。色んな形で勉強させてもらってね。	要介護4になったら足腰が衰えるのかと考えた		
143	専門医に、こんな感じやから、自覚してはんねんから、私は認知症じゃないですかって正面切って行ってもいいし。それはやったらええんちゃうかなと思います。	病識があるなら専門医の診察を受けた方がよい		
144	どうなるかわからへんとは思いますが、備える時間もあるやろうしと思えます。もう10年ですもん…。	発症の段階は備える時間がある	受診・備えのすすめ	
145	どういう風にどんなペースで進んでいかはるか、先をある程度見て、情報収集しておかれて、心構えだけしておかれたらだいぶ違うと思う。	見通しを持ち、情報収集・心構えをする		
146	もし徘徊とかになったら、事前に連絡すべきとかはしとくとか。GPSとか使えるんやったらやっとなんか無事に帰れる保証は…うちも帰ってきたからよかったです。	徘徊への対策・備え		

- 3) 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。
- 8) 私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所を持ってすごしている。

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
1	(かかりつけの先生は)おります。内科の先生ですけど、亀岡じゃなくて能勢の方です。救急になると亀岡の方から来ることになるんで。	かかりつけは内科の先生	内科にかかっている	受けている医療
2	お薬は飲み始めたのがまず一段落、すごく落ち着きあった感じがあって。	薬が効いて落ち着いた	薬が効いた	
3	もの忘れ外来の先生の言われた、この今の痴呆の進行を遅らせる薬を出しましょかと。	薬を出すとされた	主治医からの提案	
4	医療の関係では、認知症は効く薬がない。(中略)せやけど、そこで見てもらったさかいに、薬がないんやけど、強いて言えばこれを飲ましてあげて。	認知症は効く薬がないが強いて飲むならと言われた		
5	先生に言われてるんです。「とにかく人と対話しない」だから「デイケアに行きなさい」って言われるんです。	人と対話することを先生に言われている	主治医からの助言	
6	今のとこ診断もらってから、ドクターが言われたのは、手と体と頭を動かさないと、入院かホームになるよって言われたんで、今デイサービスは週3回行ったりとか、父の家事の負担のことを考えて、週1回訪問でケアを、ヘルパーさんにお掃除とかしてもらってとこで。	主治医から手と体と頭を動かすよう言われ、サービスを整えた		
7	認知症になったら、最初、病院に診てもらいに行った時に、周りにそういう人いなかったの、どういふふうに接したらよろしいんです言うて先生に聞いたら、「逆らわんことです」、って言われて、えーって思ったんですけど。	主治医に認知症の人への接し方は逆らわんことと言われ、困惑した	助言への困惑	
8	やっぱり、どうしても逆らわんこと、言われてもどういふふうにしていったらいいかわからんで。	接し方がわからなかった		
9	脳梗塞の手術をして、それから、もの忘れがあるなあ言うて、(中略)先生が紹介してくれて、Yクリニック、そこにお世話になってるんです。	病院を紹介してもらった	病院間の連携	
10	相談聞いて、またかかりつけの先生と1回、使った方がいいということで、(専門の)病院で診てもらって、既に脳に皺がいてますねっていうことで。	かかりつけ医から専門の病院を受診して診断がついた		
11	認知症のことはわかっていると思います。っていうのは、最初急性期の病院の中で次はどこ行きますっていうのを決めるときに、そこはすごく人気があって、認知症の人ばかり行ってますよっていう話だったんですよ。だからそこはわかっているんちゃうかなと思いますけどね。もう年いったらもうみんな認知症ですよみたいなこと言ってたんでね。	主治医は専門外だが認知症疾患のことはわかっている	病院の体制	
12	あー、うちのケアマネさんがやってくれるんやろうし、今の病院の中に相談員っていう人がおって、その人が今、老健申し込んでおいたらどうですかかって言ってくれたんですけど。それと介護度上げるといふ話。	相談員やケアマネが対応してくれた		
13	リハビリの先生とお医者さんとその相談員と看護師さんでチームになってる。	多職種のチームになっている		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
14	ベッドから転がり落ちて、腰椎圧迫骨折。	転落による 腰椎圧迫骨折		
15	トイレ行こうとして、手すりを掴み損ねたんです。で、こけたんです。(中略)骨折と。左大腿骨頸部骨折、なんか、折れてましたわ。で、すぐ次の日に手術して、入院するという形になったんですけども。	転倒して骨折し 入院した	入院のきっかけ	
16	面白い話やけど、毎年1年ぐらい、試験があるんですよ、もの覚えとか、手紙の書き方が、あんたこの本を絵に描いてくれとか。同じことを聞かれる。ほんで、僕も1年前だったら覚えてますやん、認知になってますよいうたって。おんなじ問題だったら、どっかである程度できますね。そんな話ですけど。	認知症になっても1年 前の検査内容は覚えて いる		
17	全然効かへんなあ、気休めやあぐらいしか思っとらん。ほんで、ここでお世話になったで。あんまり他の病院行っとらんさかいに。	薬の効果を感じない	検査・治療に対する 思い	受けている医療
18	もうそれ以上言っても仕方ないわって思って。で、一応今かかりつけのお医者さんから、認知症でよく聞く…アリセプト、いただいているんですけど特にそれが効果があるような気はしてないんですが、何かあるのかもしれないんですけど、そのまま何年間か来ています。	かかりつけ医にアリセ プトをもらっているが 効果をとくに感じない		
19	リハビリも軽いですよね、そういう病院は。リハビリは、何ていうかな、あんまり気合い入れてないっていうか。で、変わったところなんですけども。	リハビリの積極性を 感じない		
20	急性大動脈解離とかあるいは急性脳梗塞もありまして、いろいろ病院に入院してる間に、いろんな病気になるのかかってしまっ。今はもう自宅に帰ってこれなくなっ。	入院中に他の病気にも なり自宅に戻ってこれ なくなった	認知症以外の病状の 悪化	
21	こんど検査入院するんです。ちょっと認知があるから、病院、何回も行ってらんだけど、間違えてまっすぐ行ったりしたら。一人で大丈夫なんかなって。進まへんかなって。	入院すると認知症が進 まないか心配になる	入院や宿泊による影響 の心配	
22	私んともいっかい、ショートステイに行ったんです。で1泊して帰ってきたらね、やっぱりちょっとおかしくなっ。	ショートステイに行っ たら、おかしくなっ ていた		
23	やっぱり骨折ですから3ヶ月はかかるんですね。そういうこともありまして、病院に長く、入院してる間に、やはりレビー正体が進んでしまったと思うんですね。	骨折して入院している 間に認知症が進んだ	入院や宿泊による影響	入院や宿泊による 影響
24	どうもね、入院したら、進行するのかなという感じですね。	入院したら進行するの かなと思う		
25	毎日面会していても、やっぱり何かだんだんおかしくなっ。って感じはしましたね。	面会のたびにだんだん おかしくなっている感 じがする		
26	2週に1回ですよ。それもたった15分間で。家族も2人まで。3人は駄目。と、言うので私が思ってるのは、面会がもっと自由にできてもっと接触できれば、認知症のその進み具合が緩やかになるんじゃないかというふうには思ってる。	面会が出来れば認知症 の進み具合が緩やかにな るのではないかと思 う	面会制限による影響の 心配	面会制限による 影響
27	今一番私が困ってるのは、なかなか自由に面会できないという、そういうところです。	自由に面会ができない ことに困っている	面会の不自由さ	
28	今は行ってる場所は面会もできない。病院に任せとくしかないのかなと思ってるんですけども。	面会が出来ない	面会不可	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
29	レカネマブの国内承認がぼちぼち。初期でしょ、ほんまに効くのはMC Iとか、介護度でいうと要支援とか1ぐらいまでで何とかしないかっていうやつでしょ。	新しい薬剤への関心	治療・ケア技術の進歩への関心	治療・薬剤・ケアへの関心
30	C：(排便ケアの科学技術について) 10年経ったら、違ってくるやろうし。薬もね、変わってくるやろから。650万はよう出さんけど。	10年後のケアの科学技術や薬の進歩が気になる		
31	10年経つと違うね。具体的に違ってくるんやと思いますけどね			
32	なんで薬の名前ってあんなややこしいの。アリナミンとかそのぐらいにしといて欲しい。ものすごい長いしややこしい。舌噛みそう。	薬剤名が長くてややこしい	薬剤名を覚えたい	
33	メモリーぐらいなら何とか言えるけど。ほんまにややこしい。10年で思いついたんはそれだけ。国挙げて取り組んで簡単な名前にしてほしいです。	薬剤名を簡単な名前にしてほしい		
34	メモリーだけですけど、効いてんのかわかりませんよ、効くと言われてるから飲んでんねんけど。	薬が効いているかわからない	薬剤への関心	
35	(困ること) ないねえ、私病院にかかってない。	病院にかかっていない	医療に対する希望はない	医療への希望
36	医者は2ヶ月に1回ぐらい行って2時間も待って5分しか見ない。	病院の待ち時間が長い	長い病院の待ち時間	
37	やぶ医者やったから、「年相応やから」って言われて。専門家からそう言われたら。「念のために相談されたら」っていうテイで言うてくれたら。	認知症について慎重な説明がほしかった	発症時の慎重な説明が必要	
38	専門家に「年相応やから心配せんでもええ」とかいわれたら、親戚にこう言われたからとか、それ以上相談できひん。で全然情報入ってきいひんみたいな、悪循環で。	適切な説明がなく、相談できず情報を得られなかった		
39	最初は医者も全然ね。乗り気やなかった。状態をしゃべってて、どっこも悪いとこありません、MRIで萎縮進んでて、ほんじゃやりましたよかみたいな感じで、薬4種類全部使って。	医者が治療に乗り気じゃなかった(10年前)	医者にしっかりみてもらいたい	
40	時間かけて見てくれる医者もあるけど、忙しいからね、どんどんどん患者来るし、予約の30分枠に何人入れてんねんって。	医者は多くの患者がいて忙しい		
41	投薬はこっちが主体性持って管理してないと、残薬とか、この辺は調子が良いから要りませんとか、言わへんかったら座薬が10個も出てきたからね。その辺をよく持ってないとあかん。忙しいのはわかるけどね。	医者は忙しいため家族が主体的に調子等を伝えねばならない		
42	私が毎日つけてる血圧、服薬とか日常を先に見といてねって、渡してもらおうけど、見た形跡がない。最近は見えてくれるみたいですけどね。つけとかなないと、こっちも覚えてないから。多いです。	患者の体調に関する家族の記録をみてほしい		
43	ちょっとこの人に響くような、患者さんに響くような、秀逸語録みたいな。覚えることができる場合もあるのですね。	何も言ってくれなかった医師		
44	何も言うてくれへんかったということは、心に入ってたわね。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
45	パーキンソンの質問なんか、全然良くならんのか知ってやから。一日をどういう状態ですごしてるか、箇条書きに三週間分を書いて、それをグラフにして、先生に持っていったです。そうですかー、って。	普段の様子を記録して医師に見せてもそうですかだけだった		
46	そんな聞く先生いいひんは。佐藤医院にいったるんやけども、どうですか？変わらないです。でしあいや。	診察が短い		
47	(先生は) 怖いって、厳しいんやね。	怖い先生		
48	(先生は) 怖い。			
49	そういう関係があって今特にバラバラで市会の先生方はきばってやけど、世話になって言えんけど、もう一度充実して、一つの病院でやって欲しいなと思います。	一つの病院を充実させて欲しい	病院の充実	
50	できたら誰か家庭訪問みたいに来てくれる人がおっつね、週に1べんでも定期的に誰か巡回指導とか話す機会をもてんのかなと思ってます。	定期的に訪問してほしい	訪問診療の希望	
51	定期的に訪問して、ちょっと話し合いをしてもらえん人があればなあと思ってますよね。			
52	やっぱり訪ねてきた患者さんの話を聞いていただいたという実感がある診察やったら、長くても短くても、本人さんたちはすごい満たされるん違うかな。	患者の話を聞いてほしい	患者の話を聞いてほしい	
53	Y病院では検査とかはしてくれないんです。そういう方がいらっしやらないのか、先生が忙しいのか。(F病院には) そういう方がいらっしやるんです。(中略)それがY病院では、ちょっとない。	以前の病院と対応がちがう	病院により違う対応へのとまどい	
54	薬の紹介とかもしてもらってないですから、ほんでそのう、先生の診察受けてても、もう同じかなっていう。	診察受けてても変わらない	良くはならない症状	医療への期待
55	京都の府立医大に見てもらって入院して、こういう薬やったら、もう一度ようなる可能性があるんじゃないかいうこともわかった。やっぱり入院して調べたりなんかしたら、ちょっとようなる可能性があるのかなと思ったりしてるんですよ。	入院して検査すれば、合った治療ができ良くなる可能性があるのかなと思う	良くなる可能性への期待	
56	医療センターとか日赤とかに予約したらもう朝のバスがないけん。	受診の予約時間に不便なバス	受診の予約時間に不便なバス	行政への希望
57	日赤に9時半に予約とか9時の予約とかして11時のバスしかないけんが、もう下手にしたら前夜からいかんなんような形。			
58	独り身の人は、そのバス停に行くのも。			
59	やから不公平やなって。税金納めとらんで知らんけど、まず公平な行政してほしいと思います。			
60	もうちょっと行政考えてくれんかね、高齢のためについていう。			
61	市がもっと援助したげて。	市の援助を希望		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
62	医療に対して、ずっと文句言ってる、舞鶴市は何考えてるんや、って。	医療や市に対して文句がある	市の対策	
63	舞鶴の医療がバラバラやって、やっぱり総合病院が。(中略)一つの病院だけやったらいいんですけど、今までどうなるかわかったら、もうどうしようもない。	舞鶴の医療が一つの病院ではなく、バラバラになっていると感じる		
64	ここに来るのは私にとって偶然やなくて必然やっとなって思って、すごい感動した。目の前で雉がいるなんて。	地域の自然環境に感動した	住み慣れた場所で暮らしたい思い	
65	昔の方がよかった。	昔の方が良かった		
66	私はもうあまりそういう人がいないから、妹がいるけど、やっぱり息子夫婦ね、娘夫婦、近くにいるもんやから、そこばかり、こっちまで回ってくれない。	すぐ近くに家族がいない	子どもと離れた環境	住み慣れた場所の暮らし
67	私1人なんです。一人で暮らしとんです。	私は1人暮らし	1人暮らし	
68	一人暮らしやし、私も。			
69	私は今のところ、1人でございます。			
70	母屋に私が1人でもう長いこと暮らしてまして。			
71	今は一人暮らしをさせるとか、幽閉されてるとか言うて。	症状改善し一人暮らしがしたいと言う	一人暮らしへの意欲	
72	私はねえ、一人暮らしですので、ワンちゃんがいるんです。その子がねえ、相手してくれる。トイブードル。	ペットが相手してくれる	ペットとの暮らし	
73	集合住宅やからねえ、飼われない。	住宅事情でペットを飼うことはできない		
74	嬉しかったことと言えば、孫がちよいちよい家に来てくれること。	孫が来てくれる	孫の訪問	
75	孫と、娘と一緒にいるんですけど、近くに曾孫が4人いるんですけど、その子たちが遊びに来るんですよ、夏休み。	近所に住んでいる家族	近所に住んでいる家族	
76	裏の方には長男夫婦はいましたが、今は長男だけ。嫁と孫は福知山。			
77	やっぱり車の運転とか身の回りの世話、不安が残るだろうということで、決心して帰ってきたっていうのは、その3年前。	親元に帰ってきた	同居家族	
78	どういう生活をしていくか妹と迷いながら、正解がわからない。正解が見えないところを手探りで進んでる感覚でやっていくのが認知症介護なんだと感じながら、先行き色々不安はあります。	正解が見えず先行きが不安	将来の不安	
79	今シルバー人材センターに頼めばあるって言うちゃったでしょ。そういうことも市民はわからんやん。そういうことをもっと大々的にこの高齢者宅だけでもね。	シルバー人材センターの利用	シルバー人材センターの利用	
80	生け垣を刈ってもらうことを頼もう思うとるんや、このシルバーさん。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
81	お金なんでもあるんならええけど、ついていってもらはんは楽でええんやけど、これ（お金のハンドサイン）がかかってくるやろ。			
82	やっぱこういうのお金かかるでな、そ、そこが問題なんや。	制度の金銭的問題	制度の金銭的問題	
83	制度はあるけどそれがまた問題や。そんな負担できるような金かどうかいうことや。			
84	付き添いとかがそういう付いて行くんはまた別の、これはな、そこそこの負担や。			
85	出かけてる時間は、買い物行ったり、美容院に行ったり、時間がとれるなあと思って。			
86	（デイサービス）強いて言うなら、お昼ごはんも食べさせてくれたらええのになって。主人の父が行ってたところは、お昼ごはん食べてから帰るっていう。	デイサービスで昼食も済まして来れたらいい	介護サービスへの期待	
87	それでも今は施設があるでねえ。施設もしてくれてやね。	今は施設がある		
88	要介護1なんである程度、基準値としてね、規制はあると思うんですけど、その範囲内でできるだけ。	介護保険の規制内でできるだけ		
89	最近不安なのは、ケアマネジャーさんはふといらっしやる。ありがたいな、（母も）誰かと喋れてと思ってたその延長線上になって、面接って来られる日を約束して来ていただいてたけど、最近はどうすっきり。そういう（面接が）なくなって。	ケアマネジャーの面接をしっかり受けたい	ケアマネジャーへの期待	介護サービス充実への期待
90	（ケアマネが）ふといらっしやって居たら喋る、居てへんかったらポストに1か月の予定を入れて、会えへんときは2か月くらい会えへん。ちょっと不安。	ケアマネジャーに2ヶ月会えず不安		
91	（ケアマネに）ちゃんと面談の時間ください言うたらええと思いがながら、忙しそうかなってもんもんと。	ケアマネジャーに面談希望を言いづらい		
92	ケアマネさんに相談してみます。	ケアマネへの相談		
93	こういう場（当事者、家族の会）も出会いとか忘れちゃうんですけど、父の中にゆっくりと溜まっているような感覚があって。すごい嬉しく思ってます。	当事者・家族会での出会いは父の中に残るようで嬉しい	当事者・家族会への期待	
94	人として、患者としてじゃなくて人間として扱ってほしいなあ。という思いですね。	人として尊重してほしい	個人を尊重したサポートの希望	
95	初期とか中期とかは、介護よりもサポートをして欲しい。	個別的なサポートを希望		
96	生活が困ったことに対しては、個別にじゃどうしたらいいか、こうしようか。こういうサポートするからやってみてくださいっていう、そういうサポートをして欲しいんであって。			
97	認知症だなと思った人には、そういう本人のしたいことやりたいことがやれるようにサポートする。そういう支援をして欲しいという願いです。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
98	上からの介護や看護はしてほしいくない。	個人を尊重したサポートの希望		介護サービス充実への期待
99	自分でできないことに支援をお願いしたい。			
100	それ以上中に入ってくれるのは困るんですね。			
101	それよりは生活に困ってることを聞いて、じゃあこうしたらどうっていうのね、そういう対話をして欲しい。	対話してほしい		
102	その困るっていうことは結局、やっぱり閉じ込められているんですか。	閉じこもりが困る	外出の機会	
103	(通いの場があるのは) 私としては助かってます。ここへ来られて時間がね、皆さんとお話できるし。	通いの場がある		
104	もっとうこう、軽度の人がたくさんいたら行けるんじゃないかなとは。「自分一人や」って言うてるから。	軽度の認知症の人が多いと行きやすい	軽度の人対象の場	
105	認知症のある方もそうでない方もおられるし、なかなかこう、共有しにくいっていうのはあるかもしれないですね。	認知症状によっては共有しにくい		
106	薬を飲むよりは、できるだけこう人との出会いとか、人との触れ合い話し合い、行動ですね、そういう場が、いろいろあればねすごく助かる。	人との交流の場があるといい	交流の場	
107	フリートークでやった方がいいなって横から見て思ってたんですけどね。	フリートークがいい		
108	皆さん、認知を持っておられるし、話もできるし、さっきも、お話を聞いてても、私も「ああそのとおりやなあ」って、共有できるので、こう、認知症っていう前提の中で、こういう活動っていうのは、私もすごくありがたい。	共有できる機会があるのはありがたい		
109	私も経験上、認知症の方って、やっぱり人の関わりが一番大切なんじゃないかなと感じております。デイサービスはもちろんいいんですが、このようなカフェというような。	人とかかわりが一番大切と感じている		
110	こういうカフェってすごく大事だと思うんですよ。デイサービスではない、こういうカフェ。とっても大事だと思います。	カフェが必要		
111	ちょっと立ち寄れるような、ちょっとお話、ちょっとエラいんだけど、ちょっとその話を聞いてほしい、ちょっとご飯一緒に食べて欲しいんやみたいな。	気軽に立ち寄れる場所	安心できる場所	
112	だから、こういうきっちりしたものじゃなくてもいいんです。そういう過疎地に一つでもそういう誰かが常駐してて、ふっと遊びに来れる、今寂しいしちょっとおらさして、そこでちょっとテレビでも見とんなよとかっていうような、そういう居場所。	いつでもふらっと立ち寄れる場所があるといい		
113	安心していただける場所みたいなところがもっとあれば、高齢者の方が安心して地域で住めると思うんです。	安心していただける場所があるといい		
114	母も見ててもそうです。コーヒー飲みに行きたいっていうんです。なんか、そういうシステムを行政の方で考えていただけたらなと。	コーヒーを飲みに行ける場所が欲しい		
115	私の地域は、もう本当に過疎地域です。老人たちがいっぱいいて、1人になっておられる方、みんな寂しい寂しいって言われるんです。寂しい年寄りがたくさんおられることがわかりました。	独居の方ではみんな寂しいと言っている		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
116	遊びに来てくれ、遊びに来てくれておっしゃるんですけども、その気持ちすごくよくわかるんです。顔見せてくれるだけでいいって言うんです。そのおじいちゃん、寂しいんです。	お年寄りが遊びに来てくれと寂しさをいう		介護サービス充実への期待
117	その代わりになることをさせてあげたいと思ってもそういう場所がないんです。だから、デイサービスといったきっちりした場所じゃなくてもいいんですが、ちょっと立ち寄れるところが、やっぱり常駐していただく方がいるとなると、経費がいる。	ちょっと立ち寄れる場所がない		
118	私も考えたんです、もう田舎の大きい広いだけの家なので、寂しかったらうちに来てくれたらいいよって、近所のおばちゃん、おじちゃん、80、90になった、ひょっこらひょっこら歩いて、畑仕事帰りにちょっと寄ってくれるような、私がおるときは来てって言ったり、時々遊びに来てくれる人もいる、だから、そういう居場所、人と関われる、話ができる、安心して遊びに行けるような居場所を、行政が考えていただけるといい。	気軽に立ち寄り安心できる居場所を考えて欲しい		
119	もし私でよければ、その常駐者になるし、お話し相手にはなるし、寂しかったら一緒にご飯食べるし、ボランティアも募るし、そういう高齢者が安心して遊びに行ける場所を作ってあげて欲しい。	安心して出かけられる場所を作って欲しい		
120	認知症の薬も今回承認されたということだが、そういう薬よりも、認知の人のための施設というか、仕事場みたいな、娯楽の場があるといいと思う。薬より絶対いいはず。	介護より社会活動ができる場があるといい	社会活動の場	
121	うちは、家内、デイ行ってもお風呂入りませんもん。	デイサービスでは入浴しない		
122	男の方がおられないから、少ないからね。	男性の利用者が少ない		
123	8割くらいが男性のとも。で、見ているとやっぱりねえ、男性の方、みんなお話しされてないです。なんかみんな一人。女の人はちょこちょこ喋ってはるけど。	男性の利用者は話されない	男性の利用しやすさ	
124	私も入っていけるでね。	カフェは夫婦で参加できる	夫婦で利用可能	
125	認知症の介護者になってから、突然そういう介護っていうのは身に降りかかってくるんですけども、相談する場所とか、相談聞いてもらえる人とか、なかなかいないなっていうのは思ってます。	相談を聞いてもらえる人や場所がなかなかないと感じた	相談できる場所	
126	緊急コールで「ちょっと来てーな。30分来てーな」ってあったらね、一番ありがたい。	必要な時の素早い助けがあればありがたい		短時間・瞬間的な手助けがほしい
127	(イレギュラーなことに対応する人) あったら一番ありがたいけど、今の制度では望みようがない。	イレギュラーな対応への助けがほしい		
128	(専門家でなくても？来てくれるだけでも?) 違います。ベッドに座った状態やとうちは危ない。倒れたり、私の年では上げられへん可能性あるんで、そういう時に見とってもらうとかわずかな時間とか。	わずかな時間の危ない時に見てくれる人がほしい	必要な瞬間の素早い助けがほしい	
129	この瞬間っていうときに助けて欲しいっていうのが、できへんですよ。実際。	必要な瞬間だけの助けがほしい		
130	(イレギュラーな対応へのサポートについて) 制度を作ろうと思うと、保険みたいに使わんけど毎月払わなんっていう形になるやろな。	イレギュラーなサポートの制度化は難しい		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
131	(ちょっとした間だけ見てもらえると、楽に) なかなか難しい。制度で作るのは。できるといいけど。(民間では) 経済的には難しい。成り立たへんやろ。	短時間のサポートの制度化は経済的に成立しない	制度化困難なイレギュラーなサポート	
132	大変と言えば大変ですけど。それはしょうがない。だからどういふうに具体的に助けてもらったらありがたいかっていうのは難しい。	ほしい助けはあるが具体的実現は難しい		
133	お弁当配達してもらってやん。	受けている配食サービス	受けている配食サービス	
134	市がもうちょっとこう安くなあ、1食でも配達。			
135	食べんわけにいかんもんね。			
136	週2回のデイケアに行っとる。	デイケアの通所		
137	普通のデイケアみたいだね週に4回とか、そんなちょっとしんどいね。			
138	待つのはね。家族がみんな仕事に出た後に1人で玄関でずーっと待たなきゃいけない。もう今か今か思ってね、待ってなきゃいけない。	具体的な時間を教えてほしい	デイケアの通所	
139	まあデーの方も時間が、そんなはっきりとは言えないんでしょうし、仕方がないなと思って黙って待ってますけど。			
140	要介護3になって、3か所くらい特養を申請した。それまで週3のデイサービス、週2のホームヘルプ、週末に1泊か2泊のショートステイ。	サービスの申請・活用	介護サービスの活用	受けている介護サービス
141	今のところはおかげさんで、みんないろいろ来てくれるんで。	いろいろな訪問サービスを受ける		
142	必死になってサービスを探したわけではないけど、ケアマネージャーさんにお世話になって、いろいろ伝えて探してもらったりしながら、うまいこと組み合わせながら行ってる。	ケアマネージャーに相談しうまくサービスを組めた		
143	一人暮らしの寂しさが、今、施設で集団生活で。入ってよかったんは、デイサービスで一緒やった人が先に同じ部屋に入って、(職員が)よかったですねって、そういう面でもよかったなって。	寂しさを思うと施設の集団生活はよいと思う		
144	2週間に1回のカフェで時間的にこれくらいでいいかなと思う。	カフェの通所		
145	あったらあったで来るけど、2回なら2回でよい。			
146	ここが一番で来てる。			
147	カフェも普通の喫茶店みたいところでやっているんで、最初に初めて行った時の雰囲気よかったんやろね。	雰囲気の良いカフェ	デイサービス・カフェに対する肯定的な反応	
148	ここの会に通ってるのは嫌なのって聞いたら「いや。嫌じゃない」って言うんです。	お話し会への参加は嫌ではない		
149	すごいプライドがある人で、もうそんなとこ絶対行かないっていうか、もう行きそうにない人だったんです、それをうまいことケアマネさんに、もうそんなん、本人の意思考えたら絶対一生いかへんわみたいな感じになって、行かしていただいたんですけども。	ケアマネに促されてデイケアに行っている		
150	こちらの迎えてくださる方の雰囲気がどうしたらエエ。ホンマもん。	心から受け入れてくれる場		
151	口だけじゃなくて。よう来たねーって。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
152	それで本人もすぐ受け入れてくれて。			
153	何か本当に受け入れてくださる方の気持ちがおんなもんやから。心が。			
154	ホンマもんの心で、していただいでるんやなと思つて感謝しております。	心から受け入れてくれる場		
155	1回伺った初めての時以降は、ほとんどそうして喜んで来て。普通の心で。			
156	デイサービスとこちらのカフェでお世話になってます。デイサービスもとっても気に入ってますし、こちらにも楽しみにして来ます。	楽しみにしている場		
157	みんな優しいんです。			
158	優しいとか楽しい人いはったところに行つたら本当に楽しいしね。	優しいメンバー		
159	楽しめるのが大事なんやわ。			
160	行つてて楽しいとかね、友達がいっぱいできて…。	楽しい雰囲気		
161	いつも輝いていらっしゃいますけど、今日は一段とパーッと輝いています。			
162	非常に、うちの家内自体も楽しかったってなって、いろんな方とお話できて、パズルとかしりとりゲームとか、そういうことが楽しいということ言うんですね。			
163	(家内は) いまは、お話しができるところで、まあ、喜んで(デイに行つてる)。			
164	楽しんで行つてるんやつたら、いいですよ。一番ですよ。			
165	〇区の方のデイサービスからこっちに移つて、何の抵抗もなく、楽しく行かしていただいておりますので、そこはすごく助かっています。	楽しいデイサービス	デイサービス・カフェに対する肯定的な反応	受けている介護サービス
166	まず朝元気でここに来れるつていう楽しみ。			
167	週2回、リハビリ型デイサービスで、むかえにきてくださつて、1時間リハビリして、コーヒーか紅茶をいただいて、またバスで送つていただく。もうすごい喜んでます。私もすごい喜んで、母も結構楽しみに。			
168	ここ来たらみんなと話ができる。面白いなと思つてる。			
169	この場所は話しやすい場所ですよ。			
170	話が安心してできる場所がありますよね。	安全な場所		
171	(カフェは) お話しなくてもいいから。			
172	同じ病気を持った人たちとね接するつてのは、自分のためになると思つます。	同じ病気を持った人		
173	ちょっとでも気分転換になつたらね。いい話聞かしてもらいました。	気分転換		
174	2時間ですけど、もうあつという間に時間が過ぎてしまつぐらいろいろと話が弾むことがありまして。	話がはずむ		
175	いい会を紹介してもらつたと思つて参加させてもらつてそれから1度も欠かさずにも参加させてもらつてます。	一度も欠かさずに参加		
176	(デイサービスで困ること) 全然ない。友達連れてこうかな。	サービスの満足感		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
177	ようしてくれるよ。みんなよい人ばかり。	サービスの満足感		
178	おいしいよ。他の人はどうか知らんけどな。			
179	(デイ) サービスはちゃんとしくてやで、もう困ることはない。			
180	言うたら、そのようにしてくれてやし。			
181	(デイサービスは) どうかああって、帰ってきて、必ず聞く。	デーサービスの感想・希望を表現		
182	本人も途中からね、デイサービス行かしてたけどね。途中から「デイサービスよりお泊りの方がいいな」とか言うて。			
183	おばあちゃんは一言もそこでの生活を、家に帰って言ったことがないんですね。だからどういう様子でそこにいるかわからなくて。	本人はデイサービスの事を話さない	デイサービスへの否定的な反応	受けている介護サービス
184	ちょっと足、腰とか膝とかを手術したりしてたんで、そういうちょっと運動できるところに行ったらっていうので、評判はいいと聞いてはいるんですけど、おばあちゃんの口からは1度も、良いも悪いも聞いたことがないんで。			
185	みんなに聞いても、すごくいい場所ですよって言うてくれるから、きっといい場所なんだろうけど、おばあちゃんの口からは悪いことも言われなくても良いことも一切聞いてないんで、何をしてるかも聞いたら「じっと座ってるだけ」って言われるんで。			
186	今すごく評判の良いデイケアのところに行ってるんですが、そこで本当にいいのかなあ？とかってすごい思ってます。			
187	そのうちに、何だかんだしてるうちに、ここに入れてもらえるようなことができて、お世話になってますけど。難しいですね。	本人に合うサービスを見つけるのが難しい		
188	まわりに同じような人がいなくて「喋れない」って。重症の人が多かったから。	サービス内容が本人に合わない		
189	ただ、デイサービス、2回は行ったんですね、3回目は嫌や言うて、断固としてお断りしますって行かなかったんですよ。	デイサービスには3回目から断固として行かなかった		
190	最初に行ったとは、「いやや」言うて。で、すぐ新しいところへ変えてもらって行きだして。	サービスを変更してもらった		
191	1年以上ずっと嫌だと言い続けてまして、これ1年経ったのに大丈夫かなって思って、最近やっと少しはなんですけど、やっぱり嫌ってずっと言ってます、でもなんやかんや言われてまあ行っているっていう状況です。	ずっと嫌だと言っている		
192	私はその人たちにいつも電話でどうですか？って聞いたら、楽しくやりますよとか言われるんですけど、本当にそうなのかなとか。	職員から聞いていることが本当なのかと疑う		
193	すごい拒否をよくおばあちゃんはするらしくて、ちょっと問題児さんのところもあるんですよ。でもなんか一旦そこに行くと、すごい楽しくおしゃべりも上手なんで、上手にはしゃべってるんですけど、本当にいいのかなって思ってるんがある。	拒否をよくするらしいが楽しくしゃべっているのか気になる	職員から情報を得る	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
194	そのうちの母は、何て言うのかな、すごい趣味とかはなくて、もう本当に動き回ってずっと仕事をしてる方だって。	動き回って仕事をしている様子		受けている介護サービス
195	今日言ってたんですが、急に「入れたし」って言われて、「なんかせせこましいとこで嫌やったけど入ったわ」って2～3回言われたんですけど、どこにも入ったってことが書かれてなくて、聞いたらそういう事実は全くないというところで、何かもう今、多分1週間に1回ぐらいしか入ってないですよ。	風呂に入ったと言うがデイでの事実と違う		
196	何かその紙には書いてあります、紙には。これやったやっただって、でも何もなし、なんかおばあちゃんは「何にもさしてもらってないし何も食べてない毎日」って毎回言うんでね、1年間。だからちょっとわかんないんですよ。	デイケアの報告内容と本人の言うことが違う		
197	何かそういう料理とか、なんかそういう家事のようなことをデイケアっていうかそこでできないかなって、すごい思ってるんですけども、ちょっとそういうのが探し当てられなくて。	本人の料理や家事をデイケアでできないかと思っている	本人の得意な事ができる場所を検討	
198	何かもっとこう、何かおばあちゃんが自分がやったことがすごい楽しいって思えるようなところが無いのかなって言うのがちょっと一番の思うところなんです。	おばあちゃんが楽しいと思えるようなところを探したい	本人が楽しいと思える場所を検討	
199	やっと病院っていう言い方してるけども、今日、おじいさんおばあさんばかりのとこ行ってきたくて。自分が行ってるっていうことを認識できるようになってきたっていうところ。まーデイに行くとよかったなって思ってるところ。	認識できているところがあるのでデイに行くと良かったと思う	サービスの効果を確認	
200	うちの家内にとってはすごくそれが、そういう薬を飲むよりも、プラスになるんじゃないかなと私は思ってます。	人との交流がプラスになっている	いい刺激のある環境	
201	午前中は一緒にいて、昼からは家内がね、1人なので、ですからデイサービスっていうような形でお世話になる。	日中は本人が一人になるのでデイサービスに行っている	一人にしない	
202	(介護保険) 行ってきた。行かされて。			サービスを利用しない
203	私は嫌や言うとなのに周りが(介護保険) 申し込んでくれて。	介護保険を申し込まされた	受けたくなかった介護サービス	
204	ほななんか受けんなんでしょ、やっぱり審査みたいなの。	介護保険の審査を受けた		
205	介護の辛さ、介護の辛さを知ってるから、介護をされたくない。			
206	私は介護福祉士ですけど。介護は馴染まないなっていう。	介護されたくない	受けたくない介護	
207	サービスはね、行かないです。全然行きたがらないし、それでよう考えたら何のためにサービス行かせるのかなあとと思ったら、これ僕のためやなと思うんです。	介護サービスは介護者のためのものと思っている	サービスの利用は介護者側の利己的な行為	
208	父は入ってまして、父が入るときに修行やなって言って入りました。	父は修行やなと言って入所した		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
209	それはやっぱり入れる方の視点やと思うんですよね。やっぱり当事者は、選択の余地がないんで。決めた時に。でも、家にいたいっていう気持ちはあると思うんですよ。それが当事者第一で、その施設に入れる入れへんっていうの言われると、僕はもう施設になるべく入れたくないという思い。	施設に入れるのは、当事者第一とはいえ、入れる側の視点だと思う		サービスを利用しない
210	施設に入れるっていうのはやっぱり介護する方のエゴっぽい感じは、僕は今んとこしてる。	施設に入れることは介護側のエゴだと感じている		
211	今はこういう自宅で見ると、施設に入れろ圧力っていうのがすごく多いと思うんです。でも、実際施設に入ってる人の声っていうのは届かないじゃないですか。	本人の意思が不在なままの入所があるのを感じている		
212	やっぱり個室に入れてても、こう、水飲む先があるじゃないですか。あれが、他人の名前のものが部屋に置いてあったり、クリーニングやったやつ、クリーニングって名前全部書いてるじゃないですか。それが他人さんのやつがうちのタンスに入ってたっていうのがあったんですね。	施設では、他人の物が部屋に置いてあることがあった	施設対応への不信	
213	実際に今もコロナで週2回とか月2回とかの面接で、しかも15分で。夜中にどんな人が相手していただいでるかとか、わからないところに、僕が父の時は夜見に行ったら、夜勤の方の対応はちょっと…と思うことがすごくあったりしたんで。	夜間の対応に不信を感じた		
214	病院の先生に言わずと、認知症がすごく、もう重度だって言うんですよね。	認知症が重度と言われた		
215	そこは合うか合わなかですけども、まー3日4日しか経ってないんで、これからだと思うんですけど。最初に一発かまされたのが、非常に重度ですって言われてしまったんで。	認知症が重度と言われたのがショックだった	認知症改善への不安	
216	今はいわゆる回復期の病院なんで。リハビリを中心にしてやるということなんで、リハビリが増えるんですけども、認知症が進んでしまった認知症がほんまに回復するかどうかですね。	進んだ認知症が回復するのかが気になる		
217	認知症でなかったら、リハビリしたら回復するんやけどっていうようなこと言われたんで。	認知症でなければ、リハビリで回復すると言われた	身体機能改善への不安	
218	おそらくそういうことを、認知症が、何て言うかな、すごく進んだっていうことは、リハビリしても効果がないということだと思うんですけど。	リハビリの効果がない可能性		在宅介護再開へ不安
219	だから、先生の言われるゴールってのはやっても駄目かもしれんっていうゴールかもしれんし、私にしてみたら、手すりを持って廊下は歩けるぐらいになってほしいというのがゴールですけどね。	廊下を歩けるようになってほしい	入院前の状態に改善希望	
220	それはもう言ってます。最初からね、最初の急性期の病院入った時からもう、退院するときには入院前と同じ程度で。	入院前とおなじ状態を希望する		
221	言われるように、途中経過、これからの経過では帰ってきて、一緒にまたできるかもしれませんけど。そうになったら嬉しいなと思うんですよね。	在宅で過ごすことができるようになるならうれしい	在宅介護への期待	
222	ですからあの、連れていった日に先生が診てくれたら、どうも認知症の関係が進んでるんで。リハビリしても回復しないと判断された場合は、そこで終わりですよ。これ以上リハビリして、まあ今の病院はリハビリ病院ですから。	リハビリしても回復しないとされたらその病院でのリハビリは終わる	入院の期限	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
223	ひと月後にどうしたらいいのか。おそらく施設の方に行くのが一番いいのかなとは思ってるんですけども、そんな簡単に行きそうにもないので、その辺がどうなるかなというのが、一番悩んでるところです。	施設に転院できるのか悩んでいる	転院の可能性	在宅介護再開 へ不安
224	向こうの病院の人が、次ここの病院終わってから老健というのがあるから。老健っていうのはよくわからなかったんですけども、なんか洛西の方にあるんですかね。そういうところをちょっと行ったらどうですかっていう話があったんです。とりあえず申し込んでおきますということになってるんですけど。	老健がどんなところかわからないがへ申し込んだ	施設情報の不足	
225	老健っていうのは、何か期間が決まってるんですか。	老健は入所期間が決まっているのか		
226	老健っていうのはお医者さんがいる？	老健には医者がいるのか		
227	今の状態だったら、骨折する前の状況と今の状況を比べると、ちょっとこれ見ていくのは自信ないなっていう感じですね。	以前と今と比較して在宅介護ができる自信がない		
228	歩けないです。入院前はね、手すりを持ってやっと歩けるというね、外へ出るときはもう車椅子か、腕を組んで歩くかという形で歩いたんですけども。だんだんこう歩けなくなってですね。	入院前は歩くことができた		
229	あ、私の中でその退院するときは、入院前の状況。手すりを持って家の中で動ける。今の状態だと半分寝てるような状態なんで、前と比べるとかなり落ちてるなっていう感じがするんですね。	入院前の状態より悪くなっている	入院前との比較	
230	入院するまでは何とか…外泊は私自身ができないんですけど、ちょっとまあ半日ぐらいはちょっと空けたりとかはできるぐらい母もまあまあそこそそ留守番してくれてたんですけど。	入院前は留守番ができた		
231	両方に介護のあれで手すりをつけていただいて、手すりをこうよじ登るように。だからその机とか椅子とか何かあるものにこんな感じで、スパイダーマンみたいな感じで、あんな感じでの移動しかできなくて。	手すりでの移動		
232	私、入院しようって言われた時は在宅、退院できる時は在宅と思ったんですけど、さあ入院しようってお部屋に連れて行っていただいて、看護師さんに体重測りしようってなった時に、その母がこう立ってて、両脇に看護師さんが支えてくださって、せーのでパッと離してパッとこう持って体重測る。もうそれを見たときには、これあかんわ思って。	2人がかりでの介助の様子から無理と感じた	身体機能の低下	
233	これ帰ってきたら、あの一すごく、その悩みどころは、ホームに入ってもらおうか、在宅ですか。	退院後、施設入所か在宅かで悩む	退院後の行先の悩み	
234	2階の部屋ですっと暮らしてるんですけど、退院した時に1階と2階の往復が多分できないんじゃないかなって私は素人目で思ってて、正直もうホームに入ってもらった方がいいかなっていうのは思ってるんですけど。	退院後は施設入所が良いと考えている	施設入所を希望	
235	今行ってる病院もその週に2回しか面接15分だけしかできないんですけど。それを見るとやっぱりおいしいもの食べれへんし、テレビも見れへんし、やっぱりそれもなんかかわいそうかなあとかいう感じで思ってるんですけど。	入院生活を見てるとかわいそうと思う	入院生活への不憫さ	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー	
236	もう…途方に。今ね、なんかね夜中にホーム見に行かれて何かちょっと…とかいうの、それも聞いたらやっぱりそういうちよろちよろっとう話聞くと、あ〜とか思ったりもするけど。	施設の良くないところを聞く	施設入所への葛藤	在宅介護再開 へ不安	
237	もうほんで毎日回復のリハビリはしていただいているみたいなんですけどね。あれはちょっと…ケアマネさんも階段の昇り降りができひんかったら、ちょっと在宅は無理かなっていうお話をもうちょっとしていただいています。	ケアマネも階段の昇り降りができないと在宅は無理と考えている	ケアマネの意見		
238	いかんせん自分の家じゃないんでね、やっぱり主人の家やし、リフォームして。	リフォームの限界	住宅の事情		
239	またこれ帰ってきてずーっと1日中…ほんで仕事もちょっと週に何回かしてて。	仕事と介護の両立	家族自身の生活		
240	正直去年孫ができて、もう孫のところにやっぱり娘のヘルプっていうかね、もうそんなんも。	孫の面倒も見る必要がある			
241	今まで2人で生活ですから、私が1人で介護してたんですけども、帰ってこられてもちょっと自信ないなど。	在宅介護をする自信がない	在宅介護への不安		
242	自信がないですね、見てると。				
243	まーまー悩みとしては、帰ってきた時にどうなるのかなあ…。	自宅に戻った時にどうなるのか			
244	在宅になる最低条件としてはもう階段の昇り降りができる。それはもう条件なんですけど、気持ち的にはちょっとどないしようかなとか、そういうのがあって。	本人の身体機能の改善以外に、自分の受け入れる気持ちに不安がある			
245	本当に、帰ってからずっとこう24時間また一緒にいるのかと思うと、もう、どうしよう。でもどっちかを殺さんとあかんから。	在宅介護になれば、介護者の望みをあきらめることになる			
246	私も一日中その母に付きっ切りっていうわけにもいかないしねえ。	付きっ切りの介護はできない			
247	一時のね、その自分の感情で、やっぱり在宅にしようとかいってまた同じことの繰り返しになるんちゃうかって。自分の性格もわかってるし、それもすごく思うんで。	一時の自分の感情で在宅での介護を決めてよいかと考える			
248	皆好きこのんで初めからね、施設入れてたんとちゃん。やっぱりそこまで限界がね、来てもうどうしようもないと。だからケアマネと相談して。	誰もはじめから施設に入所させたいのではない	入所の決意		施設入所の満足感
249	そしたらだんだん、いよいよもう1人でどうや、これしかお互い…心配してなんや…前なんか、ガラス戸に当たって割ったりね、奇跡的に骨折とかやうしてへんだなって。これ寸前やったなと思ってね。	1人では危なくなり、お互いのために入所が必要と思った			
250	で、もう本人が「もうこういうとこでずっと居たいわ」ってね、これはもう機会やなと思って。	本人が「ここに居たいと言った」ことが入所の機会と思った			
251	こっちはもう、そうやっっているんなあれで限界来たから。それでやっぱり、その時にすんなり、何とかおなじ法人の経営のね、施設っていうところへ入れたんで。	限界がきていたから入所を決めた			
252	もうやれることやりました。やっぱりあり得るまではね。	やれることはやったと思う			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
253	結局今会ったら…初めてね、しばらくぶりに面会行った時にね、表情が柔らかかったです、ほんまに。ピリピリピリピリ家の中で1人で心配でピリピリしとったもんがね、ふわーっと明るい。	面会時、表情がやわらかく明るかった	入所中の本人の良い表情	施設入所の満足感
254	もう93やから、体力的にいつまで持ってくれるんかなあとって、何とか本人楽しそうにしていますし。	体力は心配だが、本人は楽しそうにしている		
255	続けて今の施設生活、集団生活やね、皆周りに囲まれて、一人暮らしで一人やのうて。それが何とか根気にもつながってるかなと思って、何とかこれがもうちょっとでもね、持ち続けてもらえたらなと思います。	皆に囲まれて一人じゃないことが根気につながっていると思う	入所による良い刺激	
256	こんな表情いつからやろ？久しぶりに見たなって。それで僕はやっぱり行ってよかったなと思います。	入所させて良かったと思う	入所に対する良い印象	
257	やっぱり施設入っても、そうやっているんな形で、電話して聞いたりとか、いつも普段の情報はラインで聞きますけどね、写真も来てるし。	施設からは普段の様子を教えてもらっている	施設からの連絡	
258	やっぱり最大限、制限付きですけど面会何とか今まだ続けられてますし、また、もうちょっとしたらまた顔見に行こうかなとは思いますが。	可能な限りの面会に行く	面会が可能	
259	僕は訪問看護師さんに結構世話になっとる。	訪問看護に世話になっている		
260	そうですね。やっぱりそれは当事者に対して、良くないと思って。家で機嫌ようしてるんやったらそれでいいかと思って、それでもうほったらかしにします。週4日、誰か来てくれはりますし。看護師さんとか、週4日必ず人は入ってるので。	訪問看護を利用しながら在宅生活を継続している		
261	まあ、うちはそんな汗もかかないんで、お風呂は、デイケアでお世話になって。	入浴はデイケアでしている		在宅介護の維持
262	それなりにしたけど、ケアマネさんとかに来てもらって、週1回男性の方に来てもらって、話してもらって、今みたいになちょっと体操してもらったり、歌もちょっと歌ってたんで歌もして、爪切ってもらったり、髭そってもらったり、そんなんしてましたけど。	ケアマネに来てもらい色々なサービスを利用した	サービスの活用	
263	初めから僕もいざ預けなあかんやろちゅうて、どんどんどんサービスぶち込んでったわけね。	将来は入所することも考えサービスを多く利用した		
264	毎日ほど、デイサービスとホームヘルパーと来て、週末だったらショートステイとやって。	毎日サービスを利用した		
265	ただし1人で抱えるんじゃなくて、在宅のサービスは使えるものは全部使わせてもらおうっていうふうに思って。	在宅介護を維持するために一人で抱えこまないようサービスを使った		
266	本当に今、私が介護終えられたのは、本当に在宅のサービスはほんまにすべて使いました。何から何まで本当にすべて使ったので、訪問のリハビリも使いましたし、最後看取りの時には訪問マッサージも使いましたし、本当にすべて使ったと思います。	あらゆる在宅サービスを使うことで在宅介護を終えられた		
267	彼女(妻)もやっぱりだいがかかっとなる感じ(認知症になっている)、昔の事はよう覚えてるんやけど。そういうことで、もうそれなりに何とかやりますけど。	妻の認知症が進んでいるが、それなりに何とかやっている	努力	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
268	あんまり変な気張り方したら先に、お母さんより先逝ってしまう。お互いね、気楽にやった方がええと思います。	気を張り過ぎず、介護は気楽にやる方がいい	気楽な介護	
269	私も、家で見たいなと思って、帰ってきたら部屋を開けてクローラーを入れてしたけど。	できるだけ家で見てあげたい	在宅介護を希望	
270	私はその間ずっと仕事も続けながら、在宅で介護して、最後看取りをしました。	仕事を持ちながら介護し看取った	仕事と介護の両立	
271	もう途中までね、訓練したら何とかなるんちゃうかと思ってますやん。要介護1か2ぐらいやったら。何かだからあんまりもう全部、毎日デイサービス行かしたりとかね。	訓練したら何とかなると思っていた	認知症の改善の限界	
272	それでも何とか途中まではやっぱり在宅でサービスを受けて、一人暮らしでもこんだけ制度できてたら何とかなるやろうと思ったけど。	在宅サービスを受ければ一人暮らしがなんとかなると思っていた	サービスの限界	
273	もうこれ同居やないんですけどね。近くにおって1人で見てたんやけど。	近所で1人でみていた		
274	いつの話を言うてんのやとか、そんだけなんか思ってたんか、やっぱりええ嫁さんやないとかどうとか言うて、(中略)せやったら、こっちももう任しとけへんし、自分ができるだけ、男やけど息子やし。	嫁との関係も悪くなり、長男なので自分が見ることにした	介護の孤立	在宅介護の限界
275	そうになったら結果としてあかんやろなという時期はあったけどね。その時に一番喧嘩したりしてんねんけどね。その過ぎてみたら、本人が症状はね、悪なって。	けんかしていた時期もあったが、本人の認知症症状がより進行した	認知症症状の進行	
276	やっぱり限界きます。	(在宅生活は) やっぱり限界がくる	在宅生活の限界	

4) 私は、地域の一人として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。

8) 私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
1	今までできてたボランティアとかそういうことができなくなったことが悲しいかな。	今までしていたことができなくなったことが悲しい	喪失感	失った誇り
2	今までしてたことができなから寂しい。ああやってやってたんやなって思うと。	今までしていたことができなから寂しい		
3	この年になってから働くのはいややね。これから言うても、もう先も長くないでね。	働くのは嫌だ	引退	
4	私が勤めておった会社の物はどんだけあるかなと思う。(中略)プラスチックなんですよ。(中略)ほとんど最初の頃、我々の会社がさしてもうたんちやうと思ってます。	会社で働いていた	仕事への誇り	
5	会社に入ってからずっとやり続けてきたというようなことですね。			
6	そんなことをしたり、やって参りました。またプラスチックのことだったら、また聞いていただいて。			
7	うん。働いてましたね。若いときは。	若い時に働いていた	失った誇り	
8	長いこと接客業してたから身についたんでしょうね。	接客業をしていた		
9	Aさんに会いに来たよとかって言われると、やった一っつ。本当はそうじゃなくてもいいんですよ。合ってますね私に。			
10	主人が16年、あの具合悪くって、おばあちゃんと二人介護してきたんです。	家族の介護をしていた	過去の誇り	
11	わしら一番最後の現役の実験、軍隊の実験がある。	戦争の実験		
12	B29が飛んできたなら防空壕へ向かって走るっていうそんな思い出はあります。			
13	自分がこれはやれるって思うことを自分でしっかりやり遂げれば、その日一日スカッとする。	昔は主体的だった	主体的だった自分	
14	もう今はね、何もせんとぼーっと1日過ごします。			
15	朝起きて、その日になんもしないことがないことが一番悲しい。			
16	私は助け合い、助けたいタイプなんだけど、誰にでも。			
17	そやから、堂々とせんと。私はそれで今来てます。			
18	もう顔も覚えるのもなかなか大変なんですけど、一つだけ覚えるんですよ。会社の名前と交通、ビジネスですからもう会社関係の人しか泊まらない。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
19	何か迷惑かけるかもわからへんから言うててね。そんなこと思うようになりました。今も副会長やってるんで自治会の。だからそろそろやめるって言うてて。	迷惑になる前に役割を おりたい	人に迷惑をかけること の気がかり	他者からの孤立
20	結構大きい声出しちゃったんや。そしたら、みんな注目して見とっちゃったで、それはちょっとかなんかった時があった。	他人に迷惑をかけてしま う		
21	あんまりね、人付き合いの好きな人やなかったもんやから、仕事はもう、お客さんのあれでちゃんとしよったけど、個人ではなかなか人のとこへ入っていくということが、あんまり好きじゃなかったんで。	人づきあいが苦手	大勢が集まる場所に 感じる苦手さ	
22	デイサービスは行くのが嫌です。もう全く人と関わる中で愛想はそんなに悪くないんですけど、人と関わるのが嫌いで。			
23	全く1人になりましてね。			
24	ちょっと会話の中に入れなかった。	会話に入れない		
25	話すこと全然ない。			
26	最後に先生がギターもって、みんな年代色々やん。歌詞が書いてあって歌わはるんやけど、なんか面白みがない。	面白くない		
27	男の人が少ないっていうのと、ほんで自分よりも歳の大きい女性の方が多いと。ほんなら、わしはあんな年寄りの人がしとるようなことをするほどのことではない、というになってしまって、ストライキを起こして、わしは絶対行かん。	同じ男性がいないと 行かない		
28	年寄りができるようなことを私はする必要ないという感じで、6月全然行かず、7月ちょこっと行って、もうそこから行かなくなって。			
29	お年寄りばかりの中に私言って、男の人2人ですよ。	自分よりお年寄りの中 にはいたくない		
30	なんかこっちが年寄りになったような気分になって、気がめいってしまいますわ。			
31	やっぱり同年代ぐらいで、波長の合う方が2人か3人いらっしやると私も行きやすいです。			
32	お年寄りの中にボンと放り込まれて、さて何話そう？話すことないじゃないですか。			
33	田舎はね、それがああるんです。私もそれが嫌で。	田舎の嫌な面	他者と関わることの 煩わしさ	
34	大きな気持ちでおらんかったらね。			
35	あの人は何も言わんからってやって人があるんです。			
36	大きな気持ちでおらんと弱気でほんとしとったら、もっともつとあれするから。			
37	全く犯人にさせられとんや。			
38	田舎はね、それがああるんです。私もそれが嫌で。(笑い声)。それが嫌でね。女一人になると、もう急に來るんです。			
39	今もうその現在、今現在も、私のはた、田んぼへ行つとる。行つとることになつとんやそうです。ほんでその田んぼに行かんように言うて、夜中中じつと見とつて人おつてんです。	他者からの干渉		
40	友達と話をしたり菓子食うたりしとることが気に入らんかったみたいで。			
41	村の人にいっぱい叩かれてますよ。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
42	私入りたいって思ってもね、周りの人が、あんたはここですって言われたら終わりでしょ。っていうかそういうことになるわね。私はここ行きたいって言っても、いやあなたまだちょっとここにいてくださいって言われた。			他者からの孤立
43	私は好きで楽しいからここにいたいと思っているのに（できない、やらせてもらえない）。	自分の思うようにやらせてもらえない		
44	私はこの人たちと、こうしてやりたいと思うのに、もうその人たちが勝手にね、ここ、ここって決めて。			
45	思い通りにできひんというか。			
46	なんか感じ悪かったら、もう私す〜っとそちの方に行ったりね、自分の勝手に好きなところに行って。		嫌な事を回避	
47	そしたら私はもうそこには行きません。			
48	もうここにはもう行きません。そしたらまた違うところで、そういうところがあって行ってね、そこがよかったら、もうそっちの方に逃げます。	嫌な所には行かない		
49	そこはもう嫌って思ったら、次行きたくないし、主人に私はもうあそこには行かへんって言って。			
50	（施設に）行きたくない。			
51	〇〇の郷（デイサービス名）に行っておったんやけど、どうも嫌やっていうことで。4月頃からやめた。			
52	嫌な人とか、それはもう本当にはつきりわかります。	嫌な人とは話さない		
53	それはめったにないことだから、お話ししようってその手術のこと。でも話したい人おらへんかった。	話したい人がいない	話す人がいない	
54	そういう対話ですよ。とにかく、デイサービスに来なかったら何もしゃべらない、しゃべる相手もない。	デイサービス以外に話す人がいない		
55	（集まる場所は）ないんです。	集まる場所がない		
56	（イベントは）そんななかつたけど。			
57	この年やし迷惑かかるで、もう連絡は断とうかなって。	年をとったことによる関係の変化	他者との関係性の変化	
58	歳いくと周りも歳行きますで、そんなもなくなるし。			
59	コロナの関係で、電話もせえへんし、遊ぶこともなくなりました。	コロナ禍による関係の変化		
60	友達から電話掛かってきて、もう死にたいよとか【聞き取り不明】ていうそういう声も悲しいと思う。	抑うつ的な友達		
61	ただ頑張れるやんって言ってもダメで、それも寂しいしね。			
62	区長は4年前に2年間。役はずっと初めからやってきました。足痛めてからは顧問で残って、今自治会の副会長をやっている。	区長の顧問と自治会の副会長をやっている	地域での役割がある	能力の範囲での地域貢献
63	副会長は言われて断ったんだけど。市長から今年よろしくお願ひしますって言われてなつてもた。	頼まれて副会長をやっている		
64	人口が減ってお年寄りばかりですよ。どうしたらええねんって。学校の跡地をね、どうしようかと。そういうことを今協議しとんですけどね。一番今学校がなくなるのが。みんなショックですよ。	地域を思い、問題を協議している		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
65	昨日も電話があって、何とかして欲しいって。アライグマ。鹿も増えてて、市に何とか捕獲してくれて言ったら、来てくれたんですね、昨日までで3匹。	地域住民の相談に対応している		
66	ボランティアにね、週1回は社協がやってるデイサービスセンター行ってお手伝いしてるんです。	社協のボランティア活動	生きがいになっているボランティア活動	
67	コーヒー淹れたりとかのお手伝いをして、そういう感じやね。			
68	そういうこと（ボランティア）をすれば、自分の生きがいにもなるし、人のためにもなるし。	生きがいになるボランティア活動		
69	人に、その、頼りにされない…と滅入る。	頼りにされたい		
70	みんなにこう、幸せ与えたいって方やで。			
71	何か人のお役に立つことをしたい。			
72	私は助け合い、助けたいタイプなんだけど、誰にでも。			
73	ボランティアをするのはもうやらなきゃ駄目だって、子供のこと思ってますから。	子供のためにボランティアをしている	能力の範囲での地域貢献	
74	私は生活をボランティアを行ってますよ。	ボランティアをしている		
75	防犯については、しゃべりだしたら止まりませんけど。	防犯に参加している		
76	私ね町内会長何回かしてるんですよ。だから町内のことはよく知ってる。	町内会長をしていたので、町内のことをよく知っている		地域貢献の誇り
77	20年前から防犯やってましてね。はい、パトロール行ってます。それでね、朝7時半に小学校行きます。	パトロールを続けている		
78	もう年も年やし、とぼとぼ歩いてるからね。もう止めたら？って言うてもね。7時半になったら「あ、行かな」って朝行くんですね。	時間になったらパトロールに行く		
79	小学校に行っております。朝いつも。だから子供たちも皆「あ、またおじさん来はった」って。	子供達が声をかけてくれる	地域の子供達との関係	
80	その子たちがもう大学生とか社会人になってるんですね。そしたら「確かあの人は校門でおはようって言ってはった人ですね」「そうです」って。その頃からもう大学生になってる子どもも多いので、声かけてくださってます。	大学生になっても覚えていてくれる		
81	人と交流する機会をね、ちゃんともたんと。	いろんな人と話した方が良い	他者とのつきあいの継続	他者との交流の継続
82	人と会話ができること。それが一番ですね。			
83	お互いに身近なことをだべり合うということがいいことだろうと思いますね。			
84	常に私一人でしかおられませんので、しゃべる相手を常に探してるわけですよ。			
85	やっぱりね、人がいるところへ行きたい。さみしい。1人ばかりやでね。	1人は寂しいので人がいるところへ行きたい		
86	続けたいな。	他人とのつきあいを続けている		
87	繋がってて、その人の家族とも私仲がいいんです。			
88	裸の付き合いでねえ。	何でも言える友達がいる		
89	北海道から九州は全部行ったね。私は九州に友達が居って、舞鶴に居ってやった人やけど、そういう人がおいで言うてくれるの。	九州の友達がいて誘ってくれる		
90	女姉妹三人でどうしてるよって電話かかってくる。ちゃんと計画立ててくれて。	姉妹から旅行の誘いの電話がかかってくる		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
91	54年ぶりに小学校の同級生が、僕のインスタグラム見て、ひょっとしてDくんかって、メッセージくれて。	インスタグラムからのメッセージ		他者との交流の 継続
92	別にご病気とかじゃないってことだから、もうご用事なら仕方ないと思ったけど、やっぱり寂しかったですよ。	しばらく会わない 寂しさ		
93	(スタッフは)ほんまにほんまもんに近いものに挑戦しはる。	力を信じてくれる スタッフ	他者と関わることの ポジティブな感覚	
94	集会所がありますのでね。集うことで、分けあっていたいので。	集う事で分け合う		
95	集会所って大きな存在なんですよ。メンバーは大体決まっていますけど。楽しいです。	大切な集会所		
96	いずれまたいろんなお友達がね、どんどん増えていくやろうし。	友達が増えていく		
97	ありがたいこと。皆さんの、周りに、感謝しております。	周囲に感謝する心		
98	もう皆さんがリーダーシップとってくださいね。ありがたいですね。			
99	本当に人の支援ね、やっぱりサポートには、感謝しています。			
100	皆さんありがとうございます。皆さんにもお世話になっています。			
101	料理人は、おいしい言うてもうたら嬉しいもんです。	料理を褒められて 嬉しい		
102	(川柳を)たくさん作って、皆さんに言うたらもう大喜びで、楽しんでますね。	自作の川柳を喜ばれて 楽しい		
103	皆さんにお世話をすることが、僕嫌いな方でないでね。	世話をするのが嫌いで はない		
104	でも、本当に今言われたようにね、人の接するのが本当好きなんだよね。	人と接するのが本当に 好き		
105	毎日楽しいから、1人でも楽しいから。楽しいこと考えて、行くところは行って。やっぱり人と交わっているのが一番楽しいで。努力してます。	人と交わることが 楽しい		
106	私はね、家は一人ですし、こういうところにお誘いを受けたのが大変嬉しかったです。	1人なのでカフェに誘 われたことがうれしい		
107	おかげさんでね、西に友達がいるんでね。ありがたい。	友達がいるのでありが たい		
108	こうしたらいいよ、ああしたらいいよ言うてアドバイスいっぱいくれはって心強かったんです。	心強いアドバイス		
109	それで声かけてくださって。はいはいってやってます。			
110	みなさんから元気いただてる。	元気をもらう		
111	もうみなさんのお話聞いてね、いいお話だから、私も頑張っていかなきゃなって思ってる。			
112	そこに集まってきてる人がね、自分でするようになって変わってきてらっしゃるんですね。	集まることで高まる 自発性		
113	だから皆さんが自発性を高めるようなね、そんなんを願ってます。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
114	だからこういうところで、昨日pad（スマホ）見たら出てましたから。	ネットで得た情報の活用	ネットからの情報収集	求める情報
115	YouTubeで対処の仕方なんかよく見て。上手に対処されてるし、こうせなあかんのかなーって思ったり。	対応方法をYouTubeでよく見る		
116	喧嘩をよくしてたんで。どうしてええかわかんなくてYouTube見て、そうなんやって思って。新しい薬いろいろあるみたいでどうかなって。	対応方法・治療をYouTubeで知る		
117	初歩の医学知識でこういう時どうするかって、ある程度ネットで調べて。	医学知識をネットで調べる		
118	当然手出すしね、手伝いながら、逆に技術を盗んで、こういう時はこう転がすんだとかね。着替える時はしんどい方からやる。だんだん盗んでいくという感じ。	手伝いながら介護技術を学びとる	専門職者から知識・技術を得る	
119	それともう一つは医学知識。、訪問の鍼灸の先生、ヘルパーさんにも看護師さんにも聞きながら、やっではいるけど。	医学知識を専門職者に聞く		
120	その温度感覚とかっていうのが、いろいろと認知症やったら感じにくくなるのかな？とは思ってるんですけど、皆さんどうされてるのか。	アドバイスが欲しい	アドバイスの希求	
121	今日のようにね。こうやでとかね、反対に教えていただくことって多いです。	教えてもらうことも多い		
122	（ネットは）いつでも見られると思うとギリギリまで見ひん。講座やと行くでしょ、絶対行かなあかん。	配信よりも日程が限定される会場開催の講座は絶対に行く	会場開催の講座への参加	
123	これもそうでしょ。今日はタメになる話を聞けまず言うことで、来るじゃないですか。それがないとズルズル出けへんのよね。	タメになる話は聞きに行く		
124	（介護者向けの講座など）コロナでだいぶいろんなものが無くなって。	コロナで講座などがなくなった		
125	講習時に今回のこと（伏見井戸端）教えてもらって。いつかは訪ねてみようと思ってたんです。	講習で家族会を知って訪ねてみたかった		
126	だんだん医学知識的なことも必要になってくるから。教えてくれるような…。	次第に医学知識が必要になった	ベテラン介護者向けの医学・介護技術関連の講座が欲しい	
127	医師会の講座で、ネットで2回、2年ぐらいやってる。褥瘡とか口腔ケアとか、私が今求めていることに近い医学知識を含めた部分がある。そこは良い。	医学知識を含めた褥瘡や口腔ケアの講座は良い		
128	介護技術とか、医学知識みたいな、実際に介護してる者に伝えてくれる講座的なものが欲しいです。	介護者向けの介護技術や医学知識の講座がほしい		
129	（介護技術を教えてくれる会など）あんまりないでしょ。楽ちん介護の何回かあったけど初歩から進まへん、入れ替わるから逆に言うと。こっちは中の上ぐらいのレベルが欲しい。	初歩的でなく、中の上レベルの介護技術を教えてほしい		
130	何回か認知症のとか、社会福祉協議会とか、介護就職向けの講座があって。技術的なこと、介護保険の知識とかコンパクトに教えてくれたので、復習するのによい講座でした。	技術や介護保険をまとめた講座は復習に良かった		
131	教えてもらいたいのは、介護のための体力をどう維持するか。前にサンガで介護者のための体力づくり教室があった。1回チラシが入っただけで無くなってるので、そういうのをやらないと。	介護のための体力維持について教えてほしい		

5) 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんでいます。

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
1	はい。料理してます。			
2	料理人になりたかった。料理のお店を持ちたかった。ほとんど料理は家で朝もご飯作って、今もします。晩ご飯ももちろんとして。	食事の支度をする		
3	認知になる前かな、（私が）帯状疱疹でご飯ができなくて、「朝ごはんだけでいいからして」って言った。それがよかったみたい。未だに朝ごはんだけ。			
4	この間も、貝がええのがあったのでたくさん買ってきて。白パイという、おいしいんですあれ。		家事・買い物	
5	お買い物から始めたのが楽しかった。みんなで何をかうか考えて、スーパーに行って、というのがものすごく印象に残った。	買い物に行く		継続している習慣
6	（買い物は）いろんなもの選べるし、お金がたくさん使えるし。			
7	でも、買い物に行くのは好きで、今日は行かへんのか言うたりして。			
8	そうやね、食べることも宅食便ととるし。	宅食便を利用している		
9	毎日働いてる。	毎日働いている		
10	今はブドウをね、作ってるんです。家でデッキを自分で作るんです。これブドウ作ってるんですよ。ふじみどりっていう高級なブドウを作ってねえ。	自作のデッキでブドウを作る	畑仕事	
11	外へ出る方がいいね。今ちょっと足が悪いから、それでも直ってきたんで。最近出るようになりました。	外に出る		
12	（お出かけは）ここ（カフェ）だけ。	お出かけはカフェだけ		
13	まあ、遊びには行ったりするけど、定期的にはない。	友達のところへ遊びに行く	外出	
14	福知山の古本屋で買ってくるんです。	古本屋に行く		
15	散歩も、はい。あ、今日歩いたよ、海まで行った。	散歩に行く		
16	娘が和歌山におる、和歌山から来て、お母さん行かんかって言ってくれてね、長いこと3年ほど行ったことなかったけん行ってきた（和歌山に）。	旅行に行く		楽しみになる活動
17	今はね、年寄り川柳を作ったり。一泊で行ってみたい天国へとかね。（笑い）たくさん作って、皆さんに言うたら大喜びで。そういうので楽しんでますね。	川柳を作る	趣味	
18	川柳をねたくさん作ってるんですよ。バーベキュー大会があった時に持ってったんですよ。もっと見せてね。喜んでいただいた。そういうのが嬉しいね。			
19	絵が好きなんや。前から描いとったんやけど。	絵を描く		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
20	本を読むことですね。	読書が好き		
21	読書が70%かな。			
22	大体1日のうち、60から70%は読書をする。時間があれば。			
23	私も読書大好き。			
24	ご飯食べる時間も、家内も忘れてしまうようなくらい(読書は)面白い。			
25	本っていうのはいろんな歴史とか日本の昔のいろんなことを教えてくれるなど。それから、本読みが始まった。	ひ孫との交流		
26	声聞いたら元気になると思うんですよ。4人の曾孫たちが、元気な声で「ばばー」って言って入ってくる玄関のあの音。			
27	人の曾孫が何やっても美味しかね、美味しかねって食べる元気さ。あれがもう一番ありがたいねと思っています。	楽しかった夏カレー		
28	(夏カレー) 美味しかった。			
29	(ボーリング) 楽しかったねえ。	楽しかったボーリング		
30	ボウリング行ったことが楽しかった。			
31	カラオケが好きやからね。	カラオケが好き		
32	そうやね、私はもう音痴やけども、カラオケが好きで。カラオケ大好き。			
33	今楽しんでる。週5日ほどは麻雀したり囲碁したり健康体操やったり。	麻雀・囲碁・健康体操	趣味	楽しみになる活動
34	その都度ね、やっぱり相手がいるから。変化が。飽きないですね。けっこう楽しくやっています。			
35	集会所があるんで、そこみんな集ってますから。そこを楽しみに行っています。	楽しみがある		
36	皆さんがイキイキとさせていただきたい。それが私もイキイキとなる。			
37	色々な楽しみがないと生きていけませんから。			
38	みんなで集うことね。楽しみに思っています。			
39	楽しみをもっていますから。			
40	ここにお世話になるようになってから、もう楽しみで。			
41	(デイサービスは) 楽しい。			
42	楽しみをみつけて過ごしたい。			
43	楽しみ。お姉さんがね、アンタいつ行くんや、いつ行くんやって?	カフェが楽しみ		
44	ここ(カフェ)に来れたのが嬉しかった。			
45	(カフェで) 今日は何してくれるかなって。			
46	今日はなんなんかなあって楽しみを胸に参加させていただいています。	面白い話が好き		
47	しゃべるんはもう、面白い話ばかりしたら皆さん喜ばれるからいいわね。			
48	(コーヒー) おいしいです。	美味しいコーヒー		
49	ほいで、ストレス解消しとん。	ストレス解消		
50	新聞好きですけどね。あれ、頭に入ってるのかしらんって思うんですよ。	新聞好き	好きな事	
51	(素晴らしいです。きてみようって思ったのは。) そう言っていたいただいてありがとう。やっぱりそういうものに興味が割と持てるかなあ。	自分が好きなところに行く		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
52	(旅行には) 1人で行けへんでね。連れて行ってもらわんと。	旅行に行く	好きな事	
53	(旅行には) 一人では行かれんでね、(ツアーなど) そういので行っとる。			
54	旅行大好きやったでね。その感化を受けてるんで。自分(夫) 早く死んだで。			
55	(友達との旅行は) おしゃべりができるでね。道中もね。			
56	今ね、テニスやスキー、順番いろいろやってますよ ね。	好きなスポーツ		
57	大好き大好き。テニスもスキーもなんでも。			
58	若い時は一緒にみんなでバレーボールしたり、いろいろととったね。			
59	体操は、もう、とにかく体動かすのが好きやから、合うみたいやね。	花が好き		
60	大大大好きは、このいろんなお花を庭で育てること。			
61	うん。それが一番一番一番一番大好きで、気になって気になって気になって気になって、帰ってきたらわぁ花咲いてく。	花が咲いたら嬉しい		
62	私上手ですよ、料理。	楽しい料理		
63	だって料理ってすごい楽しいじゃない。			
64	手芸を教えて欲しいな。手芸もね。我流じゃなしに。本当のミシンもやってみたいなどは思うけどなかなかね。	手芸を教えて欲しい	楽しみになる活動	
65	手芸教えてほしかったよね。			
66	手芸は教えてほしいねえ。			
67	やってみたいこと、旅行に行きたいですよ。	旅行に行きたい		
68	それはもう、お友達やねえ。			
69	(一緒に旅行に行きたい人は) そりゃ、友達やねえ。			
70	一人になったらねえ、主人と一緒にやったら行きたいなあとと思うけど。			
71	女の友達やったら(旅行に) 行きたいけど、1人では楽しくないもんねえ。	美味しいものを食べに行きたい		
72	美味しいものを食べに行きたい。			
73	前の日に、ここに行きたいって思う。	行きたい場所がある		
74	(デイサービスに) 行きたい。	陶芸をしたい		
75	できれば陶芸をやってみたいな。			
76	無心になってね、土いじりできるのは楽しいから、またやってみたい、またやりたいな。	山に行きたい		
77	小さな山かなんかわかりませんが。行ってみたいなあとと思う。			
78	(やりたいことは) なんぼでもありますけど。	やりたい事がたくさんある		
79	大体やるで、思ったらやるで、私は。大体やるでね。実現せんね。	やりたいことは大体やっている		
80	これからもって思いますけど、体が続く限り参加したいなって思ってます。	できる限りの継続		
81	私が運転できる範囲で、いろんなところに連れて行ってあげたいですね。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
82	昔は習字してたので、お習字の教室、行ったんです、介護の。ところが、自分が極めるほどに頑張ってたのが、アレが（差が）ありすぎて、飽きてしまった。	昔極めた趣味と差があり飽きた	レベルが合わず飽きる・嫌気がさす	適切な活動・休息を考慮する必要性
83	介護関係では一般的な習字教室みたいで、自分はずっと違うことしてみたいで、嫌気がさしてやめてしまった。	レベルが違い嫌気がさしてやめた		
84	出かけるときは、本人もしっかりと、その気になってます。しんどいときは、もう無理に行かさんと思ってます。そのことについては、大丈夫です。	しんどいときは無理をさせない	しんどさへの配慮	
85	本人は、しゃべりますよ、いっぱい歌うし。最近受け答えも結構いけたり。刺激があるんです。一方で、寝とりたいたい。刺激と休養のバランスをどう取っていくか本人にとって課題なんです。	刺激と休養のバランスが課題	活動と休息のバランスがわからない	
86	規則正しく生活した方がええ。デイ行って刺激をもらって、多少運動したほうがいいけど。本人は朝起きんのしんどなってきたり、行ってもぼーとしてるんやったら1日減らしたほうがいいのかとか。非常に難しい。	刺激・活動が適切か判断が難しい		
87	趣味もなんもなくなって。昔は登山とか写真。カメラは使えません。パソコンも電源がどこか全部、抜けてて。写真も認知症の忘れる？症状があれやと思う。	何もやっていない	何かすることのしんどさ	活動のしんどさ
88	塗り絵は好きでね。塗り絵をせえ言うけども、せえへん。	何もしたくない	何もしたくない思い	
89	そういう気力が全くなくなってしまって、寝てばかりする。			
90	まだまだやれると思うけど、やっぱり用心せんね。	加齢による難しさ	できない思い	
91	もういらんもんねとか、年取ったねとか、そういうこと思いついたら、ずーっとそれが負い目になる。			
92	持続させるいうことは難しいな。歳が歳だけにね。			
93	年齢を重ねるたびに、一年一年、去年はできたけど今年はできんね、とかね。			
94	年齢が年齢だから、用心しながらするんですけど。			
95	気分が悪くなって、気分が悪くて寝とっても、あーこのまま、このまま死ぬんだねって思う。	死ぬかもしれない思い	どうでも良い思い	
96	どうでもいいやって思うようになったら、ガタガタガタってなっちゃう。			
97	バザールでね注文したら全部来るの。だから買い物に実際なかなか出ない。	宅配サービスを利用しているので買い物にでない	外出しない	
98	(外に) 出ないね。	外に出ない		
99	自転車にも乗れなくなったしね。よけいに家で閉じこもる。	自転車で乗れなくなり、閉じこもりやすくなった		
100	そしたらやっぱり出て行けないんですよ。コーヒーを飲むのが大好きだって、車で運転して喫茶店に行ってコーヒーを飲むのが大好きでした。それができなくなりました。	車の運転ができなくなると出ていけなくなった	気持の制限	
101	散歩にちょっと行くにも足が痛いからね。	足が痛いので散歩を控える		
102	困るのは耳が聞こえない。自分からしゃべるいうことがね、、もうちょっと聞こえへんからね。	耳が聞こえないことが困る		身体機能の低下
103	だんだん聞こえない、これは困ってるねえ。補聴器も作ったりするけど聞こえんね。	聞こえが悪くなって困っている		
104	歩いていくんやけど、今度帰りがしんどくて。ほんで、もう帰れんで、タクシーを呼んだんや。	出かけても帰りがしんどくてタクシーを呼んだ	体力の低下	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
105	車乗れへんのでね。	車を運転しない	自分で車を運転できないことの不便さ	車を運転できない不便さ
106	だけど、免許返納した以上、歩いてあそこ（図書館）までよういかんのですね。坂ばかりだから。	免許を返した		
107	あそこにおるだけで幸せでした。（免許を返して）それが行けなくなったのがすごい悔やまれる。			
108	やっぱり、高齢者になってくると私も母親に車を運転することをやめてってお願いして、辞めさせました。	車の運転を辞めさせた		
109	バスは不便。	交通の便が悪い		
110	相手の迎えの時間とかに合わせないといけないから大変。相手は仕事もつとるでね。			
111	（カラオケ）それは私も行ってる。でも、そこらにはあらへんし。			
112	どっか行かんなあと思うときはもう、足がないからタクシーだけ。主人がいるときはね、車でどこでもいいけど、もう今は1人で、出かけようおもたらタクシー呼ばないかれない。	出かける時はタクシーがないと行けない		
113	バスの回数がものすごい少ないんです。	バスの本数が少ない		
114	バスの回数を増やす。			
115	バスは確かに少ない。			
116	市のバスでも走らしてもらわなな。			
117	地方のね田舎にあるやん。市が出してくれとるバスが。そういうバスを市が出してくれたらよいねって。			
118	本数も少ないねー、前はね、20分に1本くらいだったのが今は1時間に1本くらいじゃない。			
119	タクシー代が高い。	タクシー代が高い		
120	まさかタクシー使って図書館行くのはばかれるです。			
121	一応用事があつたりせんならん時があつたらタクシーも使うてな。			
122	バス券は出とるけどな、バス停まで行くのが大変なんや。私らの年になると。	バス停まで行くのが大変		
123	不便やなあ、あそこのバス停まで行くのが遠い、遠いのが大変や。			
124	ほいで歩くのは足が悪いさかい。			
125	自転車がないとちょっと生きにくいさかいに。	自転車がないと大変		
126	一人暮らしの人は大変と思うよ。	買い物難民		
127	自転車で行くのも大変になる。そういう買い物難民がね。			

7) 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されてすごしている

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
1	イライラした時は言わないほうがね、しゃべらない方がいと思う。しゃべるとね、喧嘩になるんでしょ。そう思いますね。	自分の意見を言わない方が喧嘩がない	考えの抑圧	本音と抑圧
2	自分なりにイライラする時は、しゃべらないっていうのは、思ってますけどね。			
3	いまだに、どう思ってたんやろうなあと、あんまり言わなかったですけど、思います。	思いを十分に聞けなかった	表現しない思い	
4	周りが見てるしかない。痛いとか、言葉で表現できんから。昔はお腹が痛い、便所行きたいとか言うてた。最近は何も少なくなってきた	進行により言語的表現が減少する	表現の減少後も理解に努める	理解に努める
5	表情とか、究極はええにおいがするなって。だから私コロナになって鼻がいかれたらどうしようかって。幸い良かったけど。	表情や匂いで感知する必要性		
6	進行するほど周りが見るしかない、観察して、記録して、介護してる方も一番強い記憶だけ残っていくんで、あの時しんどそうにしてたとか。毎日しんどいわげやないから。記録つけていくしかない。	進行するほど観察・記録して変化を見る必要性		
7	花見に連れて行ってやりたいと思ってもそれは介護してる側の願望であって、本人は寝ときたい、邪魔するな思ってるかもしれへん。	介護者側の願望と本人の思いのズレを考える	本人の意思への着眼	
8	デイに合わせて起きないいかんと。本人ももっと寝とりたいと思ってるかもしれないとか、本人の意思っていうのはどこにあるのかわからへん。完全に社会と縁を切ることができへんのが、仙人になったはずやのに。かわいそうなんですけどね。	本人の意思がわからずかわいそうになる		
9	その中で、私が一番転機になったのは、脳血管の障害もあったんですけども。その辛い中で母の思いを聞いたことがあって、「お母さん、こんなにみんなにいろいろ怒られたりするけど、家で楽しい？どう？」っていうのを、どう答えるかわからなかったんですけど、聞いたことがありまして、その時に母が答えた回答は「みんなに言われるし、楽しくもないこともない」みたいな言い方をして、	母の辛い思いを聞いた	知ることが出来た母の思い	本人の意思確認
10	「そやけど、お父さんとお昼ご飯を買いに行つて、あれしようかなこれしようかなって言って、ご飯を食べてる時間が、私はやっぱり一番嬉しい」その一言を言ったんですね。その一言で。私はもうちょっとしばらく。在宅で介護してみようというふうに思いました。	母の嬉しいひと時を聞き在宅で介護をしようと思った		
11	ただ、自分が倒れたり、病気になったり、辛い思いをするのは母も望んでないことだと思うので、そこになるんやったらもう、施設の方で介護をしてもらおう。それまでは自分ができるだけの間は、自分で介護しよう。	自分が倒れることも母の望みではないと思い、自分ができる範囲で介護をしようと考えた	在宅介護への決意	在宅介護への決意
12	母は本当に子供のように戻って亡くなったなと思つてまして、それが子供のかわいらしい赤ちゃんの顔を見ると母を思い出すんですね、これ不思議なこと。	母の最期は子どものように亡くなったので赤ちゃんの顔を見ると思い出す	最後の姿	看取りへの思い

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
13	なんで、本当に、なんて言うんですかね。認知症の方って、症状が重くなってくるんですけど、今まで、私はメッキって呼んでたんですけど、生きていく上で、理性とかそういうものを身につけてるんだと思うんですけど、そういうのを少しずつ剥がして、本当に生まれたままの本質、本当の姿で、だから本当にすごく正直、これが嬉しいとかあれが悲しいとか、すごく正直な母に最後戻っていったなあと思っていて、それはもうまるで子供のような、赤ちゃんのような感じで戻っていったなあっていうふうに思っていて、	最後には理性がはがれ、母の本当の姿で亡くなったと思っている	最後の姿	看取りへの思い
14	妹も一緒にいるんですけど、妹も「本当に赤ちゃんのような感じで最後戻っていったね」。だから赤ん坊の顔見ると、最後の母の顔を思い出すような。そんな思いで、今はいます。	妹と母の最期を話している	姉妹と思いを共有	
15	ただまだね、ちょっとね1年経ってないんで、まだまだ寂しいっていう気持ちも正直あるんですけども、そんな形で過ごしています。	看取って1年経っていないので寂しい気持ちはまだ残っている	寂しい気持ち	

9) 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲を持って参加し、すごしている。

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー	
1	(診断受けた頃) 認知症について私なりにテレビとか新聞で、親のために知識を入れたんですよ。家内のためになるとは思ってなかった。	(若年) 親のために備えた知識が妻のためになった	事前に認知症・支援に関する知識はあった	兆候への気づきと受診	
2	認知症になったら治らないっていう覚悟を決めた。	(若年) 治らないという知識があり覚悟を決めた			
3	事前に新聞とかニュースで地域包括支援センター、その頃10年前、あそこに行ったらなんか情報あるのかなと思って、そういう資料を集めて。	(若年) 事前に新聞・ニュースで情報を把握し資料を集めた(10年前)			
4	東日本大震災頃から、思い返せば、それがきっかけか知らないが、その頃からおかしい様子が出てきて。今思えばおかしいって感じ。	(若年) 思い返せば東日本大震災の頃より様子がおかしかった	発症の兆候		
5	車を運転して、スーパーに買い物行って、帰りに置いた場所がわからないって電話が職場にかかってきた。一過性かと思った当時は。ぐるぐる回ったら見つかるんじゃないって言って、何とか見つけて。	(若年) 車を駐車した場所がわからないと夫に電話する			
6	観察してると買い物行ったのに、帰ってきたらないって話され、私はそのスーパーに電話してないですかって聞いても、ないということで、家の中見たら内掛けに置いてあったりとか。	(若年) 買った物が無いというが家にあった			
7	着付け教室に行くスケジュールを手帳にメモしてたが、ある時からその予定が無茶苦茶で。行かない日に行くようになってたり、行かないといけない日が空欄になってたり、おかしいなと思って。	(若年) 手帳の内容が無茶苦茶で夫がおかしいと思った			
8	極めつけは病院に、行く日じゃない日に行って入れなかった。おかしいって言うから、病院が間違えいけないと思ったし、相手を悪くしてるから、おかしいと思って病院に連れていった。色々検査して、アルツハイマーって診断受けた。	(若年) 夫がおかしいと思い、受診し診断を受けた	配偶者が気がついて受診した		
9	私も最初診療受けた時は、情報は同じように何もなかったん。薬を処方しておしまい。	(若年) 最初の診察時は薬の処方だけで情報はなかった	発症初期に必要な相談支援が得られなかった		初期の支援不足による家族の困難
10	精神科の近くのクリニックに毎月行ってたけど、調子どうですかって本人に聞いてるだけだから、本人もふんふんって。こうなったら言わない。うちに、また同じ薬出しますね、そんなんしかなかったです。	(若年) 本人に調子を一応きくが同じ薬を処方されるだけだった			
11	通院医療費の1割か何か。それも何も聞いてなくて、最近知ったところです。	(若年) 自立支援医療について最近知った			
12	医療費が安くなる情報あったけど、どう手続きしたら、家内が該当するか、全然知らなかった。薬局で薬買った時に聞いたけど、薬局の人も何のこと？って。知ってる人いないのかな。安くなるかなと思って疑問に思いつつ、日々暮らしてて。	(若年) 医療費等の制度は情報はあったが具体的な手続きは全然知らなかった			
13	とにかくうちが、こんなデニスがあるんですけど電話してみようと思います言うたら、どうぞそちらでっていう感じ。全部こちらからこんなどうですかって、あっじゃあ行けばいいですよっていう感じ。	(若年) 支援がわからず困る家族に医師は向き合ってくれなかった			
14	そのクリニックだと、家族の相談ごとなんか全然ないです。「ちょっとすぐ忘れるようになってるんですよ」「いや、そんなんいいです。本人が楽しく過ごしたら」。じゃあ家族はどうなるんです一体、って質問いっぱいしても、全然返事は返ってこない。				

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
15	「とにかく、本人が楽しく暮らすのが一番です」。でも、その方法がわからない。	(若年) 「本人が楽しく暮らすのが一番」と言うがその方法がわからない		
16	一番楽しくしてほしいんですけど、それするにはどうしたらいいのかがわからない。			
17	困ってる、例えば、家族とうまく行くにはどうしたらいいのかっていうのも知りたいんですけど、どこまで先生に聞いていいのかが、わからない感じがね。			
18	(誰かが支援について説明を) そうですね。先生はどんどん患者さんがおられるのであれだけ、認知症も見ますって謳ってるクリニックなら、そういうのも置いていただければすごくありがたい。			
19	チラシ、受け付けでこんながありますよ、とかって一度見ておいてくださいぐらい。	(若年) チラシ見ておいてくださいぐらい いってほしい	情報・居場所なく 絶望した	初期の支援不足による 家族の困難
20	うちは自力で調べて相談できたけど、そこまでたどり着かない人たくさんいると思う。	(若年) 自力で相談にたどりつけない人もいる		
21	クリニックでそういうところ(作業所など)があるって言ってもらえるわけでないし、自分で何とかしないと何もわからない。	(若年) クリニックでは支援・サービスの情報提供がない		
22	(社会資源などわからないので) 本当の初期とかMCIの時点で、本人がもう出たくないって言うてる時に行けるところがない。	(若年) 情報がなく、発症初期やMCIの時点で居場所がない	MCI難民となり精神的に 参る	
23	(早期発見・早期絶望) 家族はそうですよね。あまりに早期発見されても行く場所があって楽しく過ごせたらいいんですけど、本当に絶望な感じですね。家族は。	(若年) 早期発見しても行き場・過ごす場がなければ家族は早期絶望		
24	MCIの間が4、5年。長かったの。難民みたいな感じ。MCI難民みたいになってました。	(若年) MCIの期間が長く、「MCI難民」だった		
25	(MCIの頃) その時分が一番、なんか精神的にまいりました。交流するところがあればと思いました。	(若年) MCIの頃が最も精神的にまいった	MCI難民となり精神的に 参る	
26	(MCIの診断の伝え方) 言われるんです。説明も本人の前にされて。私も主人の姉が同じようだったので早くに気づいた。同じような症状が妹にあったので、だからその期間が結構長い。丸4年間ぐらい。	(若年) 早期に気がついた分、MCIの期間が長かった		
27	家内の着付け教室を全部私が辞めさせて。	(若年) 着付け教室をやっていた		
28	私の妹、52歳。半年ぐらい前に認知症の診断を受けました。3月で仕事を十二、三年ぐらい行ってたパートが続けられなくなって辞めてしまったんです。	(若年) 仕事が続けられなくなった	離職した(本人)	居場所・活動への 支援不足
29	二人暮らしだったから、私はその時シフト性で今日朝出るね、今日昼に帰るねと言って、何とか初期の頃は、一人で過ごさせてたんですけど。昼からほぼ午後からの時は朝ゆっくり一緒にいたりして。	(若年) 発症時、夫の不在時は何とか一人で過ごした	日中は家族不在で1人で 過ごす	
30	日中家にずっと独りでいたが、家族の仕事や子供たちが大学行ったりして、日中独りで過ごすことが多いので、あまり人としゃべれなくなってしまいました。	(若年) 日中独りで過ごし人と話さなくなりました	引きこもる	
31	外に出て、習い事でもしたらと言ってたが、意欲が落ちてきて「出かけるのも面倒くさいし、いいわ」っていうような風になってきました。	(若年) 意欲が落ち、出るのが面倒になる		
32	知らないところは不安があります。すごく。だからもう行動範囲が限られてくんです、最近。	(若年) 知らない場 不安があり行動範囲が 限られる		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
33	若い人がいはいたらね。いいみたいです。あんまりお年寄りばかりの中には行きたくない。	(若年) 高齢者中心の場は行きたくない		
34	認知症カフェも、どんなものかわからないので、「まだ状态的に認知症ってつくところは何で私が行かないいけないや」というのがすごく強いあって。	(若年) 「認知症」とつく場への参加は本人の抵抗が強い	認知症・高齢者メインの場への抵抗	
35	いろんなこと勧めると、そんなボケてないって怒ったりしてね。	(若年) 色々勧めると「ボケてない」と怒った		
36	日中本当にしゃべらなくなって、本当に困って、母と二人で色々なことを話してどうしようって言ってたけど。	(若年) 一人で過ごす本人への対応に母・姉は困った		
37	本人は「自分は大丈夫やから。別にどこも行かなくてもいい」とかいう風に言うので本当に悩んで。	(若年) 本人は困っていないため母・姉は本当に悩んだ	本人の引きこもりに苦悩する	
38	しばらく間空いて、本人がうまくもうしゃべれなくなった。それにびっくりしてね、コーディネーターさんに、ちょっと進まれましたかって言われたぐらい、それが気になって。	(若年) しばらく会わない間にうまくしゃべれなくなっていた		
39	やっぱりなかなかね、こちらからSOSっていうのは出しにくいんですよ。よっぽどのことがないと。	本人からSOSを出しにくい		
40	このSOSを出すのが、もう本当にもうにっちもさっちも行かなくなって、SOSをこっからかけるっていう段階までやっぱりみんな我慢するんですよ。それが良くないですね、結果的に。本人にとっても家族にとっても良くない。	SOSを出すまで、行き詰まるまで我慢している	限界までの我慢	居場所・活動への支援不足
41	パンフレットとかチラシを見る機会はあるんですよ。でもそれで、自分が実際その当事者の身になったとしても、やっぱりそこにね、その電話1本入れるっていうのがすごい勇気がいるんです。	チラシやパンフレットで(初期集中支援チームを)見る機会はあるが、電話をする勇気がいる		
42	僕も診断を受けた時、そういった繋がりを求めるから、何か冊子があって、オレンジカフェ、認知症カフェがね、いっぱい載ってるのがあって、どれか行こうとは思んですけど、でもやっぱり、月1回とか、要予約とか、プログラムが決まってるのかなってくと、やっぱりなかなか行こうとは思えないんです。なかなか。	診断を受けた時、つながりを求めたけれど、カフェに行きづらかった	勇気がいる行動	
43	でもその人が、何でも、例えば一言でもいいから「何かあったら電話してくださいね」というような一言でもあればね、その支援チームなり、コーディネーターの人が来てくれて、こういう一言があればやっぱりそれは、そこでハードルが少し軽くなるんですよ。	ハードルを下げる一言があればいい	ハードルがある	
44	1回上がってみるけど2回目がないとか。特に断固として上がらない人とかあるみたいで。だからそれも難しい問題ですよ。	カフェに行くにもハードルがある		
45	子供が今日は4時に行くねとか言ったら、それに間に合わない。段取りが違ふと、うまくできないようなところが出てきてる。	(若年) 段取りが変わると対応できなくなってきた		
46	(お料理作りには買い物、メニュー決め、色々段取り、それは?)買い物は行けてます。メニューは色々しづらくなってきて、すごいご飯の時もあるけど何とか。メニュー、献立にちょっと。	(若年) 買い物は行けるが献立ではしづらくなっている	若年性認知症の認知機能障害の進行	症状に戸惑い・試行錯誤する

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
47	本人が自分で言ったことが覚えられなくて忘れてしまうので、メモを取りたいけど全部取っていいか困ってる。それに対してアドバイスいただけたらなと思って、ちょっと来さしてもらったんですけど。	(若年) 本人がメモの取り方に困っている	若年性認知症の認知機能障害の進行	症状に戸惑い・試行錯誤する
48	孫(本人の娘)が予定表書いてます。看護師やから色々あれやとか。冷蔵庫に1ヶ月の予定書いてあるけど、なかなかそれをちゃんと見な、見てて、わかってその時はわかってても。	(若年) 本人の娘が作成した予定表を活用できない		
49	(スケッチブックに大きく今日の予定だけを) ああ、やっぱり。しとく言うてた。でも、できてない。そんな話もして、家族がいる時に大きくその日だけを書いたらどうなんて言うてるけど、できてないよね。	(若年) 本人が予定を確認する適切な方法がとられない	若年性認知症の認知機能障害の進行	
50	初期の頃で私がホワイトボードに何時頃帰りますとか、ジョギングしてきますとか書いてたけど、見なくなったし、内容が理解できない感じだった。それも私もしなくなったし。	(若年) 夫が予定を記しても見なくなり理解もできない感じだった	状態への戸惑い	
51	受入れるしかないけど、その現実と理想のギャップがあるから、当初は戸惑いました。	(若年) 認知症の理想と現実ギャップがあり戸惑った		
52	どういう状態で、何が原因で生きづらくなってるのか、いまひとつわからない。本人に聞くと、「いや、できてる。大丈夫」って言うんで。	(若年) 状態や生きづらさがわからない	初診時からの支援	
53	初期診断を受けた時に自分はそんなに困ることもなかった、半年間ずっと仕事をして、挙げ句の果てにちょっとメンタルやられてということになったことを考えると、やっぱり初期診断の直後にいろんな状況にある人をどう救うかと。	診断の直後の関わりが重要と思う		
54	もう本当に初診の時にね。もの忘れ外来ってそのためにあると思うんですよ。特別枠であるわけですから。だけど一般のクリニックに行った人は仕方がないけど。そこまで覚悟して行ってるんやから、そのぐらいの支援はあってほしいと思うんですね。	覚悟して受診しているのだから初診の時から支援があってもいい		
55	そうしたら、何でもいから例えばこの物忘れ外来には常にその1人初期支援チームの人が横でこう聞いてるとかいうような状況を作っていたらいいなあと。この人筆記係ですみたいな感じで。	診察時、初期支援チームの人が話を聞いてくれている状況を作って欲しい	診断時からの第三者の支援	
56	それでお医者さんが結構な力を持ってはって、その段階で。診断されたお医者さんにどうしても依存してしまっていることで、この人の人生がすごく変わってしまうところがあるので、やっぱりそこに第三者、家族でもなく、当事者でもなく、お医者さんでもない第三者が、ちょっと介入してほしいなという気がすごくするんですね。	診断した医師に依存してしまうので、第三者の介入が必要と思う		
57	で、そういうのが、お医者さんが言うてしまうのはどうなのかなと。そこでやっぱり、もう少しその若年性認知症の専門家の方が入って、会社とのやりとりをこうしてくれたりすると、もう少しやり方が違ったかなと。	専門家が間に入ってもらえたらもう少しやり方が違ったのかなと思う		
58	やっぱりその診断された時の何て言うかな、どこまで介入するかっての難しい問題だけれども、何らかの形で、医者だけじゃなくて第三者が入ってほしいなという気はしますよね。	診断の時に第三者が入って欲しい		
59	「これはちょっとほっといたらいかん案件だな」とかこういうふうに思ったら先生にも助言できるっていうことがあると思うんですね。だからそういう、何か仕組みを作っていたらいいなあとというふうに思います。	介入が必要な案件とと思ったら医師に助言をするという仕組みをつくってほしい		

No	発言	コード	サブカテゴリ	カテゴリ
60	だからできるだけそういう支援を、そういうようなメンタルを補う支援をしていただきたいなというふうに思うんですね。	メンタル面を支えてくれる支援をして欲しい		
61	だから向こうからさりげなく近づいてきてくれたら。手は出さないけど見てるよっていう感じ。	さりげなく見守りつながりつづけてくれる存在が欲しい		
62	初めて見る現象に対しイラッととして、止めたりした。それが何回か繰り返されると、あ、これは認知症のせいだから。いくら怒ったって、学習させて治るわけじゃない、受け入れるしかないなと思って。	(若年) イラッとする行動も繰り返しあると症状として受け入れられた	行動を受け入れる	
63	同じことされても見てみぬ振りしてやり過ぎしたり。また違う現象が起こって、何してんのって怒ったりして、また何回かして、これはもう受け入れるしかない。その繰り返しです。支障が出る度に。			
64	一緒に常にいるから、そんなことしなくても一緒。ほとんど策を講じないで、その時の状況で対処するしかなかった。そういうことです。	(若年) 状況に応じて対処するしかない		
65	10年目になると好きに何やってもいいかなっていう気に。初期よりは私も大人しくなったと思います。	(若年) 10年目に入り、本人の行動があまり気にならない		
66	娘が休みの時は、娘がご飯作ったり、結構手伝ってはいいます。私、ちょっと母が行ったりもして、あの、ちょっと手伝うとまだすすすすと行ける。	(若年) 本人の娘、姉・母が食事作りを手伝う	必要な手助けをする	家族によるサポート
67	病院に一緒に行って先生の話聞いたり、まとめたりできないので、ついていけないとだめなんですけど。	(若年) 情報をまとめられないため病院に同行する		
68	困ったら私に電話してね、毎回電話してね。私すぐ出れるしっていう風に言ってやると、ちょっと行ける。	(若年) 困った時は電話をかけるよう伝えたら電車に乗れる		
69	家内デイサービスに通ってますけど、靴の踵、ベロのところの名前書いて、万が一はぐれた、警察のお世話になった時に見てもらえれば名前だけはわかるようにはしています。	(若年) はぐれた時に備え、靴の踵などに名前を書いておく		
70	会社から止められたけど家内が認知症と言えなくて、まだ若いのに。親の面倒見なきゃいけないんでっていうことで、辞めて大阪行きますとか。	(若年) まだ若いので妻が認知症と言えなかった	認知症と知られられない思いの尊重	
71	私は近所に言ってなかったんです、家内のことは。家内が自分の病気を近所の人に知られるのが嫌だって、前から言ってましたから。言わなかった。	(若年) 近所の人に認知症と知られたくない本人の思いを尊重した		
72	埼玉ではそんなこと(靴に名前を書くなど)しなかったけど、越してきてからは近所に知人もいないし、名前知られたって抵抗ない。			
73	認知症カフェ行ったら、どなたが来てもいいから近所の人がいるかもって不安があった。レストランの一角を借りるスタイルだったんで。コーヒー渡して。	(若年) 認知症カフェに近所の人がいるかもと不安だった		
74	でも行った方がいいと思って、二人でまず遠くから眺める作戦で入って、知ってる人いなさそうだってじゃあ入ってみようと、カフェ入ったんです。	(若年) 認知症カフェに近所の人がいなかった確認して入った		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
75	(状態をキープしてやりたい) そうなんです。すごく思いますね、今は。	(若年) 状態を保つもらいたい	状態を保つための対応	家族によるサポート
76	最初はクリニックで、MC I で何か認トレが開催されてるので、その時分本当に何もなくて、歩きに行ったら言うても行かない。全部できなくて、やる気がなくなったので、少しでもと思って転院した。	(若年) やる気がなくなったので少しでも良くなるよう転院した		
77	二人で散歩したり。歩くことはできるので。しゃべることもできますし。	(若年) 歩くこともしゃべることもできる	健康的側面への着眼	
78	家内はすやすや寝て、寝てる姿は若い頃のまともな時と同じで、一番好きな時間で、大好きな笑顔、顔、寝顔も見れ、時々ほっぺたつねって意地悪して、「ワニがきてるぞ」で言ったら「ワニ怖い」って言って返事がきて、また寝たりして。そこが一番幸せで、次朝起きたらまた戦争始まる、起きたくないと思いつつ、日々暮らしてます。	(若年) 寝てる姿は若い頃の姿と同じで、一番好きな時間で幸せ		
79	笑顔を追求する。確かにそのとおりで、朝起きたら戦争が始まるんです。ところどころ笑顔見えるけど、怒ってるとか文句ばっか言ってる世界が多くて。	(若年) 怒る・文句ばかり言うので笑顔を追求する		
80	やがて車椅子乗ったりして、歩けなくなると思うので、今のうちにどンドン日中は散歩したり体を動かすようにはしてます。今、要介護3です。	(若年) 夫と一緒に散歩し、将来的な歩行状態の低下に備える	健康的側面を活かす	
81	私もやられっぱなしじゃなくて、昼間でもほっぺたつねって、美味しそうだから食べるぞとか言って、嫌だって返ってきて。そういう瞬間を自分で作らないと。そういう癒しを求めながらやっていかないと本当続かないなと思ってます。	(若年) ユーモアを交え、笑顔・癒しを求めながらでない介護は続かない		
82	(電車に乗れる) なんとか。慣れた所だけですけど。最初は全然ついていかないと。	(若年) 慣れたところだけ電車に乗れる	機能の維持	
83	今はやっと最近その宇治の病院に電車で1人で、認トレには通えるようになった。	(若年) 電車で認トレに通えるようになった		
84	本人の家族(夫・子ども)が認知症を勉強して、本人の気持ちになって、本人が穏やかに過ごしていけるようにできたらいいが、なかなかそれができない状態。	(若年) 本人の夫らに本人の気持ちを考えてもらいたい	本人の配偶者・子どもが人任せ	他家族員の対応・行動が気になり
85	(予定表作成について) それも誰かがするやろみたいな感じになってるんだと思います。たぶん。	(若年) 本人の家族が人任せのような感じ		
86	私も母も別にそんな家族の中に入っていきたくないです。ねえ、みんなやっぱり……。	(若年) 本人の家族に関与したくない		
87	それぞれの家族がね。その中で思いやって支えあってほしいけど、それがうまくいけてないので出ざるをえない状況が今続いている。	(若年) 本人の家族で支えてほしいが母・姉が関与せざるを得ない		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
88	(受診時は)私と妹の旦那が一緒に行ってます。けど、例えば薬が飲めてるのか聞くこともないし、旦那の方がね。その無関心というか。見てないと思います、たぶん。	(若年) 本人の夫は受診につき添うが無関心な様子	本人の配偶者の無関心	他家族員の対応・行動が気がかり
89	(患者の夫は)診察行っても、どうですかって聞かれても、うーん、変わりありませんとか本当に何も。ほとんど言わない。私が全部メモして、先生こんなですっていう感じで持っていくので、ちょっとよく私もわかりません。私もいまだにちょっと理解が。	(若年) 診察で何もいわない患者の夫を理解できない		
90	(患者のご主人は)割とまあまあ気にして色々調べたりとかはしてるけど、もともとが仲があまりよくなかったから、会話がないうです。本人がそういう状態でますます受け付けなくなって、本人の方が。	(若年) 本人-夫に会話がない		
91	本人、旦那は、何もほぼ困ってない。家帰ったらご飯できてる(まだできる)。毎日同じ決まった時間に6時だったら6時にご飯作ってすることは、問題ないんです。	(若年) 食事の準備などできるため本人の夫は困っていない	本人の子どもへの対応・受け入れが気になる	
92	(患者の)息子は割と優しいです。あんまり気がつかないですけど優しい。声かけしても妹が、娘が、シャットアウトする。	(若年) 本人に対するその息子・娘の対応		
93	孫達がまだ受け入れが。わかってても受け入れがたいのかな。そういう面が見られます。私、そういう話を孫達にすると、すごく嫌がるんですね。拒否する。	(若年) 本人に対するその息子・娘の受け入れが気になる		
94	女の子は優しい気持ちもある。性格は結構きついけど、日頃は結構お母さんに偉そうに言うて、私からしたら可哀そうっていう感じですけど、旅行に連れて行ってやったりとか、色んな面はある。	(若年) 本人の娘の態度が気になるが旅行に連れていくこともある	子どもなりに気遣っている	
95	大学生の子が、バイトのお金入ったし奢ったげって、お母さんと私を食事に連れてってくれたり、優しいところある。でも、受け入れがたいかな。そんなもんがあるのかなと思いますね。	(若年) 本人の息子がバイト代で食事に連れていくこともある		
96	若年性認知症のコーディネーターさんに相談でき、地域の支援センターさんを紹介してもらったり若年性認知症の交流会に参加させてもらえたり。	(若年) 若年性認知症のコーディネーターに相談でき社会資源とつながれた	相談支援とつながる	
97	いつか行こうと思ってたところ、新聞広告で認知症カフェはじめますっていうチラシが入って、じゃあ、ちょっと顔出してみようかなって。	(若年) 新聞広告で認知症カフェを知った		
98	通う内に地域包括支援センターのスタッフさんがいて、介護保険申請とか自立支援医療申請とか聞かれて、何もしてないですって言ったら。	(若年) 認知症カフェの利用を通し、介護保険・自立支援医療の相談ができた		
99	認知症カフェで手続きのこと聞かれて、言われるままに書いておまかせしたら、介護保険、自立支援医療の許可出たとかしてくれた。とても助かった思い出がある。やっとまともな認知症の活動に繋がったっていう思い。でしたね。	(若年) 認知症カフェで介護保険・自立支援医療の手続きが進み、まともな認知症の活動に繋がった		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー	
100	支援センターから、就労支援Bの作業所に見学に行き、手続きまで進むことができ母と二人で少し安心した。	(若年) 本人が就労支援を受ける方向となり母・姉は安心した	本人に合った支援が見つかる	相談支援とつながり適切な支援が得られた	
101	送迎があるところを紹介してもらって、本人も送迎があるのがすごくいいみたい。自分で行くにはちょっと難しかったと思います。たぶん。	(若年) 送迎があるのが本人にとってすごくいい			
102	(B型事業所) すごく感じのいい場所で、楽しくやりますよっていうのが前面に見えるような感じのところですよ。仕事一生懸命じゃなくて、楽しくやっていますよ。USJ行ったりもしはるそうです。	(若年) 感じのいい楽しく取り組めそうな作業所が見つかる			
103	最初から介護保険ですね。診断を受けた時から要介護1で。	(若年) 診断後介護保険を利用した	介護保険の活用		
104	今は大阪来て、週3回デイサービスを利用しています。	(若年) 週3でデイサービスを利用			
105	週3回デイサービスを利用して、週3は私の自由に使える時間増えたんで、朝、近くでモーニングを楽しんだり、有料の温泉入ってランチ食べて帰って。4時頃迎えに行くとか、そんな感じです。	(若年) デイサービスの利用で介護する夫の時間が持てた			
106	お袋はボケは始まっているけど酷くはない。4時、3時にお袋の晩御飯の支度して、家内のデイサービス行ってる時間、6、7時間あるけど正味5時間ぐらいしか自由時間ない。ゆっくりしたりバタバタしたりしてます。	(若年) デイサービス利用時の自由時間は5時間程度	支援への心強さ		
107	一旦SOSを出すと、ちゃんと初期支援チームの人も来てくれるし、若年性コーディネーターの人もちゃんと動いてくれるし本当に助かるんです。	一旦SOSを出すと支援してくれる			
108	先生が変わったんで、すごい私やっぱり、不安だったんですよ。その時に初期支援チームの人が一緒に診断にもついていってくれたんです。初期支援チームが。やっぱりね、そういうことってすごく心強いですよ。	主治医が変わり不安だったが、診察の時に初期支援チームの人が一緒に来てくれて心強かった			
109	ケースバイケースやと思うんですね。その当事者の気持ちがどこにあるのか。	当事者の気持ちがどこにあるのかが大事	本人の気持ちの所在		適切な介入のタイミング
110	だからうちの場合は、そういう気持ちが一切なかったです。だからここに来るのも、私が強引に連れてきて。ピアサポートを望んだのも私だけで、本人は全く望まなかった。っていうところがあるので。	家族はピアサポートを望んだが、本人はその気持ちがなかった	本人と家族の気持ちの乖離		
111	とにかく初期の頃に、集える場所がないっていうのがすごく困りました。	(若年) 発症初期に集える場がなく困った	発症初期に集いたかった		当事者・家族が集う場の重要性
112	(認知症カフェは) 書いてあるのでどうかなと思うけど、どこに行っているか、もう参加しているのか、直接行っていいのかもわからないし。	(若年) 認知症カフェは知っていても参加の仕方がわからない			
113	(MCIでなく) 認知症ってなれたら、こういう繋がりもできてすごく助かったし、家族も誰かを頼りにしているやっという気持ちが起きたけど。	(若年) 繋がることで助けられ、家族も頼れる気持ちができた			
114	診断されていない人が集えるような場所があれば、そこでお友達もできたら、あ、今日はほな行こうかっていうのがね。	(若年) 診断されていない人が集える場所が必要	若年性の人が集える場が増えてほしい		
115	若年性の洛南病院でのサークルがあってもいっぱい、いつ空かかって言われて、そういう場所ももっと増えてくると、進行をゆっくりできたり、つながっていくんじゃないか。	(若年) 若年性認知症当事者のサークルが増えるといい			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
116	本人も出たいなどうしよう、1人で出れへんて時にそういう場があって、背中を押してもらえると、1人で試してみようかなって気が起こるような気がして。	(若年) 1人で試してみようと思える場所が必要	本人が1人で通える場所が必要	当事者・家族が集う場の重要性
117	それまでは家にこもってしまって、私ももう。色々なとこ誘ったり。けど、そういうなとこ1人で行くのが本人はもうできない。幾ら言っても。	(若年) 色々誘ったが本人は1人でどこにも行けなかった		
118	家族が若年性だと、特に家の者は働いてるので、ついては行けないので。	(若年) 家人は仕事があり活動に同行できない		
119	そういう場、交流会とかあって、行きやすい場所があれば、すごくいいなと思って。	(若年) 通いやすい場所にサークルや交流会が必要		
120	もう妻といたくない。離れたって気持ちはそのとおりで。若年性の会に欠かさず来て、離れた、思い切り言いたいこと言える場は貴重で、そういうことしかないんです。デイサービス利用するまでは。	(若年) 妻と離れて言いたいことが言える場、若年性の会は貴重だ	若年性の会は貴重だ	
121	これからも若年の家族の会、楽しみにして、よりどころにしています、よろしくお願いします。	(若年) 若年の家族の会が楽しみで拠り所		
122	ある時一人で出て帰ってこれなくなったから、もう一人にさせられないと思って、定年2年前に介護離職して、仕事完全に辞めた。	(若年) 一人で帰宅できず一人にさせられぬため夫は離職した	配偶者が介護離職する	主介護となった配偶者の状況
123	しばらくは貯金崩せばやっていけるって思って、きっぱり離職して、つきっきりにならざるをえないなって。	(若年) つきっきりにならざるを得ないと思いい夫は離職した		
124	選択肢がない。離職するしかない。	(若年) 離職しか夫の選択肢はなかった		
125	事実、大阪の親もおかしくなってきたから、埼玉に住んでけど一昨年の11月大阪に引っ越してきたという状況です。	(若年) 介護者の夫自身の親の世話もある		
126	前は家内だけだったけど、今はお袋も一緒に住んで、二人を見ないといけない。お袋もデイサービス利用してまだ元気で、うるさくてしょうがない。家内は何も言わない。感じないのか知らないけど。		配偶者は実の親の介護もある	
127	兄弟いたけどとっくに亡くなったんで、親の面倒を私一人だし、家内自分で見るしかないんで、選択肢が一つしか、そう覚悟してやってくしかない状態、兄弟間の問題ってのはない。一人でやっていく。	(若年) 兄弟がいないため、自分が一人で面倒をみる覚悟がある	配偶者一人で介護する覚悟	
128	あつという間に1日過ぎます。楽しい時間はゆとりができたというよりそうしないと自分がもたない。	(若年) 自分の時間がないと介護する自分が持たない	介護する配偶者の高齢化	
129	私も年とってきました。10年ぐらい経ってますから。そういう風になってきてるっていうところですね。	(若年) 10年経ち介護する自分も年をとった		
130	私はひとりぼっちなんで。私の場合は。そういう支援する人もいないし、薬をもらいに行くだけの関係だけなんです。	病院とは薬をもらいに行くだけの関係である	薬をもらうだけの関係	主治医との関係性
131	もう少しサポートが、欲しいかなというのはちょっと自分の気持ちです。薬だけだとね、深くかかわり合いがないですね。例えば私の主治医だと30分ですよ、月1回で。それで、どうですか？って言われても、どうします？って話です。	診察も30分月1回だけで、もう少しサポートが欲しい	サポートの物足りなさ	

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
132	30分だからもう、特に私の場合は本当に孤立無援なので、主治医はいはりますよ、いはりますけど。あまり深いコミュニケーションはあまりやれてないですね。	主治医とは深いコミュニケーションはあまりとれていない		主治医との関係性
133	30分やったらええ方ですよ。5分かからんぐらいですよ。いまだに電話受診で。「いやコロナだから」ってね、ずっと。	電話受診だった	浅いコミュニケーション	
134	電話でも、先生あっさりされてる方なんで、「お変わりないですか？よく寝てますか？お変わりないですね。じゃまた来月」いやまあ、それはそれでいいのかなと思うんですけどね。	診察はあっさりしている		
135	先日、私のところで、診察に行ったんですけど。その時は弟と一緒にいったんですね。初めて行きました2人で。でね、やっぱり第三者が入ると、やっぱり縮まりますよね。縮まります。	弟と一緒にいった時は縮まった	いつもと違う対応	
136	お医者さんに言うてね。結局ね、薬とかね、持ってくる薬は出してくれはるねん。せやけどそれで治るのかなっていう心配は、ほんまに自分の中にあんねん。ほんまにその薬で治るのかなっていう。	処方された薬は治るのかという心配がある	処方薬への不安	
137	いろんな先生いはるなと思ひながら。だからそこに先生を選べないところもあるので、それはセカンドオピニオン的にね、じゃ次行けばいいやんとなるんですけど。先生選べないとかなくなってくると不公平が出てくるので。やっぱり言わはるように、第三者的なね、そういった方がおられると、本人としてはありがたいかな。家族としてもね。	主治医だけでなく第三者が必要	第三者の存在	身近につながる人の存在
138	病院にそういう方がおられた方がいいのか、違うところからね、来ていただく方がいいのか。病院やられると多分ね、なかなか…あのグルになって…じゃないけど。なかなかうまくいかないかな。	病院所属ではない、他のところからの支援者		
139	わからないこと。誰に相談したのか、相談相手って言うんかな。誰に相談したらいいか自分でもわからないこと。よくわからないことは、自分で考えるしかないなって思うんだけど。要は、相談相手が助けてくれるか。	誰に相談したらいいかわからない	身近な相談者の存在	
140	やっぱり人と人が繋がるのがね。大事だと思いますんで。それに対して。	人と人がつながることが大事		
141	そこにどう繋げるか。繋げるのも誰に繋ぐのかとか。なんでそれができるのかとかということがやっぱりある。	人と人をどうつなげるのか、できるようにするのか	人と人とのつながり	
142	本人の、人としての繋がりじゃないかなと思うんですよ。要はね。	人としてのつながり		
143	じゃ診断受けられた方が、そういった方（リンクワーカー）につながろうと思ったらどうすべき？	リンクワーカーにつながろうと思ったらどうすべきか	専門職の周知	
144	でも、いまだにその初期集中支援チームって何っていう当事者の方たちとか多いですよ。	初期集中支援チームを知らない当事者も多い		

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
145	強制的に介入することはできないんだろうけれども、やはりそこに第三者、若年性コーディネーターの人がいたら、うちの場合も後から思うとね。結局職場を辞めることになったんですけど、休職して。	若年性コーディネーターの人がいたら違う対応もあったのではないかなと思う	若年性コーディネーターの介入	就労支援の対応
146	若年性のコーディネーターの方が入って、会社とお話をちゃんとされた。だから割とスムーズにそういう流れになったというところがあるんで。	若年性のコーディネーターの方が入ると会社とスムーズに話が進められる		
147	最初は〇〇さん（若年性認知症支援コーディネーター）連れられて行ったんですよ。カフェほうおうに。それで一応コーディネートしてくれて。今度の見学もいきますし。一緒に見学に（就労の見学）。	最初は若年性認知症支援コーディネーターさんに連れられたことがきっかけ		
148	まあ職場には診断名もすぐに伝えたし、お医者さんの方からも職場と話をしてもらったけれども、そのお医者さんの意見としたら、もう60も過ぎて本来定年なんだからもういいじゃないですか、気楽に過ごしたらどうですか、というのはお医者さんの意見だったんですよ。	主治医の意見で話が進む	主治医の対応	
149	そうするとやっぱり、会社がそのお医者さんがそう言ってるんだっけっていう、そういう気持ちになりますよね、やっぱり。	会社も医師の意見をとる	会社の対応	
150	今の段階だったら必要としないっていう気持ちもありますよ。今の段階やたらってね。下手にやっぱり介入されたら、そのせつかく構築してきたものがぐちゃぐちゃになるん違うかっていう、やっぱりこう不安もありますよね。	必要ないと思う段階もあるので、介入のタイミングを間違えると不安になる	必要な時に支援がある	求める支援
151	ただその選択肢があるっていうのはいいと思うんですよ。	支援の選択肢があるのはいい		
152	どの段階でそういうところに巡り合えるかっていうことも大事で、ある程度受容できて、カフェほうおうみたいなのがあって、じゃあ行ってみようかなと思えばいいんですけど、診断受けてすぐカフェほうおうがあるよ、ちょっと行こうかって言われても。	どの段階でつながりにあえるのが課題		
153	ここにいつでも、ここに階段があって、ここ上がってたら〇〇さんがいるよっていう、その安心感っていうのはやっぱりすごく大事だと思うんです。	いつでも相談できる安心感		
154	だから1年経ってからやっとその階段上がった人っていうのはかなりたくさんいてはと思う。なんかやっぱりその階段をやっぱりそこら中に作るべき。			

No	発言	コード	サブカテゴリー	カテゴリー
155	要は、自分だけじゃなくて、人のためにできるとか、誰かが多分やるとか、人間変わっていくんで。自分もね、何かせな。1個でもいいから、1個できれば、それでええなって言う、それで満足しようかなって言う、そういう立場やな。	1つでもできるように なればそれでいいか と思う	できる方法の助言	求める支援
156	自分でわからなかったも、これ、こうしたらできるよって言うのできるから。それでええと思うねん。	こうしたらできるよと 助言があればいい		
157	誰が助けてくれるってわかんないじゃん。だから自分で考えてね。この人ならひょっとして助けてくれるかなーじゃあやっぱり自分がこれやってみる。この人を教えてみようって言ったたら、そしたらできるようになるなって言ったたら、その人自信がついてくるから。人間自信がついたら全然違うんで。そういうところから一步一步、進みまなしゃあないっていう。	できるようになれば 自信が付く		
158	最初から全部自分でできないんでね。1個ずつ進めなしゃあないから。	1個ずつ進めればいい	認知症カフェのあり方	
159	良かれと思って認知症カフェっていうものを用意しようと、作ろうとしすぎるんでしょかね。そこに認知症の人を置いてみてってなってしまうと、我々からすると、何か違うよ、そこじゃないよなってなっちゃうんですけど。	認知症カフェを作ろう とし過ぎている		
160	そこですごく、あつてよかったとか、楽しまれてる方も多分たくさんおられると思うので、それは間違いではないと思うんですけど、そんなんもありつつ、もうちょっと違うのもあつてもいいかなと。	カフェも必要だが、 違うものも必要	サービスの拡充	
161	カフェほうおうみみたいなところが、京都市内にももっとあつたらね、いいかなと思うんですけど。梶村さんは1人しかいーひんし、なかなか、Bさんとかよう宇治まで行ってはるなと思うんですよ。それをもっと市内でね。	ほうおうみみたいなところ が京都市内に欲しい	独居者への支援	
162	高齢者の一人暮らしって言うところはどうしてもスポットが当たってしまってるけれども、この間の若年性の集いの時にも、ひとり暮らしの若年性の方っていうのが結構いらしたんで、その人たちはものすごく一歩が大変で、兄弟姉妹が無理やり連れ出してきましたっていう形になってるんで、そういう人たちのサポートを、高齢者のひとり暮らしのサポートと同じように考えていかなあかんね。	独居の若年性認知症の 人のサポートを充実さ せる必要がある		

2 山城北圏域(宇治市)

以下、色掛け部分は家族の発言を示す。

- 1) 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	私は11年前にアルツハイマー型の認知症として診断されました。診断を受けたときは、もうこれで終わりだ、ボケ老人になるんだなあと思ったんですけど、なかなかならないで今日に至ってます。	認知症の診断を受けたとき人生が終わった気がした	認知症のネガティブなイメージ
2	(ネガティブな)イメージを持ったまま自分が認知症という診断を受けたときは、人生終わりか、という風に凹むというか落ち込みというか、あ、もう終わったなという風な気がした。	認知症の診断を受けたとき人生が終わった気がした	
3	認知症って何だろうって思った時に、私が30年くらい昔、企業のボランティアとして施設に行った時には、今私がお仲間として接してる人たちは全然違うレベルの人でした。問いかけ、おしゃべりしても何も返ってこない。看護師さんとかが一生懸命お世話をされてる。そういう人達だったんです。	疎通が取れずお世話されている認知症イメージ	
4	私自身が企業ボランティアとして接した人たちは、ほぼ意思疎通ができないような人たちでしたので、その時点での自分の意識の中ではそれがすべてだった。本当に完全に向こう側とこっち側の人っていう風な、グラデーションなしの、2分割みたいな感じのイメージがあった。なので、もうそこから自分がスパッとあっち側になるのかというような、不安っていうのが強くあった。	認知症は向こう側というイメージ	
5	認知症ってどっから認知症なんかなっているのがあって。境目って医学的にはきちんとあるんでしょうけども、我々当事者としては、境目ってなんなんだろうなあということを考えながら、今過ごしているような時があります。	認知症の境目ってなんだろう	認知症を特別視しない
6	どっからがどう区切っていったってどうなんかというのは色々考えてるんですけど、逆に言うと、そんなんでしょうでもいいんちゃう、と本人は。そんなあんまり気にせんと楽しくしてたらいいやんぐらいの方がいいのかなという風に思っている。	認知症の区切りを気にしない方がいいのかな	
7	他の人たち、自分たち、そういうのを比べることなく、接してる。近所の人も、定年退職者しはったんやな、家にはるなというぐらいい感じでたぶん見ておられるようなので、どっからの線引きでカテゴリーが変わって、というのは、私自身はわからない。自分の周りの人も、同じ仲間の人も、一緒ちゃう？ そんな感じなんでね。イメージとしてはそういうところですよ。	認知症を特別視しない	
8	先輩の姿を見ていて、正直、認知症？っていう感じです。自分が診断を受けて、先輩たちと出会って、認知症？みたいな感じで、見てました。自分が以前に接した認知症の人とは違うなど。	先輩の姿を見て認知症のイメージが変わった	先達の姿を見て認知症のイメージが変わった
9	自分がそういう診断を受けた時には、正直、人生これで終わりかって感じだったんですが、ここへ入ってみると、先輩たちも、どこがあかんの、みたいな。普通ちゃうん、みたいな。そんな感じで今も過ごせているので、自分の何かが変わって、周囲の目が変わったというのは、あまり自分は感じずに、そのままのうのうと生活してるような感じです。だから、自分が認知症というのをあまり意識せず、周りの仲間たちも違うでしょ？みたいな感じを思いながら生活できているので、幸せと言えば幸せなんじゃないかな。	先輩や仲間の姿を見て認知症のイメージが変わった	
10	ノックノックれもんで相談を受ける本人を見たときに、なんか認知症の人でも、こういう風に元気に頑張ってるしやる方を見たときの、本当に私にとっての光が差した、何とかかなと思った瞬間だったので、それから考え方が後ろ向きというよりは、前向きになれた。	相談窓口で先達を見たとき前向きになれた	

No.	発言	コード	カテゴリー
11	当事者の写真展の時も、当事者仲間と一緒に参加させていただいて、色々な話もできましたし、色々な方もスタッフとして参加されていたので、世界が広がったとともに、自分の中で、まあこっちの世界も問題ないよなど。全然あっちこっちじゃない、一緒の世界だなんていうのが確信できた。	当事者仲間と活動に参加して一緒の世界だと確信できた	場との出会いから認知症の仲間に入れた
12	1人でいた時は自分はこれからどういう風に変化していくのかなという不安が大きかったんですが、テニスをやったり、みんなと楽しくやれたっていうか。俺は恵まれてるんだなんていう言い方を、よくうちの奥さんに言ってます。この病気になりなくなかったなっていう思いはしないで今日まで来れたのは、自分の力じゃなくて周りの人のおかげだったんじゃないかなというふうに思っています。	この病気になりたくなかったという思いをせずに来れたのは周りの人のおかげ	
13	私自身は、クリニックで診療を受けて、カフェに上がってみて、色々と作業されてる方がいて、自分のペースで色々なことをやってるなっていうのがあったんで、自分が描いていた世界とは大分違うなっていうのがあったんで、入りこめたっていう。なので、遊びにきて、ちょっと見に来て、あ、なんかやってんな、ちょっと自分も参加してみようかなって思える場所になればいいのかなと思ってる。そんなんでまたしゃべってお友達になって、また来るわと言ってもらえれば、それはそれでいいのかな。	活動に参加するところから入りこめた	
14	カフェほうおうで色々と作業している時は、新たにクリニックから上がってきて、何したはるんかなって見てる人がおられる。私はこうやって来られた方に、ちょっと何かやってみませんか？とかいう声かけをしています。ふーん、みたくする人には声かけないですけど、ふーん、ほーんと、興味を示しておられるような方には、お声かけします。そういうところで踏み出す人、いらんわってなる人によって、この人がここへ入って楽しめる場所って思えるか、いらんっていうのか、分かれてくるとは思いますが、踏み出せたらその人が楽しめることができるのかなと思います。	新たにカフェに来られる方に声をかけている	
15	次に来られる方には自分も同じように、苦しんでる方に接していかなくや駄目だよなという風にできる。自分ができるのはそういうことだよなという風に思ったので。	次に来られる方に接するのが自分ができること	
16	今後も今まで同様、当事者として出来ることをしていきたい。	当事者としてできることをしたい	認知症をオープンにした社会参加
17	正直なことは言いますが、都合の悪いことを隠すっていうことをしないで、今日まで来たと思ってます。	隠さずにやってきた	
18	可能な限り、どこかへ出るっていう時には、出る。露出する。そういう気でいました。	当事者として社会参加するようにした	
19	日々の生活で接する多くの人については、認知症について理解してくださっていると思いますが、一般的には、認知症は特別な病気の人と見ている人がまだまだ多いように思います。	周りの人は理解してくれているが一般的には特別な病気と思われている	
20	自分の病気を知らない人の中に入るのは不安なようです。以前の友人とはつながっていない。	自分の病気を知らない人の中に入るのは不安	認知症の人の個性・多様性
21	何で今こんなところでこんなこと言ってんだということになるかもしれませんが、それはその人その人の個性なんかも、この病気に関係しては色々なことがあるんだろうなあと思っています。	認知症を持っていても人によって個性がある	
22	やっぱり人それぞれだと思います。あるストーリーがあって、こういう風にやって進めればいよっていうことを考えるとき、普通の人やったらそれを文字にして伝える形になると思うんですけど、そういう人たちがばかりじゃなくて、色んなところに突然入ってきて、それもいいなって飛びついていくっていうのもあるんじゃないかなと思ってる。	認知症の人それぞれ	

No.	発言	コード	カテゴリー
23	普段の生活では、認知症総合センターやれもんの仲間のみなさんが殆どなので、本人らしさを理解してもらっていると思います。私がしたいことを聞き取り「作業工房ほうおう」というかたちで実現してもらいました。現在も色々声掛けはいただいています。	自分らしさを理解されている	
24	あんまり気を張らずに、自然体でいられたらなという風に思ってます。	自然体でいられたら	
25	認知症であることで困った覚えはないんですね。	認知症であることで困った覚えはない	
26	偉そうに言われたくないし、相手にも言いたくない。自分を見てくれっていうことは言える。大変でしょうねって言われると、大丈夫ですよとは言わないで、あえて大変だって言うっておけばいいだろうと思うんですけど。一方的にこうあるべきだって言うのはよくないというのが、私の結論ですね。	押しつけられたくないし押しつけたくない	
27	色々悩んでたり考えてる時に、横から良いことしてるみたいに色々言ってくるのは、嬉しくないっていうか。その辺難しいんだろうな。誰かに聞きたかったら聞けばいいんだけど、そうじゃなくて非常に悩んでるような時には、誰かから何か言ってもらいたいなんてのは思わないんじゃないかなと、僕は思うんだよね。だから、ほっとらかしにしておいてもらうのが、へそ曲がりの私にとっては一番いいかなと思っております。	悩んでいる時に色々言ってくるのは嬉しくない	
28	普段の生活のときに、自分が認知症やっていうイメージは全くないんですよ。自分がもう認知症でどうしようもないから、誰かに頼んででもなんとかしてもらわなあかんという、そういう切羽詰まったところまで、みなさんまだいっておられないなって思ってる次第です。	自分が認知症でどうしようもないというイメージはない	
29	その中では、要は融通をしたら、どうにかして生きながらえるっていうか、自分の都合いい空間ができて、生きやすいような形を、コミュニケーションにしても、物の配置にしても、つくり上げることができてるんで、全然ストレスは溜まってないんちゃうかなと思ってるのが今の私です。	融通をしたら自分が生きやすい環境ができる	
30	特に就労の場である認知症総合センターも含め、最近ではできにくくなっていることは周りの人にサポートしてもらい、今の私ができることを配慮していただきながら、日々活動をさせてもらっています。	できにくいことは支えられできることをして活動	できることへの見守り できないことへの支え
31	みなさんの力を借りて、特別何かを成し遂げないかんの力が欲しいっていう時は別として、個々になった場合は、あまり他の方に迷惑をかけずに、ある程度自分ができてるものは自分がして、それでもちょっと苦しくなった時にはお願いして来てもらったり、仕事をしてもらったりして、そういう関係を持っている。	自分ができてることは自分でして必要なときは力を借りる	
32	本人・家族・支援者教室で、認知症はこういうもので、脳が萎縮……脳細胞が減ってるっていうことなんですけど、そういうこともあるんですけど、人さまに迷惑はかけないように、ちゃんとできるようにってことは、日ごろからなるべく頑張ろうとはしてる。おかげさまでまだ今の所、劇的な進行はしてないなっていう感じなので、このまま……まあ、家の中では迷惑かけるかもしれないけど、そこは大目に見ていただけたら、まあ穏やかにしていけるといいと感じているのが今日の思いです。	人に迷惑をかけないようになるべく頑張ろうとしている	
33	その場にいる時にいつも感じてるんですけども、決して否定されることはないっていうか、間違ったりやり方すると怒られますけれども、それ以外のことは干渉をされないんです。言っていることを聞いていただくこと、そういうところがすごい安心する場でありまして、それはできればいいかなという風に思っています。	否定されないのが安心につながる	
34	私自身は家族が居るので、特に困りごとはなく、ある程度評価出来ますが、家族の居ない人(独居)や、生活に不便を感じている方々への支援が必要だと思います。	家族のいない人への支援が必要	

No.	発言	コード	カテゴリー
35	日々の生活の不便への支援。特に、独居の方への見守り・同行支援は急がれます。公共交通機関へのアクセス等々。れもねいだーの活用：支援が必要な人へ必要なサポートを。加盟企業・団体との連携。	独居の方への見守り 同行支援が急がれる	
36	診断当初は先の人生に不安しかなかったが、早期につながることができ、就労の機会も得ることができました。洛南病院でのテニス教室や絵画教室、色々なプログラムやオレンジドア、お茶摘みや野菜の収穫などにも参加し、むしろ診断前の生活より幅が広がり、活動的な日々を過ごす事ができています。	診断前より幅が広がり 活動的に過ごしている	
37	外に出ると少し気が張って、人様に迷惑かけないようにっていうことで、何か用事や約束があったら、スマホに記録させて、それを忘れないようにしてるんですよ。家の中だとそういうことはしないんで、未だに何かちょこまか細かいことで忘れてることが多々ある状態です。	家の中と外では 物忘れも違う	診断前と同様、活動的
38	活動的に過ごしてきましたが、今後はどうなるだろうという不安があります。	活動的に過ごしてきたが 今後はどうなるかと不安	

2) 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	妻から勧められて、自分のしんどさも気になっていたこともあり、拒絶することなく、クリニックに行くことにしました。	しんどさが気になり受診	診断までの苦悩
2	最初の頃、診断が見つからない時期がありました。自分の中で記憶力が落ち、出勤するのがしんどいという感覚はあったんですけども。診察を受けても、そういう所見が出てこない。こっち？あっち？みたいな感じで、自分が定まらない状態。自分はどっちなんだろう、どういう状況なんだというのが、しんどい時期でした。	診断が見つからない時期のしんどさ	
3	認知症状を早く察知する体制づくりが必要だと思います。職場の意識が大切。	認知症状を早く察知する職場の体制づくりが必要	
4	初診から診断がつくまでに2年4ヶ月。不安でしんどくて、夫との向き合いが。私が支援を受けることができ、少しずつ落ち着きました。	家族が支援を受けることができ落ち着いた	診断後に支援につながるまでの苦悩
5	日常生活に支障はなかったのですが、困りごとは無かったと思いますが、認知症のことは何も知らなかったもので、この先どうなるのか不安でしたし、恐ろしかったのを覚えています。	認知症を理解していなかったことによる将来への不安・恐怖	
6	ぼろぼろとの忘れとかするんですけど、それは昔からそうだったんで。本当に病気なのか、ただのもの忘れなのか。若年性の認知症といわゆる認知症がどう違うのかも全然理解しなかったもんですから。病気を病気として見てなかったという。それが不利だということかなと。	認知症を理解していなかったことによる病気の受け入れにくさ	
7	アイメッセージに「私は症状が軽いうちに診断を受け」っていうのはその通りだったんですけども。ただその時に認知症についての冊子とかを受け取ってはいたんですけど、全く私は見てないんですよ。用がないというか、全然自分としてはまだ普通なんだという風に甘く見てました。それが診断受けた半年後に、ずっと仕事を続けてたんですけども、だんだんミスが多くなって、メンタル的におかしくなって、入院するハメになってしまった。	認知症という病気を甘く見ていた	
8	ですから、このアイメッセージの2については、これから診断を受けた人はちゃんと見るように、強く言っていただきたいなと。そうすればもうちょっと周りの意識も抑えることができるでしょうし、深刻になることはなかったんじゃないかなと思ってます。妻は1年後にそれを見て胸を打たれてるという今日この頃であります。	診断を受けたら病気を理解することが大切	
9	これからまた出てくる方に対してはもう、それはちゃんと、お医者さんからでも、しっかりとっていただけた方が来るのかなという。	医師から病気のことをしっかりと伝えることが大切	
10	夫が若年性認知症になったとき、不安しかなかったっていうか、何が起きてるかもわからなかった。認知症ということ自体が全く無縁のことって思いがあったので、どこに相談していったらいいのか、わからないことだらけだった。	診断後の不安	
11	年齢的にもどう受けとめたらいいか、これからどう向き合い、生きていったらいいか、不安と困惑と悲壮感しかなかった。	不安と困惑と悲壮感	
12	診断後は周りの風景が本当に白黒の世界に見えて。あっち側の人とこっち側の人みたい。今までのお友達がみんな向こうの人に見えてしまって。だから仲の良い友達にも6か月くらい一人にしといてって言って、そういう時間を過ごした。	診断後の孤独感	

No.	発言	コード	カテゴリー
13	早い段階で診断され、日常生活には全く困らなかったので、特に何か支援を求めるということを積極的にはやらなかった。そのまま半年を過ごしてしまったら、仕事でミスが重なって、妄想を抱くほどになってしまって、精神科に入院することになりました。結局は認知症を甘くみたんだということになるんだと思うんですけども、そういうことを予測してなかったんで、まさに青天の霹靂感があった。	早期診断で 認知症という病気を 甘く見ていた	
14	診断されて9ヶ月で洛南病院のテニス教室につながりました。	診断後9ヶ月で テニス教室につながる	
15	まだまだしんどい方もたくさんおられるので、そこをどうやっていくのか。作業工房にも若年性の方がみえるようになって、それぞれのつながるタイミングや度合いもあるけど、そういったつながられるきっかけが広くあったらいいのかなあって。それが今、カフェおうおうやったり、れもんカフェやったりするんですけど。今、れもんカフェは割とおなじみの顔が多いのが、何か新しい人が入りにくいらうなっていうところを少し感じてるんですけど。	支援につながる場が 広く開かれるといい	
16	私は11年前にアルツハイマー型認知症と診断されました。症状が余りない早い時期に診断してもらったと ありがたいと思っています。	早期診断への感謝	
17	私にとってはまさかの状況での受診だったが、結果早期の受診からの早い診断につながり、認知症教室など認知症について学ぶ機会を得て、少しずつ病気を客観的に受けとめることができるようになってきています。	早期診断により 認知症を客観的に 受けとめることができ るようになる	
18	早期受診からいろいろなところと早くつながることが大切であると思います。	早期受診から早期支援に つながることが大切	
19	時間とともにいろんなことがクリアされていって、その中でも本当に葛藤がいろいろあったんですけど、ちょっとずつやっぱり光が差したような感じで前が向けるように、急に来たのではないんですけど、なんかこのままやっていけるんじゃないかなって。	少しずつ前が向けるように	
20	認知症のことを認めるじゃないけど、そうなんだと。あと、仕事に行かなくても大丈夫なんや、行かなあかんかもしれん、でも行けへんっていう心の葛藤から解放されたときに、すごい主人も前向きになって。	認知症を受け入れ 仕事の葛藤から解放された とき前向きになった	
21	(このメッセージは)本当にうちの夫にぴったり。診断された時には困難な症状はなくて。それから11年半、本当に稀かもしれないんですけども、記憶の抜け落ちは少しずつ進んできてるんですけど、その他の生活の不便っていうのがなくて、こんな長いこと今の状態でいられるということが本当にありがたくって。	早期診断と支援により 生活を維持できていること がありがたい	早期診断・支援を 受けることができた
22	診断から9ヶ月で洛南病院のテニス教室に加わることができて、そこからうちの夫の、私たち夫婦の認知症人生の旅が始まって、定期的に行くところがある。	診断後、支援の場 につながった	
23	6年前もアイメッセージの評価に携わることができて、また今回も何か関わることができてっていう幸せなケースです。これからうちの夫のような状態、本人っていうのがどんどん増えてくるんじゃないかなと思うんですね。	早期診断・早期支援に つながる当事者が 増えるんじゃないか	
24	認知症の気づきから10年半。ちょうど宇治市の認知症施策とすり合っ生きてきたので、(本人は)ものすごい幸せな人だと思います。	宇治の認知症施策とともに 生きてきたことへの幸せ	
25	一般的にうちの主人の場合は、今までの施策の流れの中で、一番恩恵に預かった人ではないかなと思っています。	認知症施策の恩恵に 預かった	
26	うちの主人の場合はすごく恵まれた環境の中で、一番理想的な形で、ここ5年ぐらいなるんですけど、こさせていただいたなということを思っています。で、一番はやっぱり早く初診にいったこと、それから認知症コーディネーターを通じていろんなところに繋いでいただいて。	早期受診・早期支援に つながり恵まれた環境	

No.	発言	コード	カテゴリー
27	職場から受診を促す申し入れがあった際には、突然のことで困惑した。かかりつけの先生が京都認知症総合センターの予約をして下さった。初診にどうつながるかが大切だと思います。	初診にどうつながるかが大切	
28	早期に京都認知症総合センター受診につながり、結果、カフェほうおうから、こころのケアセンター若年性認知症支援コーディネーター、宇治市の地域包括支援センター、そしてれもんの中の仲間のみなさんにつながる事ができたのは、とても大きかったです。早期に受診し、どこかにつながることが、不安と絶望の連鎖から早く抜けれるように実感しています。	早期に支援につながることで不安と絶望の連鎖から早く抜け出せる	
29	診断を受けて、すぐに支援につながって、5ヶ月後には作業工房をスタートしました。	早期支援につながり就労をスタート	
30	認知症になっている状態の当事者にとってみると、これからどうしていったら、より自分の生きがいが良い方に働くだろうとか、色々考えました。	これからどうしていったら自分の生きがいが良い方に働くか	
31	今の状態が悪いと自分では思ってない。であればなおのこと、今の現状をそのまま延ばすというか、維持していくことが非常に有効であり、家族にとってもありがたいことだろうと思います。これからもそういうような生活がずっと続いていってくれれば、ありがたいなっているのが、私の受けた感じ、感謝といいますか。これからの対しても希望を持っているということです。	現在の生活の維持を望んでいる	
32	私が認知症だという診断を受けて、一番「ん？」と思ったのが、やはり物忘れが激しい。それも、同じことを覚えられない。目付けだとか、家内から任せられてごみ捨てどこ行くとか、そういうことをよく忘れてしまう。で、何度言われても忘れてしまうというところがありまして。	物忘れが激しい	
33	外に出ると少し気が張って、人様に迷惑かけないようにってことで、何か用事や約束があったら、スマホに記録させて、それを忘れないようにしてるんですよ。家の中だとそういうことはしないんで、未だに何かちよこまか細かいことで忘れてることが多々ある状態です。	家の中と外では物忘れも違う	
34	診断当初は先が見えない不安しかなかったが、色々な制度や支援も受けて、就労にもつながり経済的にも不安を解消し、将来についても希望が持てるようになりました。	支援につながり将来に希望が持てるように	認知症の理解と将来に向けての過ごし方
35	病気を理解するのは簡単でなく、今でも理解ができてるか疑問なところはありますが、テニス、作業工房、カフェほうおうでの活動、しごとれもん、れもんカフェへの参加、そして文教大ともいきフェスティバルで当事者が話をする姿を見て、自身と比べてこれからの過ごし方のイメージをしはじめました。今はすぐそばに仲間が、サポートしてくれる人がいるので、その場に行けば大丈夫だと思える。そして、自分なりに他の人の役にも立てればと行動するようになりました。	先達や仲間の姿を見て自分の過ごし方をイメージ	
36	テニス仲間の症状の急変からも、「病気と共に生きる」私のその後の生き方を自分で決めることが出来ました。	先達を見て生き方を決めた	
37	自分の症状が自分でもわからない。理解はしたつもりだが、不安は残っている。このまま軽い状況か、一気に進むのではないか。もっと情報が欲しい。もっと確かな改善の状況を目の当たりにした上で安心したい。このままではなく、もう一歩進んだ治療法はないか？	病気への不安は残っている	
38	れもんカフェで認知症のことを先生から伺いながら、本当に何も知らなかった本人が、認知症をだんだん理解して、最終的には将来の過ごし方まで、自分が決めていった。	れもんカフェで認知症の理解を進めていった	

No.	発言	コード	カテゴリー
39	診断後2年半を経て、デイサービスの利用をスタートした。夫のような軽度の状態でデイサービスを利用するっていうことは、そんなにたくさんあったケースではないように思っています。たまたまれもんカフェで、受け入れてくれたデイサービス事業所スタッフの方とめぐり合ったのがきっかけなんですけれども、俺はお世話されるのではなくて、デイサービスも社会参加の一つの場ととらえながら通ってたっていうのが現状です。だから今後、デイサービスのあり方っていうのは、たくさん能力が蓄えられているうちに、サービスじゃなくって、本人が進んでそこで何か自分の役割があるような、デイブレイスというような形に変わってく必要があるんじゃないかなって思っています。	デイサービスから デイブレイスへ	認知症の理解と 将来に向けての過ごし方
40	医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかにすごしてきましたが、今後どうなっていくかという不安があります。	将来への不安	
41	こういう状態で13年もきて次の段階どうなるんだらうっていう不安があります。最初自分が目的を持って介護保険事業所を利用したところから、本人の意識は変わってきている。だから、逆に一生懸命通ってたところが、最近、もう俺は行かなくていいっていうふうになってきて、家族としては、いやこれはどうしたものかと。家においても、自発的に本を読んだり、いろいろしたりすることが減ってきてる状態で、どうやって1日を過ごすのか。この先の介護支援受けるところがあまり家族には知られてないんですね。もっと家族が知るすべはないだろうか。特養とはまだ無縁なんですけれども。家族と介護事業所と、何かこうもうちよつと風通しをよくできるようなことで、何かいい過ごし方ができないか。	デイサービス利用から 次の介護サービス利用への 悩み	
42	だんだんみなさんと出会うところに引き気味で、それこそサービスを受ける状態になってくと思うんですけども。どんなサービスが果たして周りにあるのか。何かそれぞれの介護のこれから利用するかもしれない介護の現場の方達と、もっともっと何か知り合うきっかけがないのか。今、総合センターの中では、本人・家族・支援者教室で、だいたいどの職員の方と顔見知りにはなりましたけれども、以前のように会話がポンポンはずむっていう状態も少し変わってきてるように思うし。会話が弾まなくても、もっと小規模多機能とかそんなところの方々と前もって触れ合うようなそんな機会が、みんなでツアー組んでお泊り会みたいなイベントで練習させてもらおうとか、そんなことも考えたりします。何かいいアイデアないでしょうか？	デイサービス利用から 次の介護サービス利用への 悩み	
43	正直、私、これから何をしたらいいのかっていうのを見失ってたと思います。そういう時期に、一つの案がこれだよっていう提示があったんで、飛びついたっていう感じですね。	将来を見失っていたときに 提案があった	
44	(その時の気持ちに添いながら、相談して次のステップを一緒に作っていかれる方の存在が大きかった、そういう支援が必要だったということですね) ありがたかったですね。それこそ一生忘れられないなと思って。	将来を一緒に作っていく パートナーへの感謝	
45	最終的にやりたいのはものづくりっていう、自分の中でも、また色々他の人としゃべっても、マトはきちんと見えてたって感じでしたんで、もうそのまま突っ走ったというのが正直な話です。	やりたいことへの気づき	
46	(若年性認知症支援コーディネーターの存在は大きかったですかね。) そうでしょうね。やっぱり自分だけではわからない制度がいっぱい。知らなければ損をするというようなものがあります。そこら辺りを細かく一生懸命調べていただいて。一番不安になっていた金銭面、生活どうしてたっていう部分においても、色々サポートしていただいたので。	若年性認知症支援 コーディネーターから の支援	

No.	発言	コード	カテゴリー
47	初診からいろんなところにつながれた。かかりつけの先生から紹介してもらって認知症総合センターにまずかかれて、そこからカフェほうおうにつながって。カフェほうおうを拠点として、こころのケアセンターの若年性認知症支援コーディネーターの方とか、地域包括の方とか、そしてれものみなさんとか、全部につながっていた。	初診から支援につながれた	リンクワーカー（相談員・認知症コーディネーター・若年性認知症支援コーディネーター）
48	初診の際に検査で1時間半。で、2階にカフェがあるよって言ってくださって、そこに相談員さんがいてくださって。初めてワーッともう何かわけがわからへん主人の状況を話をしたときに全部聞いてくれはって、すごい心がなんか、来てよかったと。	初診の際に相談員に話ができ気持ちが楽になった	
49	常設型カフェ相談員の方が専念できるっていう環境はあった方がいいんだろうなと思います。そういう専門職というか、そういう形の方が一人じゃなくて、いっぱいいらっしやったらもっと助けていただける状況が生まれる。かなり背負ってはるので。	相談員がもっと増えることが大切	
50	単発でしか会わない方だったら、常設型カフェ相談員の方と一緒にやってきたようなことはできなかっただろうなと思うし、それから就労という形は無理だったんじゃないかと思うので、そういう関係性を持てる方が側にいてくれる環境と言うのはすごくありがたい	単発ではなく継続的に関係性を持てる相談員の重要性	
51	その人に寄り添って、その人の考えや人間性から引っ張り出すような、リンクワーカーのような方、大事だと思います。そこを通じて、いろんなところにつないでいただけたら。	その人に寄り添うリンクワーカーの大事さ	
52	若年性認知症支援コーディネーターの存在はすごく大きい。	若年性認知症支援コーディネーターの重要性	
53	若年性認知症支援コーディネーターさんが道しるべみたいに、時期によって順番に、自立支援医療から始まって、雇用保険、精神障害者保健福祉手帳、それから、障害年金とか就労に関してとか、すべていろいろアドバイスいただきました。	若年性認知症支援コーディネーターからの支援	
54	夫は在職中に病気になり、仕事に行けなくなったので、病気休職、そして定年退職と、その都度その都度のことを、こころのケアセンターの若年性認知症支援コーディネーターに相談しながら、やってこれました。	在職中からの若年性認知症支援コーディネーターとの相談	
55	休職や退職に伴う傷病手当や年金を含めた書類手続きは大変だった。	在職中に診断後の書類手続きは大変	
56	若年性認知症支援コーディネーターを知らない方が多いと思うので、知っていただくことがすごく大事だと思います。今宇治がこうしてピアサポートとかしていますけど、遠くの方は全然そういうふうなのがない状態になっている。いつでも誰でもどこでもっていう、その辺の状況を作ることがやっぱり、大切なんじゃないかなと思っています。	若年性認知症支援コーディネーターの存在を周知し、誰でもどこでも利用できる状況を作ることが大切	
57	お医者様方に知名度が今のくらいあるかわからないですけど、若年性の方がいらっしやったら、そういうサポートされる方がいるということ、それも早い時期からサポートしていただくことが大事かと思うので、その辺をしっかりとっていただければいいなと思います。	若年性認知症支援コーディネーターの存在を医師から紹介することが大事	
58	もうちょっといろんな形で、お医者様以外にも、世の中的にそういうふうなシステムがあるんだよってことがもうちょっとわかっていたら方法があれば。	若年性認知症支援コーディネーターの存在を周知する方法があれば	

No.	発言	コード	カテゴリー
59	<p>どういう人と出会うか、どういう人と話をするかによって変わると思うんですね。一方的に自分が知ってることをベラベラしゃべって、それを理解できる人なのか、そうでない、まだ自分自身がよくわかってない、これからに対して不安を持つてる人なのか。色々考えたら、人によって当事者の自分としても言うことを考えて対応しなきゃならないし、それが有効に働けばその人にとっては、そんなに自分の現状がっかりするって言いますか、不安を持つ必要はないなっていうことの一つだと思っています。</p>	<p>その人の個性や状態に応じて対応</p>	<p>当事者による相談窓口</p>
60	<p>何とでも言えるけど、自分の経験とか何かとこうぶつれたりね。何かした時に、自分のやってることがどの程度かってのは、そこまでは最後のところまで見ることはないの。だから自分が勝手に思いつきで言うようなこともいいことじゃないと思ってるし。だから、自分のことは人には言えるんですけども、人のことがこっちからの立場から物を言うってのは、今もってやれない。やれる人もいるとは思いますが、僕は人のやってる、また悩んでることにに関してまで、何か見えるような立場にもないし、自分の能力もないし。だからまあ、人の話を聞くこともできるし、自分はこうなんだっていうことまでは言える。ただ、だからってお前のはっていうふうにはいけないうことだと思えます。</p>	<p>自分の経験を話すことはできるが、人のことをどうこうは言えない</p>	
61	<p>先輩の姿を見ていて、正直、認知症？っていう感じです。自分が診断を受けて、先輩たちと出会って、認知症？みたいな感じで、見てました。自分が以前に接した認知症の人とは違うなど。</p>	<p>先輩の姿を見て認知症のイメージが変わった</p>	
62	<p>自分がそういう診断を受けた時には、正直、人生これで終わりかって感じだったんですが、ここへ入ってみると、先輩たちも、どこがあかんの、みたいな。普通ちゃうん、みたいな。そんな感じで今も過ごせているので、自分の何かが変わって、周囲の目が変わったというのは、あまり自分は感じずに、そのままのうのうと生活してるような感じですよ。だから、自分が認知症というのをあまり意識せず、周りの仲間たちも違うでしょ？みたいな感じを思いながら生活できているので、幸せと言えば幸せなんじゃないかな。</p>	<p>先輩や仲間の姿を見て認知症のイメージが変わった</p>	
63	<p>ノックノックれもんで相談を受ける本人を見たときに、なんか認知症の人でも、こういう風に元気に頑張ってるしやる方を見たときの、本当に私にとっての光が差した、何とかかなと思った瞬間だったので、それから考え方が後ろ向きというよりは、前向きになれた。</p>	<p>相談窓口で先輩を見たとき前向きになれた</p>	
64	<p>ひとりでもいい感じしているよりは、みんなと楽しくやれた。そういう環境があったっていうことは非常にありがたかったなと思っています。</p>	<p>ひとりであるよりみんなと楽しくやれる環境がありがたかった</p>	<p>仲間との出会い・居場所・活動の場 (ピアサポートの場)</p>
65	<p>(認知症の)先輩との出会いがあって、あ、この人たち普通やんってな感じで。自分もそっち側に行っても別に普通なんだろうな、という反応。勉強になったような。大丈夫なんだって、言ってもらえたような気がして。</p>	<p>先輩との出会いから自分も大丈夫と思えた</p>	
66	<p>当事者の写真展の時も、当事者仲間と一緒に参加させていただいて、色んな話もできましたし、色んな方もスタッフとして参加されていたので、世界が広がったとともに、自分の中で、まあこっちの世界も問題ないよなど。全然あっちこっちじゃない、一緒の世界だなんていうのが確信できた。</p>	<p>当事者仲間との交流を通して一緒の世界を確信できた</p>	
67	<p>それとともに、じゃあ次に来られる方には自分も同じように、苦しんでる方に接していかなきゃ駄目だよなという風にできる。自分ができるのはそういうことだよなっていう風に思ったので。</p>	<p>次に来られる方に自分ができることを考えた</p>	

No.	発言	コード	カテゴリー
68	私自身は、クリニックで診療を受けて、カフェに上がってみて、色々と作業されてる方がいて、自分のペースで色々なことをやってるなっていうのがあったんで、自分が描いてた世界とは大分違うなっていうのがあったんで、入りこめたっていう。なので、遊びにきて、ちょっと見に来て、あ、なんかやってんな、ちょっと自分も参加してみようかなって思える場所になればいいのかなって思ってる。そんなんでまたしゃべってお友達になって、また来るわと言ってもらえれば、それはそれでいいのかな。	自分自身の体験から次に来られる方が入りやすい場になればいいと思っている	仲間との出会い・居場所・活動の場(ピアサポートの場)
69	カフェほうおうで色々として作業している時は、新たにクリニックから上がってきて、何したはるんかなって見てる人がおられる。私はこうやって来られた方に、ちょっと何かやってみませんか？とかいう声かけをしています。ふーん、みたくする人には声かけないですけど、ふーん、ほーって、興味を示しておられるような方には、お声かけします。そういうところで踏み出す人、いらんわってなる人、によって、この人がここへ入って楽しめる場所って思えるか、いらんっていうのか、分かれてくるとは思いますが、踏み出せたらその人が楽しめる場所ができるのかなと思います。	クリニックからカフェに来られ興味を示される方に声かけをしている	
70	洛南病院のテニス教室で、本人、家族の方と接することができる場にめぐり会ったことの幸いっていうのが、いまだに私たちにはとてもありがたい。	洛南病院テニス教室での出会い	
71	すぐ直後にでもれもんカフェも開設されたんですね。で、テニスで出会った仲間と一緒に、れもんカフェに集って。	れもんカフェ	
72	相談員さんとしゃべり、そこで広がったテニス教室での触れ合いで、れもんの仲間のみなさんとつながることができて。主人もテニスだけは行けた。	洛南病院テニス教室での出会い	
73	気づくと、テニス仲間と共に宇治市の認知症事業の中にいて、自身の役割を自覚して今日まで来ました。そしてそこから、「認知症総合センター」や「常設カフェ」構想が生まれて、「オレンジドア」や「作業工房」のアイデアが生まれました。	宇治の認知症事業の中で様々なアイデアが実現してきた	

3) 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	認知症で受診しているクリニックで、定期的に診ていただいでいて、もし具合が悪くなったら、系列の病院での受診につなげてもらえると思うので、安心してしています。	かかりつけ医がいることによる安心	かかりつけ医の必要性
2	体の面では以前と違って自分で厳しくできない。ちょっとくらいのことでは病院に行かないし、病院行った方がいいんじゃないって家族が言ってもいかないときは、どうしたらいいんやろ。	自分での体調管理が難しい	
3	デイサービスに看護師さんがいるので、身体的処置など助けてもらっています。	デイサービスにおける看護師の存在	介護と医療の連携の必要性
4	デイサービスを利用してから、特養に入るまでの5年間、いろいろな病院受診が必要でした。その際、デイサービスで体調が悪いことに気づいても、スタッフは病院受診同行はされず、家族が対応することになる。交通の便がスムーズでない場合や独居者の場合など、スタッフが病院受診に同行してもらえるような状況になれば、ありがたい。	デイサービス利用中の病院受診 (特に独居者や交通の問題)	
5	宇治には認知症に特化した病院、支援があるので、現在は「何とかなるかな」と、あまり不安なく過ごすことができます。	宇治には認知症のための病院・支援があるという安心感	医療と介護にとどまらない地域の支援の必要性

4) 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	お陰様で、今なお様々な社会参加の「場」に恵まれて心穏やかに過ごしています。今の生活が長く続くことが私の願いです。	社会参加の場に恵まれて心穏やかに過ごしている	地域の一員として社会参加
2	外に出ると少し気が張って、人様に迷惑かけないようにっていうことで、何か用事や約束があったら、スマホに記録させて、それを忘れないようにしてるんですよ。家の中だとそういうことはしないんで、未だに何かちょこまか細かいことで忘れてることが多々ある状態です。	家の中と外では物忘れも違う	
3	新しく認知症の当事者や家族が、色んな人が集まって話ができるような場所があったらいいのになって話をした。どこ行って自分の今の状態を聞いてもらえるだろうかとか、何かアドバイスがもらえるだろうかかって思うような人たちと一緒にあって、こんな話ができるような場所があるといいのかなという風に思ったりします。	認知症の当事者が集まって話ができるような場	
4	認知症カフェだとか色んなカフェがありますね。そういうところに出かけて行くと、自分とは全然違ったような考え方をしてる人とも出会えます。よっぽどのことじゃなきゃそんな人と話したいと思わないんですけども（笑）、いずれにしてもその自己中心的じゃ、あんまりいいことではないんで、そういうことを考えると、良い環境だなあとというふうに思ってます。そういうふうにいるといいなあと考える自分が大分成長したかなという風な思いでいます。	認知症カフェに行くと自分とは違った考え方の人と出会える	
5	病気になった後は、新しい場でいろんな人たちとつながって、そこには自ら行くんですけど、やはり自分のこと、病状を知ってもらってないところに行こうってなると、システムダウンします。親戚のところでも、家族旅行でも。一般の社会で自分を知ってもらってないところに行くことに、ものすごい労力があるんやなって。前の友達とかにもいまほ連絡取れてないです。でも、新しいこの場ではすごい自分を出せているのはありがたいなど。	病状を理解してもらっている場には参加しやすい	
6	診断から2年半後に夫はデイサービスの利用を始めました。夫のような軽度の状態でデイサービスを利用するっていうことは、そんなにたくさんあったケースではないように思ってます。たまたまれもんカフェで、受け入れてくれたデイサービス事業所スタッフの方とめぐり合ったのがきっかけなんですけれども、俺はお世話されるのではなくて、デイサービスも社会参加の一つの場ととらえながら通ってたっていうのが現状です。だから今後、デイサービスのあり方っていうのは、たくさん能力が蓄えられているうちに、サービスじゃなくて、本人が進んでそこで何か自分の役割があるような、デイプレイスというような形に変わって必要があるんじゃないかなって思っています。	デイサービスからデイプレイスへ	
7	就労の現場では、症状からできにくくなっていることもありますが、周りのスタッフの方にフォローしていただきながら、働くことができていて、社会参加を実感しています。また、お茶摘みや野菜の収穫なども、社会参加を実感できる活動だと思います。	就労による社会参加の実感	社会貢献
8	私の願いは、今の生活が少しでも長く維持されることです。今までと同様、当事者として、私が出来ることをしていきたい。	当事者として自分が出来ることをしていきたい	
9	本当に今いる場所があって、何かしら自分ができるのであればさせてもらいたいって言う主人を見て、ここまで引っ張ってくださったことにありがたいなっていうのと、あと家にいる主人とのギャップをすごい感じていて、なので本当にそういう場があることが大きいんだなっていうことをすごい感じてます。	社会参加の場があることで社会貢献への意欲が高まる	

No.	発言	コード	カテゴリー
10	当事者がつくる「認知症カフェ」を、仲間と共に、京都認知症総合センター常設カフェに作っていききたい。多様な当事者他でつくる「カフェ」空間。便利な所で集いやすい。「オレンジドア」、「大学れもんカフェ」、「みんなのcaféめぐりぐり」の経験を生かして。	当事者でカフェを作りたい	
11	役割をもちたい当事者（コーヒー係：私はコーヒーを提供することができます、お菓子係、サービス係、BGM係、時にはライブの企画も）。ホッと憩う当事者、情報を求める当事者：出会いを求める。新しい一歩をとまどう当事者を香りや作業で誘う。認知症のことを学びたい、当事者と交流したい方々：学生のみなさんとの交流の場としても。専門職・れもねーだーの参加：相互理解が進み、そして相談も出来る。	カフェには様々な役割や目的を持った多様な方々が集まれる	
12	作業は嫌じゃない。コーヒーの豆を買ってきて、それを挽いて出すということは、抵抗なく行える。悩みがあったりなんかして、コーヒー飲みながら話を聞こうかなって思う人がいたら、そういう人に対して自分が考えてる接し方、またこれからの自分の生き方をどうしようかなあと思っている人に対して、それで偉そうに言うべきなのか、それとも一緒になって聞いてあげるべきなのか、そんなことを色々考えてしまう。そういうことを考えると、そこに入り込んでしまった自分は、これからどうなってくるかもあやしいなというようなことを時々感じます。	コーヒーとともに話をする	就労の場 (カフェ)
13	カフェほうおうというところで働いてるんですけども、そこでの動きとして、お客さんが来られた時に、一応こう差し当りないレベルでのお話をしたりですね。また帰っていかれる時は、忘れ物がないかちょっとこう見て、もし忘れ物があれば、追っかけてでもその日のうちに持ってかなきゃ、次にいつ会えるかわからんという人がいっぱいおられますんで、その時には一生懸命追いついて、返却しに行く。	カフェに来たお客さんと話をする	
14	当事者がつくる「認知症カフェ」を、京都認知症総合センター常設カフェに作って行きたい。多様な当事者たちで作る「カフェ」空間。誰もが集いやすい「場所」に。役割をもちたい、くつろぎたい、情報が欲しい、出会いが欲しいなど。新しい一歩をためらう当事者を、香りや作業で誘う。認知症のことを学びたい、当事者と交流したい学生も。専門職との交流から相互理解が進み、そして相談も出来る。多種多様な認知症本人・家族の「これからの考える場」を作りたい。	多種多様な方々が集まる当事者によるカフェを作りたい	
15	外に出て、迷惑をかけずになんとか少しでも役に立てるように、一緒に作業工房ほうおうでものをつくったりとか、そういうことはひたすら一生懸命するんですけど、なんか細かい所でいくとちょっと忘れてしまっているのが今の私です。	作業工房でものをつくって一生懸命役に立てるように	
16	みなさんの力を借りて、特別何かを成し遂げないかんで力が欲しいっていう時は別として、個々になった場合は、あまり他の方に迷惑をかけずに、ある程度自分ができるものは自分がして、それでもちょっと苦しくなった時にはお願いして来てもらったり、仕事してもらったりして、そういう関係を持っている。今から大きなものをつくるとか、そういうことになってくると、着実に計画を立ててやっていくっていう風な、そういう空間になってるのと違うかな。	自分ができることをしつつ必要なときにはみんなで協力	就労の場 (作業工房)
17	これだけ注目されるとは思ってたなくて。ほとんど毎週1日をあてがってもらってるんですけども、楽しみにして5~6人來れる日もあるし。正直びっくりしてる所です。役割としてこんなやってくださいって振った時には、みなさん一生懸命削ったり焦がしたりしてる人たちがいる。半分はびっくり、半分は嬉しいなという思いがあります。そういうのがあってよかったなという風に感じてもらえたら、なおさらいいかなって思います。	作業工房が注目され驚きと嬉しさが半々	

No.	発言	コード	カテゴリー
18	我々、言うなれば、社会からちょっと見放されたというか、ちょっとそういう意識が以前あったんですけども。だから普通になんかやってるんじゃないで、違うやり方なんですけれども。ちょっと小さなところで小さなものを作りながら、その出来栄を見て楽しんでるっていうようなね。そんな雰囲気だったんです。今も来ていただいたら、そういう風を感じてもらえるお客さんが多いんじゃないかなと言ってまして。ちょっと隠れたところで、秘密を明らかにする、オープンにするという空間であり続けたいという風に思っています。	社会からちょっと隠れたところで秘密をオープンにする空間	就労の場 (作業工房)
19	カフェほうおうで、当事者の仲間とは一緒に、あーだこーだ、いやーこれちゃうわとか言いながら騒いでるんで、そういうのはやっぱり楽しいことの一つだと思うんで、つながれるっていうことは大事かなと思っています。	当事者の仲間と一緒にやりとりしながら活動する楽しさ	
20	私自身は先頭に立ってじゃなくて、サポーターの方をしています。新しく来られた方達が、どうしようかなあってされてる時に、じゃあこれやってみます？とかいう風に振る方の役に自分はいってるつもり。みんなでサポートしながら楽しみながらっていうのができてるような気がします。	当事者同士でサポートしながら楽しみながら	
21	自分はツッコミよりはボケ役ですね。認知症の中のボケ。更にボケという感じです。まあ、なごまし、なごめたら、余計にボケてしまうんですけども。ただあの、迷惑にないように騒いでるっていうわけではないけど、まあそういう役割をする新参者です。	作業工房における役割	
22	作業工房ほうおうでいろんな物をつくってるんですけど。私よりも一回り二回り上の方がいらっしやって、それくらい年上になってくると、なかなか出てこられない時もあるんですけど、技術はしっかりされてて、それはすごいと思う。見習わないといけない。	作業工房における先達の技術のすごさ	
23	病気を理解するのは簡単でなく、今でも理解ができてるか疑問なところはありますが、テニス、作業工房、カフェほうおうでの活動、しごとれもん、れもんカフェへの参加、そして文教大ともいきフェスティバルで当事者が話をする姿を見て、自身と比べてこれからの過ごしイメージを仕上げました。今はすぐそばに仲間が、サポートしてくれる人がいるので、その場に行けば大丈夫だと思える。そして、自分なりに他の人の役にも立てればと行動するようになりました。	先輩や仲間の姿を見て他の人の役に立てればと行動	
24	認知症との診断後、翌年には京都認知症総合センターに就労させていただき、周りの方のサポートをうけながら、スタッフの一員として作業工房などで活動できていることは、認知症であっても社会とつながり貢献しているのではと、私なりに実感しています。「作業工房ほうおう」のように、多くの当事者が活躍できる居場所が、京都の他の地域にもできれば、当事者の社会貢献につながるのではと期待しています。	作業工房などでの活動を通して社会参加・貢献を実感	
25	診断を受けて、すぐに支援につながって、5ヶ月後には作業工房をスタートしました。	早期支援につながり就労をスタート	
26	うちの場合、就労という形に結びつくことができたことがすごく大きい事だと思っています。正直言って、認知症の診断を受けた時に、仕事ってことをもう考えられない状況にありました。だけど、相談員さんに主人のやりたいことを引きだしていただいて、それを就労という形にしていたのがものすごく大きかったと思います。	本人のやりたいことが就労の形になったことがものすごく大きい	
27	仕事ができないのはどうしていいかと思ったときに、カフェほうおうの相談員さんが、お給料としては出せないけど、その場を作ることができるよって言ってくださって、作業工房や子供食堂でスタッフとして携わらせていただいていることが、すごくありがたくて。	作業工房や子供食堂での就労	

No.	発言	コード	カテゴリー
28	卓球の会、サロンの場から広がって、認知症の本人・家族・協力者で、なっちゃんファームを運営しています。月4回。宇治市から助成金ももらって。利用者はMax26名ぐらい、スタッフ10名ぐらい。	地域住民主体型の就労の場	就労の場 (農園)
29	今まで一生懸命、宇治市の事業の中で、いろいろ自分の持つててることを発信する場を与えられ続けてきたと思う。本人は俺には出場所があると言っていた。	宇治の事業を通して 社会貢献	生きがい
30	就労は単なる経済的な面だけでなく、その人が生きがいを感じながら認知症を生きる原動力につながると思います。そのような場が広がることを願っています。	就労は認知症を生きる 原動力につながる	
31	診断当初は人生の目標も希望も見失って「暇だ。暇だ」が口癖でしたが、作業工房ほうおうもスタートして就労にもつながりました。作業工房ほうおうに色々な方が集まって活気がある現状は、私自身とても嬉しいことで、やりがいを感じ、それが生きがいにもつながっているように思います。	作業工房での活動が 生きがいにつながっている	
32	認知症になっている状態の当事者にとってみると、これからどうしていったら、より自分の生きがいが良い方に働くだらうなとか、色々考えました。	これからどうしていったら 自分の生きがいが 良い方に働くか	
33	認知症と診断を受けた時は、とても考えられなかった今の生活に、ある程度満足しながら、たとえ認知症でも、充実できる日々を送ることができているように感じています。	充実できる日々を 送っている	
34	趣味の「ものづくり」が仕事の一環となり、作業工房ほうおうで仲間の皆さんと一緒に、楽しみながら取り組んでいる事は、認知症と生きる自分の人生の励みになっています。	趣味のものづくりが 仕事になり人生の励み になっている	

5) 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんでいます。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	診断された病院に若年性認知症デイケア「テニス教室」が出来て、同じ病気の人と初めて出会い、競技を楽しみました。	テニス教室で仲間と出会う	仲間との出会い・居場所・活動の場 (ピアサポートの場)
2	テニスや卓球など色々な行事への参加も、仲間のみなさんとの交流の場でもあり、豊かさや安心感を実感しています。	仲間とのテニスや卓球	
3	作業工房やテニスなど、みなさんと一緒に楽しんで、多くの方が自分たちのように、仲間と一緒に前向きに生きていければ良いのではと思っています。	仲間と一緒に楽しんでいる	
4	テニス教室と同じ頃「れもんカフェ」も開設されて、テニス仲間と楽しく集いながら、カフェの店長（主治医）から、病気についてたくさんのお話を教わりました。	れもんカフェで仲間と集い学ぶ	
5	ひとりでいじいじしているよりは、みんなと楽しくやれた。そういう環境があったということは非常にありがたかったなと思っています。	仲間と楽しくやれる環境	
6	人と人とのつきあいだとすると、自分では考えてなかったけれども、気がついてみれば何かこっちもいいなという風なつきあい方とか、あるいはあっちの方がいいなと思うところは、誰しもが経験するようなことなんじゃないかなと思うんですね。	人とのつきあいで自分のつきあい方が広がった	
7	認知症を発症後、本人が好きなテニスができればと、一般のテニス教室もいろいろ行きましたが、やはりついていけず難しかった。	一般のテニス教室は難しかった	
8	2012年に洛南病院で若年性認知症テニス教室ができて、創設メンバーとして参加しました。そこから仲間が増えて、宇治市のいろんな企画にも参加して楽しむことができました。	洛南病院 若年性認知症テニス教室を創設	
9	本人の一番の趣味であるテニスができるよう、洛南病院のテニス教室に参加しました。	洛南病院のテニス教室に参加	
10	テニス教室参加を機に、宇治市・福祉サービス公社が企画された、れもんカフェ、茶摘み、野菜の収穫等にも参加して、楽しんでおりました。	宇治の認知症事業に参加	
11	認知症を発症した時に、どこに相談しに行けばいいのかわからなくて、ネットで検索して地域包括支援センターに相談して。その時に洛南病院で若年性からテニス教室をやっていますというのを聞いて。それで2人でテニスを始めて、れもんの仲間のみなさんと出会えた。	洛南病院 若年性認知症テニス教室での仲間との出会い	
12	認知症になってしまっても、そのことが絶望ではなくなるために、本人にとっては、生きがいをもって楽しみを感じながらいられる居場所が必要。	居場所が必要	
13	本人は外と交流しているときと家の中での様子は全く違う。場のありがたさに感謝しています。	外の場が必要	
14	認知症になってしまっても、そのことが絶望ではなくなるために、家族にとっては、同じ目線で悩みや気持ちを吐き出せる場所や仲間の存在が必要。	仲間が必要	
15	こういう会議とかでは、私もこう思うわって、みんながいっぺんについていうことが難しいんで、ぼつぼつと始めてくると、流れができてうまいこといくと思うんですけども。そうじゃなくて、みんながずっと黙って、何も言わない雰囲気になってくると、失敗の状況になると思います。	みんなが話し出すと流れができてうまいこといく	話がわかる場

No.	発言	コード	カテゴリー
16	そうならないように、やっぱりこれもあるよっていうことを、芋づる式にでも、自分のやることがずっと肯定していけるっていうか、みんなが話を持ってきて、どうやろうっていうことを提案できるとか、そういう雰囲気を作り上げていくのはありがたいし、その中でやったら色々な発言ができるんちゃうかな。	みんなが発言できる 雰囲気を作ることが 大切	
17	人が話をしてるのをチラッと聞くと、なるほどなそういう考えもあるんだなっていうのが思われて。それをひとりぼっちで孤立しているだけでそういうこと考えてるんだとかかわいそうなんですけど、そうでもないっていうか。だから自分はこうだけでも、他の人はどうしてるのかなという思いで最初いたんだけど、その内に人の話を聞いて、ああなるほどなあとと思うことも考えられるようになってきた。少し自分が大人になったんじゃないかな。	人の話を聞いて 自分の考えが広がった	話ができる場
18	やっぱり同じ症状なり苦しきなり、人と出会って話をするとかやはり色々なものをこちらもいただけますし、こちらもお話もできますし。それと、もう何年か前に当事者が写真展をされた時に、スタッフとして参加させてもらった時も色々お話もできましたし。そこにスタッフとして参加された色々な症状の人たちともコミュニケーションをとることもできましたので。そういう面では、ある意味楽になったっていう瞬間があります。	同じ症状や苦しきを持つ人 同士の交流によって楽に なった	
19	私なんかあっち齧りこっち齧り、暇さえあればどっか行つてるとか。そんなんじゃないなくて、どっしりこう考えた上で、やるべきことや、やっちゃいかんことはせん、っていうことをはっきりとっておられる。本当に先生みたいなもので、私らとしては、やっぱりこうあるべきなんやろうなあとというのを後ろ姿で追いつながら。そういっても、自分がやりたいことはやっぱりこそっとでもやりたいということで、自分のやりたいことをやっていたっていうような、そんな構図になっていたのかなと思っています。	先達の姿を追いながら 自分がやりたいことをやる	
20	私はものづくりをしたいっていうのをかねてから言ってきました。最初は言うだけだったんですけども、協力者どんどん出てきて、じゃあみんなでものづくりしたらどうだろうっていうことを言えば、大きな賛成が起きて。私としては、こういうことで前進するっていうのもあったんだなあというような、心あらたまる状況になって、今に至っている。楽しみたいっていうだけだったんですけども。	自分がやりたいことを 協力者と進めていった	やりたいことをやる
21	正直、いい話って、その頃あんまり聞いてなかったんですね。しばらくしたらもう何もわからなくなるよとか、そんな話聞かされるとやっぱり怖いすよね。でも、自分たちの好きの中で、ものづくりしたいなっていうことで、賛同される方が何名かはいはりまして、じゃあこれやろうよってやっていくようなやり方だったんですけども。	自分たちの好きなことを していくようにした	
22	もう私らどうなるかもわからんっていう感じだったんですけど、色々そこは手助けいただきました。木工をやってくれる人たちが集まりまして。それも結構手早くされるんですよ。もう自分も負けてはあかんってことで、真剣にものづくりをせなあかんという風に思ってた時期もあったんですね。気がついたら、手伝っていただいている人数は、今2桁をゆうに超えるようになりました。	やりはじめたら 人が集まっていった	仲間と一緒に
23	正直申しましてその時には自分そんなしよっていう風に思ってたはいなかったんですけども、これやったらちよつと足らんっていうようなことが幾つも出てきて、周りのみなさんとお話し合いしながら、色々なことをやり始めた。	みんなと話し合いながら 進めていった	
24	(前回6年前の本人・家族ミーティング後) 北宇治地域包括と一緒にあって、認知症の本人・家族による卓球の会（スリッパの会）を立ち上げました。現在も毎回10人前後で月3回継続しています。	地域包括と 卓球の会を立ち上げ	歩いて行ける 居場所・活動の場

No.	発言	コード	カテゴリー
25	歩いていける距離で、場ができればいいね、ということです。	歩いて行ける場	歩いて行ける 居場所・活動の場
26	認知症の本人・家族を中心とした地域住民による卓球の会が、おでかけや、なっちゃんファームの手伝い、みんなの居場所へと発展し、2022年からは宇治市登録住民主体通所型サービスB「なっちゃんファーム」となった。体操・歌・農園を使ったレクリエーションなど、みんなが通い、交流する、居場所になっている。	地域住民が主体的に創った なっちゃんファーム	
27	認知症と診断を受けた時は、とても考えられなかった今の生活に、ある程度満足しながら、たとえ認知症でも、充実できる日々を送ることができているように感じています。	充実できる日々を送っている	人生の充実
28	趣味の「ものづくり」が仕事の一環となり、作業工房ほうおうで仲間の皆さんと一緒に、楽しみながら取り組んでいる事は、認知症と生きる自分の人生の励みになっています。	趣味のものづくりが仕事になり人生の励みになっている	

6) 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がされているので、気兼ねせずにごさしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	家族には多少色々苦労や負担はかけているかもしれないが、現状では社会には迷惑はかけていないと思って生活しています。	家族には負担をかけているかもしれない	本人の思い
2	日々の生活環境の中では、経済や医療面などでの制度的な支えは、ある程度配慮されているので、気兼ねせずにごさしていると思います。	経済や医療面での制度的な支えは配慮されている	制度の支えと課題
3	家族の心配事として、症状が進んだ時の銀行の口座凍結や後見人制度などについては、認知症への特別視や家族目線でない課題がまだまだ多いように思います。	銀行口座凍結や後見人制度に課題	
4	夫が若年性認知症になったとき、不安しかなかったっていうか、何が起きてるかもわからなかった。認知症ということ自体が全く無縁のことって思いがあったので、どこに相談していったらいいのか、わからないことだらけだった。	診断後の不安	診断後の苦悩
5	年齢的にもどう受けとめたらいいか、これからどう向き合い、生きていったらいいか、不安と困惑と悲壮感しかなかった。	不安と困惑と悲壮感	
6	診断後は周りの風景が本当に白黒の世界に見えて。あっち側の人とこっち側の人みたい。今までのお友達がみんな向こうの人に見えてしまって。だから仲の良い友達にも6か月くらい一人にしといてって言って、そういう時間を過ごしてた。	診断後の孤独感	
7	時間とともにいろんなことがクリアされていって、その中でも本当に葛藤がいろいろあったんですけど、ちょっとずつやっぱり光が差したような感じで前が向けるように、急に来たんではないんですけど、なんかこのままやっていけるんじゃないかなって。	少しずつ前が向けるように	人生の再構築
8	僕も家内が認知症にならなければ、これだけボランティア活動に走らなかつたと思います。だからそれも本人には感謝してます。	本人への感謝	
9	初診から診断がつくまでに2年4ヶ月。不安でしんどくて、夫との向き合いが。私が支援を受けることができ、少しずつ落ち着きました。	家族が支援を受けることができ落ち着いた	専門職による支援
10	初診の際に検査で1時間半。で、2階にカフェがあるよって言うてくださって、そこに相談員さんがいてくださって。初めてワーッともう何かわけがわからへん主人の状況を話をしたときに全部聞いてくれはって、すごい心がなんか、来てよかったと。	初診の際に相談員に話ができ気持ちが楽になった	
11	常設型カフェ相談員の方が専念できるっていう環境はあった方がいいんだろうなと思います。そういう専門職というか、そういう形の人が一人じゃなくて、いっぱいいらっしゃったらもっと助けていただける状況が生まれる。かなり背負ってはるので。	相談員がもっと増えることが大切	専門職による支援
12	若年性認知症支援コーディネーターさんが道しるべみたいで、時期によって順番に、自立支援医療から始まって、雇用保険、精神障害者保健福祉手帳、それから、障害年金とか就労に関してとか、すべていろいろアドバイスいただきました。	若年性認知症支援コーディネーターからの支援	
13	夫は在職中に病気になり、仕事に行けなくなったので、病気休職、そして定年退職と、その都度その都度のことを、こころのケアセンターの若年性認知症支援コーディネーターに相談しながら、やってこれました。	在職中からの若年性認知症支援コーディネーターとの相談	
14	休職や退職に伴う傷病手当や年金を含めた書類手続きは大変だった。	在職中に診断後の書類手続きは大変	

No.	発言	コード	カテゴリ
15	家族は本当にいろいろ大変なこともいっぱいあったので、一つずつクリアしていくことで楽になっていきながら、心配事とか悩み事が減っていくっていうのは、すごくありがたかった。	一つずつクリアしていくことで楽になっていった	
16	若年性認知症支援コーディネーターを知らない方が多いと思うので、知っていただくことがすごく大事だと思います。今宇治がこうしてピアサポートとかしていますけど、遠くの方は全然そういうふうなのがない状態になっている。いつでも誰でもどこでもっていう、その辺の状況を作ることがやっぱり、大切なんじゃないかなと思っています。	若年性認知症支援コーディネーターの存在を周知し、誰でもどこでも利用できる状況を作ることが大切	
17	洛南病院のテニス教室で、本人、家族の方と接することができる場にめぐり会ったことの幸いっていうのが、いまだに私たちにはとてもありがたい。	洛南病院テニス教室での出会い	ピアサポート
18	すぐ直後にでもれもんカフェも開設されたんですね。で、テニスで出会った仲間と一緒に、れもんカフェに集って。	れもんカフェ	
19	認知症になってしまっても、そのことが絶望ではなくなるために、家族にとっては、同じ目線で悩みや気持ちを吐き出せる場所や仲間の存在が必要。	仲間が必要	
20	これからいっぱい不安があつて。すごい記憶が落ちてる主人を見ながらなんですけど。素知らぬ顔をしていろいろやっているとこのしんどさを、こうやって家族の人たちとかと会う、先生にお話を聞くところとか、カフェでわいわいやつてるところで、自分の気持ちをリセットして、まだ迎える日々を送ることを感謝しながら、こういう場があるんだよっていうところを、みんなに広く知ってもらいたい。	ピアサポートの場を広く知ってもらいたい	
21	早期からの通所介護施設利用は、家族には何よりも大きな支援です。	早期からの通所介護施設利用	
22	医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかにすごしてきましたが、今後どうなっていくかという不安があります。	将来への不安	将来への不安
23	何やかんやと5年目に入ったので、その中でよくここまでこれたなって言うのと、それこそこれからどうなるのかなという心配と、また新たな不安がでてきてますね。	将来への不安	
24	こういう状態で13年もきて次の段階どうなるんだろうっていう不安があります。最初自分が目的を持って介護保険事業所を利用したところから、本人の意識は変わってきている。だから、逆に一生懸命通ってたところが、最近、もう俺は行かなくていいっていうふうになってきて、家族としては、いやこれはどうしたものか。家にいても、自発的に本を読んだり、いろいろしたりすることが減ってきてる状態で、どうやって1日を過ごすのか。この先の介護支援受けるところがあまり家族には知られてないんですね。もっと家族が知るすべはないだろうか。特養とはまだ無縁なんですけれども。家族と介護事業所と、何かこうもうちょっと風通しをよくできるようなことで、何かいい過ごし方ができないか。	デイサービス利用から次の介護サービス利用への悩み	
25	だんだんみなさんと出会うところに引き気味で、それこそサービスを受ける状態になってくると思うんですけども。どんなサービスが果たして周りにあるのか。何かそれぞれの介護のこれから利用するかもしれない介護の現場の方達と、もっともっと何か知り合うきっかけがないものか。今、総合センターの中では、本人・家族・支援者教室で、だいたいぶの職員の方と顔見知りにはなりましたけれども、以前のように会話がポンポンはずむっていう状態も少し変わってきてるように思うし。会話が弾まなくても、もっと小規模多機能とかそんなところの方々と前もって触れ合うようなそんな機会が、みんなでツアー組んでお泊り会みたいなイベントで練習させてもらおうとか、そんなことも考えたりします。何かいいアイデアないでしょうか？	デイサービス利用から次の介護サービス利用への悩み	

7) 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで
 意思や好みを尊重されてすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	現状まだ普通に話せているので、話したい内容は分かっ てもらえてるのではと思います。	まだ普通に話せている	まだ話せているが 自分の思いを尊重されるよ う希望は持っている
2	まだ現状では実感がなく、そこまで考えられませ ん。人生の終末に至るまで、自分の思いを尊重されるよ うであってほしいとの希望は持っています。	自分の思いを尊重されるよ う希望は持っている	
3	言葉が話せなくなってきました。	言葉が話せなくなってきた	家族・介護スタッフ による本人の気持ち の理解
4	進行した場合でも、本人の思い・人格が尊重されなが ら生活ができる場所・環境の大切さ	本人の思いが尊重される 環境の大切さ	
5	認知症を発症したことで、それまでの友人とは以前 のような交流が出来なくなってきたので、遠方に在住の親友に 連絡をして来てもらって、一緒に宇治での観光を楽しみまし た。妻も大変喜んでおりました。	認知症発症後、遠方の親友 との交流の機会を作った	
6	この二日間の様子をカメラで撮ってDVDを作り、その 後時々、本人にも見せて楽しんでおりました。二人にとっ ても大変楽しい思い出になったのではないかと考えていま す。	DVDを作り、思い出を 楽しめるようにした	
7	介護サービスは、デイサービス、ショートステイ、小規 模多機能を利用しました。	デイサービス、ショール ステイ、小規模多機能を利用	介護サービスの利用
8	特養に入所しました。毎日面会できたが、コロナ禍 での感染防止対策として、面会禁止となりました。その後、限 られた頻度や時間での、窓越し面会から対面での面会とな りました。	特養への入所と コロナ禍での面会制限	
9	介護サービスへの移行の壁を感じます。本人はまだ必 要ではないと言いますが、家族は今の様子から先への不安が あり、早くつながりたいという思いがあります。	介護サービスへの移行 に関する本人と家族の 思いの違い	介護サービスへの移行
10	通所介護サービスを躊躇う本人が少なくない中を夫が 利用に至ったのは、施設スタッフと早期に「れもんカフェ」 で出会っていたのが大きな要因と思っています。	介護サービススタッフとの 早期の出会いが大切	
11	介護サービスを受けるのはまだ先かもしれないん ですけど、自分はまだまだ大丈夫って思ってるうちに、何か しら自然に体験しながらすっと入れるように、なんかできたら いいなという思いがあります。	介護サービスの 早期体験の可能性	
12	こういう状態で13年もきて次の段階どうなるん だろうっていう不安があります。最初自分が目的を持って介護保 険事業所を利用したところから、本人の意識は変わってき ている。だから、逆に一生懸命通ってたところが、最近、もう 俺は行かなくていいっていうふうになってきて、家族とし ては、いやこれはどうしたものかと。家にいても、自発的 に本を読んだり、いろいろしたりすることが減ってきてる 状態で、どうやって1日を過ごすのか。この先の介護支援 受けるところがあまり家族には知られてないんですね。も っと家族が知るすべはないだろうか。特養とはまだ無縁なん ですけども。家族と介護事業所と、何かこうもうちょっ と風通しをよくできるようなことで、何かいい過ごし方 ができないか。	デイサービス利用から 次の介護サービス利用 への悩み	

No.	発言	コード	カテゴリー
13	だんだんみなさんと出会うところに引き気味で、それこそサービスを受ける状態になってくると思うんですけども。どんなサービスが果たして周りにあるのか。何かそれぞれの介護のこれから利用するかもしれない介護の現場の方達と、もっともっと何か知り合うきっかけがないものか。今、総合センターの中では、本人・家族・支援者教室で、だいたいの職員の方と顔見知りにはなりましたがけれども、以前のように会話がポンポンはずむっていう状態も少し変わってきてると思うし。会話が弾まなくても、もっと小規模多機能とかそんなところの方々と前もって触れ合うようなそんな機会が、みんなでツアー組んでお泊り会みたいなイベントで練習させてもらうとか、そんなことも考えたりします。何かいいアイデアないでしょうか？	デイサービス利用から次の介護サービス利用への悩み	
14	胃瘻だと特養でも対応してくれるとの事でしたので、「妻が今まで住み慣れた又、馴染みのスタッフがいる特養に戻るのが一番いいのではないかと判断して胃瘻の造設を了解しました。	本人が慣れた生活環境を継続するために胃瘻を造設	家族が決断
15	胃瘻造設の可否については、妻は以前から会話も出来ず、判断力もない為、私一人で決断しました。	胃瘻の造設について 家族が決断	

8) 私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	宇治市は「認知症にやさしいまち宇治」宣言されているという事もあり、色々なところともつながっている生活なので、色々な事業や制度に関しても、その都度適切な情報をもたらえる環境にいると思います。この点については、地域格差がかなりあると思います。この格差をなくしていく事が、これからの課題だと思っています。	宇治では恵まれた環境にいるが地域格差がある	どの地域でも適切な情報が得られる必要性 (どこでも)
2	京都府内にも地域格差がある。	府内にも地域格差がある	
3	京都と宇治では考え方が非常に違うなあという感じがする。	京都と宇治では考え方が違う	
4	夫の恵まれた経験が誰でも当たり前になることが、これからの流れにつながっていくヒントになるのではと思います。	夫の恵まれた経験が誰でも当たり前になれば	
5	若年性認知症支援コーディネーターを知らない方が多いと思うので、知っていただくことがすごく大事だと思います。今宇治がこうしてピアサポートとかしていますけど、遠くの方は全然そういうふうなのがない状態になっている。いつでも誰でもどこでもっていう、その辺の状況を作ることがやっぱり、大切なんじゃないかなと思っています。	誰でもどこでも支援につながる状況を作ることが大切	
6	認知症カフェの相談員さんやコーディネーターの方や医療スタッフの方々、認知症当事者・家族の仲間など、身近に相談できるめぐまれた環境にあると思います。	身近に相談できる環境がある	身近で相談できる環境の必要性
7	当事者・家族の多くが、孤立している現状なのではと思います。	当事者・家族の多くが孤立している	
8	当事者の中には外に出るのをためらって、引きこもっている方が多くおられるのが、課題だと思っています。	引きこもっている方が多くおられるのが課題	
9	何かこう1人で戦ってきたのは非常にあって。この宇治のみなさんとお会いして本当に肩の荷がボンと下りたという、そういう感じがすごくしたんですね。でも、それがなかなか京都市内で得られなかった。	京都市内でなかなか支援に繋がらなかった	
10	京都市は、高齢者の一人暮らしだけじゃなくって、若い単身の方が非常にいらっちゃって、その方がなかなか表に出てこれないという現状がある。	京都市は若い単身の方も多い	一人暮らしの方への支援の必要性 (だれでも)
11	家族のいる人はこういうふうにつながりができるんですけども、単身の方っていうのはそういうところに出て行く勇気もなくって、たまに遠くに住んでいる兄弟姉妹が連れ出してきたんだってという感じで終わってしまう。	単身の方は外に出にくい	
12	そういう人がこれからどんどん増えていくと思うので、支援する形を作っていけないといけないっていうのは京都市にいて非常に感じます。	単身の方を支援する形を作っていけないといけない	
13	なかなか支援につなげられない一人暮らしの方がおられる。	一人暮らしの方が支援につなげられない	
14	やさしいまちづくりに求められること。日々の生活の不便への支援。特に独居の方への見守り・同行支援は急がれます。公共交通機関へのアクセスが不便な地域に住んで居る方々への支援。支援が必要な人へ必要なサポートを。企業・団体同士の連携で解決できることがあるのではないかな？	独居の方への見守り・同行支援	安心できる居場所の必要性
15	認知症診断当初から通っている、職場でもある「カフェほうおう」や、住み慣れた家族のいる自宅は、気兼ねなくそのままの自分でいられる、安心できる居場所です。	安心できる居場所	
16	近くにもあればいいと思う。近くであればいいと思うんですけども、なかなかそういうことはまだできないところがあると思います。	近くにも場があればいい	

9) 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって参加し、すごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	ぼろぼろとも忘れとかするんですけど、それは昔からそうだったんで。本当に病気なのか、ただのもの忘れなのか。若年性の認知症といわゆる認知症とどう違うのかも全然理解しなかったもんですから。病気を病気として見てなかったという。それが不利だということかなと。	若年性認知症を理解していなかった	若年性認知症特有の問題
2	若年性認知症ということで、経済的な面とかいろいろ不安が大きいですけど、そういうことに対する知識が全くなかった。	経済的な不安	
3	生活面・経済的な不安については、若年性ということで年金までにはまだ遠く、仕事がなくなる不安は大きかった。	仕事がなくなる不安	
4	診断当初は認知症を自分事として受け止める事が難しく、先が見えない状況でしたが、若年性認知症支援コーディネーターの方へつないでもらい、生活面や経済面での支援などを、時系列にアドバイスを頂き手続きをすることにより、診断後の生活の再構築につながることができました。このことは、家族（妻）にとって大きな支えになったと実感しています。	若年性認知症支援コーディネーターによる生活面・経済面での支援	若年性認知症支援コーディネーター
5	（若年性認知症支援コーディネーターの存在は大きかったですか）そうですね。やっぱり自分だけではわからない制度がいっぱい。知らなければ損をするというようなものがあります。そこら辺りを細かく一生懸命調べていただいて。一番不安になっていた金銭面、生活どうしてたらという部分においても、色々サポートしていただいたので。	若年性認知症支援コーディネーターによる生活面・経済面での支援	
6	若年性認知症支援コーディネーターの方々にはいつもお世話になっています。病気休暇、休職、定年退職、そして傷病手当や公的な援助のことを、詳しく丁寧に教えてもらい、アドバイスを受けました。	若年性認知症支援コーディネーターによる経済面での支援	
7	若年性認知症支援コーディネーターの存在や、色々な制度や支援について、知らない人もまだまだ多いのではと思います。そこもこれからの課題かと思っています。	若年性認知症支援コーディネーターの存在を周知する必要性	
8	若年性認知症支援コーディネーターの存在はすごく大きい。	若年性認知症支援コーディネーターの存在の大きさ	
9	生活面・経済的な不安については、若年性ということで年金までにはまだ遠く、仕事がなくなる不安は大きかった。そんな精神面での不安や制度的なアドバイスを、こころのケアセンターの若年性認知症コーディネーターさんにつないでもらい、現在まで伴走していただいていることは、私にとって道しるべとなって、生活面での再構築ができ、不安の解消に大きくつながっていったように思います。	若年性認知症支援コーディネーターによる生活面・経済面・精神面での支援	
10	若年性認知症支援コーディネーターさんが道しるべみたいに、時期によって順番に、自立支援医療から始めて、雇用保険、精神障害者保健福祉手帳、それから、障害年金とか就労に関してとか、すべていろいろアドバイスいただきました。	若年性認知症支援コーディネーターによる生活面・経済面での支援	
11	若年性認知症支援コーディネーターのサポートのありがたさを痛感しています。経済的に不安なところをいろいろ教えていただき、一緒に書類と問い合わせを動いて下さった。退職のときは本当に大変でした。	若年性認知症支援コーディネーターによる経済面での支援	

No.	発言	コード	カテゴリー
12	夫は在職中に病気になり、仕事に行けなくなったので、病気休職、そして定年退職と、その都度その都度のことを、こころのケアセンターの若年性認知症支援コーディネーターに相談しながら、やってこれました。	若年性認知症支援 コーディネーターによる 経済面での支援	若年性認知症支援 コーディネーター
13	お医者様方に知名度が今どのくらいあるかわからないですけれど、若年性の方がいらっしゃったら、そういうサポートされる方がいるということ、それも早い時期からサポートしていただくことが大事かと思うので、その辺をしっかりといただければいいと思います。	若年性認知症支援 コーディネーターの 存在を医師が伝える ことが大事	
14	もうちょっといろんな形で、お医者様以外でも、世の中の的にそういうふうなシステムがあるんだよってことがもうちょっとわかっていたら方法があれば。	若年性認知症支援 コーディネーターの 存在を周知する必要性	
15	若年性認知症支援コーディネーターを知らない方が多いと思うので、知っていただくことがすごく大事だと思います。今宇治がこうしてピアサポートとかしていますけど、遠くの方は全然そういうふうなのがない状態になっている。いつでも誰でもどこでもっていう、その辺の状況を作ることがやっぱり、大切なんじゃないかなと思っています。	若年性認知症支援 コーディネーターの 存在を周知する必要性	
16	初期支援チームにつながって、若年性認知症支援コーディネーターの方とも話ができるようになって、れもんの仲間とピアサポートしたりっていう、トントン拍子にいった。	認知症初期集中支援 チームにつながった	
17	介護認定を受け、運動型デイサービスに週1回通っている。年配の方が多かったので最初は気を遣うことが多かったが、慣れてくるにしたがい、年齢の差を感じずに過ごすことができるようになりました。	介護保険サービス を利用し慣れてきた	介護保険サービス
18	65歳以下でも特定の病気だったら、介護保険サービスが受けれるということを初めて知ったんです。	介護保険サービスの利用	
19	洛南病院での若年性認知症デイケアプログラムの、テニス教室や絵画サークルにも参加しています。仲間との大切な交流の場にもなり、集中して取り組める場所として楽しみに参加しています。また企画して下さる色々な行事にも、その都度楽しみに参加させてもらっています。	若年性認知症 デイケアプログラム (テニス、絵画)	若年性認知症に合った 活動の場
20	診断当初は不安が大きかったが、カフェほうおうに通い始めて、居場所ができ、やりたかった「ものづくり」を作業工房ほうおうとして実現してもらいました。そしてそこで就労することもできました。現在、作業工房に、後輩の若年性の方達を含め、多くの人が集う活気ある状況となり、やりがいを感じ、嬉しく思っています。	就労の場 (作業工房)	
21	このような若年性の当事者も参加できる居場所が京都府の他の地域にも数多くできることが大切であり、これからの課題だと思います。	若年性認知症当事者の 居場所が広がること が課題	
22	若年性認知症を発症後、本人が好きでできるテニスであれば、一般のテニス教室もいろいろ行きましたが、やはりついていけず難しかったです。	一般のテニス教室は 難しかった	
23	2012年に洛南病院で若年性認知症テニス教室ができて、創設メンバーとして参加しました。そこから仲間が増えて、宇治市のいろんな企画にも参加して楽しむことができました。	洛南病院での 若年性認知症テニス 教室を創設	
24	6年前は若年性認知症の人達が利用できる場がなかった。そこで希望から相談を受けて卓球の会を作ったのが、今に続いている大きな動きだったと思います。	若年性認知症の方の希望 から卓球の会を作った	

No.	発言	コード	カテゴリー
25	その元になったのが、家内が若年性認知症を発症した時に、どこに相談しに行けばいいのかわからなくて、ネットで検索して地域包括支援センターに相談して。その時に洛南病院で若年性からテニス教室をやっていますというのを聞いて。それで2人でテニスを始めて、れもんの仲間のみなさんと出会えた。	洛南病院での 若年性認知症テニス 教室の経験	
26	当事者仲間の写真展の仕事やサッカースタジアム見学、E-スポーツ大会企画等々、なかなか経験できないことができて嬉しく思い、恵まれていると感じています。	若年性認知症の企画が あり恵まれていると 感じる	若年性認知症の活動に 意欲的に参加
27	カフェほうおうでの作業工房、洛南病院でのテニスや卓球、宇治での様々なイベント（ノックノックれもんちるどれんでの活動、しごとれもん、認知症関係のミーティングやフォーラムへの参加など）、京都市オレンジサロン・ひとまちへの参加とそれに付随する活動に、意欲をもって参加しています。	若年性認知症の活動に 意欲をもって参加 している	
28	カフェほうおう・作業工房で就労につながる事ができたことは、夫にとっても大きな希望と自信を取り戻すことになりました。	就労が希望と自信を取り戻 すことにつながった	
29	家族にとっても、認知症でも前を向いて、普通に近い生活を送れる希望が持てたことは本当にありがたく、感謝の気持ちで一杯です。これも京都府の取り組み、アイメッセージの流れの恩恵だと思っています。	本人が就労につながったこ とで、家族も希望が 持てた	

10) 私は、私や家族の願いである認知症を治す様々な研究がされているので、期待をもってすごしている。

No.	発言	コード	カテゴリー
1	認知症が治る病になることには、薬の開発も含め希望をもって期待はしています。ただ現実的には、時間もかかることで、経済的な費用面からも、また、病状の進行からも、なかなか厳しい状況かと思っています。でも、近い将来、認知症の治療薬も完成し、認知症は治る病気となることに期待しています。	認知症が治る病気となることへの期待	治療や治療薬への期待
2	新薬のこれからのことを聞きたいです。	新薬のことを知りたい	

IV 10のアイメッセージ評価に係る調査票

1 本人調査票

本人用

本人を対象とした調査

～回答の際の注意事項（評価協力者のみなさまへ）～

ご本人に回答をお願いするものとなります。以下の注意事項をご確認頂いた上、ご回答いただきますようお願いいたします。

●「10のアイメッセージ」評価に係る調査（ご本人）

- ①認知症のご本人が評価に参加することはサポートがないと難しい場合もあります。しかし、適切なサポートがあれば評価に参加できる方もたくさんおられます。支援者のみなさまにお願いすることは、その「評価協力者」になっていただき、評価をスムーズに遂行できるようサポートして頂くことです。（質問票を読み上げたり、質問の意味を噛み砕いて説明しながら答えていただけるよう、必要に応じた適切なサポートをお願いいたします。）
- ②答えることが難しい場合には、ご家族等パートナーに代弁していただくことも可能です。その際は、「家族の思い」でなく「本人の思い」を代弁していただくこととなります。代弁者が答えた場合は、回答者欄の「 代弁者」にしてください。
- ③回答は3段階でお願いします。それぞれの質問に対して、「そう思う」場合は○、「少しそう思う」場合は△、「そう思わない」場合は×を選択して下さい。調査票への記入は、ご本人の選択を確認しながら、原則、評価協力者が行って下さい。（選択は一つのみ）
- ④本人および代弁者が回答できない場合には、回答者欄の「 回答できない」にしてください。

本人用

『10のアイメッセージ』評価 本調査票

No.

普段の暮らしの中でどのように感じているのかお尋ねします。各質問に対し、あなたの思いに当てはまる評価に○をつけてください。また、回答者欄も合わせて☑をつけてください。(回答いただく項目は着色欄のみとなります)

No.	評価項目	評価			回答者
		1. そう思う(○)、2. 少しそう思う(△)、3. そう思わない(×)			
1	1 周りのすべての人が、認知症を正しく理解してくれている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	2 周りの人は、私らしさや私のしたいことをいつも気にかけてくれている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	3 周りの人は、私ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
2	4 私は、診断される前と同様、活動的に過ごしている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	5 私は、軽いうちに診断を受け、病気を理解できた	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	6 私は、将来の過ごし方まで考え決めることができた	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
3	7 私は、身体の具合が悪くなったらいつでも診てもらえる	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	8 私は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	9 私は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
4	10 私は、私なりに社会に貢献することができている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	11 私は、生きがいを感じている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	12 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
5	13 私は、人生を楽しんでいる	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	14 私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	15 私は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
7	16 私は、言葉でうまくいえなくても私の気持ちをわかってもらえている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	17 人生の終末に至るまで、わたしの思いが尊重されると思う	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	18 私は、適切な情報を得ている	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
8	19 私は、身近に何でも相談できる人がいる	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	20 私には、落ち着いていられる場所がある	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	21 【若年性認知症の方のみ】若年性の認知症の私に合ったサービスがある	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
9	22 【若年性認知症の方のみ】私に合ったサービスに意欲をもって参加している	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない
	10 23 私は、いま行われている認知症を治す研究に期待している	1. ○	2. △	3. ×	□本人 □代弁者 □回答できない

評価協力者氏名:

調査日: 令和5年

月 日

※裏面もご確認ください。

評価対象者（本人）の意見・要望

意見・要望（自由記載）

I 調査対象者（本人）について

性別	男 ・ 女	年齢	() 歳
同居家族の有無	有 ・ 無	発病後の年数	() 年
所在市町村	DASC点数(任意)※ () 点		
介護認定の有無	有 (要支援 1 ・ 2、要介護 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5) ・ 無		
認知症高齢者の日常生活自立度	自立 ・ I ・ IIa ・ IIb ・ IIIa ・ IIIb ・ IV ・ M		
障害高齢者の日常生活自立度	自立 ・ J1 ・ J2 ・ A1 ・ A2 ・ B1 ・ B2 ・ C1 ・ C2		
家族が家族評価への参加	有 ・ 無		

※DASCは調査をやりやすくするためのアセスメントツールになりますので、参考に活用ください。

II 代弁者について

性別	男 ・ 女	年齢	() 歳
本人との関係	家族 (配偶者 ・ 子 ・ 兄弟姉妹 ・ その他 ()) ・ 知人 ()		
同居の有無	有 (同居期間 年) ・ 無	代弁者が支援者の場合は、その支援期間 () 年	

III 調査（評価）協力者として関わったことについて

下記質問に対し1つ選んで○をつけてください。

1. 調査を終了して本人の回答能力に関する印象

- ①少しのサポートがあれば自分で回答できた ②サポートがあれば何とか自分で回答できた
③十分なサポートがあっても自分では回答が困難 ④その他 ()

2. 自分では回答が困難だったケースについて代弁者の回答能力

- ①代弁者は、十分に代弁できていると感じた ②代弁者は、ある程度代弁できていると感じた
③代弁者は、あまり代弁できていないように感じた ④その他 ()

3. これまでの調査（評価）協力者と本人との関係

- ①本人のことをよく知っている ②本人のことをある程度知っている
③本人のことをあまり知らない ④その他 ()

4. これまでの調査（評価）協力者と代弁者との関係

- ①代弁者のことをよく知っている ②代弁者のことをある程度知っている
③代弁者のことをあまり知らない ④その他 ()

5. 本人評価の課題（自由記載 感想可）

事業所名	
連絡先	

調査は以上となります。御協力ありがとうございました。

家族用

ご家族を対象とした調査

～回答の際の注意事項（評価協力者のみなさまへ）～

ご家族の方に回答をお願いするものです。以下の注意事項をご確認頂いた上、ご回答いただきますようお願いいたします。

●「10のアイメッセージ」評価に係る調査【家族の立場から】

①対象は、認知症の方のご家族です。ここでは、本人の立場としてではなく、ご家族の立場から答えてもらって下さい。

②回答は5段階でお願いします。それぞれの質問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」「どちらでもない」「あまり思わない」「全然思わない」を選択して下さい。（選択は一つのみ）

普段の暮らしの中でどのように感じているのかお尋ねします。各質問に対し、あなたの思いに当てはまる評価に○をつけてください。
また、続柄に☑をつけてください。(回答いただく項目は着色欄のみとなります)

No.	評価項目	評価
1	1. 本人の周りの人は、認知症を正しく理解している	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	2. 本人の周りの人は、本人の人權や個性を尊重している	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	3. 本人の周りの人は、本人ができることは見守り、できないことはそばにいて助けてくれる	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	4. 本人は、診断される前と同様、活動的に過ごしている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
2	5. 本人は、症状が軽いうちに診断を受け、病気を理解できた	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	6. 本人は、将来の過ごし方まで考え決めることができた	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
3	7. 本人は、体の具合が悪くなつた時、いつでも診てもらえるところがある	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	8. 本人は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
4	9. 本人は、手助けしてもらいながら地域の一員として社会参加できている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	10. 本人なりに社会に貢献することができている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
5	11. 本人は、生きがいを感じている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	12. 本人は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	13. 本人は、人生を楽しんでいる	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
6	14. 本人を支えている家族（あなた）の生活と人生にも十分な配慮がなされている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	15. 本人は、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
7	16. 本人は、言葉でうまくいえなくても気持ちをおかかってもらえている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	17. 本人の思いが、人生の終末期に至るまで尊重されると思う	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
8	18. 本人は、認知症について適切な情報を得ている	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	19. 本人の身近に何でも相談できる人がいる	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
9	20. 本人には落ち着ける場所がある	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	21. 【若年性認知症の家族の方のみ】本人に合ったサービスがある	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
10	22. 【若年性認知症の家族の方のみ】本人は、そのサービスに意欲をもって参加している	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない
	23. あなたは、認知症を治す研究に期待している	1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全然思わない

評価協力者氏名： _____

調査日：令和5年 _____ 月 _____ 日

※裏面もご確認ください。

調査対象者（家族）について

年齢	() 歳	所在市町村
本人との続柄	<input type="checkbox"/> 同居家族 (<input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 別居家族 (<input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> その他 ())	
本人の状態	介護度 : 自立 ・ 要支援 (1 ・ 2) ・ 要介護 (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5) 認知症高齢者の日常生活自立度 : I ・ IIa ・ IIb ・ IIIa ・ IIIb ・ IV ・ M 障害高齢者の日常生活自立度 : 自立 ・ J1 ・ J2 ・ A1 ・ A2 ・ B1 ・ B2 ・ C1 ・ C2	
家族が本人評価への参加	有 ・ 無	

評価者協力者について

事業所名	連絡先
------	-----

調査は以上となります。御協力ありがとうございました。

支援者用

支援者を対象とした調査

～回答の際の注意事項～

注意事項をご確認頂いた上、ご回答いただきますようお願いいたします。

●「10のアイメッセージ」評価に係る調査【支援者の立場から】

- ①あなたの活動しておられる地域について、どのように感じておられるのか、支援者の立場から答えて下さい。
- ②回答は5段階でお願いします。それぞれの質問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」「どちらでもない」「あまり思わない」「全然思わない」を選択して下さい。（選択は一つのみ）
- ③所在市区町村名と評価日をご記入いただき、添付の返信用封筒で7月7日（金）までに御投函ください。

支援者用

『100のアイメッセージ』評価 本調査票

No.

あなたの活動しておられる地域についてどのように感じているのかお尋ねします。各質問に対し、あなたの思いに当てはまる評価に○をつけてください。
(回答いただく項目は着色欄のみとなります)

No.	評価項目	評価
1	1 認知症についての正しい理解がひろまっている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	2 認知症の人の人権や個性が尊重されている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	3 認知症の人ができることは見守られ、できないことはそばにいて助けてもらえている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	4 認知症の人が、診断される前と同様、活動的に過ごしている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	5 認知症の人は、症状が軽いうちに診断を受け、病気を理解できている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
2	6 認知症の人は、将来の過ごし方まで考え決めることができる	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	7 認知症の人は、体の具合が悪くなった時、いつでも診てもらえるところがある	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	8 認知症の人は、医療と介護の支えで住み慣れたところで健やかに過ごしている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
3	9 認知症の人は、医師として住み慣れた地域の一員として社会参加できている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	10 認知症の人が、本人なりに社会に貢献することができている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	11 認知症の人が、生きがいを感じている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
4	12 認知症の人は、趣味やレクリエーションなどしたいことがかなえられている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	13 京都では、本人は、人生を楽しんでいる	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	14 認知症の人を支えている家族の生活や人生にも十分な配慮がなされている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
5	15 認知症の人が、家族や社会に迷惑をかけていると気兼ねすることなく過ごしている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	16 認知症の人は、言葉でうまくいえなくても本人の気持ちをわかってもらえている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	17 認知症の人は、人生の終末に至るまで、本人の思いが尊重されている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
6	18 認知症の人が、認知症について、適切な情報を得ている	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	19 認知症の人の身近に何でも相談できる人がいる	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	20 認知症の人の落ち着ける場所がある	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
7	21 若年性認知症の本人に合ったサービスがある	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	22 若年性認知症の本人が、そのサービスに意欲をもって参加している	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない
	23 認知症の人は、認知症を治す研究に期待している	1.とてもそう思う 2.少しそう思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全然思わない

調査は以上となります。御協力ありがとうございました。

所在市町村：

調査日：令和5年 月 日

認知症総合対策推進プロジェクト 委員名簿

全体会	所属団体・職名	氏名
委員長	京都地域包括ケア推進機構理事長	中川 正法
副委員長	京都府医師会理事	西村 幸秀
委員	京都府医師会理事	三木 秀樹
委員	京都府社会福祉協議会副会長	櫛田 匠
委員	京都府市長会事務局次長	尾本 恵一
委員	京都府町村会事務局次長	川口 秀樹
委員	京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科部長(認知症疾患医療センター)	成本 迅
委員	京都府介護支援専門員会会長	山下 宣和
委員	京都府介護福祉士会会長	柏本 英子
委員	京都府介護老人保健施設協会理事	中村 泰三
委員	京都府看護協会専務理事	橋元 春美
委員	北山病院院長(京都市認知症疾患医療センター)	澤田 親男
委員	京都府歯科医師会理事	奥野 博喜
委員	京都私立病院協会副会長	武田 隆久
委員	京都精神科病院協会会長	三木 秀樹
委員	京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	川北 雄一郎
委員	西京医師会副会長	塚本 忠司
委員	認知症の人と家族の会京都府支部代表	河合 雅美
委員	福知山医師会理事	渡邊 正
委員	京都府理学療法士会理事	阪東 美可子
委員	京都府老人福祉施設協議会理事	大橋 裕子
委員	京都市老人福祉施設協議会副会長	河本 歩美
委員	乙訓医師会会長	下尾 和敏
委員	はやし神経内科院長(認知症サポート医)	林 理之
委員	京都府言語聴覚士会監事	関 道子
委員	京都府作業療法士会理事	森 志勇士
委員	京都社会福祉士会副会長	久門 治美
委員	京都精神科医会理事	中嶋 章作
委員	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会副会長	松本 恵生
委員	京都地域密着型サービス事業所協議会会長	奥本 喜裕
委員	京都府訪問看護ステーション協議会会長	團野 一美
委員	京都府薬剤師会副会長	渡邊 大記
委員	京都府立洛南病院院長(認知症疾患医療センター)	吉岡 隆一

新・京都式オレンジプラン推進ワーキング(改定に係るワーキング:令和4年～令和5年度)

所属団体・職名		氏名
座長	京都府医師会理事	西村 幸秀
委員	京都精神科病院協会会長	三木 秀樹
	京都府医師会理事	
委員	京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科部長(認知症疾患医療センター)	成木 迅
委員	京都府介護支援専門員会副会長	村上 晶之
委員	京都府介護老人保健施設協会理事	小林 啓治
委員	北山病院院長(京都市認知症疾患医療センター)	澤田 親男
委員	京都私立病院協会副会長	富田 哲也
委員	京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	川北 雄一郎
委員	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会副会長	松本 恵生
委員	西京医師会副会長	塚本 忠司
委員	認知症の人と家族の会京都府支部代表	河合 雅美
委員	京都府老人福祉施設協議会理事	大橋 裕子
委員	京都市老人福祉施設協議会副会長(令和4年会議)	児玉 直久 河本 歩美
	京都市老人福祉施設協議会副会長(令和5年第1回会議～)	
委員	京都府看護協会老人看護専門看護師	長谷川 美智子
委員	京都地域密着型サービス事業所協議会副会長	岩佐 淑子
委員	京都社会福祉士会介護保険委員会委員長	森 賢一
委員	京都府歯科医師会理事	奥野 博喜
委員	京都府薬剤師会副会長	渡邊 大記
委員	京都弁護士会高齢者・障害者支援センター運営委員会副委員長	椎名 基晴
委員	京都司法書士会	中野 篤子
委員	京都府立洛南病院院長(認知症疾患医療センター)	吉岡 隆一
委員	京都府市長会南丹市福祉保健部高齢福祉課長(令和4年会議)	川勝 美穂子 竹山 真
	京都府市長会舞鶴市福祉部高齢者支援課長(令和5年第1回会議～)	
委員	京都府町村会精華町健康福祉環境部高齢福祉課長	垣田 哲志
アドバイザー	東京都健康長寿医療センター認知症未来社会創造センター長	栗田 圭一
	認知症介護研究・研修東京センター長	
アドバイザー	認知症介護研究・研修東京副センター長(兼)研究部長	永田 久美子
アドバイザー	藤田医科大学教授	武地 一
アドバイザー	京都文教大学教授	平尾 和之
アドバイザー	京都府立医科大学講師	占部 美恵
アドバイザー	熊本学園大学講師	孫 希叔
アドバイザー	はやし神経内科学院長(認知症サポート医)(令和4年第3回会議～)	林 理之
アドバイザー	京都府立洛南病院(令和4年第3回会議～)	森 俊夫
アドバイザー	京都府立医科大学助教(令和5年第2回会議～)	福田 弘子
アドバイザー	京都府立医科大学助教(令和5年第2回会議～)	松尾 綾子

京都府認知症応援大使		市町村	氏名
大使	京都市	(令和5年第3回会議～)	下坂 厚
大使	京都市	(令和5年第3回会議～)	鈴木 貴美江
大使	京都市	(令和5年第3回会議～)	安達 春雄
大使	京都市	(令和5年第3回会議～)	樋口 聖典
大使	京都市	(令和5年第3回会議～)	井上 和享
大使	京都市	(令和5年第3回会議～)	幸 陶一

評価・検討コア会議

所属団体・職名		氏名
座長	京都府医師会理事	西村 幸秀
委員	京都精神科病院協会会長	三木 秀樹
	京都府医師会理事	
委員	西京医師会副会長	塚本 忠司
委員	京都府介護支援専門員会副会長	村上 晶之
委員	認知症の人と家族の会京都府支部代表	河合 雅美
委員	京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科部長（認知症疾患医療センター）	成本 迅
委員	北山病院院長（京都市認知症疾患医療センター）	澤田 親男
委員	北山病院（京都市認知症疾患医療センター）	井上 基
委員	京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	川北 雄一郎
委員	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会副会長	松本 恵生

新たな課題、重点的に推進すべき施策の検討部会

・第1部会 「認知症の本人の活動について」

所属団体・職名		氏名
部会長	京都府医師会理事	西村 幸秀
委員	京都府介護支援専門員会副会長	村上 晶之
委員	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会副会長	松本 恵生
委員	京都府老人福祉施設協議会理事	大橋 裕子
委員	京都地域密着型サービス事業所協議会副会長	岩佐 淑子
委員	京都社会福祉士会介護保険委員会委員長	森 賢一
委員	京都府立洛南病院院長（認知症疾患医療センター）	吉岡 隆一
委員	京都府町村会（精華町健康福祉環境部高齢福祉課長）	垣田 哲志

・第2部会 「認知症の本人・家族を支える地域の体制について」

所属団体・職名		氏名
部会長	京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科部長（認知症疾患医療センター）	成本 迅
委員	京都府介護老人保健施設協会理事	小林 啓治
委員	京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	川北 雄一郎
委員	西京医師会副会長	塚本 忠司
委員	認知症の人と家族の会京都府支部代表	河合 雅美
委員	京都府歯科医師会理事	奥野 博喜
委員	京都弁護士会高齢者・障害者支援センター運営委員会副委員長	椎名 基晴
委員	京都司法書士会	中野 篤子

・第3部会 「医療・介護の提供体制について」

所属団体・職名		氏名
部会長	北山病院院長（京都市認知症疾患医療センター）	澤田 親男
委員	京都精神科病院協会会長	三木 秀樹
	京都府医師会理事	
委員	京都私立病院協会副会長	富田 哲也
委員	京都府看護協会老人看護専門看護師	長谷川 美智子
委員	京都府薬剤師会副会長	渡邊 大記
委員	京都市老人福祉施設協議会副会長（令和4年会議）	児玉 直久
	京都市老人福祉施設協議会副会長（令和5年第1回会議～）	河本 歩美
委員	京都府市長会南丹市福祉保健部高齢福祉課長（令和4年会議）	川勝 美穂子
	京都府市長会舞鶴市福祉部高齢者支援課長（令和5年第1回会議～）	
		竹山 真

新・京都式オレンジプラン 10のアイメッセージ評価 報告書

京都地域包括ケア推進機構
認知症総合対策推進プロジェクト

〒604-8418

京都市中京区西ノ京東柵尾町6番地 京都府医師会館703

Tel : 075-822-3562 Fax : 075-822-3574

E-mail : info@kyoto-houkatucare.org

HP : <http://www.kyoto-houkatucare.org/>



※認知症に関する様々な情報は「きょうと認知症あんしんナビ」へアクセス

HP : <https://www.kyoto-ninchisho.org/>

